

FUJITSU Printer

B5WY-1691-01



XL シリーズ

ハードウェアガイド

カラーページプリンタ XL-C8350

FUJITSU

● 安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ず本マニュアルをお読みください。

安全上の注意表示

△警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

△注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示す絵記号



△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。



○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。



●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

一般的な注意

△警告

 プリンター内部の安全スイッチに触れないでください。高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギアが回転するのでケガのおそれがあります。	 プリンターの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。装置内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。	 カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いて「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。火災のおそれがあります。
 水などの液体が装置内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。火災のおそれがあります。	 クリップなどの異物を装置内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。感電、火災、ケガのおそれがあります。	 ハードウェアガイドに指示している以外の操作や分解は行わないでください。感電、火災、ケガのおそれがあります。
 装置を落させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いて「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。感電、火災、ケガのおそれがあります。	 電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。電源プラグを長期間コンセントにさしたままにしておくと、電源プラグの刃の根元にほこりが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。	 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。トナーを床などにこぼしてしまった場合は、トナーを飛び散らさないよう、ぬれた雑巾などで静かに拭き取ってください。
 通気口に物を差し込まないでください。感電、火災、ケガのおそれがあります。	 水の入ったコップなどを装置の上に載せないでください。感電、火災のおそれがあります。	 装置のカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。やけどのおそれがあります。

⚠️警告

トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）を火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

電源コード、ケーブル、アース線は、ハードウェアガイドで指示されている以外の接続は行わないでください。
火災のおそれがあります。

UPS（無停電電源）およびインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源およびインバーターは使用しないでください。
火災のおそれがあります。

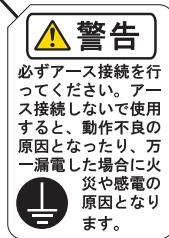
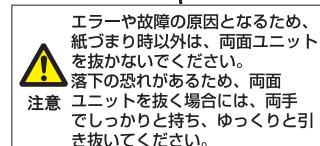
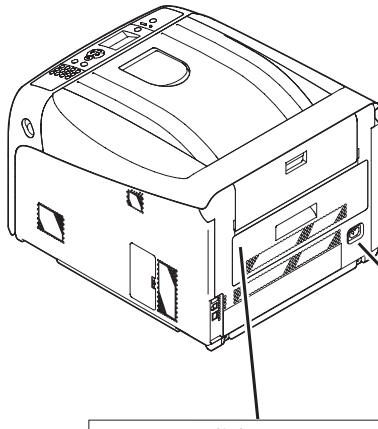
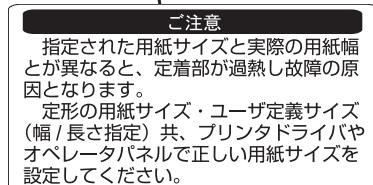
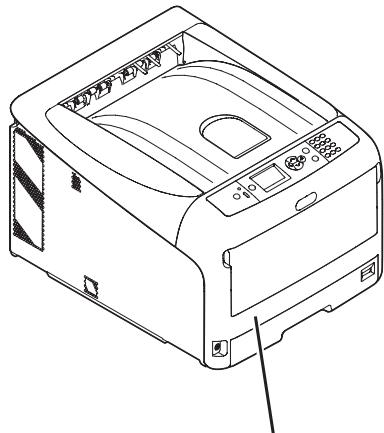
⚠️注意

電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。ケガをするおそれがあります。

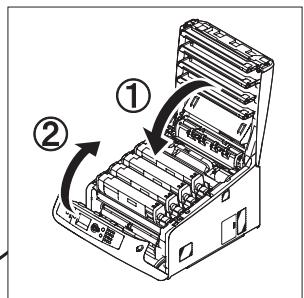
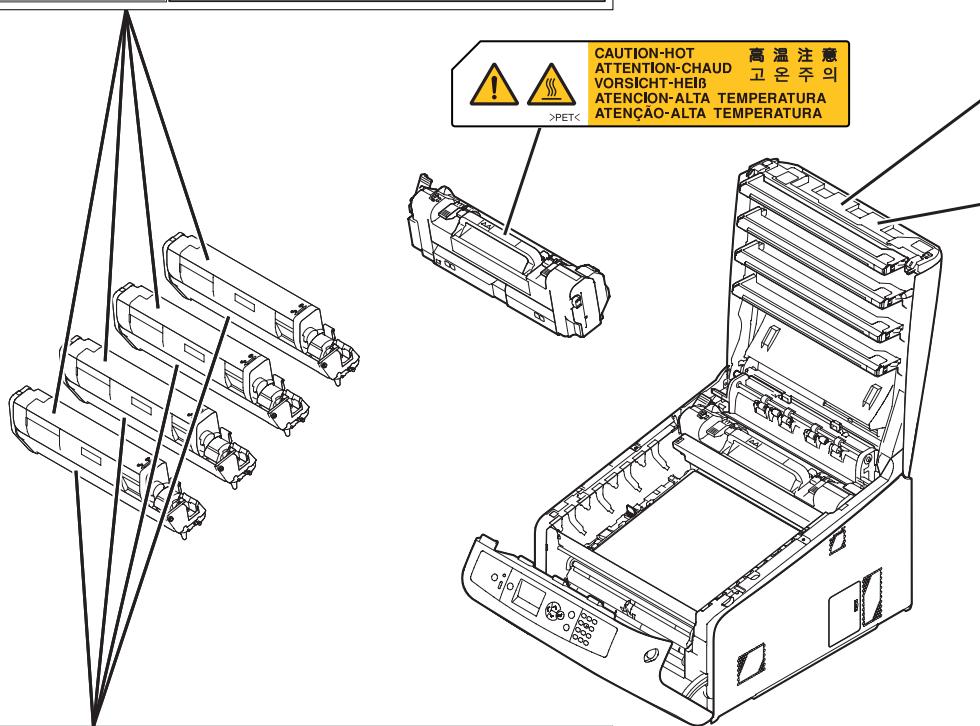
壊れた液晶ディスプレーには触らないでください。
液晶ディスプレーから漏れた液体（液晶）が目や口に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。
必要に応じて医師の診断を受けてください。

●警告ラベル/注意ラベル

本製品には警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。指示内容をご覧になり、安全に利用ください。
なお、警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。



※商品名および商品番号は対応色や対応容量等により異なります。



※商品名および商品番号は対応色等により異なります。

● マニュアルの構成

本製品には以下のマニュアルが付属しています。

- ハードウェアガイド…本書

プリンターをよく理解していただくために、基本的な操作を説明しています。プリンターの設置方法やネットワークの初期設定方法など、初期セットアップの説明、トラブル対処方法やメンテナンスの手引が記載されています。

- 設置ガイド

プリンターを設置し、動作確認を行うまでの手順を記載しています。

- ソフトウェアガイド

ソフトウェアの使用方法について説明したソフトウェアガイドを添付の「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」に格納しています。ユーティリティーとネットワークの応用設定の情報も含まれています。

- クイックガイド

用紙の設定、操作パネルのメッセージ、紙づまりの対処方法が記載されています。専用袋に入れ、プリンターに貼り付けてご使用ください。

同じ内容の PDF ファイルが、添付の「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」に格納されています。

● このマニュアルについて

本書のマーク

本書では、以下のマークを使用しています。

！ お願い

- 本プリンターで未サポートの情報を示しています。必ずお読みください。

！ 注

- 操作に関する重要な情報を示します。必ずお読みください。

メモ

- 操作に関する追加情報を示します。お読みになることをおすすめします。

■ 参照

- 参照ページを示します。詳しい情報や関連する情報を知りたいときにお読みください。

本書の記号

本書では、以下の記号を使用しています。

記号	説明
[]	<ul style="list-style-type: none">● 液晶パネルのメニュー名を示します。● コンピューターのメニュー、ウィンドウ、およびダイアログ名を示します。
「 」	<ul style="list-style-type: none">● 液晶パネルのメッセージおよび入力テキストを示します。● コンピューター上でのファイル名を示します。● 参照先のタイトルを示します。
< > ボタン / キー	操作パネルのボタンまたはコンピューターのキーボードのキーを示します。
>	プリンターまたはコンピューターのメニュー階層を示します。

本書の表記

製品などの呼び方について

本書では製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard	Windows Server 2016
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter	
Microsoft® Windows Server® 2016 Essentials	
Windows 10 Home 64 ビット版	Windows 10
Windows 10 Pro 64 ビット版	
Windows 10 Enterprise 64 ビット版	
Windows 10 Education 64 ビット版	
Windows 10 Home 32 ビット版	
Windows 10 Pro 32 ビット版	
Windows 10 Enterprise 32 ビット版	
Windows 10 Education 32 ビット版	

製品名称	このマニュアルでの表記	
Windows 8.1 64 ビット版		
Windows 8.1 Pro 64 ビット版	Windows 8.1	
Windows 8.1 Enterprise 64 ビット版	Windows 8.1	
Windows 8.1 32 ビット版	Windows 8.1	
Windows 8.1 Pro 32 ビット版	Windows 8.1	
Windows 8.1 Enterprise 32 ビット版	Windows 8.1	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter		
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard	Windows Server 2012 R2	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Essentials	Windows Server 2012 R2	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation	Windows Server 2012 R2	
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter		Windows Server 2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard	Windows Server 2012 (R2 以外)	Windows Server 2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Essentials	Windows Server 2012 (R2 以外)	Windows Server 2012
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation	Windows Server 2012 (R2 以外)	Windows Server 2012
Windows 7 Ultimate 64 ビット版		
Windows 7 Enterprise 64 ビット版		
Windows 7 Professional 64 ビット版		
Windows 7 Home Premium 64 ビット版		
Windows 7 Ultimate 32 ビット版	Windows 7	
Windows 7 Enterprise 32 ビット版	Windows 7	
Windows 7 Professional 32 ビット版	Windows 7	
Windows 7 Home Premium 32 ビット版	Windows 7	
Windows 7 Starter	Windows 7	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard	Windows Server 2008 R2	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise	Windows Server 2008 R2	
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (64-bit)		
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (64-bit)		Windows Server 2008
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (32-bit)	Windows Server 2008 (R2 以外)	Windows Server 2008
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V™ (32-bit)	Windows Server 2008 (R2 以外)	Windows Server 2008
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (32-bit)	Windows Server 2008 (R2 以外)	Windows Server 2008
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V™ (32-bit)	Windows Server 2008 (R2 以外)	Windows Server 2008
Web Services on Devices	WSD	

画面例、イラストについて

- このマニュアルに掲載されている画面例の IP アドレスやホスト名などは一例であり、実際の入力内容を表すものではありません。
- 画面例でプリンタ名を「XL-XXXX」と表示している箇所があります。このときは、お使いのプリンタ名で読み替えてください。
- 機種、ソフトウェアのバージョン、OS によっては、画面例とは表示内容が一部異なることがあります。
- 本書に掲載されているプリンタのイラストは、説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。
- 本書では、特に記載がない限り Windows 7 を例にしています。

商標および著作権について

RSA は RSA Security Inc. の登録商標です。BSAFE は、RSA Security Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2017

プリンターに搭載のソフトウェアについて

 プリンターは、RSA Security Inc. の RSA® BSAFE™ ソフトウェアを搭載しています。

本製品およびオプション品のハイセイフティ用途での使用について

本製品およびオプション品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。

ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

紙幣、有価証券などの印刷について

- 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債券、郵便切手、印紙などを複製・印刷すること、または本物と紛らわしいものを作ることは、使用する意図がなくても犯罪となり罰せられます。
- 以下のものを、本物と偽って使用する目的で複製・印刷することは、犯罪として罰せられます。
 - 株券・手形・小切手などの有価証券
 - 公務員又は役所が作成した証明書などの文書
 - 契約書等、権利義務や事実証明に関する文書
 - 役所または公務員の印影、署名、記号
 - 私人の印影または署名

- 著作権法により保護されている著作物（書籍、雑誌、絵画、地図、写真など）を著作者に無断で複製することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除き、違法となります。

関係法律

刑法、紙幣類似証券取締法、印紙等模造取締法、郵便切手等模造等取締法、
外国二於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律、著作権法

電波障害防止について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

VOC（揮発性有機化合物）の放散

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼン、TVOC の放散については、エコマーク No.155 「複写機・プリンタなどの画像機器 Version1.2」の物質工ミッショニに関する認定基準を満たしています。トナーは本製品にて推奨しておりますトナーカートリッジやイメージドラム（ドラムカートリッジ）を使用し、白黒印刷及びカラー印刷を行った場合について、試験方法 Blue Angel RAL UZ-171 Appendix S-M に基づき試験を実施しております。

電源コードのアース線について

必ずアース接続を行ってください。アース接続しないで使用すると、動作不良の原因となったり、万一漏電した場合に火災や感電の原因となります。

設置場所について

水、湿気、湯気、ほこり、油煙の多い場所、通気性の悪い場所、直射日光のあたる場所、振動の激しい場所や傾いた場所などの不安定な場所、温泉地など硫黄の影響を受ける場所に設置しないでください。プリンタ本体の故障だけでなく、火災、故障、感電などの原因になることがあります。

また、本製品の稼動音が気になる場合は、事務所とは別室に設置することを推奨します。

電源について

表示された正しい電源・電圧でお使いください。

本製品は、突入電流がありますので、UPS に接続しないでください。矩形波が出力される機器に接続すると、故障する場合があります。

目次

安全にお使いいただくために	2
警告ラベル／注意ラベル	4
マニュアルの構成	5
このマニュアルについて	6
目次	10
1. セットアップする	13
製品の確認	14
パッケージの内容の確認	14
操作パネルの名称	14
テンキーの使い方	15
Fn キーの使い方	15
各部名称の確認	16
オプションの紹介	17
設置場所の確認	18
設置環境	18
設置スペース	18
プリンターの準備	19
開梱する	19
消耗品を取り付ける	19
添付品を取り付ける	21
用紙をセットする	21
電源の入れ方 / 切り方	23
オプションを取り付ける	25
プリンター単体でテスト印刷をする	30
装置寿命の確認について	31
クイックガイドの収納	31
コンピューターに接続する	32
ネットワーク接続	32
USB 接続	44
オプションを追加した場合	47
USB ケーブルを接続してもプリンタが作成されないときには	48
2. 印刷の基本操作	50
用紙について	50
トレイから印刷する	57

マルチパープストレイから印刷する	59
カスタムサイズ（任意の用紙サイズ）で印刷する	62
用紙の排出について	65
便利な印刷機能の紹介	66
印刷をキャンセルする	67
パワーセーブモードに入るまでの時間を設定する	68
スリープモードに入るまでの時間を設定する	69
スリープモード時の制限事項	70
自動で電源を切る（オートパワーオフ）ための設定をする	72
オートパワーオフを設定する	72
移行時間を設定する	73
ブザー音を設定する	74
3. こまつたときには	75
液晶パネルにメッセージが出ているとき （エラーランプが点灯 / 点滅しているとき）	75
紙づまりになったとき / 用紙を取り除いてもメッセージが消えないとき	76
「・・・の交換時期が近づいています」、「・・・がなくなりました / 交換してください」と表示しているとき	86
「・・・用紙をかえてください」、「・・・用紙サイズが違います」、「用紙サイズエラーが発生しました」と表示しているとき	89
その他のエラーメッセージ	90
マルチパープストレイから印刷ができないとき	94
そのほかのトラブル	95
コンピューターから印刷できないとき	95
途中までしか印刷されないとき	96
プリンタードライバーのインストールがうまくいかないとき	97
各 OS に関する制限事項	98
印刷が不鮮明なとき	99
用紙送りがおかしいとき	103
プリンターのトラブル	105
4. メンテナンス	107
消耗品・メンテナンスユニットを交換する	107
トナーカートリッジを交換する	108
イメージドラム（ドラムカートリッジ）を交換する	113
ベルトユニットを交換する	119
定着器ユニットを交換する	122
給紙ローラーを交換する	124

プリンターのお手入れ	129
プリンターの表面を清掃する	129
給紙ローラーを清掃する	129
LED ヘッドを清掃する	131
プリンターを移動・輸送する	133
プリンターを移動する	133
プリンターを輸送する	133
5. 付録	136
操作パネルのメニュー項目一覧	136
液晶パネルでプリンターの状態を確認する	136
操作パネルのメニュー項目一覧	137
消耗品・オプションについて	141
仕様	143
有寿命部品／消耗品／24 時間運用について	147
用紙の印刷方向と印刷可能領域について	148
アフターサービスについて	150
本製品の廃棄について	151
本マニュアルで紹介している URL について	151
安全データシート	152

1. セットアップする

この章では、セットアップについて説明します。

■ セットアップの流れ

1. 製品の確認
<ul style="list-style-type: none"> ●添付物を確認する ●操作パネルの名称、操作方法を確認する ●製品の各部名称を確認する ●オプション品を確認する



2. 設置場所の確認
<ul style="list-style-type: none"> ●設置環境を確認する ●設置スペースを確認する



3. プリンターの準備
<ul style="list-style-type: none"> ●開梱する ●緩衝材を取り除く ●消耗品を取り付ける ●用紙をセットする ●電源を入れる / 切る ●オプション品を取り付ける ●プリンター単体からのテスト印刷をする



4. コンピューターに接続する	
ネットワーク経由で接続する場合	USB 経由で接続する場合
	
操作パネルで IP アドレスを設定する	
	ケーブルを接続する
コンピューターにプリンタードライバーをインストールする	
	コンピューターからテスト印刷をする
	

● 製品の確認

ここでは、プリンターの概要を説明します。

パッケージの内容の確認

「設置ガイド」をご覧になり、添付されている梱包物の確認をしてください。



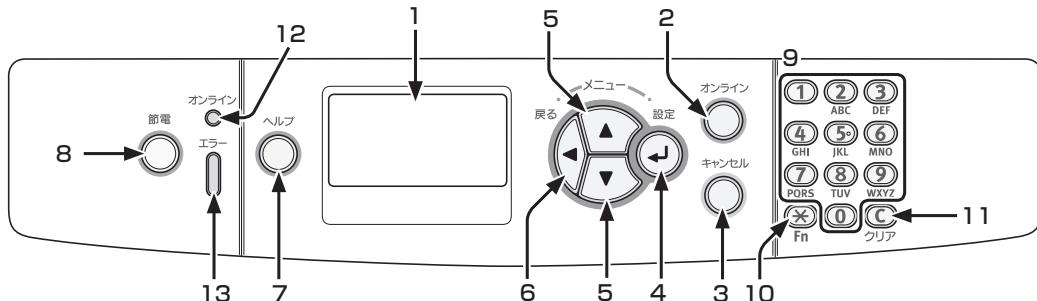
ケガをするおそれがあります。



- プリンターは、重量が約 40 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。

操作パネルの名称

この節では、操作パネルの各部の名称とはたらき、および文字入力の方法について説明します。



番号	名称	機能
1	液晶パネル	プリンターの状態や、操作の指示を表示します。
2	<オンライン> ボタン	オンラインとオフラインを切り替えます。
3	<キャンセル> ボタン	現在の印刷を直ちに取り消します。
4	<設定> ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● メニューを表示します。 ● 反転表示された項目を確定します。
5	<スクロール> ボタン	メニューを選択したり、画面の表示をスクロールするときに使用します。
6	<戻る> ボタン	前の画面に戻ります。
7	<ヘルプ> ボタン	ヘルプ画面を表示します。閉じるときは、<ヘルプ>ボタンを再度押すか、<戻る>ボタンまたは<キャンセル>ボタンを押します。
8	<節電> ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● パワーセーブモードに入る、または、解除します。 ● スリープモードを解除します。 <p>パワーセーブモードのときは緑色に点灯し、スリープモードのときは緑色に点滅します。</p>
9	テンキー	<ul style="list-style-type: none"> ● 数字を入力します。 ● 英字や記号を入力します。 <p>パスワード入力ができるのは、テンキーのみです。</p>
10	<Fn> キー	機器設定メニューをショートカット表示するために使用します。
11	<クリア> キー	<p>キーを短く押す、または長押しすると、入力項目に応じて次の動作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定値を最小にします。 ● 設定値に 0 を入力します。 ● 入力された内容を 1 文字分消します。 ● 選択された項目を取り消します。 ● IP アドレス入力の時は無効になります。
12	オンラインランプ	オンラインのときは緑色に点灯し、オフラインの時は消灯します。
13	エラーランプ	装置にエラーが起こったときにオレンジ色に点灯または点滅します。

テンキーの使い方

数値やアルファベットを入力するときに使います。各キーを押下した時の入力可能な文字と入力文字の切り替えは以下のとおりです。

<1> 1
<2> a → b → c → 2 → a
<3> d → e → f → 3 → d
<4> g → h → i → 4 → g
<5> j → k → l → 5 → j
<6> m → n → o → 6 → m
<7> p → q → r → s → 7 → p
<8> t → u → v → 8 → t
<9> w → x → y → z → 9 → w
<0> 0

以下の2つのキーの機能は次のとおりです。

<Fn> キー

機器設定メニューをショートカット表示するために使用します。(待機画面を表示している時に有効です。)

<クリア> キー

パスワード入力の時、1文字分を消します。

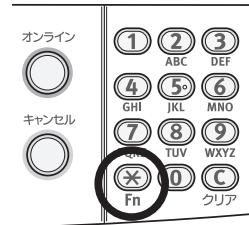
メモ

- 「abc」と入力するには、
<2> → <設定>ボタン → <2> → <2> → <設定>ボタン
→ <2> → <2> → <2> → <設定>ボタンと押します。

Fn キーの使い方

待機画面表示部に「印刷できます」と表示しているとき、<Fn> キーを押したあと、続けて任意の番号を押すと、該当するメニュー項目を表示します。

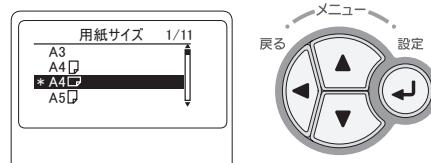
1 <Fn> キーを押します。



2 機能番号画面になるので、表示したいメニューの番号をテンキーで入力し、<設定>ボタンを押します。



3 メニューが表示されるので、設定値を確認したり、変更したりします。



機能番号が割り当てられていないメニュー項目は、「ネットワーク接続」(P.32) に掲載されています。

機能番号一覧

！お願い

- 本プリンターでは、網掛け部は未サポートです。設定しないでください。

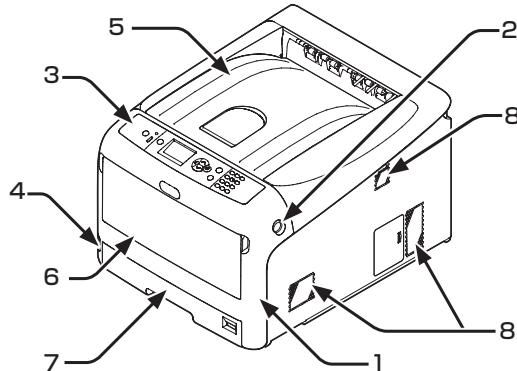
機能番号	機能番号メニュー項目
10	用紙サイズ (トレイ 1)
11	用紙幅 (トレイ 1)
12	用紙長 (トレイ 1)
13	用紙種類 (トレイ 1)
14	用紙厚 (トレイ 1)
15	リーガル用紙 (トレイ 1)
16	その他 定型 (トレイ 1)
20	用紙サイズ (トレイ 2)
21	用紙幅 (トレイ 2)
22	用紙長 (トレイ 2)
23	用紙種類 (トレイ 2)
24	用紙厚 (トレイ 2)

機能番号	機能番号メニュー項目
25	リーガル用紙（トレイ2）
26	その他 定型（トレイ2）
30	用紙サイズ（トレイ3）
31	用紙幅（トレイ3）
32	用紙長（トレイ3）
33	用紙種類（トレイ3）
34	用紙厚（トレイ3）
35	リーガル用紙（トレイ3）
36	その他 定型（トレイ3）
40	用紙サイズ（トレイ4）
41	用紙幅（トレイ4）
42	用紙長（トレイ4）
43	用紙種類（トレイ4）
44	用紙厚（トレイ4）
45	リーガル用紙（トレイ4）
46	その他 定型（トレイ4）
80	給紙トレイ
90	用紙サイズ（マルチパーカストレイ）
91	用紙幅（マルチパーカストレイ）
92	用紙長（マルチパーカストレイ）
93	用紙種類（マルチパーカストレイ）
94	用紙厚（マルチパーカストレイ）
95	トレイの使い方（マルチパーカストレイ）
100	プリンタ情報印刷（設定内容）
101	プリンタ情報印刷（ネットワーク）
102	プリンタ情報印刷（印刷集計結果）
103	プリンタ情報印刷（エラーログ）
200	パワーセーブ移行時間
201	スリープ移行時間
202	オートパワーオフ移行時間
210	エラーレポート
220	印刷位置補正 X 補正
221	印刷位置補正 Y 補正
222	印刷位置補正 両面印刷 X 補正
223	印刷位置補正 両面印刷 Y 補正
230	普通紙ブラック設定
231	普通紙カラー設定
232	特殊用紙2 ブラック設定
233	特殊用紙2 カラー設定
234	SMR 設定
235	BG 設定
236	ドラムクリーニング
237	ヘキサダンプ
300	濃度補正
301	色ずれ補正
302	調整パターン印刷
310	シアン調整
311	マゼンタ調整
312	イエロー調整
313	ブラック調整

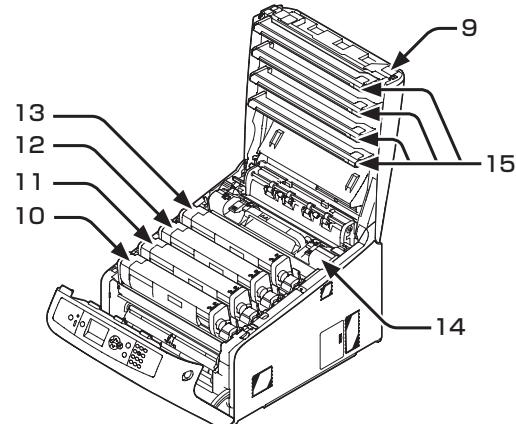
各部名称の確認

! お願い

- 本プリンターでは、網掛け部は未サポートです。設定しないでください。

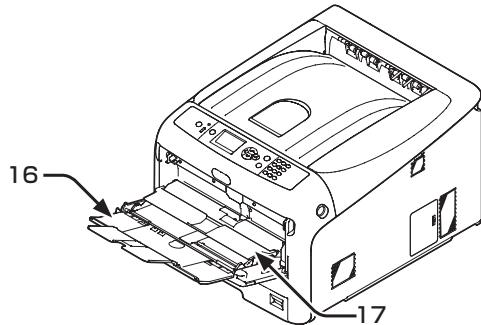


番号	名称
1	フロントカバー
2	フロントカバーオープンレバー
3	操作パネル
4	電源スイッチ
5	トップカバー
6	マルチパーカストレイ
7	トレイ1
8	通気口

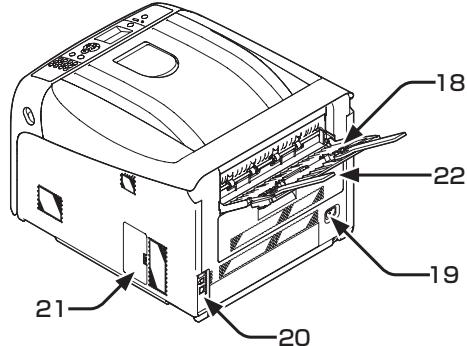


番号	名称
9	トップカバーオープンボタン
10	トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ） (K: ブラック (黒色))
11	トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ） (Y: イエロー (黄色))
12	トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ） (M: マゼンタ (赤色))
13	トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ） (C: シアン (青色))

番号	名称
14	定着器ユニット
15	LED ヘッド (4 個)

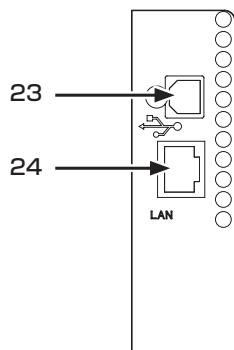


番号	名称
16	マルチパーパストレイ
17	用紙セットカバー



番号	名称
18	フェイスアップスタッカー
19	電源コネクター
20	インターフェース部
21	アクセスカバー
22	両面印刷ユニット

●インターフェース部



番号	名称
23	USB インターフェースコネクター
24	ネットワークインターフェースコネクター

オプションの紹介

プリンターには、以下のオプションが提供されています。

- 増設トレイユニット（トレイ 2/3/4）
- 増設メモリー（256 MB）

■参考

- オプションの取り付け方法については、「オプションを取り付ける」（P.25）を参照してください。

● 設置場所の確認

設置環境

プリンターは、以下の環境に設置してください。

周囲温度： 10°C～32°C

周囲湿度： 20%～80% RH (相対湿度)

最大湿球温度： 25°C

推奨環境： 温度 17°C～27°C、
湿度 50%～70% RH

! 注

- 結露しないように注意してください。故障の原因になります。
- 周囲湿度が 30% RH 以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットを使用してください。

⚠ 警告

- 高温になる場所や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さな子供の手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。
- プリンターの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。

⚠ 注意

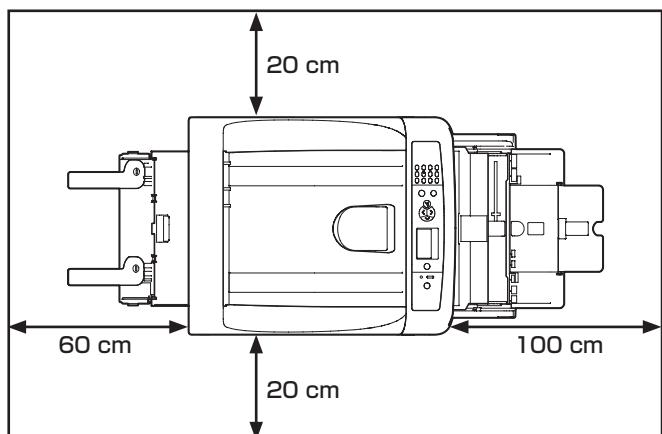
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 狹い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニターやテレビから離して設置してください。

設置スペース

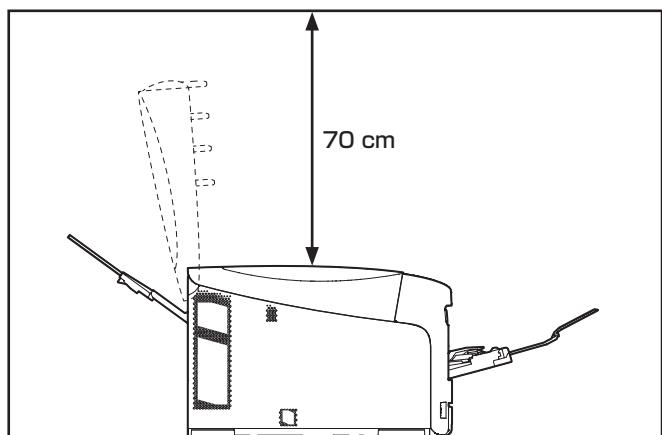
プリンターの足が乗る大きさの平らな机の上に設置してください。

以下の図に示すとおり、プリンターの周りに十分なスペースを取ってください。

● 平面図



● 側面図



! 注

- 増設トレイユニットを最大 3 段まで取り付けると、本体も含めた高さが約 78cm になります。設置場所によっては操作性や視認性が悪くなる場合がありますので、この点に留意して設置場所を選定ください。

● プリンターの準備

この節では、プリンターの開梱方法と、電源の入れ方および切り方について説明します。

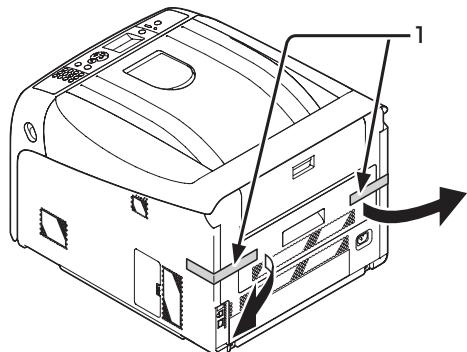
開梱する

△注意	ケガをするおそれがあります。	!
● プリンターは、重量が約 40 kg ありますので、2人以上で持ち上げてください。		

! 注

- 必ず、本装置に添付されている消耗品 / メンテナンスユニット（ベルトユニット、定着器ユニット、給紙ローラー）を先にご使用ください。添付品以外の消耗品 / メンテナンスユニットを先に取り付けると、寿命が正しく表示されなくなったり、後から添付品が使えなくなることがあります。
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）は、直射日光や、約 1500 ルクスを超える強い室内光に当てないでください。通常の室内の照明の下でも、5 分を超えて放置しないでください。
- 梱包箱や緩衝材はプリンターを輸送するときに必要です。捨てずに保管しておいてください。

- 1 梱包箱を取り外し、プリンターから緩衝材とビニール袋を全て取り外します。
- 2 プリンター背面の保護テープ（1）2枚を取り除きます。

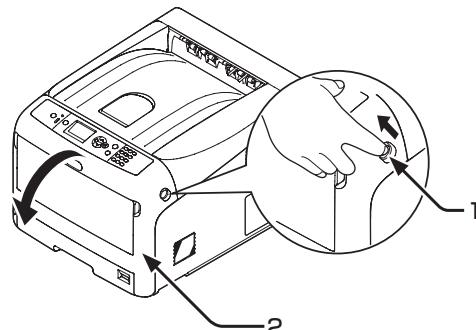


消耗品を取り付ける

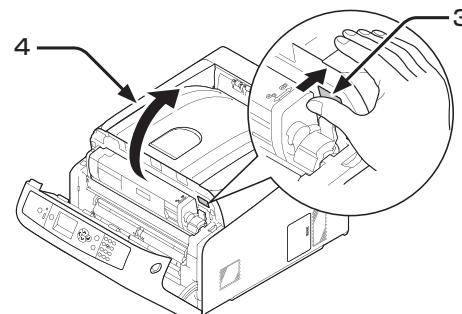
- 1 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー（1）を引き、フロントカバー（2）を手前に開きます。

! 注

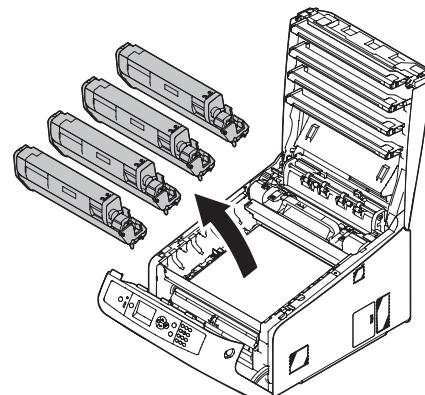
- フロントカバーは静かに開けてください。勢いよく開けるとマルチパーパストレイが開いてしまうことがあります。



- 2 トップカバーオープンボタン（3）を押し、トップカバー（4）を開けます。

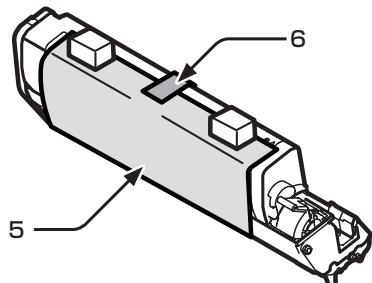


- 3 イメージドラム（ドラムカートリッジ）（4本）をプリンターから取り出します。

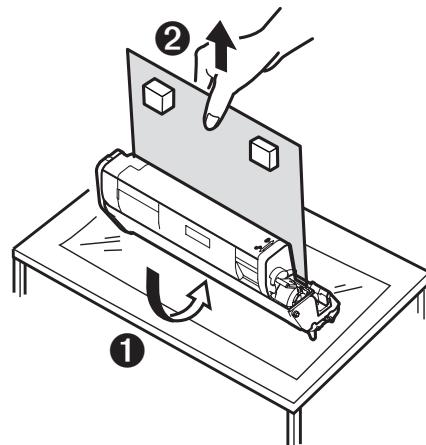


- 4 4 本の各イメージドラム（ドラムカートリッジ）から保護シートを取り除きます。

- (1) イメージドラム（ドラムカートリッジ）を新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。保護シート（5）を止めているテープ（6）をはがし、シートを拡げます。



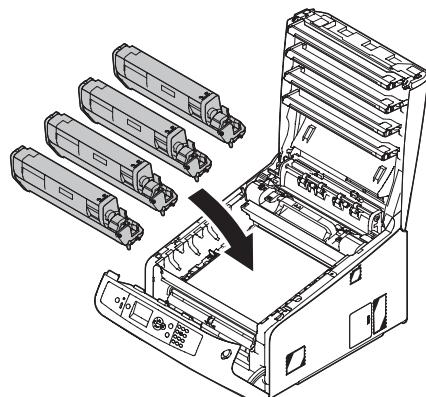
- (2) 保護シートを矢印の方向に引き抜きます。



! 注

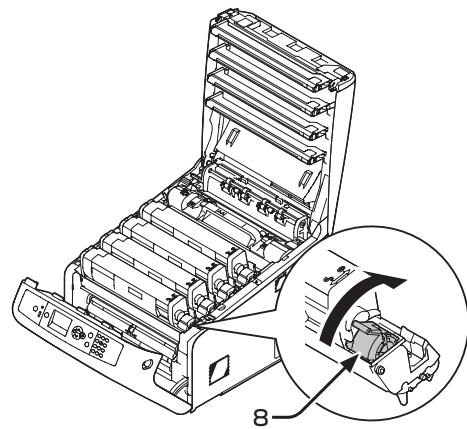
- ここではトナーカートリッジの青いレバーを回さないでください。

- 5 イメージドラム（ドラムカートリッジ）(4 本)をプリンター本体に戻します。



- 6 トナーカートリッジの青いレバー（8）を矢印方向にカチッと音がするまで回します。

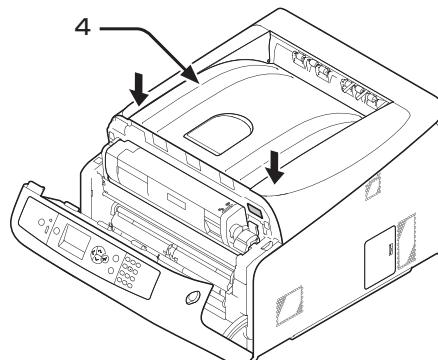
- 4 本のトナーカートリッジすべてのレバーを回してください。



- 7 トップカバー（4）を閉じ、両端を上からしっかりと押します。

メモ

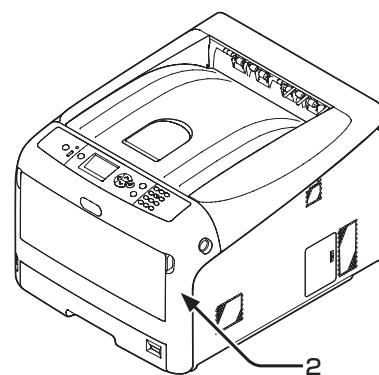
- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



- 8 フロントカバー（2）を閉じます。

! 注

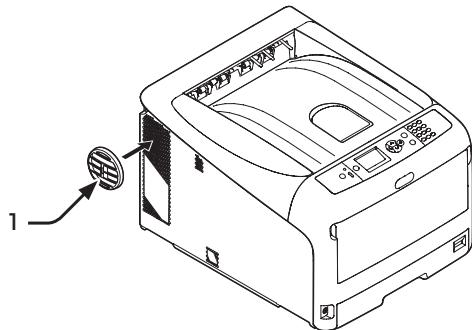
- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを完全に閉じられません。
- フロントカバーオープン / トップカバーオープンのエラーメッセージが消えない場合は、フロントカバー、トップカバーが確実に閉じているか確認してください。



添付品を取り付ける

プリンターの通気口からの風向きが気になる場合は、排気ルーバーを取り付けます。

- 1 排気ルーバー（1）をプリンター本体の側面の通気口に取り付けます。



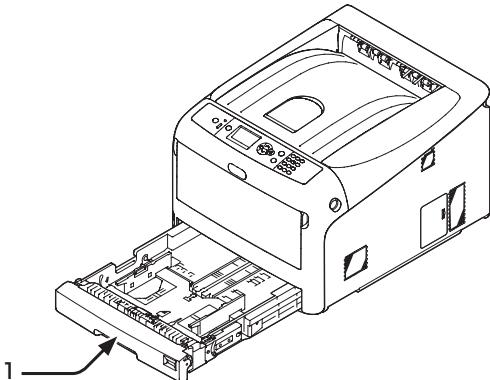
メモ

- 排気ルーバーを回転させると排気の向きを変えられます。

用紙をセットする

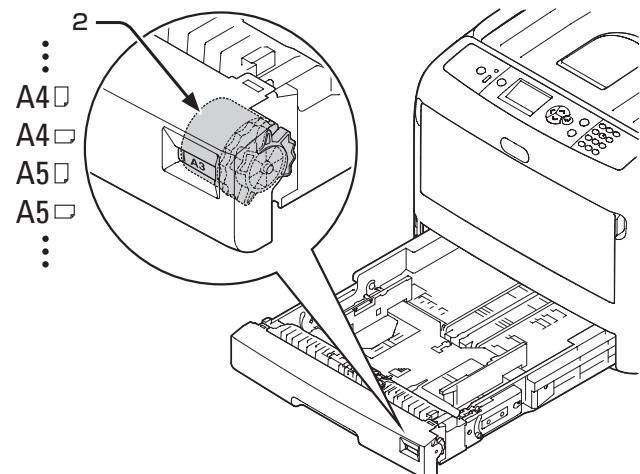
使用できる用紙は、「用紙について」(P.50)をご覧ください。

- 1 用紙カセット（1）を引き出します。

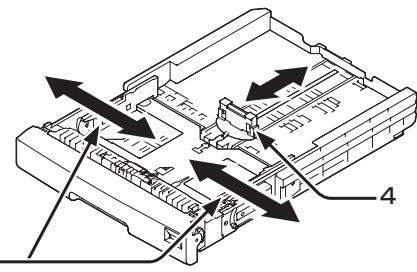


- 2 用紙サイズダイヤル（2）を、セットする用紙サイズに合わせます。

A4 サイズの用紙を横にセットする場合は、ダイヤルを [A4 □] に合わせます。

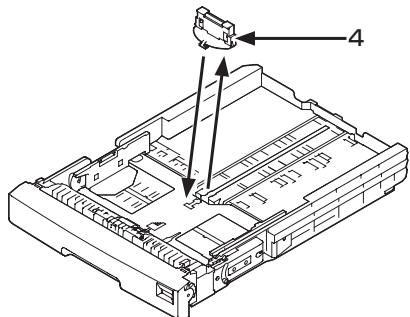


- 3 用紙ガイド (3) と用紙ストッパー (4) をセットする用紙のサイズに合わせてスライドさせます。

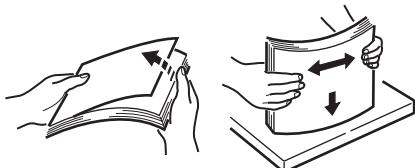


! 注

- A6 サイズの用紙をセットする場合は、用紙ストッパー (4) を手前まで移動し、一旦外し、金属部分にセットします。



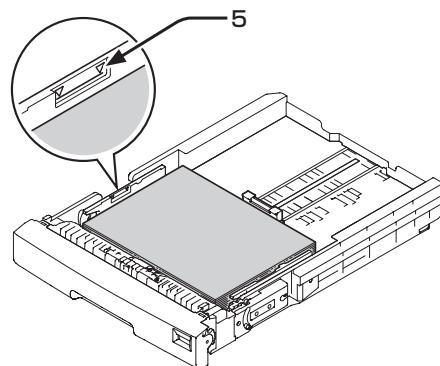
- 4 用紙をよくさばきます。用紙の端を水平にまっすぐにそろえます。



- 5 印刷面を下にして用紙をセットし、上から押さえます。

! 注

- 用紙ガイドの「▽」マーク (5) を越えて用紙をセットしないでください。



- 6 用紙ガイドで用紙を固定します。

- 7 セットした用紙のサイズと用紙サイズダイヤルが合っているか確認します。

- 8 用紙カセットをプリンターに戻します。

メモ

- ダイヤルにないサイズをセットした場合は、ダイヤルを「その他」に設定し、操作パネルで用紙サイズをセットします。

電源の入れ方 / 切り方

電源の条件

電源は、次の条件を満たしている必要があります。

交流 (AC): 100 V ± 10%

電源周波数: 50/60 Hz ± 2%

! 注

- 電源が不安定な場合は、電圧調整器を使用してください。
- プリンターの最大消費電力は 1400 W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- 無停電電源 (UPS) やインバーターを使用した場合の動作は保証していません。無停電電源やインバーターは使用しないでください。

警告

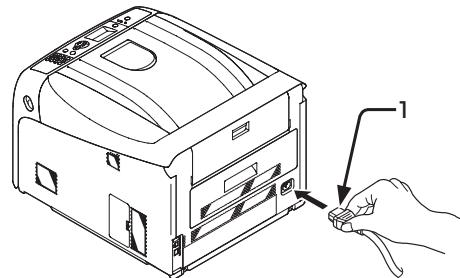
火災や感電のおそれがあります。



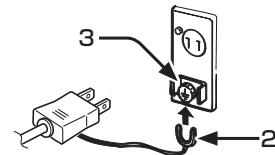
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- アース線は、水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- アース線の接続は、必ず、電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源コードは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源コードを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- プリンターとほかの電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンターが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランジスタを使用してください。
- プリンターに付属の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。ほかの製品用の電源コードをプリンターに使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格 15A 以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC 電圧降下により、プリンターが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源コードを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。
- プリンターに付属の電源コードを他の製品に使用しないでください。

電源の入れ方

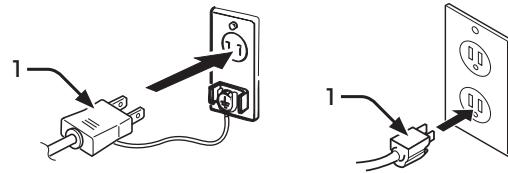
- 1 電源コード (1) をプリンターの電源コネクターに差し込みます。



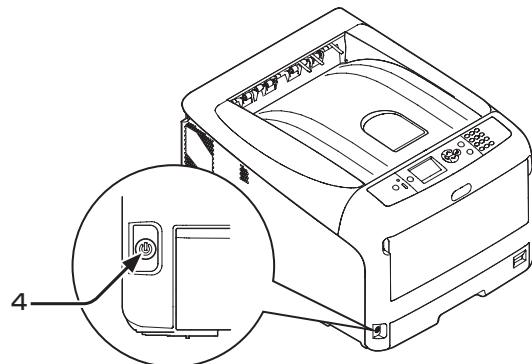
- 2 アース線 (2) をコンセントのアース端子 (3) に接続します。



- 3 電源コード (1) をコンセントに差し込みます。



- 4 電源スイッチ (4) を約 1 秒間押して電源を入れます。



電源が入ると電源スイッチの LED ランプが点灯します。印刷できる状態になると、液晶パネルに「印刷できます」と表示します。

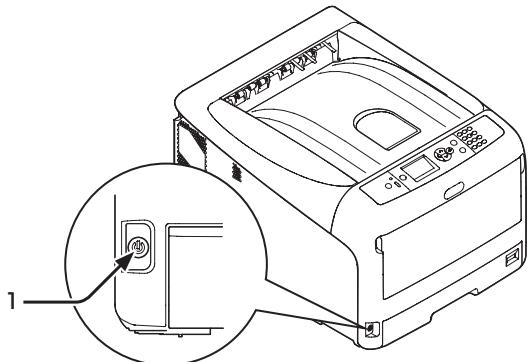
電源の切り方

1 電源スイッチ (1) を約 1 秒間押します。

操作パネルに、「シャットダウン中です しばらくお待ちください。電源は自動的に切れます」と表示され、電源スイッチの LED ランプが約 1 秒周期で点滅します。しばらくすると、プリンターの電源は自動的に切れ、電源スイッチの LED ランプが消灯します。

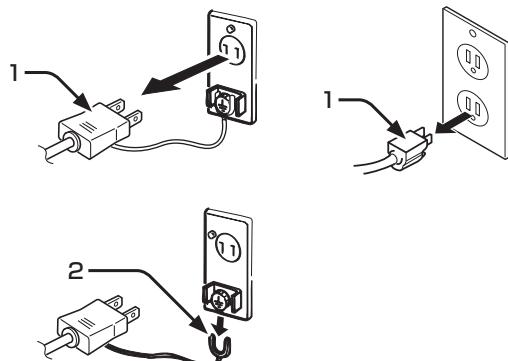
! 注

- 電源が切れるまでに、5 分程度の時間がかかる場合がありますが、そのままお待ちください。
- 電源スイッチを 5 秒以上押し続けると、強制的に電源が切れます。トラブルが発生した時のみご使用ください。プリンターのトラブルについては「[プリンターのトラブル \(P.105\)](#)」をご覧ください。



■ 長期間使用しないとき

連休や旅行等でプリンターを長期間使用しない場合や、修理・点検等で部品を交換したり取り付けたりする場合は、コンセントから電源コード(1)を抜いてください。



! 注

- アース線 (2) を外す場合は、必ず電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。
- プリンターは長時間 (4 週間以上) 電源コードを抜いておいても、機能障害を生じません。

パワーセーブモード・スリープモード

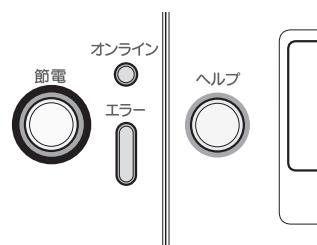
2 段階の節電モードにより、プリンターの消費電力を節約することができます。

■ パワーセーブモード

一定時間プリンターを使用しないと、自動的に省電力モードに入り、消費電力を節約します。

または、操作パネルの <節電> ボタンを押して、手動でパワーセーブモードに入ることができます。

パワーセーブモードのときは、<節電> ボタンが緑色に点灯します。



メモ

- 工場出荷時の設定では、パワーセーブモードに入るまでの時間は 1 分です。パワーセーブモードに入るまでの時間を変更する方法は「[パワーセーブモードに入るまでの時間を設定する \(P.68\)](#)」をご覧ください。

■ スリープモード

プリンターは、設定された時間が経過すると、パワーセーブモードからスリープモードに移行します。スリープモードでは、プリンターの状態は電源が切れているときとほぼ同じです。

スリープモードのときは、<節電> ボタンが点滅します。

! 注

- エラーが発生している場合、プリンターはスリープモードに入りません。

メモ

- 工場出荷時の設定では、スリープモードに入るまでの時間は 15 分です。スリープモードに入るまでの時間を変更する方法は「[スリープモードに入るまでの時間を設定する \(P.69\)](#)」をご覧ください。

参考

- スリープモードについてのより詳しい情報は、「[ソフトウェアガイド](#)」を参照してください。

■ 節電モードからの復帰方法

パワーセーブモードまたはスリープモードから復帰するには、操作パネルの <節電> ボタンを押します。

メモ

- プリンターは、コンピューターやそのほかの装置から印刷データを受信すると、自動的に復帰します。

オートパワーオフ機能

プリンターは、印刷が終了してから、一定時間が経過すると自動的に電源が切れます。

メモ

- 工場出荷時の設定では、自動的に電源が切れるまでの時間は 4 時間です。
- 電源が切れるまでの時間を変更するには、「[自動で電源を切る（オートパワーオフ）ための設定をする](#)」(P.72) をご覧ください。

注

- 工場出荷時の設定では、ネットワーク接続時は、オートパワーオフ機能は動作しません。ネットワーク接続時もオートパワーオフ機能を有効にするには、「[自動で電源を切る（オートパワーオフ）ための設定をする](#)」(P.72) をご覧ください。

オプションを取り付ける

この節では、オプションの取り付け方について説明します。以下のオプションが利用できます。

- 増設トレイユニット（トレイ 2/3/4）
- 増設メモリー（256 MB）

注

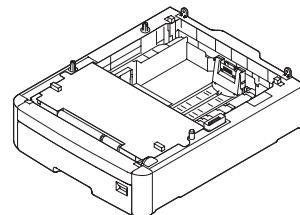
- 必ず電源を切り、電源コードとイーサネットケーブル/USB ケーブルを抜いてから、オプションを取り付けてください。電源を入れた状態でオプションを取り付けると、プリンターとオプションが故障する場合があります。

メモ

- オプションを取り付けたあとは、プリンタードライバーでオプションの設定を行います。「[オプションを追加した場合](#)」(P.47) をご覧ください。

増設トレイユニットを取り付ける

増設トレイユニットは、セットできる用紙を増やしたいときに取り付けます。最大 3 つまで取り付けることができます。取り付けたあと、プリンタードライバーを設定する必要があります。取り付けたあと、プリンタードライバーを設定する必要があります。(詳しくは、「[オプションを追加した場合](#)」(P.47) をご覧ください。)



型名 : XL-EF55CF

参照

- 増設トレイユニットの仕様については、「[用紙について](#)」(P.50) を参照してください。

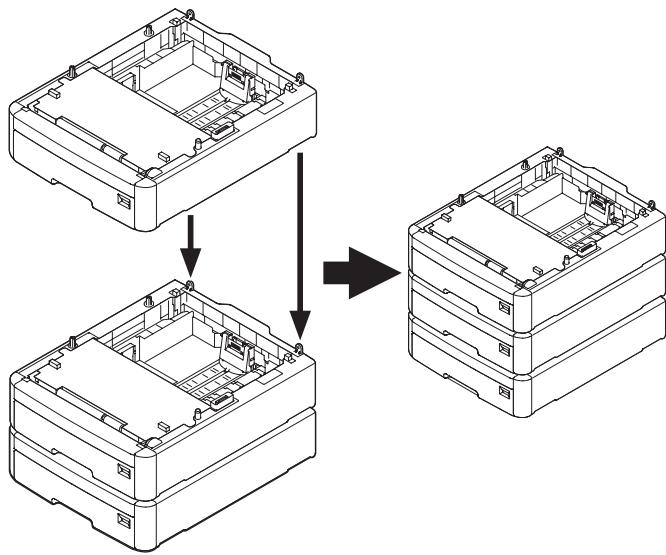
△注意	ケガをするおそれがあります。	△
●	プリンターは、重量が約 40 kg ありますので、2 人以上で持ち上げてください。	

- 1 プリンターの電源を切り、電源コードとイーサネットケーブル/USB ケーブルを取り外します。

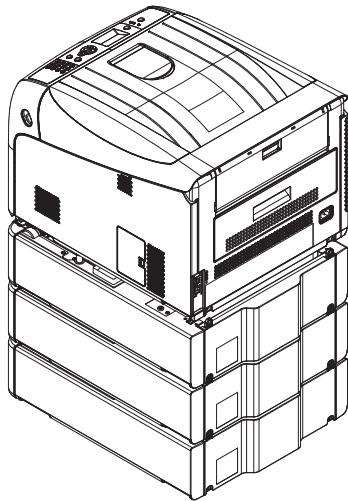
参照

- 「[電源の切り方](#)」(P.24)

- 2 増設トレイを1段ずつ、背面を合わせるようにしながら重ねます。

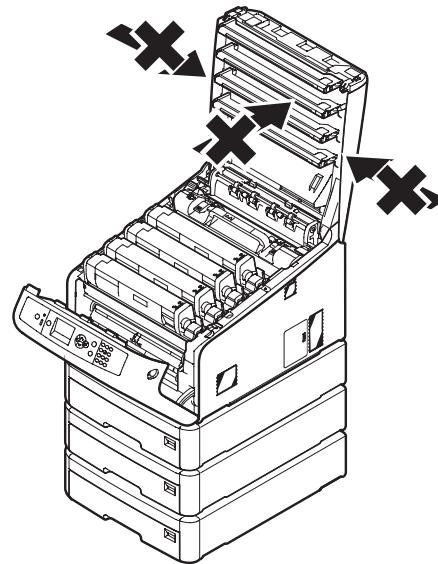


- 3 プリンター本体と増設トレイの背面が合うように、静かに重ねます。

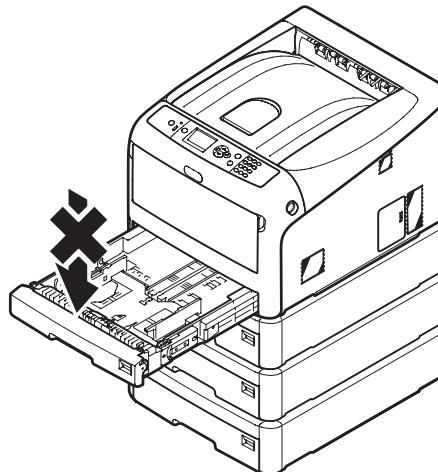


プリンタの運搬時や消耗品、メンテナンスユニットの交換時、用紙をトレイにセットする時などに、プリンタの転倒防止のため、以下の点に注意してください。

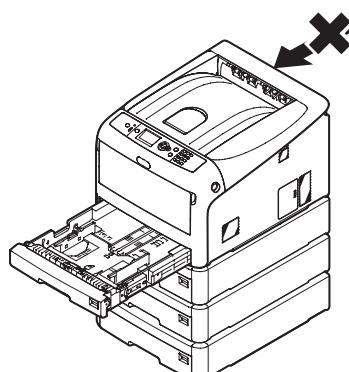
- プリンタのトップカバーを開けた状態で、トップカバーを押さないでください。



- カセットを引き出した状態で、カセットを上から押さないでください。



- カセットを引き出した状態で、プリンタを背面から押さないでください。



4 電源コードとイーサネットケーブル/USBケーブルをプリンターに差し込み、電源を入れます。

! 注

- [サービスコール 182: エラー / 183: エラー / 184: エラー] が表示された場合は、増設トレイユニットを取り付け直してください。

5 プリンタドライバでトレイの数を設定する

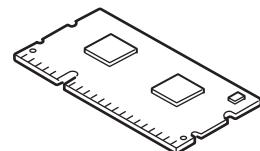
プリンタドライバで追加したトレイを認識させるための設定が必要です。プリンタドライバをセットアップしていない場合は、ユーザーズマニュアル（セットアップと使い方編）を参照し、プリンタドライバをセットアップしてから以下の設定を行ってください。

! 注

- コンピュータの管理者の権限が必要です。

増設メモリーを取り付ける

メモリー不足エラーや部単位印刷エラーが発生する場合など、プリンターのメモリー容量を増やしたいときは、増設メモリーを取り付けます。256 MBのメモリーが使用できます。



型名：

XL-EM256CE (256 MB)

! 注

- 必ず純正品を使用してください。純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 静電気によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を取り除いてください。

メモ

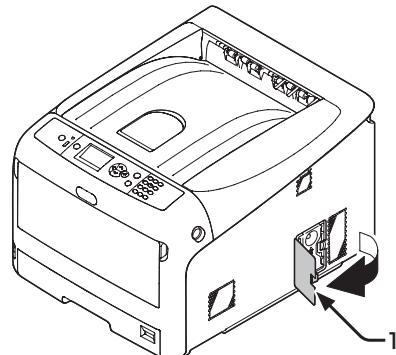
- 長尺印刷を行う場合は、増設メモリーの追加をおすすめします。

1 プリンターの電源を切り、電源コードとイーサネットケーブル/USBケーブルを取り外します。

参照

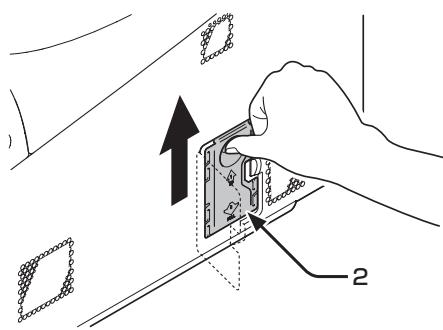
- 「電源の切り方」(P.24)

2 プリンター右側のアクセスカバー(1)を開きます。

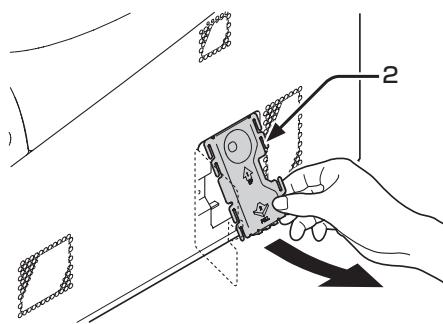


3 金属プレート (2) を上にずらし、外します。

(1) 金属プレート (2) の凹みに指を入れ、上にずらします。

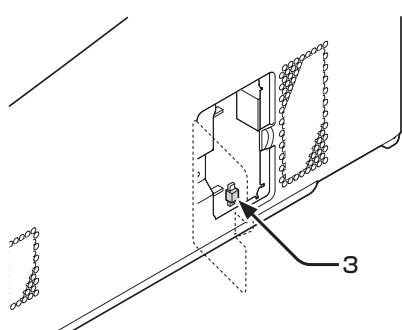


(2) 金属プレート (2) の下部をつまみ、手前に引き抜きます。



4 矢印箇所の LED (3) が消灯していることを確認します。

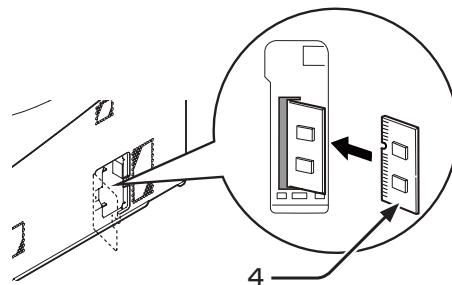
消灯していない場合は、消灯するまで待ちます。



5 増設メモリー (4) をスロットに差し込み、プリンター側に押し固定します。

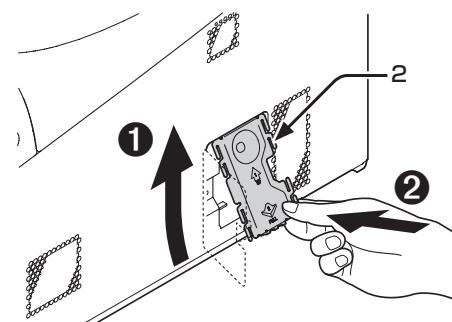
! 注

- メモリーの向きにご注意ください。メモリーの端子部には切り欠き部分があり、スロットのコネクターと一致するようになっています。

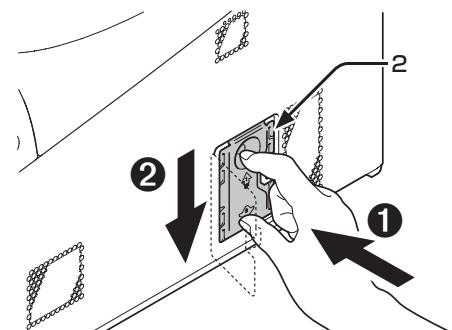


6 金属プレート (2) を取り付けます。

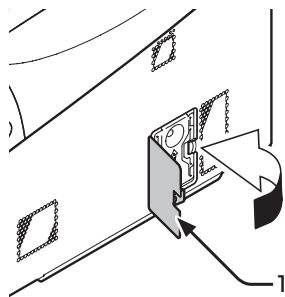
(1) 最初に、金属プレート (2) の上部をプリンター本体に差し込み、金属プレートを取り付けます。



(2) 金属プレート (2) の下部を押さえながら、金属プレートを下にずらし、固定します。

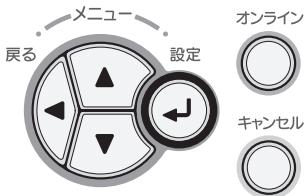


7 アクセスカバー (1) を閉じます。



8 電源コードとイーサネットケーブル/USBケーブルをプリンターに差し込み、電源を入れます。

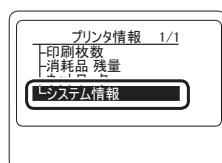
9 操作パネルの <設定> ボタンを押します。



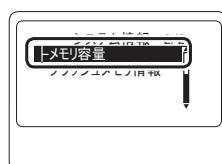
10 [プリント情報] が選択されていることを確認し、<設定> ボタンを押します。



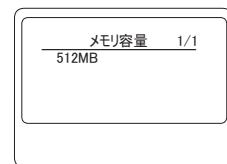
11 スクロールボタン▼を数回押して [システム情報] を選択し、<設定> ボタンを押します。



12 スクロールボタン▼を数回押して [メモリ容量] を選択し、<設定> ボタンを押します。



13 [メモリ容量] の値が増えていることを確認します。

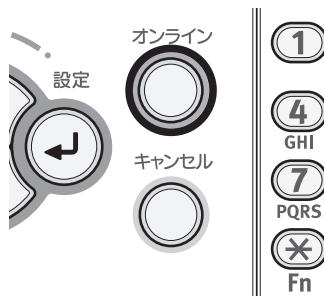


- 増設メモリーを取り付けた場合は [512 MB] となります。

! 注

● [メモリ容量] の値が増えていない場合、プリンターの電源を切り、電源コードとイーサネットケーブル/USBケーブルを取り外し、増設メモリーを取り付けなおします。

14 <オンライン> ボタンを押します。



装置寿命の確認について

本装置の寿命は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、適切な使用環境（温度：17～27°C、湿度：50～70%RH）において1日8時間のご使用で約5年または60万ページ印刷のいずれか早いほうです（用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンター本体の電源オン、オフ頻度などにより印刷ページ数が減少します）。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。

装置寿命に対応する印刷ページ数は、設定内容を印刷し、モノクロ印刷カウント（A4LEF換算）とカラー印刷カウント（A4LEF換算）の合計値で確認します。

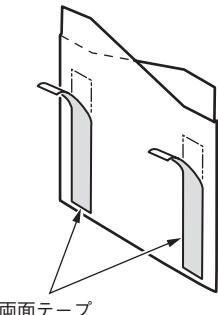
メモ

- モノクロ印刷カウント（A4LEF換算）とカラー印刷カウント（A4LEF換算）の合計値が60万カウントを超えて印刷を継続した場合、印刷品質の低下や装置故障が発生し易くなる可能性があります。モノクロ印刷カウント（A4LEF換算）とカラー印刷カウント（A4LEF換算）の合計値が60万カウントに近づいた場合は、後継装置への更新検討をお願いします。

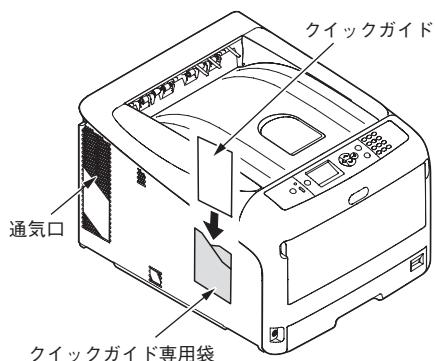
クイックガイドの収納

クイックガイド専用袋をプリンターに貼り付け、クイックガイドを収納します。

- クイックガイド専用袋裏側の、両面テープ（2ヶ所）をはがします。



- クイックガイド専用袋をプリンターに貼り付けます。



注

- プリンタの通気口をふさがないように貼り付けてください。

● コンピューターに接続する

この節では、プリンターをコンピューターに接続し、添付の「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」からプリンタードライバーをインストールする方法について説明します。CD-ROM ドライブが付属されているコンピューターを用意してください。

■ 接続方法

プリンターは、次のいずれかの方法でコンピューターと接続できます。

- 「ネットワーク接続」 (P.32)
- 「USB 接続」 (P.44)

■ 動作環境

プリンターは次のオペレーティングシステム (OS) に対応しています。日本語版、64 ビット版と 32 ビット版の両方に対応しています。

- Windows Server 2016
- Windows 10
- Windows 8.1
- Windows Server 2012
- Windows 7
- Windows Server 2008

ネットワーク接続

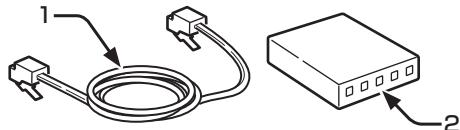
ネットワークを介してプリンターをコンピューターに接続します。

イーサネットケーブルの接続方法

プリンタードライバーをインストールする前に、プリンターをイーサネットケーブルでネットワークに接続してください。

1 イーサネットケーブル (1) とハブ (2) を用意します。

イーサネットケーブル（カテゴリ 5 以上、ツイストペア、ストレート）とハブを別途用意してください。



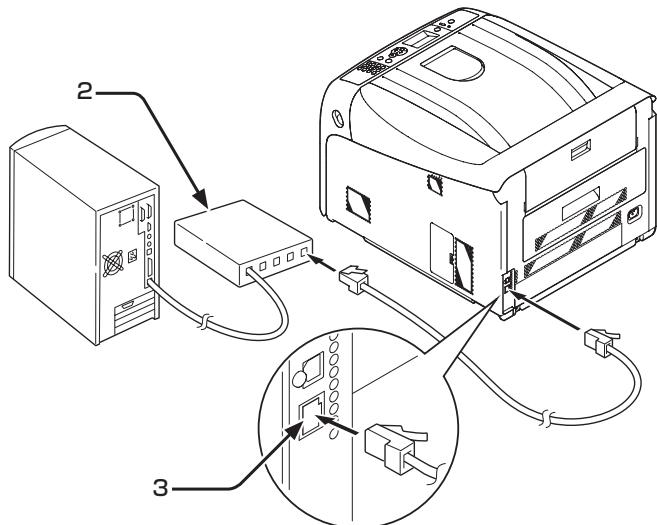
2 プリンターとコンピューターの電源を切ります。

■ 参照

- 「電源の切り方」 (P.24)

3 イーサネットケーブルの一端を、プリンターのネットワークインターフェースコネクター (3) に差し込みます。

4 イーサネットケーブルの他端をハブ (2) に差し込みます。



プリンタードライバーのインストール

Windowsコンピューターとのネットワーク接続を完了するには、最初にプリンターのIPアドレスを設定し、次にプリンタードライバーをコンピューターにインストールします。

ネットワーク上にDHCPサーバーがない場合、手動でコンピューターやプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。

また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルーターメーカーにより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピューター やプリンターにIPアドレスを設定する必要があります。

注

- 次の手順を行う前に、コンピューターのネットワーク設定を完了させてください。
- コンピューターの管理者の権限が必要です。
- IPアドレスを手動で設定する場合、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダに、使用するIPアドレスを問い合わせてください。IPアドレスを誤って設定すると、ネットワークが停止したりインターネットアクセスが不能になることがあります。

メモ

- プリンターと1台のコンピューターで小さなネットワークを構成する場合は、以下に示すとおりにIPアドレスを設定します (RFC1918に準拠)。

コンピューター

IPアドレス : 192.168.0.1 ~ 254

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 不使用

DNSサーバー : 不使用

プリンター

IPアドレス設定 : 手動

IPアドレス : 192.168.0.1 ~ 254 (コンピューターとは異なる値を選択します)

サブネットマスク : 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ : 0.0.0.0

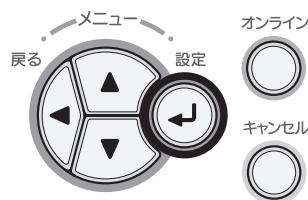
ネットワークの規模 : 小規模

- [ネットワークの規模]を設定するには、<設定>ボタン>[管理者用メニュー]>[ネットワーク設定]>[ネットワークの規模]>[小規模]を選択します。

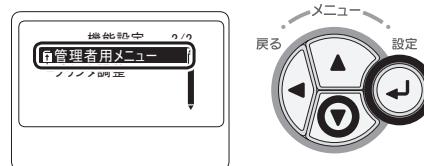
■ まず、プリンターのIPアドレスを設定します。

1 プリンターの電源を入れます。

2 操作パネルの<設定>ボタンを押します。



3 スクロールボタン▼を数回押して[管理者用メニュー]を選択し、<設定>ボタンを押します。

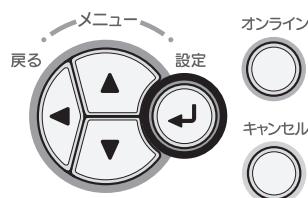


4 テンキーを使い、管理者パスワードを入力します。

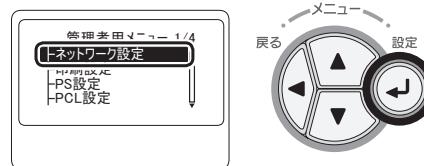
工場出荷時のパスワードは「aaaaaa」です。1文字入力するごとに<設定>ボタンを押します。



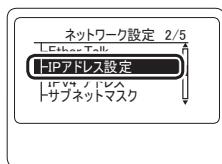
5 <設定>ボタンを押します。



6 [ネットワーク設定]が選択されていることを確認し、<設定>ボタンを押します。

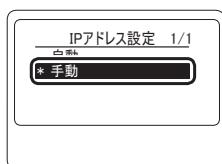


- 7 スクロールボタン▼を数回押して [IP アドレス設定] を選択し、<設定>ボタンを押します。



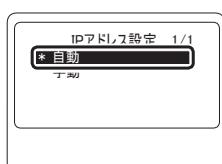
- 8 IP アドレスを手動で設定する場合は、スクロールボタン▼を押して [手動] を選択し、<設定>ボタンを押します。

☞ 手順 9 に進みます。



IP アドレスを自動で取得する場合は、[自動] が選択されていることを確認し、<設定>ボタンを押します。

☞ 手順 15 に進みます。

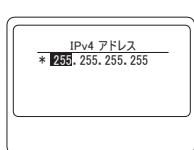


- 9 スクロールボタン▼を数回押して [IPv4 アドレス] を選択し、<設定>ボタンを押します。

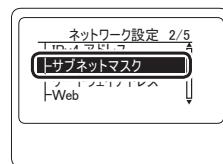


- 10 スクロールボタン▼、▲またはテンキーを使って IP アドレスの最初の 3 衔を入力し、<設定>ボタンを押します。同様に次の 3 衔を入力します。全ての入力が完了したら、<戻る>ボタンを押します。

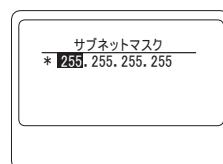
次のボックスに移動するには、<設定>ボタンを押します。



- 11 スクロールボタン▼を押して [サブネットマスク] を選択し、<設定>ボタンを押します。



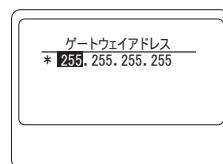
- 12 IP アドレスの入力と同様に、サブネットマスクを入力します。全ての入力が完了したら、<戻る>ボタンを押します。



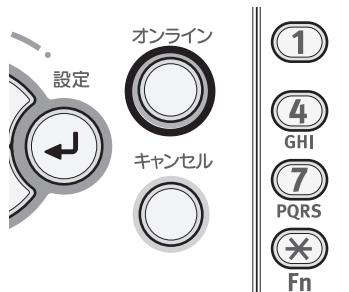
- 13 スクロールボタン▼を押して [ゲートウェイアドレス] を選択し、<設定>ボタンを押します。



- 14 IP アドレスの入力と同様に、ゲートウェイアドレスを入力します。全ての入力が完了したら、<戻る>ボタンを押します。



- 15 <オンライン>ボタンを押してネットワークの設定を完了します。



- 次に、コンピューターにプリンタードライバーをインストールします。
「FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ」を使用して、必要なソフトウェアをインストールします。

! 注

- IPv6 アドレスを利用できますが、「FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ」や「Network Extension」は、IPv6 アドレスに対応していません。
IPv6 アドレスでの接続は、OS 標準のインストーラで、Standard TCP/IP ポートまたは IPP ポートでのインストールを行ってください。インストール方法については、それぞれ次をご覧ください。
 - Standard TCP/IP ポートでのインストールの場合
「OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)」(P.37)
 - IPP ポートでのインストールの場合
「ソフトウェアガイド」-「IPP 印刷」を参照してください。

- 1 プリンターの電源を入れます。
- 2 管理者権限を持ったユーザーでログインします。
- 3 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。
[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

メモ

- 【FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ】ダイアログが自動的に表示されない場合は、[エクスプローラー]などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある [XLSTART.EXE] をダブルクリックしてください。
[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが表示されます。
- 自動再生時や [XLSTART.EXE] をダブルクリックしたときに、[自動再生] ダイアログが表示されます。実行されるプログラムが [XLSTART.EXE] であることを確認し、[XLSTART.EXE の実行] をクリックしてください。

- 4 メニューから [プリンタドライバのインストール] をクリックします。

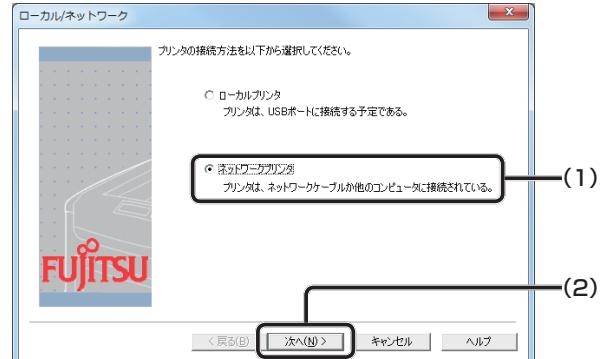


- Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合
メニューから [プリンタドライバのインストール] をクリックします。
[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] をクリックします。インストーラが起動し、[ローカル / ネットワーク] ダイアログが表示されます。

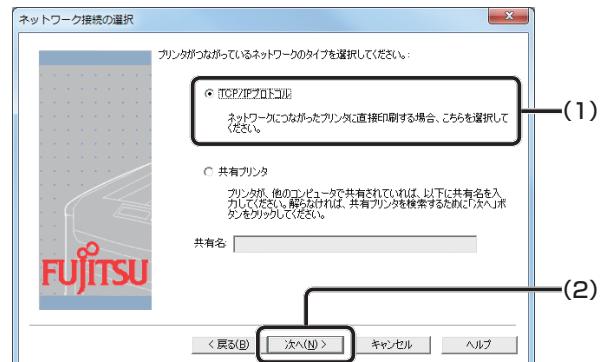
- Windows Server 2008 (R2 以外) の場合
メニューから [プリンタドライバのインストール] をクリックします。
[プログラムを実行するにはあなたの許可が必要です]

と表示されたら、[続行] をクリックします。インストーラが起動し、[ローカル / ネットワーク] ダイアログが表示されます。

- 5 (1) [ネットワークプリンタ] を選択して、(2) [次へ] をクリックします。



- 6 (1) [TCP/IP プロトコル] を選択して、(2) [次へ] をクリックします。



- 7 次のように操作します。

■ SNMP コミュニティ名の設定

検索に使用する SNMP コミュニティ名を設定します (プリンター側の SNMP 設定を、ご購入時から変更していない場合は設定する必要はありません)。

1. [SNMP 設定] をクリックします。



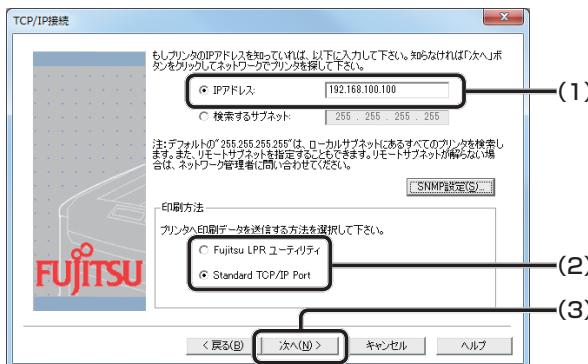
2. [SNMP 設定] ダイアログが表示されるので、(1) コミュニティ名を入力し、(2) [追加] をクリックし、(3) [OK] をクリックします。



- [コミュニティ名 "public" を使用する] をチェックした場合、コミュニティ名の指定に関わらず、検索条件で指定したネットワーク内のプリンターをすべて検索します。
[コミュニティ名 "public" を使用する] をチェックしていない場合、検索条件で指定されたネットワーク内のプリンターおよび SNMP コミュニティ名が一致しているプリンターのみ検索します。

(1) [IPアドレス]に、プリンターのIPアドレスを入力し、
(2) FUJITSU LPR で印刷する場合は [Fujitsu LPR ユーティリティ]、RAW で印刷する場合は [Standard TCP/IP Port] を選択して、(3) [次へ] をクリックします。

プリンタードライバーと、ネットワーク経由で印刷するために必要なソフトウェア「FUJITSU LPR ユーティリティ」、「Network Extension」がインストールされます。また、LPR または RAW ポートの設定が自動的に行われます。

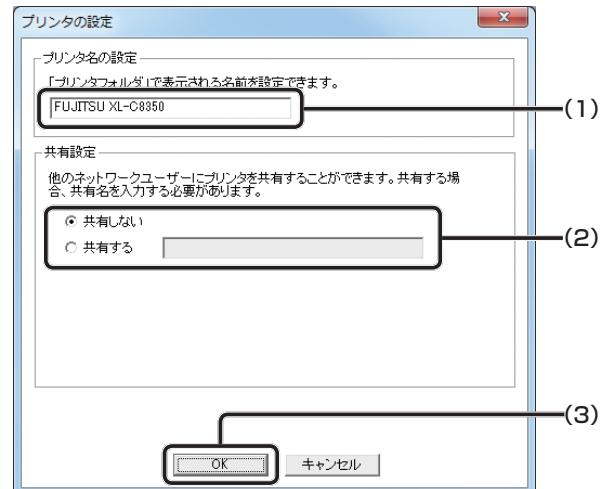


8 (1) 通常使うプリンターにするかどうかを選択し、(2) [プリンタ名の変更 / 共有設定] をクリックします。



- プリンタードライバーを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンター」になります。

9 (1) プリンター名を入力し、(2) プリンターを共有するかどうかを選択してから、(3) [OK] をクリックします。



- プリンター名に、次の文字は使用できません。
!, „, ¥, :, /, *, ?, ", >, <, :, @

「プリンタ名の入力」ダイアログが表示されます。

10 設定内容を確認し、[次へ] をクリックします。
ファイルのコピーが開始されます。

11 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認して、「完了」をクリックします。

Standard TCP/IP Port の LPR 印刷の場合は、引き続き「[Standard TCP/IP Port の LPR 印刷のみの設定](#)」(P.37) に進んでください。

FUJITSU LPR 印刷および RAW 印刷の場合は、以上で設定は終了です。

メモ

- 「FUJITSU LPR ユーティリティ」について、詳しくは「ソフトウェアガイド」 - 「FUJITSU LPR ユーティリティ」を参照してください。

- Standard TCP/IP Port の LPR 印刷のみの設定
画面は Windows 10 を例にしています。

1 Windows を再起動した場合は、管理者権限を持ったユーザーでログインします。

2 印刷を行うプリンターを選択します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. RAW 印刷を行うプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の田を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. RAW 印刷を行うプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
3. RAW 印刷を行うプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。

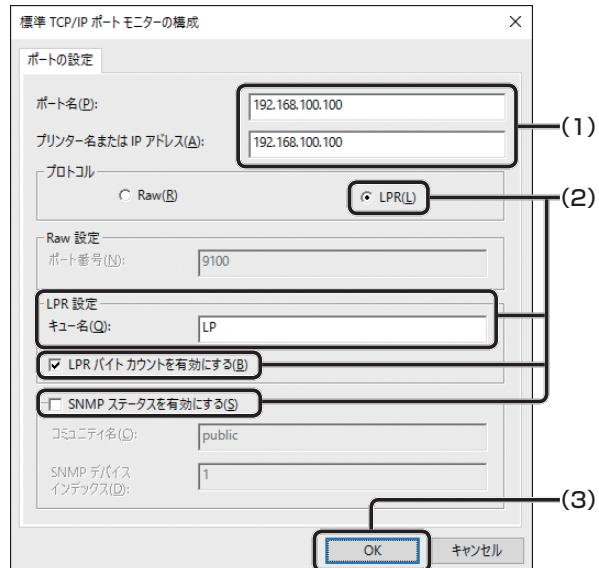
■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
 2. RAW 印刷を行うプリンターを右クリックし、[プリンターのプロパティ] を選択します。
- Windows Server 2008 (R2 以外) の場合
1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。
 2. RAW 印刷を行うプリンターを選択します。
 3. [ファイル] をクリックし、[プロパティ] を選択します。

- 3 [ポート] タブの [ポートの構成] をクリックします。

[標準 TCP/IP ポートモニターの構成] ダイアログが表示されます。

- 4 (1) [ポート名] [プリンター名または IP アドレス] を確認し、(2) [プロトコル] を [LPR]、[キュー名] を [LP]、[LPR バイトカウントを有効にする] を 、[SNMP ステータスを有効にする] を にし、(3) [OK] をクリックします。



- OS 標準のインストーラでインストールする (RAW 印刷 / LPR 印刷)

OS 標準のインストーラを使用して、プリンタードライバーをインストールし、RAW 印刷または LPR 印刷の設定を行います。

画面は Windows 10 を例にしています。

- Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 の場合

1 プリンターの電源を入れます。

2 管理者権限を持ったユーザーでログインします。

3 次の手順で [プリンターの追加] ダイアログを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. [プリンターの追加] をクリックします。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

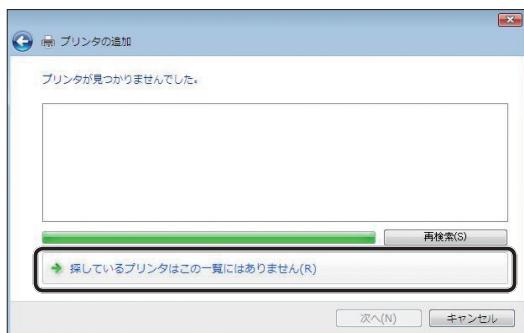
1. 画面左下隅の田を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. [プリンターの追加] をクリックします。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

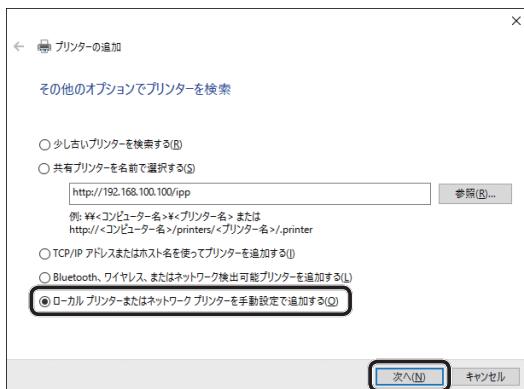
1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。

2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
3. [プリンターの追加] をクリックします。

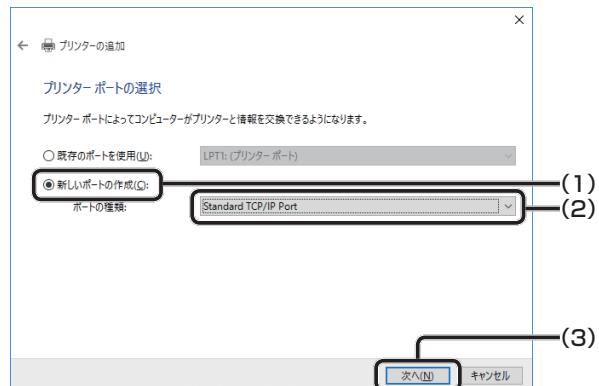
- 4 [プリンターが一覧にない場合] または [探しているプリンタはこの一覧にはありません] をクリックします。



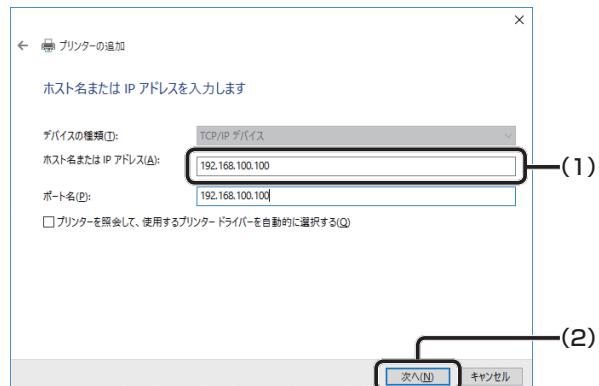
- 5 [ローカルプリンターまたはネットワークプリンターを手動設定で追加する] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 6 以下の画面が表示され場合、(1) [新しいポートの作成]、(2) ポートの種類を [Standard TCP/IP Port] を選択し、(3) [次へ] をクリックします。



- (1) ホスト名または IP アドレスを入力し (IP アドレスを入力すると、[ポート名] にも IP アドレスが自動的に反映されます。)、(2) [次へ] をクリックします。

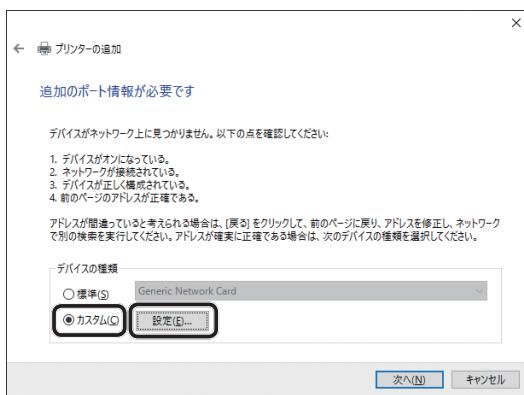


以下の画面が表示されます。



しばらくすると次項のカスタム設定画面が表示されます。

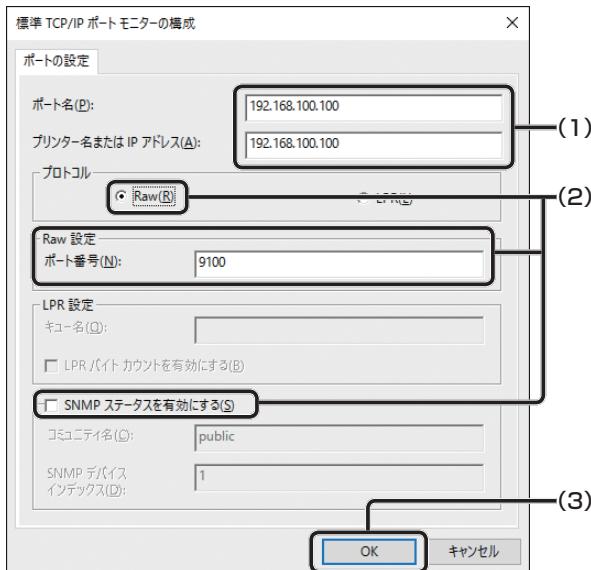
7 [カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。



8 印刷プロトコルによって、次のように設定します。

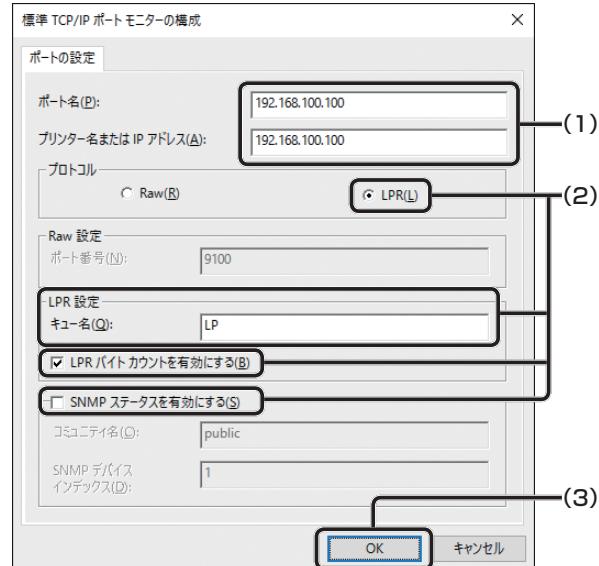
■ RAW 印刷の場合

(1) [ポート名] [プリンター名または IP アドレス] を確認し、(2) [プロトコル] を [Raw]、[ポート番号] を [9100]、[SNMP ステータスを有効にする] を にし、(3) [OK] をクリックします。



■ LPR 印刷の場合

(1) [ポート名] [プリンター名または IP アドレス] を確認し、(2) [プロトコル] を [LPR]、[キュー名] を [LP]、[LPR バイトアカウントを有効にする] を 、[SNMP ステータスを有効にする] を にし、(3) [OK] をクリックします。

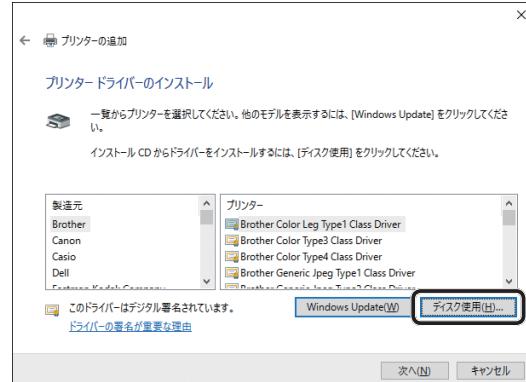


手順 6 の画面に戻ります。

9 [次へ] をクリックします。

[プリンタードライバのインストール] ダイアログが表示されます。

10 [ディスク使用] をクリックします。

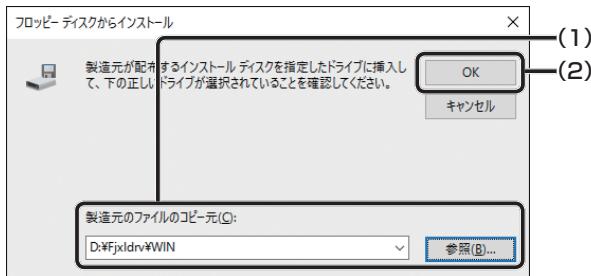


11 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。

[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

12 メニューから [終了] をクリックします。

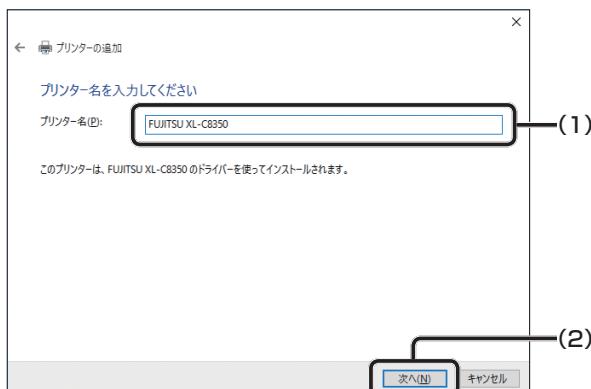
- 13 (1) [製造元のファイルのコピー元] に、プリンタードライバーが格納されている [D:\Fjxldrv\WIN] (CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、(2) [OK] をクリックします。



- 14 (1) プリンターを選択し、(2) [次へ] をクリックします。



- 15 (1) [プリンターネーム] を入力し、(2) [次へ] をクリックします。

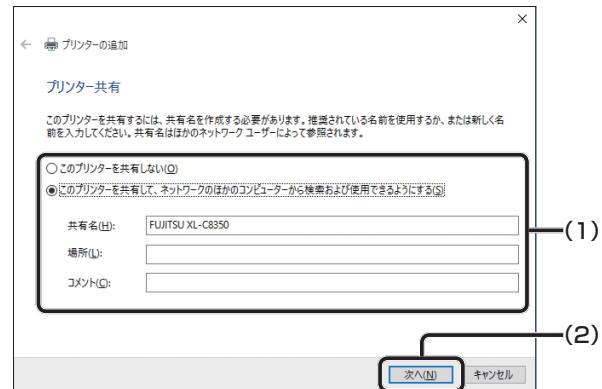


[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。

- 16 次の画面が表示された場合は、[インストール] をクリックします。



- 17 次の画面が表示された場合は、(1) プリンターを共有にするかどうか設定し、(2) [次へ] をクリックします。



- 18 (1) テストページを印刷する場合は、[テストページの印刷] をクリックし、(2) [完了] をクリックします。



以上で設定は完了です。

IPv4 アドレス環境の場合は、「Network Extension」をインストールします。インストール方法については、「ソフトウェアガイド」 - 「Network Extension」をご覧ください。

● Windows 7/Windows Server 2008 の場合

- 1 プリンターの電源を入れます。
- 2 管理者権限を持ったユーザーでログインします。
- 3 次の手順で [プリンターの追加] ダイアログを表示します。

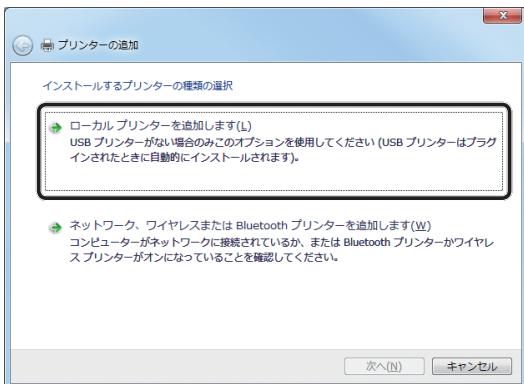
■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

1. [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
3. [プリンターの追加] をクリックします。

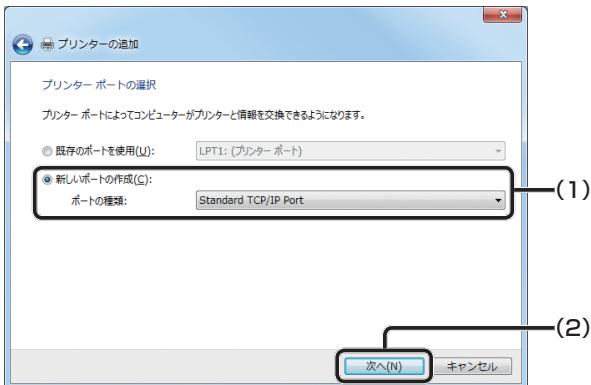
■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。

2. [プリンタのインストール] をクリックします。
- 4 [ローカルプリンタを追加します] をクリックします。



- 5 (1) [新しいポートの作成] を にし、[ポートの種類] で [Standard TCP/IP Port] を選択し、(2) [次へ] をクリックします。



- 6 (1) [ホスト名または IP アドレス] にプリンタの IP アドレスを入力し、(2) [次へ] をクリックします。

● IPv4 アドレスの例（プリンタの IPv4 アドレスが 192.168.100.100 の場合）
192.168.100.100

● IPv6 アドレスの例（プリンタの IPv6 アドレスが fe80::0000:0000:0000:0280:87ff:fe9b:1234 の場合）
fe80::0280:87ff:fe9b:1234

IP アドレスを入力すると、[ポート名] にも IP アドレスが自動的に反映されます。



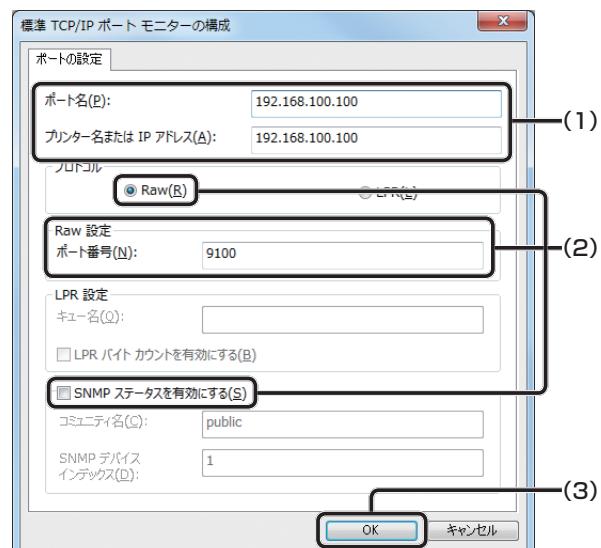
- 7 [カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。



- 8 印刷プロトコルによって、次のように設定します。

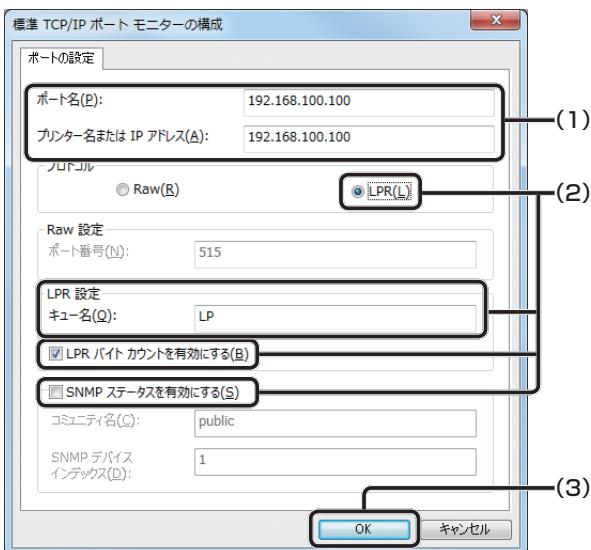
■ RAW 印刷の場合

- (1) [ポート名] [プリンタ名または IP アドレス] を確認し、(2) [プロトコル] を [Raw]、[ポート番号] を [9100]、[SNMP ステータスを有効にする] を にし、(3) [OK] をクリックします。



■ LPR 印刷の場合

- (1) [ポート名] [プリンタ名または IP アドレス] を確認し、(2) [プロトコル] を [LPR]、[キューナ] を [LP]、[LPR バイトカウントを有効にする] を 、[SNMP ステータスを有効にする] を にし、(3) [OK] をクリックします。

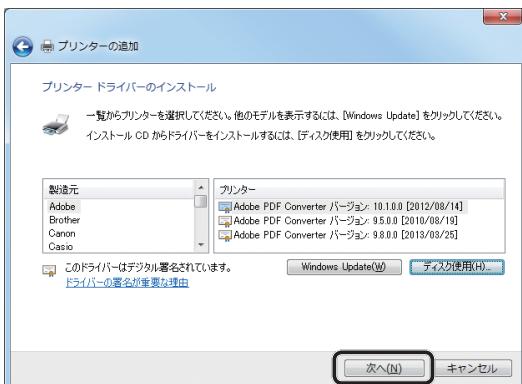


手順 7 の画面に戻ります。

9 [次へ] をクリックします。

[プリンタドライバのインストール] ダイアログが表示されます。

10 [ディスク使用] をクリックします。

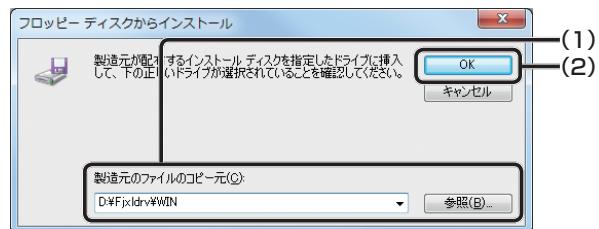


11 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。

[FUJITSUPrinter プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

12 メニューから [終了] をクリックします。

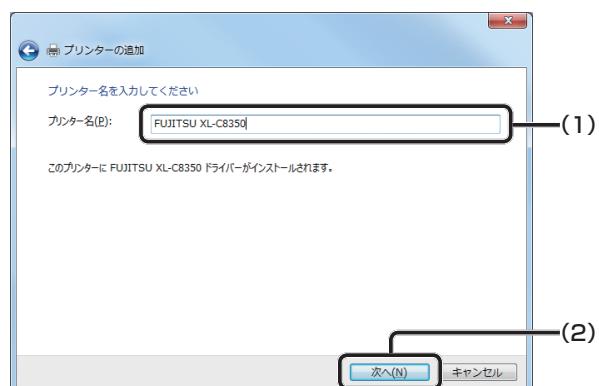
- 13 (1) [製造元のファイルのコピー元] に、プリンタードライバーが格納されている [D:\Fjxldrv\WIN] (CD-ROM ドライブが D: の場合) を入力し、(2) [OK] をクリックします。



- 14 (1) プリンターを選択し、(2) [次へ] をクリックします。

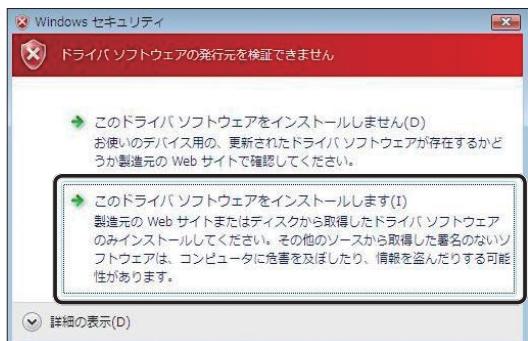


- 15 (1) [プリンタ名] を入力し、(2) [次へ] をクリックします。



[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示されたら、[はい] または [続行] をクリックします。

- 16 次の画面が表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

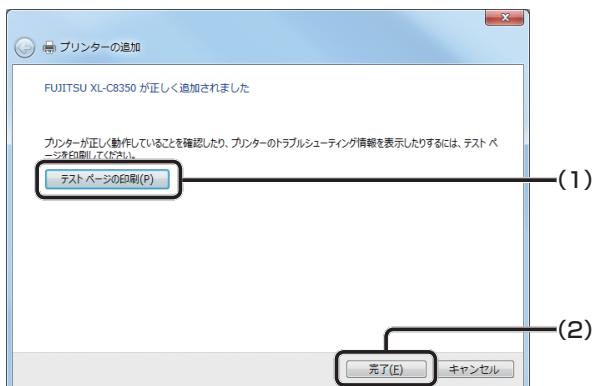


■ プリンターに増設トレイユニットなどのオプションを取り付けた場合は、プリンタードライバーで設定を行います。「オプションを追加した場合」(P.47) をご覧ください。

- 17 次の画面が表示された場合は、(1) プリンターを共有するかどうかを設定し、(2) [次へ] をクリックします。



- 18 (1) テストページを印刷する場合は [テストページの印刷] をクリックし、(2) [完了] をクリックします。



以上で設定は完了です。

IPv4 アドレス環境の場合は、「Network Extension」をインストールします。インストール方法については、「ソフトウェアガイド」 - 「Network Extension」をご覧ください。

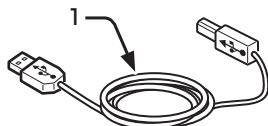
USB 接続

USB を介してプリンターをコンピューターに接続します。

USB ケーブルの接続方法

1 USB ケーブル (1) を用意します。

USB ケーブルはプリンターに付属していません。USB 2.0 ケーブルを別途用意してください。



メモ

- USB 2.0 の Hi-Speed モードで接続を行う場合は、Hi-Speed USB 2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。

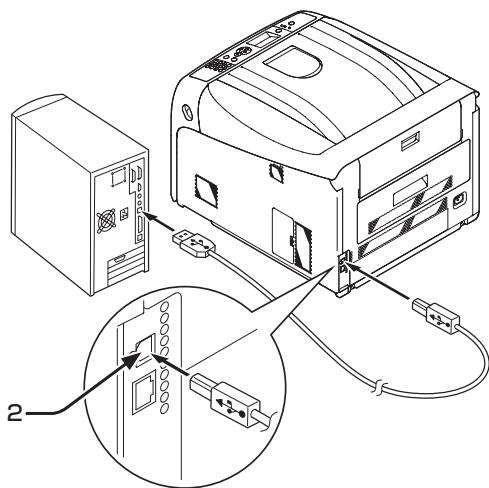
2 プリンターとコンピューターの電源を切ります。

参考

- 「電源の切り方」(P.24)

3 USB ケーブルの一端を、プリンターの USB インターフェースコネクター (2) に差し込みます。

4 USB ケーブルの他端をコンピューターの USB インターフェースコネクターに差し込みます。



注

- USB ケーブルをネットワークインターフェースコネクターに差し込まないでください。故障の原因になります。

プリンタードライバーのインストール

プラグアンドプレイでプリンタードライバーをインストールします。

- 「Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合」(P.44)
- 「Windows Server 2008 (R2 以外) の場合」(P.45)

■ Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」から、プリンタードライバーのインストーラを起動して、セットアッププログラムでインストールを行います。

注

- プリンターとコンピューターをプリンター USB ケーブルで接続する前に、プリンタードライバーをインストールする必要があります。
- プリンタードライバーのインストール前にプリンターとコンピューターを接続してしまった場合は、「USB ケーブルを接続してもプリンタが作成されないときには」(P.48) をご覧ください。

1 管理者権限を持ったユーザーでログインします。

2 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。

【FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ】ダイアログが自動的に表示されます。

メモ

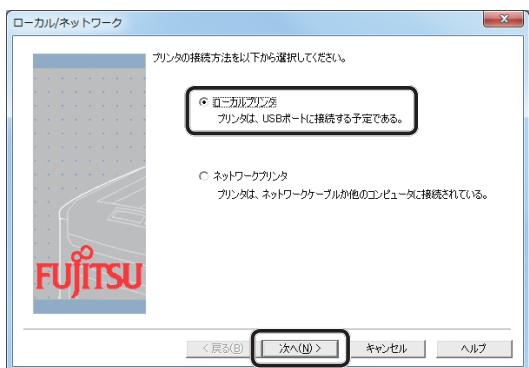
- 【FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ】ダイアログが自動的に表示されない場合は、【エクスプローラー】などを使用して CD-ROM を開き、一番上の階層にある [XLSTART.EXE] をダブルクリックしてください。【FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ】ダイアログが表示されます。
- 自動再生時や [XLSTART.EXE] をダブルクリックしたときに、【自動再生】ダイアログが表示されます。実行されるプログラムが【XLSTART.EXE】であることを確認し、【XLSTART.EXE の実行】をクリックしてください。

3 メニューから【プリンタドライバのインストール】をクリックします。

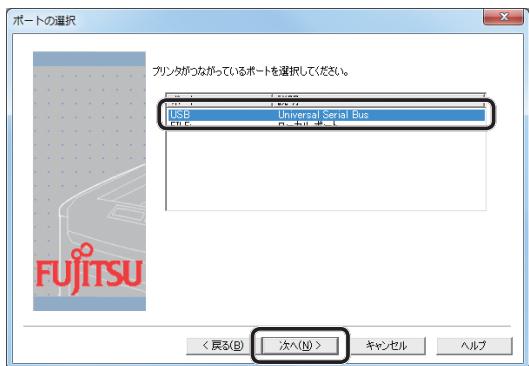


【ユーザー アカウント制御】ダイアログが表示されたら、【はい】または【続行】をクリックします。

- 4 [ローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。



- 5 [USB] を選択し、[次へ] をクリックします。



ファイルのコピーが行われます。

- 6 [ケーブルの接続] ダイアログが表示されたら、画面の指示に従いプリンタードライバーをインストールします。



- 7 プリンターとコンピューターを、プリンター USB ケーブルで接続してからプリンターの電源を入れます。

■ Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 の場合

1. ケーブルを接続します。
2. プリンターの電源を入れます。

[インストール完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックし手順 4 に進みます。

3. [コンピュータの再起動] ダイアログが表示されたら、[再起動する] にチェックを付け [完了] をクリックします。

Windows が再起動されます。Windows が完全に起動するまで待ちます。

4. [プリンタ] を選択します。

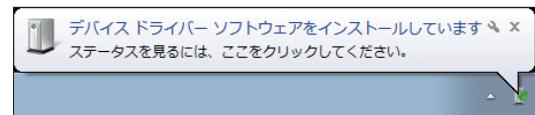
[デバイスとプリンター] フォルダーにプリンターアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

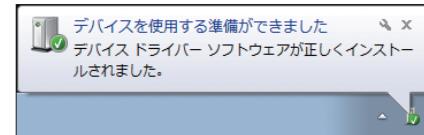
1. ケーブルを接続します。

2. プリンターの電源を入れます。

画面右下の通知領域に [デバイスドライバーソフトウェアをインストールしています] と表示されます。



しばらくすると、[デバイスドライバーソフトウェアが正しくインストールされました] と表示されます。



[デバイスとプリンター] フォルダーにプリンターアイコンが追加されていれば、プリンタードライバーのインストールは完了です。

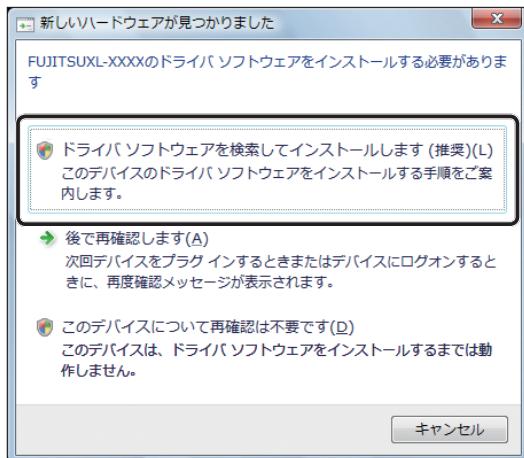
メモ

- USB インターフェースで接続した場合に、[プリンタドライバのインストールに失敗しました] というメッセージが表示された場合は、「USB ケーブルを接続してもプリンタが作成されないときには」(P.48) をご覧ください。
- プリンタードライバーを削除する場合には、「ソフトウェアガイド」-「プリンタードライバーを削除またはアップデートする」をご覧ください。

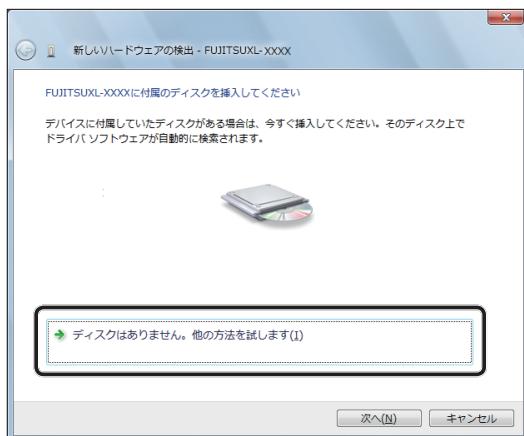
■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

- 1 管理者権限を持ったユーザーでログインします。
- 2 プリンターの電源を入れてから、コンピューターとプリンターをプリンター USB ケーブルで接続します。

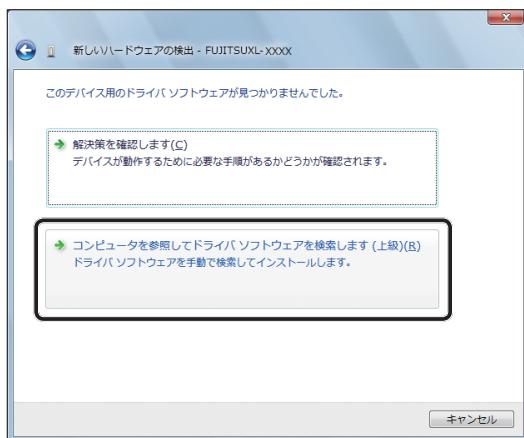
3 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。



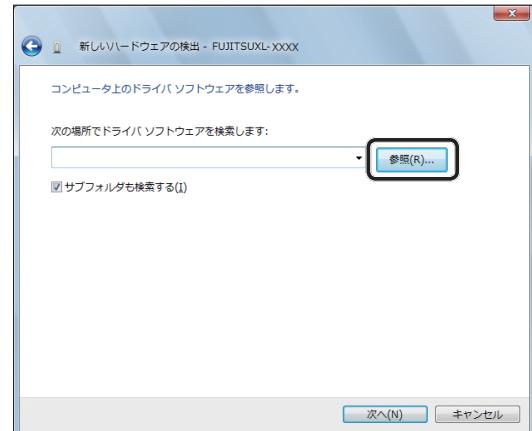
4 [ディスクはありません。他の方法を試します] をクリックします。



5 [コンピューターを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級)] をクリックします。



6 [参照] をクリックします。



7 「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」をコンピューターにセットします。

[FUJITSU Printer プリンタユーティリティセットアップ] ダイアログが自動的に表示されます。

8 メニューから [終了] をクリックします。

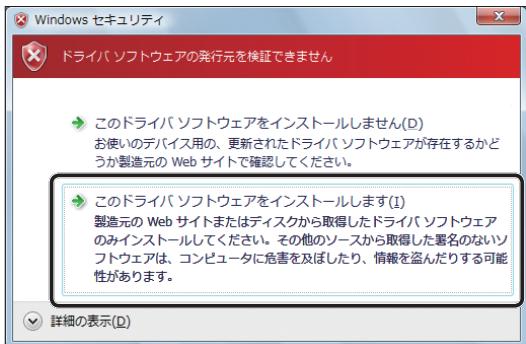
9 (1) プリンタードライバーが格納されているフォルダ [D:\¥Fjxldrv¥WIN] (CDROM ドライブが D: の場合) を選択し、(2) [OK] をクリックします。



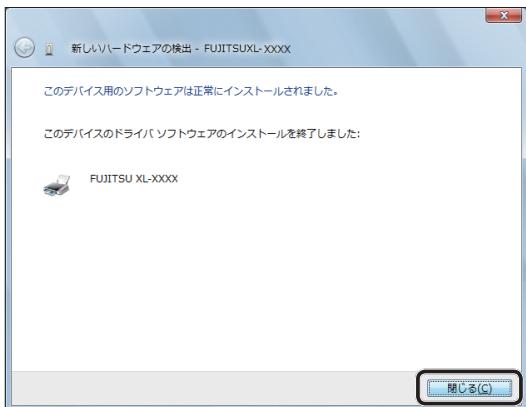
[新しいハードウェアの検出] ダイアログに戻ります。

10 [次の場所でドライバソフトウェアを検索します] に選択したフォルダが入力されていることを確認し、[次へ] をクリックします。

- 11 次の画面が表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。



- 12 [閉じる] をクリックします。



「プリンタ」フォルダにプリンターアイコンが追加されれば、プリンタードライバーのインストールは完了です。



- 13 Windows を再起動します。

1. [スタート] > の > [再起動] を選択し、[シャットダウンイベントの追跡ツール] でオプションを選択して [OK] をクリックします。

以上で、プリンタードライバーのインストールは完了です。

□ プリンターに増設トレイユニットなどのオプションを取り付けた場合は、プリンタードライバーで設定を行います。「オプションを追加した場合」(P.47) をご覧ください。

オプションを追加した場合

プリンターに増設トレイユニットなどのオプションを取り付けた場合は、以下の手順でプリンタードライバーで設定を行います。

- 1 プリンターのプロパティを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10 の場合

1. [スタート] をクリックし、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. XL-C8350 のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] (複数のプリンタードライバーをインストールしている場合は > [XL-C8350]) を選択します。

■ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2 の場合

1. 画面左下隅の を右クリックし、[コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
2. XL-C8350 のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] (複数のプリンタードライバーをインストールしている場合は > [XL-C8350]) を選択します。

■ Windows Server 2012 (R2 以外) の場合

1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の [すべてのアプリ] を選択します。
2. [Windows システムツール] の [コントロールパネル] > [デバイスとプリンターの表示] を選択します。
3. XL-C8350 のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] (複数のプリンタードライバーをインストールしている場合は > [XL-C8350]) を選択します。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2 の場合

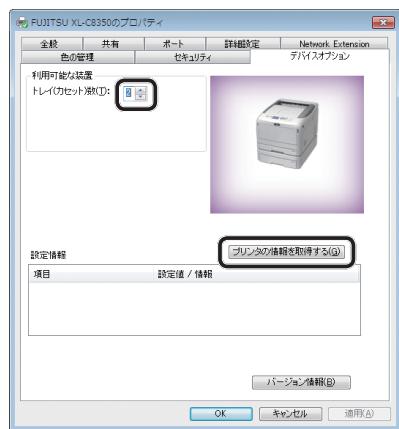
1. [スタート] をクリックし、[デバイスとプリンター] を選択します。
2. XL-C8350 のアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] (複数のプリンタードライバーをインストールしている場合は > [XL-C8350]) を選択します。

■ Windows Server 2008 (R2 以外) の場合

1. [スタート] をクリックし、[コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [プリンタ] を選択します。
2. XL-C8350 を選択します。
3. [ファイル] をクリックし、[プロパティ] を選択します。

- 2 [デバイスオプション] タブを選択します。

- 3 ネットワーク接続の場合は、[プリンタの情報を取得する] をクリックします。
USB接続の場合は、[トレイ数] にマルチパープストレイを除いたトレイ数を入力します。
例えば、オプショントレイを3つ取り付けた場合は、トレイ1/2/3/4が使用可能となるので、「4」と入力します。



- 4 [OK] をクリックします。

USBケーブルを接続してもプリンタが作成されないときには

■「USB接続」(P.44)をご覧になり、[プリンタードライバーのインストール]の[ケーブルの接続]ダイアログが表示されUSBケーブルを接続したら、次の手順を行ってください。

- 1 [デバイスマネージャー] ダイアログを表示します。

■ Windows Server 2016/Windows 10/Windows 8.1/Windows Server 2012 R2の場合

1. 画面左下隅のを右クリックし、[デバイスマネージャー]をクリックします。

■ Windows 8/Windows Server 2012 (R2以外)の場合

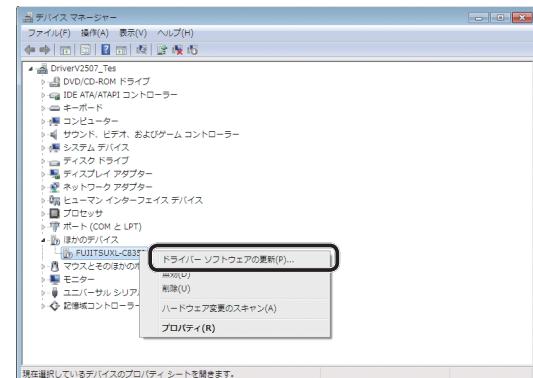
1. スタート画面の何もないところを右クリックし、画面右下の[すべてのアプリ]をクリックします。
2. [Windowsシステムツール]の[コントロールパネル]をクリックします。
3. [デバイスとプリンターの表示]をクリックします。
4. [デバイスとプリンター]フォルダーの何もないところを右クリックし、[デバイスマネージャー]をクリックします。

■ Windows 7/Windows Server 2008 R2の場合

1. [スタート]ボタン→[デバイスとプリンター]の順にクリックします。
2. [デバイスとプリンター]フォルダーの何もないところを右クリックし、[デバイスマネージャー]をクリックします。

□「ほかのデバイス」の下に「FUJITSU XL-C8350」がある場合：

- 2 [ほかのデバイス]の下にある [FUJITSU XL-C8350] を選び、右クリックでメニューを表示して、[ドライバーソフトウェアの更新]をクリックします。



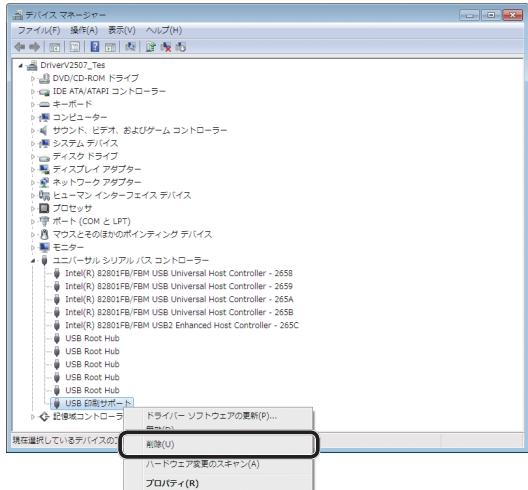
- 3 [ドライバーソフトウェアの更新] ウィンドウで、[ドライバーソフトウェアの最新版を自動検索します] をクリックします。
- 4 プリンタドライバのインストールが完了したら、[閉じる] をクリックします。
- 5 [インストール完了] ウィンドウが表示されたら、[完了] をクリックします。

□「ほかのデバイス」がない場合や、「ほかのデバイス」の下に「FUJITSU XL-C8350」がない場合：

- 2 [ユニバーサルシリアルバスコントローラー] の下にある [USB印刷サポート] が、コンピューターとプリンターを接続している USB ケーブルの抜き差しに反応して表示 / 非表示となる場合は、[USB印刷サポート] を選び、右クリックでメニューを表示して、[削除] をクリックします。



- USB ケーブルの抜き差しに反応しないものは削除しないでください。



- 3 以下のダイアログが表示されますので、[OK] をクリックします。



- 4 [USB印刷サポート] が削除されたら、コンピューターとプリンターを接続している USB ケーブルを抜き差しします。
- 5 [インストール完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

2. 印刷の基本操作

この章では、コンピューターから文書を印刷する方法について説明します。

● 用紙について

使用できる用紙の種類

高品質な印刷を行うためには、材質、厚さ、表面の仕上げなどの条件を満たす用紙を使用する必要があります。電子写真プリンター用紙をご使用ください。

弊社推奨紙以外で印刷される場合には、印刷品質や用紙の走行性など、事前に十分テストを行い、支障がないことを確認してから使用してください。

! お願い

- 本プリンターでは、網掛け部は未サポートです。設定しないでください。

用紙種類	用紙サイズ (mm) (カッコ内の単位はインチ)	用紙の厚さ
普通紙	A3	64～256 g/m ² (連量 55～220 kg)、 両面印刷の場合は 64～220 g/m ² (連量 55～189 kg)
	A4	
	A5	
	A6	
	B4	
	B5	
	B6	
	B6 ハーフ	
	レター	
	リーガル (13 インチ)	
	リーガル (13.5 インチ)	
	リーガル (14 インチ)	
	エグゼクティブ	
	タブロイド	
	ステートメント	
	8K (260 x 368 mm)	
	8K (270 x 390 mm)	
	8K (273 x 394 mm)	
	16K (184 x 260 mm)	
	16K (195 x 270 mm)	
	16K (197 x 273 mm)	
	Banner (210 x 900 mm)	
	Banner (215 x 900 mm)	
	Banner (215 x 1200 mm)	
	Banner (297 x 900 mm)	
	Banner (297 x 1200 mm)	
	カスタム	64～256 g/m ² (連量 55～220 kg)
はがき	はがき	幅: 64～297 長さ: 90～1321
	往復はがき	郵便はがき

用紙種類	用紙サイズ (mm) (カッコ内の単位はインチ)		用紙の厚さ
封筒	封筒 (長形 3 号)	120 x 235	85 g/m ² の紙を使用したもの 24 lb の紙を使用したもので、フラップ部がきちんと折れているもの
	封筒 (長形 4 号)	90 x 205	
	封筒 (長形 40 号)	90 x 225	
	封筒 (洋形 0 号)	235 x 120	
	封筒 (洋形 4 号)	105 x 235	
	封筒 (角形 2 号)	240 x 332	
	封筒 (角形 3 号)	216 x 227	
	Com-10	104.8 x 241.3 (4.125 x 9.5)	
	DL	110 x 220 (4.33 x 8.66)	
	C5	162 x 229 (6.4 x 9)	
	C4	229 x 324 (9 x 12.76)	
インデックスカード	インデックスカード	76.2 x 127 (3 x 5)	
ラベル紙	A4	210 x 297	0.1 ~ 0.2 mm
	レター	215.9 x 279.4 (8.5 x 11)	
部分印刷用紙	普通紙に準じます。 ¹		64 ~ 256 g/m ² (連量 55 ~ 220 kg)
カラー用紙	普通紙に準じます。 ²		64 ~ 256 g/m ² (連量 55 ~ 220 kg)

「*1」がついた用紙には次の条件に合った用紙を使用してください。

- 普通紙の条件を満たしている用紙
- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230°C に耐えるもの

!
注

- 印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：± 2 mm、用紙の斜行：± 1 mm/100 mm、画像伸縮：± 1 mm/100 mm 坪量 80 g/m² (連量 70 kg) の場合
- インクの上に本プリンターで印刷することはできません。

「*2」がついた用紙には次の条件に合った用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で 230°C に耐えるもの
- 用紙特性が普通紙と同じで、電子写真プリンター用の用紙

推奨紙

■ 普通紙

本製品で印刷確認を行った普通紙は、次の表のとおりです。なお、印刷確認は、包装した状態の用紙を、温度 22°C、湿度 55 ~ 60%RH 環境下に 12 時間放置した後、印刷直前に包装紙から取り出して実施しています。

メモ

- 安定した搬送性・印字品質を確保するために、以下の推奨紙の使用をお勧めします。
- 湿度が高い環境では用紙が吸湿するため、印刷時に紙詰まりやシワ、折れ、印字乱れなどが発生する場合があります。高湿度環境下では、包装紙から必要な分だけ用紙を取り出して使用してください。また、夜間／休日などのプリンター停止時は、プリンタートレイに用紙を放置しないでください。プリンターから用紙を取り出して包装紙に戻し、密閉して保管してください。

メーカー名	用紙種類	品名	サイズ	商品番号	備考
富士通 コワーコ（株）	普通紙	オフィス用紙 W	A3	0411650	
		オフィス用紙 W	B4	0411620	
		オフィス用紙 W	A4	0411610	【注 1】
		オフィス用紙 W	A4Y	0411612	【注 2】
		オフィス用紙 W	B5	0411640	【注 1】
		オフィス用紙 W	B5Y	0411645	【注 2】
		オフィス用紙 W	A5	0411630	【注 1】
		オフィス用紙 W	A5Y	0411635	【注 2】

注 1 用紙をセットする向き（搬送方向）が縦送りの場合。

注 2 用紙をセットする向き（搬送方向）が横送りの場合。

メモ

- 古紙 100% 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。
A5、B5、レター、A4 サイズであれば、送り方向を変更することで改善される場合があります。ただし、縦送りに変更すると、横送りに比べて製品の耐用期間が短くなったり、定期交換部品やトナーカートリッジやイメージドラム（ドラムカートリッジ）の交換時期が早くなったりする場合があります。
- A4 横送り、レター横送り、B5 横送り、A5 横送りなど、横送り方向にセットする場合は「横目」の用紙を推奨します。
- 各商品で梱包単位（枚数）が異なりますので、購入時は事前に確認をお願いします。
- 対応用紙の最新情報は、以下の富士通製品情報ページでご確認ください。
<http://www.fmworld.net/biz/printer/>

■再生紙

- 電子写真プリンタ再生紙（トナーを用いるプリンタで使用する再生紙）をご使用ください。
(グリーン購入法に適合した電子写真プリンタ用再生紙に対応しています。)
再生紙には、印刷品質を低下させる添加物が含まれているものもあります。必ず電子写真プリンタ再生紙であることを確認の上、使用してください。

メモ

- 再生紙では、一般的の室温環境下（温度 17～25℃、湿度 40～60 % の環境）以外で使用する場合には、印刷品質が低下したり、紙づまりなどの問題が発生することがあります。また、再生紙に印刷する場合は、必ず試し印刷をしてから使用してください。
- 100% 再生紙に印刷した場合、シワやカールが発生する場合があります。

使用できない用紙

次の種類の用紙は使用しないでください。使用すると、紙づまりや不具合の原因になります。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、纖維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 紙粉が多い用紙
- 横目の用紙（縦送り印刷で使用しないでください。）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気で貼り付いている用紙
- 絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工（コート紙）をしてある用紙
- のり・薬品などで特殊加工してあるもの
- 耐熱性（230℃）のない特殊加工をしてあるもの
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがあるもの
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついているもの
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンター用紙、インクジェット用の用紙やはがき、湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など
- 切手の貼ってあるもの

- 写真加工してあるはがき
- 厚すぎる封筒、プラスチックでできた封筒、内袋のある二重封筒、撥水加工された封筒
- 留め金やボタンや窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤や両面テープのついた封筒

はがき

次の条件に合ったはがきを使用してください。

- 郵便はがき、および折っていない郵便往復はがき

以下のはがきは使用しないでください。

- インクジェット用はがき
- 2 mm 以上反りがあるはがき
- 切手の貼ってあるはがき
- 写真加工してあるはがき

！注

- 印刷後は反りが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。

封筒

次の条件に合った封筒を使用してください。

- クラフト紙、電子写真プリンター用紙、または乾式 PPC 用紙で作られた封筒
- 坪量 85 g/m² の紙を使用した封筒

以下の封筒は使用しないでください。

- 厚すぎる封筒やプラスチックでできた封筒
- 内袋のある二重封筒
- とめ金、ボタン、窓のある封筒
- フラップ部に粘着剤、両面テープのついた封筒
- シワや反りのある封筒
- 切手の貼ってある封筒
- 表面に縞目加工（シボ）や浮き出し加工（エンボス）のある封筒
- 撥水加工された封筒

！注

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- 封筒の貼り合わせ部分（厚さに段差のある部分）のまわり 約 5 mm は印刷品位が低下することがあります。
- 封筒に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。
- 角形2号封筒は手差しでの印刷となります。一度に複数枚セットすることはできません。1枚ずつセットして印刷してください。

ラベル紙

次の条件に合ったラベル紙を使用してください。

- 推奨紙：LBP-F7XXX（コクヨ製）
(総厚：0.1 ~ 0.2 mm)

プリンタードライバーの用紙厚の設定：[ラベル紙]

操作パネルで設定する場合は、

用紙厚：より厚い紙

用紙種類：ラベル紙

- 用紙サイズは A4、レターのみ
- 表面紙、粘着剤、台紙が熱で変質しない、電子写真プリンター用または乾式 PPC 用のラベル紙
- プリンターの熱定着工程で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 用紙の走行で、表面紙が台紙から剥がれない構造のラベル紙
- 表面紙と台紙を合せた用紙の厚さが 0.1 ~ 0.2 mm のラベル紙
- 表面紙が台紙全体をおおい、粘着剤がはみ出していないラベル紙
- 台紙に切れ目や折れ目のないラベル紙

！注

- 用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- トナーの定着が低下することがあります。
- ラベル紙の先端に反りがあると、吸入不良の原因となります。反りは修正してからお使いください。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

部分印刷用紙

次の条件に合った部分印刷用紙を使用してください。

- 普通紙の条件を満たしている用紙
- 部分印刷に使用したインクが耐熱性で 230°C に耐えるもの

! 注

- 印刷枠を設ける場合、以下の印刷位置のバラツキを十分考慮に入れて設計してください。
書き出し位置精度：±2 mm、用紙の斜行：±1 mm/100 mm、画像伸縮：±1 mm/100 mm 坪量 80 g/m² (連量 70 kg) の場合
- インクの上に本プリンターで印刷することはできません。

カラー用紙

次の条件に合ったカラー用紙を使用してください。

- 用紙を着色した顔料またはインクが耐熱性で230°Cに耐えるもの
- 用紙特性が普通紙と同じで、電子写真プリンター用の用紙

長尺用紙

次の条件に合った長尺用紙を使用してください。

- プリンタードライバーの用紙厚の設定：より厚い紙操作パネルで設定する場合は
用紙厚：より厚い紙
用紙種類：普通紙
- 用紙サイズは幅210～297 mm、長さ356～1320 mm
坪量 128 g/m² (連量 110 kg)

以下の用紙は使用しないでください。

- 表面が平滑（すべすべ）すぎる用紙、粗い（ザラ紙、纖維質）用紙、表と裏の粗さが大きく異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙、紙粉が多い用紙
- 横目の用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 静電気が貼り付いている用紙
- 表面に、絹目加工（シボ）、浮き出し加工（エンボス）、コーティング加工をした用紙（コート紙）
- 表面に、のり・薬品などで特殊加工、耐熱性（230°C）のない特殊加工をした用紙
- バインダ用の穴、ミシン目、切り込み、穴がある用紙
- 用紙カット面に、凹凸、つぶれ、バリなどがある用紙
- 四角い形状でない用紙、裁断角度が直角でない用紙
- シワ、反り、角の折れ曲がり、波打ち、折り目、破れなどがある用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープ、留め金などがついている用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙などの特殊紙
- 熱転写プリンター用紙、インクジェット用の用紙、

湿式 PPC 用紙、複写紙、和紙など

! 注

- 厚手の用紙は、用紙全体に薄くトナーが付着したり印刷が薄いことがあります。
- 用紙のすき目の方向と用紙送りの方向が一致しないと紙づまりが起こることがあります。
- 電子写真プリンター、熱転写プリンター、インクジェットプリンター等で一度印刷した用紙は使用しないでください。
- 用紙の包装紙には表面の向きが表示されています。表面が印刷面となるようにセットしてください。
- 用紙は湿気防止のため防湿紙に包装されています。開封後は早めに使用してください。
- 坪量 128 g/m² (連量 110 kg) 以外の長尺用紙は、印刷品位は保証できません。
- 必ず試し印刷をして支障がないことを確認してください。

用紙の保管

用紙は、品質を維持するために次の条件の下で保管してください。

- 暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- 平らな台の上
- 温度：20°C
- 湿度：50% RH (相対湿度)

次のような場所には保管しないでください。

- 床の直接上
- 直射日光が当たる場所
- 外壁の内側の近く
- 段差や曲がりのある場所
- 静電気が発生する場所
- 過度の温度上昇と、急激な温度変化のある場所
- 複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

! 注

- 用紙は、使用するときまで開封しないでください。
- 開封した用紙を長期間放置しないでください。正常に印刷できないことがあります。
- 使用媒体、使用条件、保管条件により印刷品位の低下、用紙カール等が発生する場合があります。

トレイにセットできる用紙

プリンターには、2つの内蔵トレイ（トレイ1およびマルチパーパストレイ）とオプションの増設トレイユニット（トレイ2/3/4）があります。次のリストを参照して、使用できる用紙と各トレイの容量を確認してください。

! お願い

- 本プリンターでは、網掛け部は未サポートです。設定しないでください。

! 注

- 「*」がついた用紙には、両面印刷は行えません。
- A5用紙は通常印刷時は縦横送り印刷可能ですが、両面印刷時は縦送りのみ印刷可能です。

トレイ	使用できる用紙サイズ	セットできる枚数	用紙の厚さ
トレイ1	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 ● A4 ● A5 ● B4 ● B5 ● A6* ● レター ● リーガル（13インチ） ● リーガル（13.5インチ） ● リーガル（14インチ） ● エグゼクティブ ● タブロイド ● 8K（260 x 368 mm） ● 8K（270 x 390 mm） ● 8K（273 x 394 mm） ● 16K（184 x 260 mm） ● 16K（195 x 270 mm） ● 16K（197 x 273 mm） ● カスタム 	320枚 (用紙の厚さが 64 g/m ² (連量 55 ~ 70 kg) の場合)	<ul style="list-style-type: none"> ● 普通紙 (64 ~ 82 g/m² (連量 55 ~ 70 kg)) ● やや厚い紙 (83 ~ 90 g/m² (連量 71 ~ 77 kg)) ● 厚い紙 (91 ~ 105 g/m² (連量 78 ~ 90 kg)) ● より厚い紙 (106 ~ 128 g/m² (連量 91 ~ 110 kg)) ● ごく厚い紙1 (129 ~ 188 g/m² (連量 111 ~ 162 kg)) ● ごく厚い紙2 (189 ~ 220 g/m² (連量 163 ~ 189 kg))
トレイ2/3/4 (オプション)	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 ● A4 ● A5 ● B4 ● B5 ● レター ● リーガル（13インチ） ● リーガル（13.5インチ） ● リーガル（14インチ） ● エグゼクティブ ● タブロイド ● 8K（260 x 368 mm） ● 8K（270 x 390 mm） ● 8K（273 x 394 mm） ● 16K（184 x 260 mm） ● 16K（195 x 270 mm） ● 16K（197 x 273 mm） ● カスタム 	550枚 (用紙の厚さが 64 g/m ² (連量 55 kg) の場合)	<ul style="list-style-type: none"> ● 普通紙 (64 ~ 82 g/m² (連量 55 ~ 70 kg)) ● やや厚い紙 (83 ~ 90 g/m² (連量 71 ~ 77 kg)) ● 厚い紙 (91 ~ 105 g/m² (連量 78 ~ 90 kg)) ● より厚い紙 (106 ~ 128 g/m² (連量 91 ~ 110 kg)) ● ごく厚い紙1 (129 ~ 188 g/m² (連量 111 ~ 162 kg)) <p>! 注</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 増設トレイで使用できる用紙の厚さは、64 ~ 176 g/m² (連量 55 ~ 150 kg) です。 ● ごく厚い紙1に 129 ~ 188 g/m² と表示されますが、印刷できる用紙の厚さは 176 g/m² までです。

! 注

- 「*」がついた用紙には、両面印刷は行えません。
- A5用紙は通常印刷時は縦横送り印刷可能ですが、両面印刷時は縦送りのみ印刷可能です。

トレイ	使用できる用紙サイズ	セットできる枚数	用紙の厚さ
マルチパーパーストレイ	<ul style="list-style-type: none"> ● A3 ● A4 ● A5 ● B4 ● B5 ● B6* ● B6 ハーフ* ● A6* ● レター ● リーガル (13インチ) ● リーガル (13.5インチ) ● リーガル (14インチ) ● エグゼクティブ ● タブロイド ● ステートメント* ● 8K (260 x 368 mm) ● 8K (270 x 390 mm) ● 8K (273 x 394 mm) ● 16K (184 x 260 mm) ● 16K (195 x 270 mm) ● 16K (197 x 273 mm) ● カスタム ● Com-10* ● DL* ● C4* ● C5* ● はがき* ● 往復はがき* ● 封筒 長形3号* ● 封筒 長形4号* ● 封筒 長形40号* ● 封筒 洋形0号* ● 封筒 洋形4号* ● 封筒 角形2号* ● 封筒 角形3号* ● インデックスカード* ● Banner (210 x 900 mm) * ● Banner (215 x 900 mm) * ● Banner (215 x 1200 mm) * ● Banner (297 x 900 mm) * ● Banner (297 x 1200 mm) * 	<ul style="list-style-type: none"> ● 110枚 (用紙の厚さが 64 g/m² (連量 55 kg) の場合) ● 10枚 (封筒) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 普通紙 (64 ~ 82 g/m² (連量 55 ~ 70 kg)) ● やや厚い紙 (83 ~ 90 g/m² (連量 71 ~ 77 kg)) ● 厚い紙 (91 ~ 105 g/m² (連量 78 ~ 90 kg)) ● より厚い紙 (106 ~ 128 g/m² (連量 91 ~ 110 kg)) ● ごく厚い紙1 (129 ~ 188 g/m² (連量 111 ~ 162 kg)) ● ごく厚い紙2 (189 ~ 220 g/m² (連量 163 ~ 189 kg)) ● ごく厚い紙3* (221 ~ 256 g/m² (連量 190 ~ 220 kg))

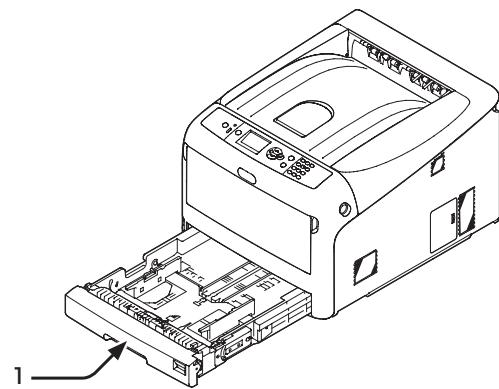
● トレイから印刷する

次の手順では、トレイ 1 またはトレイ 2/3/4 に用紙をセットする方法を説明します。

メモ

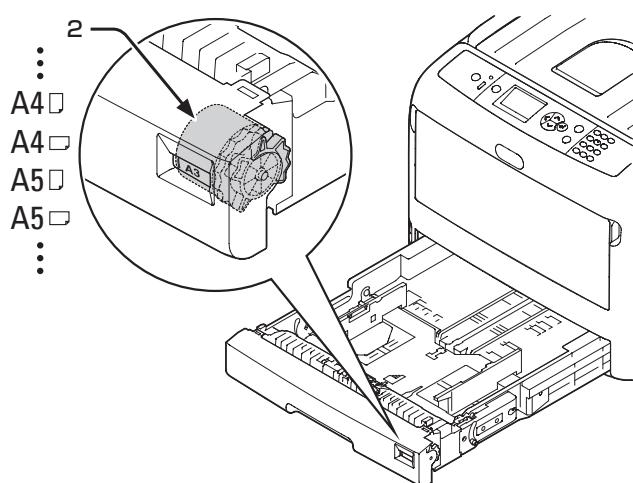
- ここではトレイ 1 に用紙をセットする場合を例にしています。トレイ 2 ~ 4 も同様の手順でセットします。

1 用紙カセット (1) を引き出します。

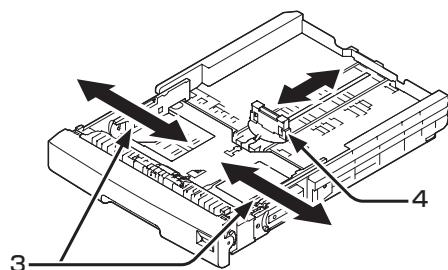


2 用紙サイズダイヤル (2) を、セットする用紙サイズに合わせます。

A4 サイズの用紙を横にセットする場合は、ダイヤルを [A4□] に合わせます。

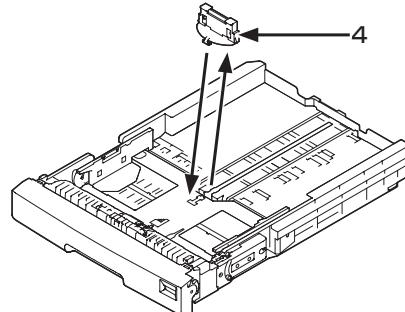


3 用紙ガイド (3) と用紙ストッパー (4) を、セットする用紙のサイズに合わせてスライドさせます。

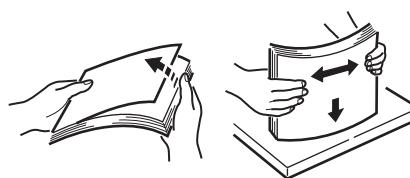


! 注

- A6 サイズの用紙をセットする場合は、用紙ストッパー (4) を手前まで移動し、一旦外して金属部分にセットします。



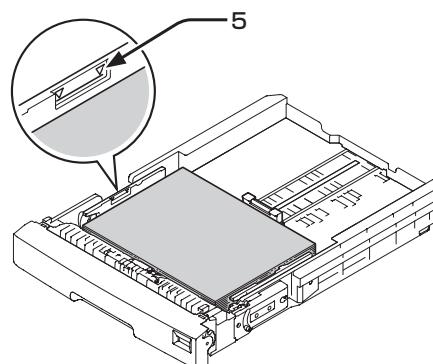
4 用紙をよくさばきます。用紙の端を水平にまっすぐにそろえます。



5 印刷面を下にして用紙をセットし、上から押さえます。

! 注

- 用紙ガイドの「▽」マーク (5) を越えて用紙をセットしないでください。



6 用紙ガイドで用紙を固定します。

7 セットした用紙のサイズと用紙サイズダイヤルが合っているか確認します。

8 用紙カセットをプリンターに戻します。

メモ

- ダイヤルにないサイズをセットした場合は、ダイヤルを「その他」に設定し、操作パネルで用紙サイズをセットします。

□印刷したいファイルを開き、以下の手順で印刷します。

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。
- 3 [基本設定] タブの [サイズ] からセットした用紙サイズを選択します。
- 4 [給紙方法] から [トレイ 1] を選択します。
- 5 印刷します。

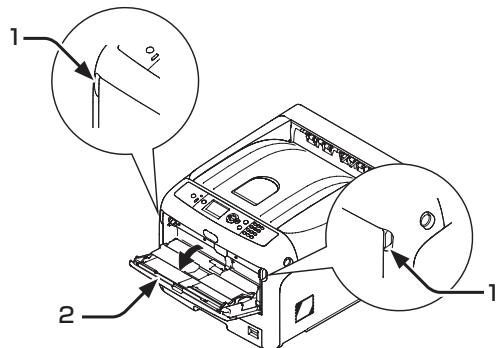
● マルチパーカストレイから印刷する

ここでは、用紙をマルチパーカストレイにセットする方法を説明します。

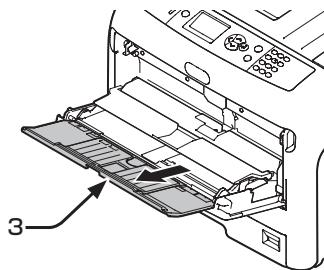
! 注

- サイズ、種類、厚さが異なる用紙を同時にセットしないでください。
- 用紙を追加するときは、マルチパーカストレイに入っている用紙を取り出し、その用紙と追加する用紙の端をまっすぐにそろえてから、両方の用紙をセットします。
- マルチパーカストレイには、印刷用紙以外のものは入れないでください。

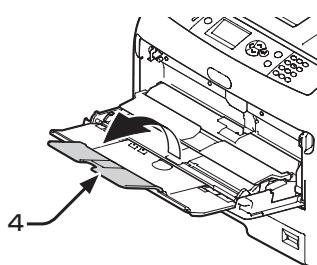
1 正面のくぼみ (1) に指を入れ、マルチパーカストレイ (2) を手前に開きます。



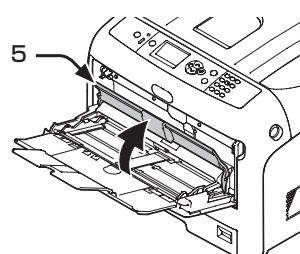
2 用紙サポータ (3) の中央を持ち、手前に引き出します。



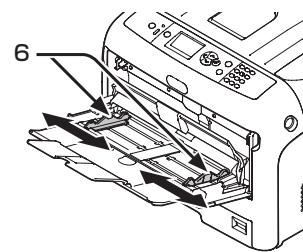
3 補助サポータ (4) を開きます。



4 用紙セットカバー (5) を上げます。



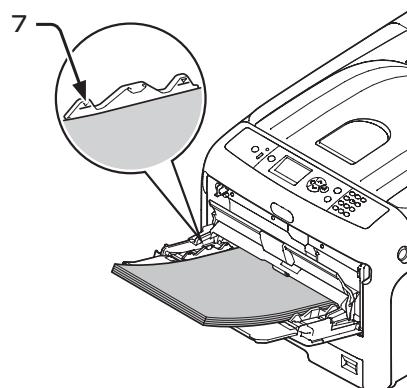
5 手差しガイド (6) を、セットする用紙の幅に合わせて調節します。

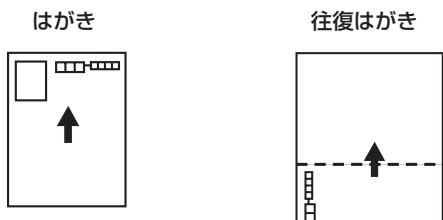


6 印刷面を上にして用紙をセットします。

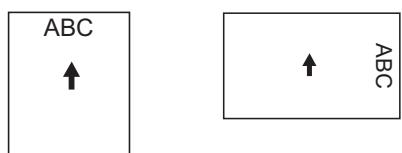
! 注

- 「▽」マーク (7) を越えて用紙をセットしないでください。





用紙に上下がある場合



封筒 (長形3号、4号)



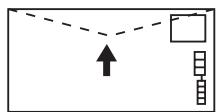
* フラップは折らずにそのままセット

封筒 (角形3号、2号)



* フラップは折らずにそのままセット

封筒 (洋形0号、4号)



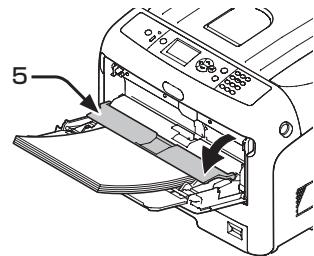
メモ

- はがき、往復はがきは印刷する面を上に、封筒は宛名面を上にし、それぞれ次の向きにセットします。
 - はがきは、上端から給紙口に入していくようにセットします。
 - 往復はがきは、右端から給紙口に入していくようにセットします。
 - 長形封筒（長形3号、長形4号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を開いた状態で、図のようにセットします。
 - 洋形封筒（洋形0号、洋形4号）は、フラップ（ふたののりしろ部分）を折った状態で、図のようにセットします。

注

- 印刷後は反りやシワが発生することがあります。
- 角形2号封筒は手差しでの印刷となります。一度に複数枚セットすることはできません。1枚ずつセットして印刷してください。
- 適切な温度、湿度で保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。
- 他のプリンター等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは2mm以内に修正してください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。

7 用紙セットカバー(5)を下ろします。



常に同じサイズや種類の用紙をマルチパーカストレイから印刷する場合は、セットした用紙をプリンターに登録します。一度だけ印刷する場合は、手順18の印刷手順へ進みます。

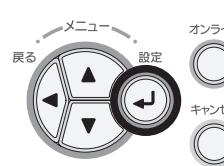
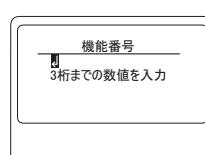
注

- 節電モードに入っている場合は、節電ボタンを押し、節電モードから復帰します。
- 「印刷できます」が表示されていることを確認して、表示されていない場合は<オンライン>ボタンを押します。

8 <Fn>キーを押します。



9 テンキーを使い、90と入力し、<設定>ボタンを押します。



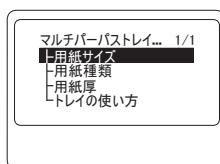
10 [用紙サイズ]画面が表示されるので、セットした用紙のサイズを選択し、<設定>ボタンを押します。



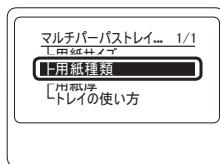
参照

- [用紙サイズ]で「カスタム」を選択した場合は、カスタムサイズを登録する必要があります。カスタムサイズの登録方法については、「カスタムサイズ（任意の用紙サイズ）で印刷する」(P.62)を参照してください。

11 <戻る> ボタンを押して [マルチパーパストレイ] 画面を表示します。



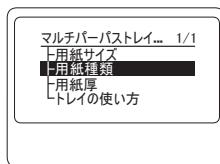
12 スクロールボタン▼を押して [用紙種類] を選択し、<設定> ボタンを押します。



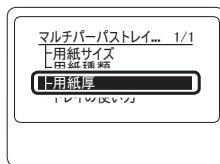
13 スクロールボタン▼を押してセットした用紙の種類を選択し、<設定> ボタンを押します。



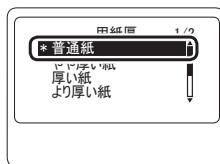
14 <戻る> ボタンを押して [マルチパーパストレイ] 画面を表示します。



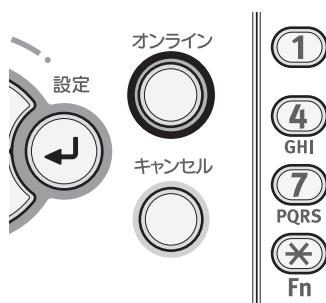
15 スクロールボタン▼を押して [用紙厚] を選択し、<設定> ボタンを押します。



16 スクロールボタン▼を押してセットした用紙の厚さを選択し、<設定> ボタンを押します。



17 <オンライン> ボタンを押してメニュー モードを終了します。



□ 印刷したいファイルを開き、以下の手順で印刷します。

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。
- 3 [基本設定] タブの [用紙サイズ] からセットした用紙サイズを選択します。
- 4 [給紙方法] から [マルチパーパストレイ] を選択します。
- 5 印刷します。

トレイ	使用できる用紙サイズの範囲
トレイ 1	幅： 105～297 mm (4.1～11.7 インチ) 長さ： 148、182～431 mm (5.8、7.2～17.0 インチ)
トレイ 2/3/4 (オプション)	幅： 148～297 mm (5.8～11.7 インチ) 長さ： 182～431 mm (7.2～17.0 インチ)
マルチパーパス トレイ	幅： 64～297 mm (2.5～11.7 インチ) 長さ： 90～1321 mm (3.5～52.0 インチ)

! 注

- 【用紙サイズ】が【カスタム】に設定されている場合のみ、【用紙幅】と【用紙長】が表示されます。
- 両面印刷に使用できる用紙サイズの範囲は、トレイ 2 に使用できる用紙サイズの範囲と同じです。

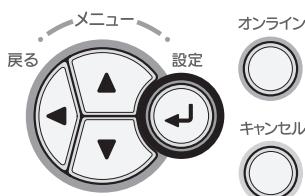
□用紙をセットします。

[関参考]

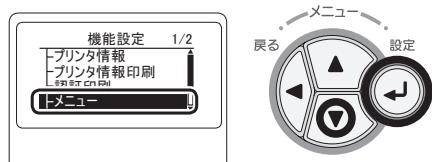
- 「トレイから印刷する」(P.57)
- 「マルチパーパストレイから印刷する」(P.59)

□カスタムサイズを、以下の手順でプリンターに設定します。

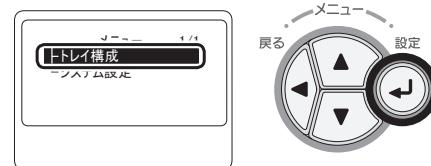
1 操作パネルの＜設定＞ボタンを押します。



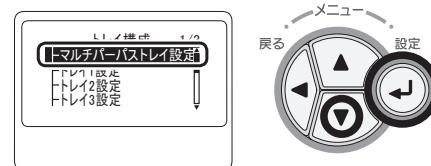
2 スクロールボタン▼を数回押して【メニュー】を選択し、＜設定＞ボタンを押します。



3 【トレイ構成】が選択されていることを確認し、＜設定＞ボタンを押します。



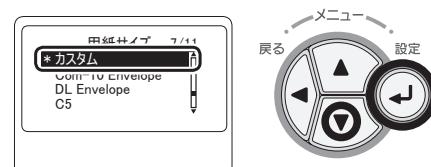
4 スクロールボタン▼を数回押して用紙をセットしたトレイの【トレイ設定】を選択し、＜設定＞ボタンを押します。



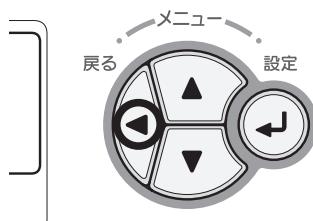
5 【用紙サイズ】を選択していることを確認し、＜設定＞ボタンを押します。



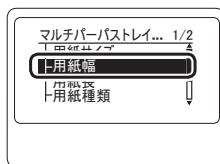
6 スクロールボタン▼を数回押して【カスタム】を選択し、＜設定＞ボタンを押します。



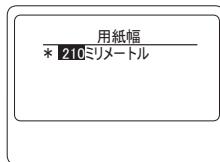
7 <戻る>ボタンを押します。



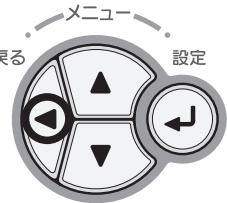
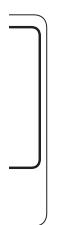
- 8 スクロールボタン▼を押して【用紙幅】を選択し、<設定>ボタンを押します。



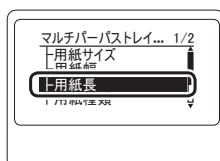
- 9 テンキーを使って用紙幅を入力し、<設定>ボタンを押します。



- 10 <戻る>ボタンを押します。



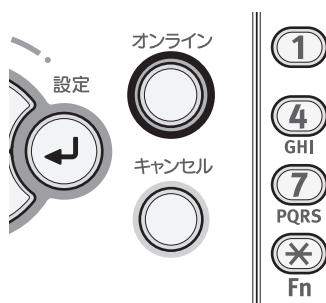
- 11 スクロールボタン▼を押して【用紙長】を選択し、<設定>ボタンを押します。



- 12 テンキーを使って用紙長を入力し、<設定>ボタンを押します。



- 13 <オンライン>ボタンを押してメニュー モードを終了します。



□カスタムサイズを、以下の手順でプリンタードライバーに設定します。

- [スタート]をクリックし、[デバイスとプリンター]を選択します。
- お使いのプリンターアイコンを右クリックし、[印刷設定]から設定したいプリンタードライバーを選択します。
- [基本設定]タブの[給紙オプション]をクリックします。
- [用紙サイズの追加]をクリックします。
- 名前と寸法を入力します。
 - [名称]に新しいサイズの名前を入力します。
 - [幅]および[長さ]に値を入力します。
- [追加]をクリックして任意の用紙サイズをリストに保存し、[OK]をクリックします。
最大32個まで保存できます。
- [印刷設定]ダイアログが閉じるまで[OK]を押します。
- アプリケーションから印刷するファイルを開きます。
- プリンタードライバーで、登録した用紙サイズを指定し、印刷します。

□印刷したいファイルを開き、以下の手順で印刷します。

- 1 [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。
- 2 [詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックします。
- 3 [基本設定] タブの [用紙サイズ] からセットした用紙サイズを選択します。
- 4 [給紙方法] から [トレイ] を選択します。
- 5 印刷します。

● 用紙の排出について

プリンターは、フェイスダウンスタッカーまたはフェイスアップスタッカーに用紙を排出します。それぞれのスタッカーに排出できる用紙の種類は次のとおりです。

排出先	排出できる用紙種類	容量
フェイスダウンスタッカー	● 普通紙 ● 再生紙	● 270枚 (用紙の厚さが64 g/m ² (連量 55 kg)の場合)
フェイスアップスタッカー	● 普通紙 ● 再生紙 ● 封筒 ● はがき ● 往復はがき ● ラベル紙	● 110枚 (用紙の厚さが64 g/m ² (連量 55 kg)の場合) ● 10枚 (厚紙および封筒)

! 注

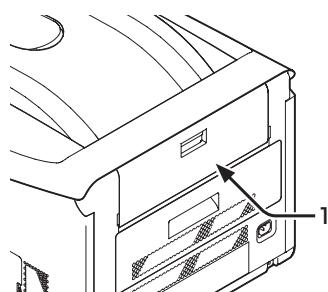
- 印刷中は、フェイスアップスタッカーを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

■ フェイスダウンスタッカーを使用する

印刷面を下にして排紙します。印刷した順に重なります。

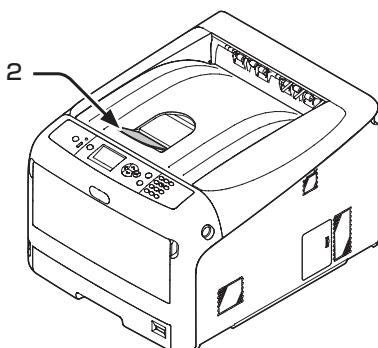
! 注

- プリンターの後ろ側にあるフェイスアップスタッカー (1) が閉じていることを確認してください。フェイスアップスタッカーが開いた状態では、常にフェイスアップスタッカーに排紙されます。



メモ

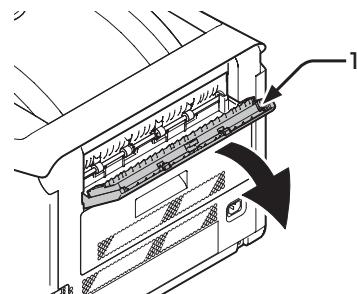
- 排出された用紙がトップカバーから滑り落ちないよう、用紙サポート (2) を開きます。



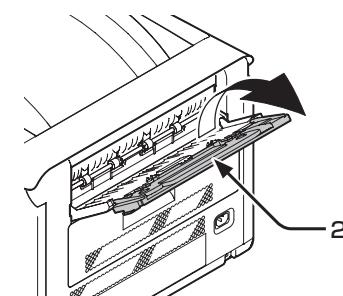
■ フェイスアップスタッカーを使用する

印刷面を上にして排紙します。印刷した順と逆に重なります。

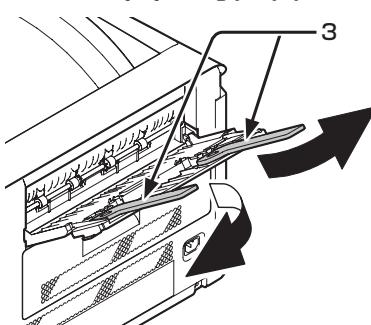
- 1 プリンターの後ろ側にあるフェイスアップスタッカー (1) を外側に開けます。フェイスアップスタッカーの中央の取っ手に指を掛け、斜め下方向に開けます。



- 2 用紙サポート (2) を広げます。



- 3 補助サポート (3) を引き出します。



● 便利な印刷機能の紹介

以下のような便利な印刷機能があります。詳しくは、「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

■ はがき、往復はがき、封筒に印刷する

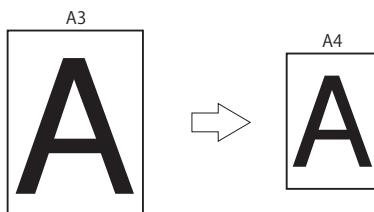
■ ラベル紙に印刷する

■ 任意の用紙サイズに印刷する

任意の用紙サイズ（カスタムサイズ）をプリンタードライバーに登録して、長尺用紙など、さまざまなサイズの用紙に印刷できます。

■ ページを拡大 / 縮小する

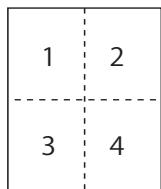
● サイズを変更して印刷



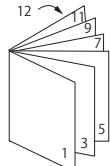
■ 用紙のレイアウトを変更して印刷する

マルチページ印刷、製本印刷、ポスター印刷などの印刷ができます。

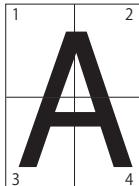
● マルチページ印刷



● 製本印刷



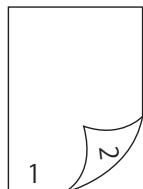
● ポスター印刷



■ 両面印刷する

用紙の両面に印刷できます。

● 両面印刷



■ ページを拡大 / 縮小する

印刷データを変更せずに、別の用紙サイズに印刷できます。

■ カラーデータをモノクロで印刷する

■ 印刷品位（解像度）を変更する

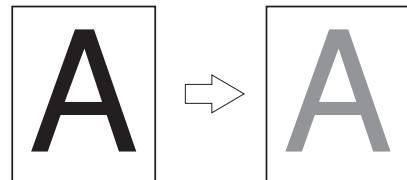
必要に応じて印刷品位を変更できます。

■ トナーを節約する

印刷濃度を下げ、トナーを節約して印刷します。

この機能は、トナーの節約量を3段階で設定することができます。100%の黒はトナーセーブしない設定もできるので、小さな文字の可読性を損なわずトナーを節約することができます。

● トナーセーブ

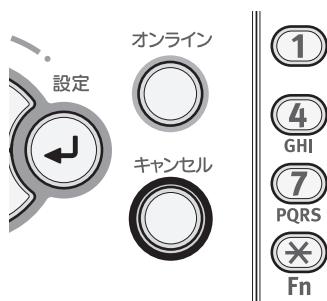


メモ

● 上記に掲載した機能以外にも便利な印刷機能を多数用意しています。「ソフトウェアガイド」をご覧ください。

● 印刷をキャンセルする

印刷中または印刷準備中のデータをキャンセルするには、操作パネルの＜キャンセル＞ボタンを押します。



＜キャンセル＞ボタンを押すと、以下のような画面を表示します。



印刷をキャンセルする場合は、「はい」を選択し、＜設定＞ボタンを押します。

印刷を継続する場合は、「いいえ」を選択し、＜設定＞ボタンを押します。

この画面のまま、3分間操作が行なわれなかった場合は、画面表示は消えて印刷を続行します。

● パワーセーブモードに入るまでの時間を設定する

! 注

- 節電モードに入っている場合は節電ボタンを押し、節電モードから復帰します。
- 「印刷できます」が表示されていることを確認して、表示されていない場合は <オンライン> ボタンを押します。

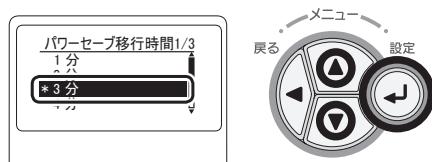
1 操作パネルの <Fn> キーを押します。



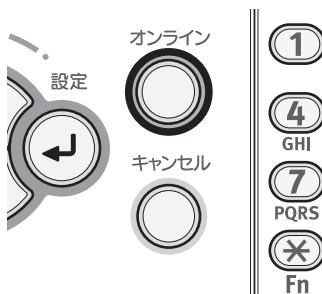
2 テンキーから 200 と入力し、<設定> ボタンを押します。



3 スクロールボタン ▼ または ▲ を使い、設定したい時間を選択し、<設定> ボタンを押します。



4 <オンライン> ボタンを押します。



メモ

- 設定可能な時間は、下記のとおりです。工場出荷時の設定は、1 分です。

- 1 分
- 2 分
- 3 分
- 4 分
- 5 分
- 10 分
- 15 分
- 30 分
- 60 分
- 120 分

● スリープモードに入るまでの時間を設定する

! 注

- 節電モードに入っている場合は、節電ボタンを押し、節電モードから復帰します。
- 「印刷できます」が表示されていることを確認して、表示されていない場合は <オンライン> ボタンを押します。

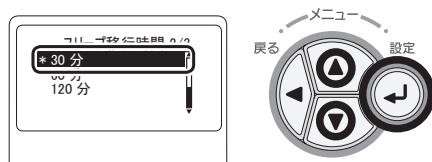
1 操作パネルの <Fn> キーを押します。



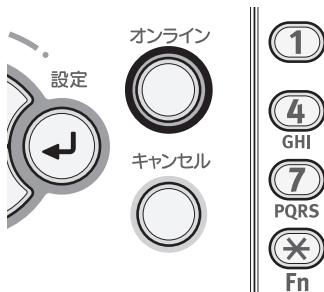
2 テンキーから 201 と入力し、<設定> ボタンを押します。



3 スクロールボタン ▼ または ▲ を使い、設定したい時間を選択し、<設定> ボタンを押します。



4 <オンライン> ボタンを押します。



メモ

- 設定可能な時間は、下記のとおりです。工場出荷時の設定は、15 分です。

- 1 分
- 2 分
- 3 分
- 4 分
- 5 分
- 10 分
- 15 分
- 30 分
- 60 分
- 120 分

スリープモード時の制限事項

この節では、プリンターがスリープモードのときの制限事項について説明します。

プリンターがエラーを表示している状態では、スリープモードに移行しない場合があります。

プリンタードライバー・ユーティリティーの制限事項

プリンターがスリープモードに移行すると、プリンタードライバー、ユーティリティーの機能が以下のように制限されます。

プリンターがスリープモードに移行している場合は、操作パネルの「**節電**」ボタンを押し、液晶パネルに「**印刷できます**」が表示されることを確認してください。

「**印刷できます**」と表示していれば、以下の制限事項は発生しません。

ソフトウェア名	スリープモード時の制限事項
Network Extension	プリンターに接続できません。
ドライバーインストーラー	ネットワーク接続の場合は、プリンタードライバーインストール時、プリンターのオプション情報を自動で取得できません。

ネットワーク機能の制限事項

スリープモードでは、ネットワークの機能に以下のようないくつかの制限があります。

■ スリープモードに移行しない

次の場合には、プリンターはスリープモードに移行しません。

! お願い

- 本プリンターでは、IPSec、NetBEUI、NetWare および E メール受信は未サポートです。
- IPSec が有効になっている
- NetBEUI が有効になっている
- NetWare が有効になっている
- TCP のコネクションが確立している
例：Telnet、FTP でコネクションを確立している場合など。
- 省電力モード状態でスリープ移行時間経過後、接続が切断されるとスリープモードに入ります。
- USB のコネクションが確立している
- E メール受信が有効になっている

△ メモ

- スリープモードを有効にしたい場合には、IPSec/NetBEUI/NetWare/E メール受信を無効にしてください。

■ 印刷できない

スリープモード中は、以下のプロトコルを使用した印刷はできません。

! お願い

- 本プリンターでは、NetBEUI、NBT、NetWare および Bonjour (Rendezvous) は未サポートです。
- NetBEUI

- NBT

- NetWare

- Bonjour (Rendezvous) *

■ 検索・設定できない

スリープモード中は、以下の機能 / プロトコルを使用した検索や設定はできません。

! お願い

- 本プリンターでは、UPnP、Bonjour (Rendezvous) および LLTD は未サポートです。
- PnP-X
- UPnP
- Bonjour (Rendezvous)
- LLTD
- MIB *

* スリープモード中にサポートする一部の MIB による参照 (Get コマンド) は可能です。

■ クライアント機能を持つプロトコルが動作しない

スリープモード中は、クライアント機能を持つ以下のプロトコルが動作しません。

! お願い

- 本プリンターでは、WINS は未サポートです。
- E メールアラート *
- SNMP Trap

* スリープモード中の経過時間は、E メールアラートの定期的な通知時間の間隔には含まれません。

スリープモードを無効にして使用するプロトコル

以下のプロトコルを使用する場合は、スリープモードを無効にしてください。

- IPv6

USB 接続時の制限事項

スリープモード中にトレイの用紙を別のサイズに変更して、用紙サイズダイアルを変更した後で USB から印刷を行なう場合に、操作パネルに「印刷データとトレイ 1 の用紙サイズが違います」と表示される場合があります。この場合はオンラインボタンを押すことにより、印刷を続けることができます。

● 自動で電源を切る（オートパワーオフ）ための設定をする

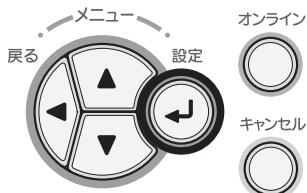
! 注

- 工場出荷時設定では、ネットワーク接続時はオートパワーオフに移行しません。

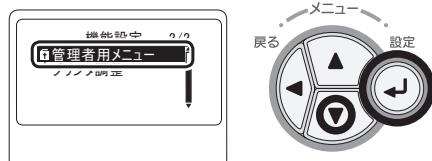
オートパワーオフを設定する

ネットワーク接続時もオートパワーオフ機能を有効にするには、以下の設定を行います。

1 操作パネルの＜設定＞ボタンを押します。



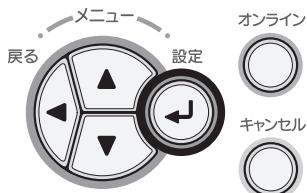
2 スクロールボタン▼を数回押して【管理者用メニュー】を選択し、＜設定＞ボタンを押します。



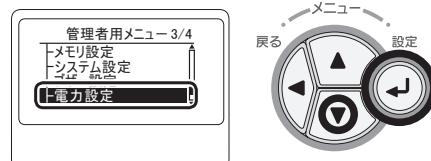
3 テンキーを使い、管理者パスワードを入力します。



4 <設定>ボタンを押します。



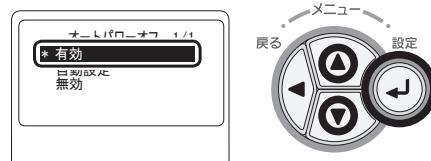
5 スクロールボタン▼を数回押して【電力設定】を選択し、＜設定＞ボタンを押します。



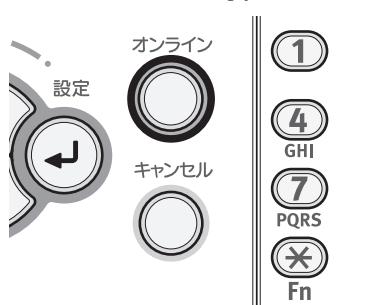
6 スクロールボタン▼を数回押して【オートパワーオフ】を選択し、＜設定＞ボタンを押します。



7 スクロールボタン▼または▲を数回押して【有効】を選択し、＜設定＞ボタンを押します。



8 <オンライン>ボタンを押します。

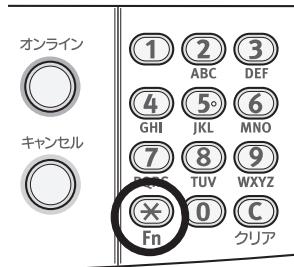


移行時間を設定する

注

- 節電モードに入っている場合は節電ボタンを押し、節電モードから復帰します。
- 「印刷できます」が表示されていることを確認して、表示されていない場合は＜オンライン＞ボタンを押します。

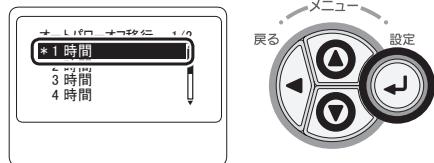
1 操作パネルの＜Fn＞キーを押します。



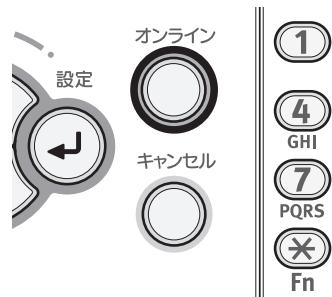
2 テンキーから 202 と入力し、＜設定＞ボタンを押します。



3 スクロールボタン▼または▲を使い、設定したい時間を選択し、＜設定＞ボタンを押します。



4 <オンライン> ボタンを押します。



メモ

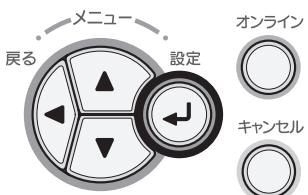
- 設定可能な時間は、下記のとおりです。工場出荷時の設定では、4時間になっています。

- 1 時間
- 2 時間
- 3 時間
- 4 時間
- 8 時間
- 12 時間
- 18 時間
- 24 時間

● ブザー音を設定する

操作パネルで無効な操作をした時や、エラーが発生した時に、ブザー音を鳴らす / 鳴らさないを設定できます。

- 1 操作パネルの <設定> ボタンを押します。

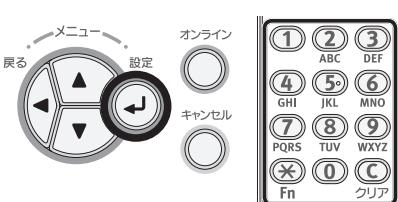


- 2 スクロールボタン▼を数回押して [管理者用メニュー] を選択し、<設定> ボタンを押します。

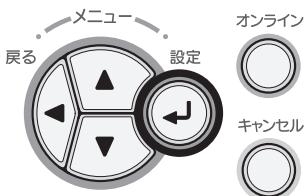


- 3 テンキーを使い、管理者パスワードを入力します。

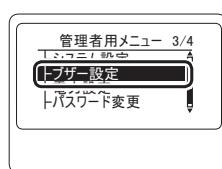
工場出荷時のパスワードは「aaaaaaa」です。1 文字入力するごとに <設定> ボタンを押します。



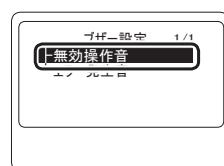
- 4 <設定> ボタンを押します。



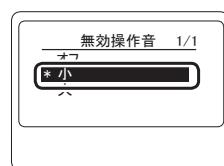
- 5 スクロールボタン▼を数回押して [ブザー設定] を選択し、<設定> ボタンを押します。



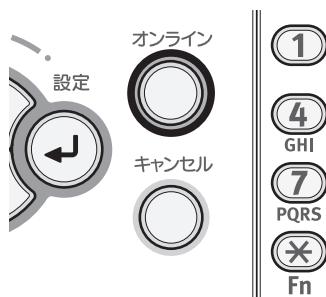
- 6 スクロールボタン▼を押して [無効操作音]、または [エラー発生音] を選択し、<設定> ボタンを押します。



- 7 スクロールボタン▼を押して設定したい値を選択し、<設定> ボタンを押します。



- 8 <オンライン> ボタンを押してメニューを終了します。



3. こまつたときには

この章では、本機の操作中に発生する問題の解決方法について説明します。

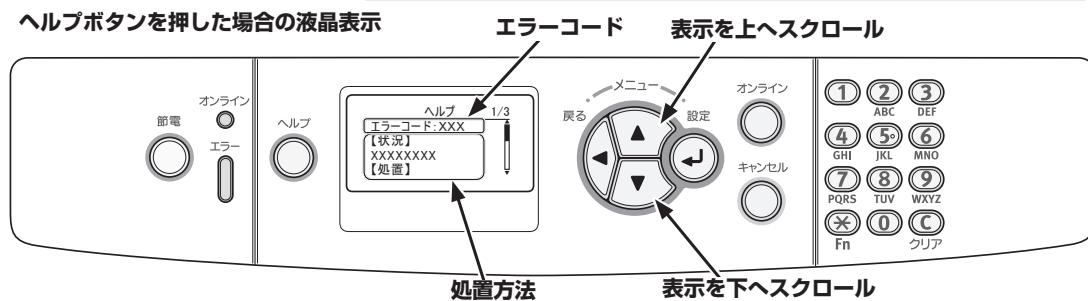
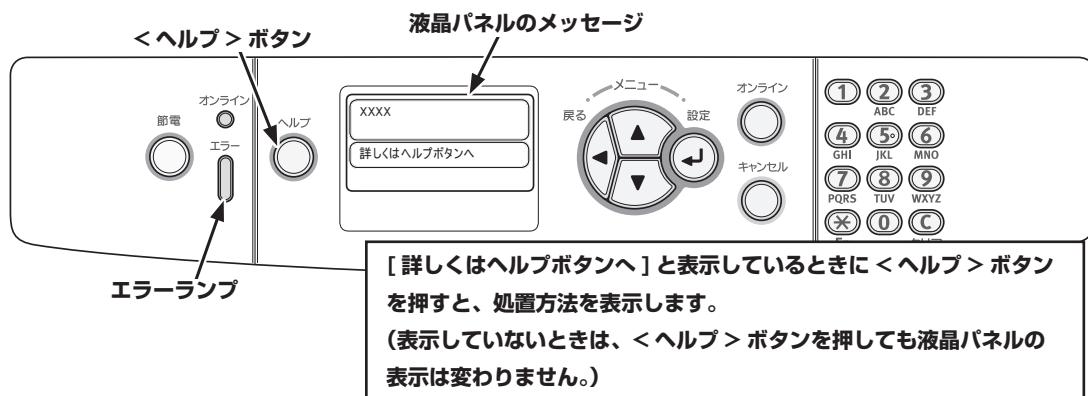
メモ

- エラーメッセージ中の記号の意味は以下のとおりです。
 - 「カラー名」: シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K) のいずれか
 - 「トレイ名」: トレイ 1、トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4、マルチパーパストレイのいずれか
 - 「カバー名」: フロントカバー、トップカバーのいずれか
 - 「コード」: 1 ~ 3 衡のエラーコード番号。エラー内容によって表示される数字が変わります。
 - 「用紙サイズ」: 用紙サイズ
 - 「用紙種類」: 用紙種類
- 表示されるメッセージに、「詳しくはヘルプボタンへ」が含まれている場合、操作パネルの <ヘルプ> ボタンを押すと、エラーコードとエラーの対応・処理の方法を確認できます。

● 液晶パネルにメッセージが出ているとき (エラーランプが点灯 / 点滅しているとき)

プリンターに問題が起こると、エラーランプが点灯または点滅し、液晶パネルにメッセージを表示します。液晶パネルのメッセージを確認し、該当するメッセージに対する処置を行ってください。

液晶パネルの下段に [詳しくはヘルプボタンへ] と表示している場合は、<ヘルプ> ボタンを押すと処置方法を表示します。



● 紙づまりになったとき / 用紙を取り除いてもメッセージが消えないとき

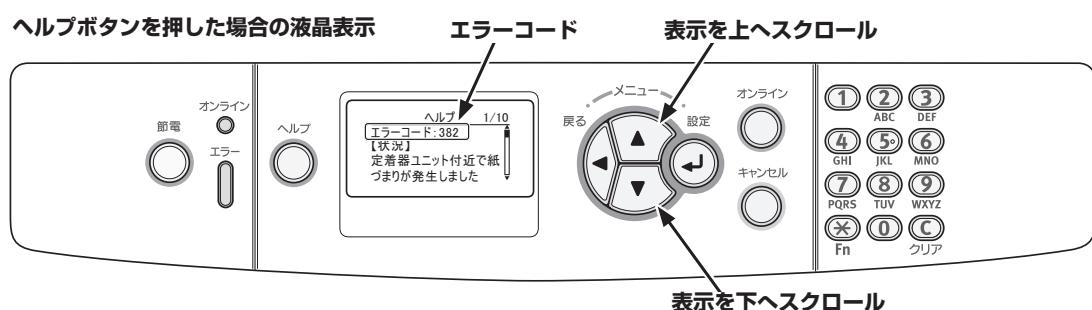
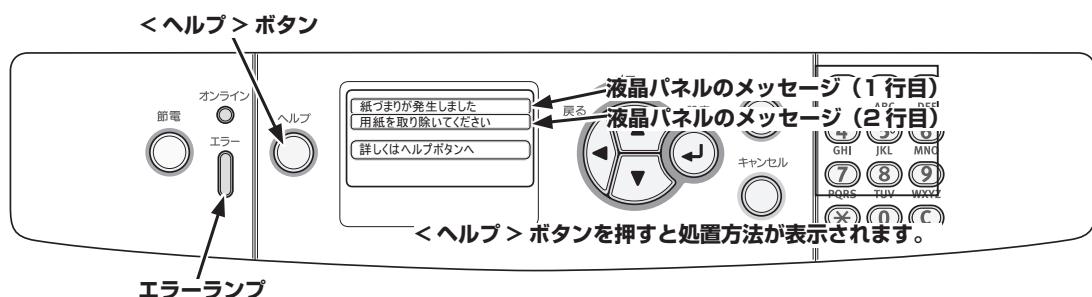
プリンター内部に用紙がつまっている場合、または用紙を取り除いてもプリンター内部に用紙が残っている場合、液晶パネルにメッセージが表示され、エラーランプが点滅します。

<ヘルプ>ボタンを押し、表示された処置方法に従って用紙を取り除きます。

または下表の参照ページをご覧になり、用紙を取り除きます。

3

3. つまつたときには



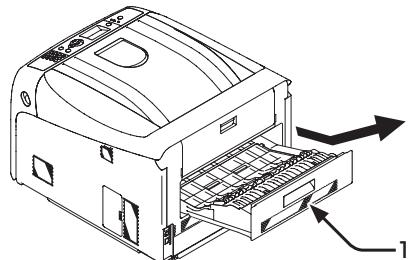
分類	液晶パネルのメッセージ		<ヘルプ>ボタンを押した後のメッセージ エラーコード	参照ページ
	1行目	2行目		
紙づまり	1行目	紙づまりが発生しました	391・392・393・394	84 ページ
	2行目	[トレイ名]を引き出して用紙を取り除いてください		
	1行目	紙づまりが発生しました	372	78 ページ
	2行目	フロントカバーを開けて用紙を取り除いてください		
	1行目	紙づまりが発生しました	380	79 ページ
	2行目	フロントカバーを開けて用紙を取り除いてください		
	1行目	紙づまりが発生しました	390	83 ページ
	2行目	フロントカバーを開けて用紙を取り除いてください		
	1行目	イメージドラムの下で紙づまりが発生しました	381	79 ページ
	2行目	用紙を取り除いてください		
定着器	1行目	定着器ユニット付近で紙づまりが発生しました	382・383	81 ページ
	2行目	用紙を取り除いてください		
両面印刷	1行目	両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しました	370・371・373	77 ページ
	2行目	用紙を取り除いてください		
給紙	1行目	用紙が重なって給紙されました	401	79 ページ
	2行目	[トレイ名]の用紙をセットし直してください		

分類	液晶パネルのメッセージ		<ヘルプ>ボタンを押した後のメッセージ エラーコード	参照ページ
	1行目	2行目		
メッセージが消えない	1行目 紙給紙途中の用紙が残っています 2行目 [トレイ名]を引き出して用紙を取り除いてください		631・632・633・ 634	84 ページ
	1行目 紙給紙途中の用紙が残っています 2行目 フロントカバーを開けて用紙を取り除いてください		637	79 ページ 83 ページ
	1行目 イメージドラムの下に用紙が残っています 2行目 用紙を取り除いてください		638	79 ページ
	1行目 定着器ユニット付近に用紙が残っています 2行目 用紙を取り除いてください		639・640	81 ページ
	1行目 両面印刷ユニット付近に用紙が残っています 2行目 用紙を取り除いてください		641・642	77 ページ

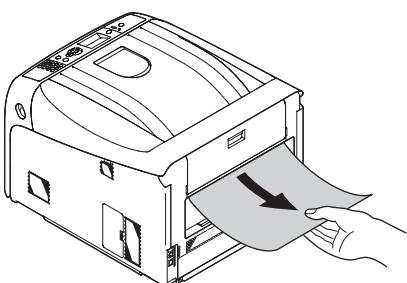
エラーコード 370、371、373、641、642

両面印刷ユニット付近で紙づまりが発生しています。

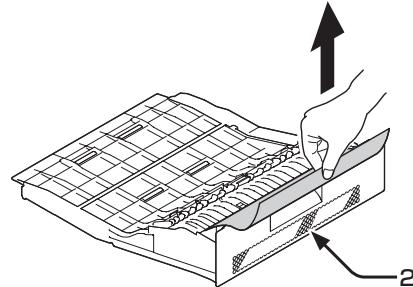
- 1 プリンター背面の中央のくぼみを持ち、両面印刷ユニット（1）を斜め上に引き出し、プリンターから取り外します。



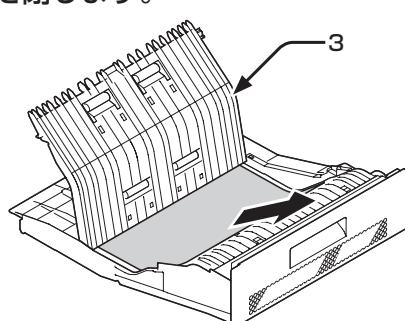
- 2 装置内部に用紙が残っていないかを確認し、残っていれば取り除きます。



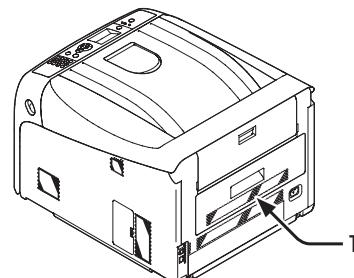
- 3 両面印刷ユニットに用紙が残っているかどうか確認し、つまっている用紙が見えたら、ゆっくり引き抜きます。
両面印刷ユニットの（2）部分も確認し、つまっている用紙が見えたら、ゆっくり取り除きます。



- 4 両面印刷ユニットの上部のカバー（3）を開け、用紙が残っていないか確認します。用紙が残っていたら用紙をゆっくり引き抜き、上部のカバーを閉じます。



- 5 両面印刷ユニット（1）を本体に戻します。

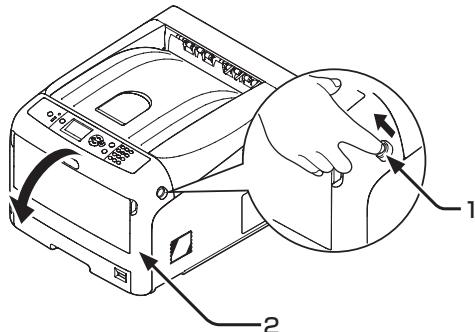


これで完了です。

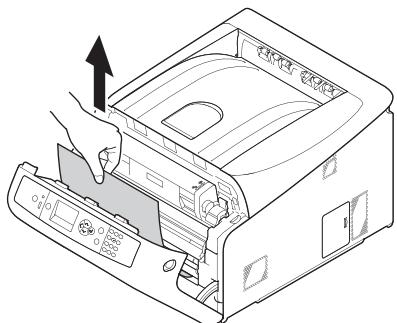
エラーコード 372

フロントカバー付近で紙づまりが発生しています。

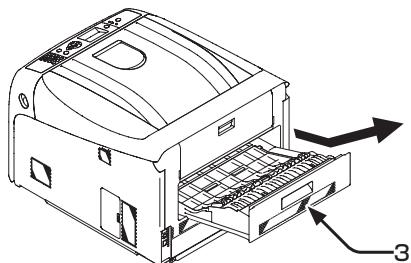
- 1 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー (1) を引き、フロントカバー (2) を手前に開きます。



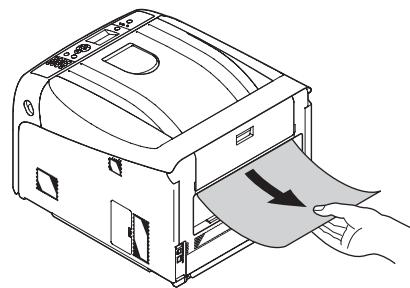
- 2 つまっている用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙を矢印の方向へゆっくり引き出します。その後、8 へ進みます。つまつた用紙が見えない場合は、3 へ進みます。



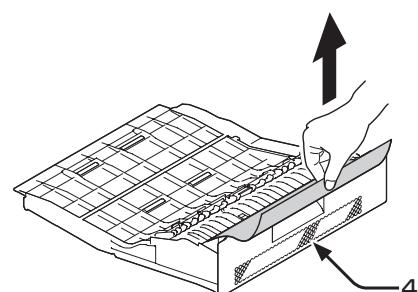
- 3 プリンター背面の中央のくぼみを持ち、両面印刷ユニット (3) を斜め上に引き出し、プリンターから取り外します。



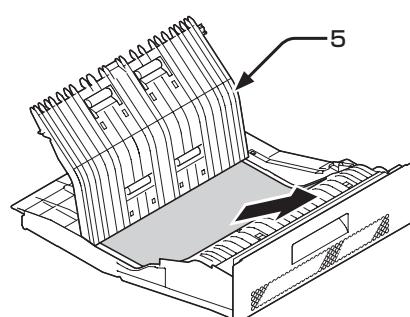
- 4 装置内部に用紙が残っていないかを確認し、残っていれば取り除きます。



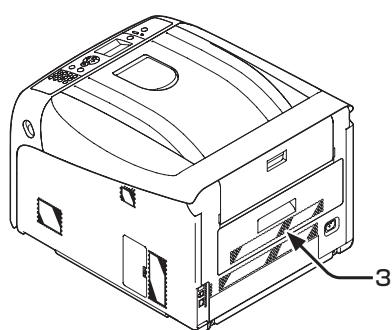
- 5 両面印刷ユニットに用紙が残っているかどうか確認し、つまっている用紙が見えたらゆっくり引き抜きます。両面印刷ユニットの (4) 部分も確認し、つまっている用紙が見えたら、ゆっくり取り除きます。



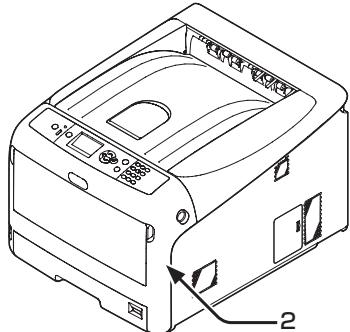
- 6 両面印刷ユニットの上部のカバー (5) を開け、用紙が残っていないか確認します。用紙が残っていたら用紙を取り除き、上部のカバーを閉じます。



- 7 両面印刷ユニット (3) を本体に戻します。



8 フロントカバー (2) を閉じます。

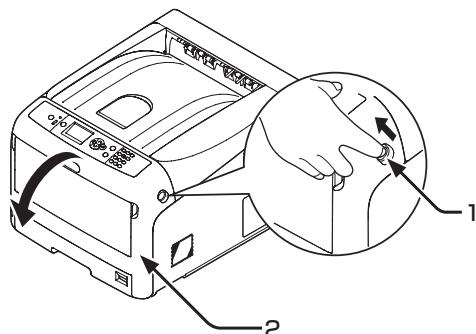


エラーコード 380、401、637

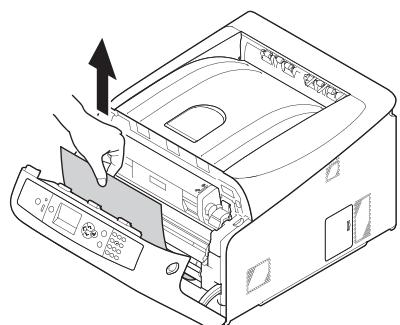
フロントカバー付近で紙づまりが発生しています。

コード 401 の場合、用紙が自動的に排出されることがあります。この場合はフロントカバーを開閉するとエラーは解除されます。

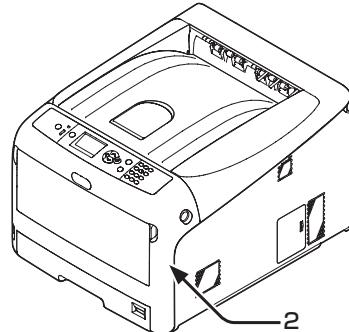
- 1 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー (1) を引き、フロントカバー (2) を手前に開きます。



- 2 用紙の先端が見えている場合は、つまっている用紙を矢印の方向へゆっくり引き抜きます。



3 フロントカバー (2) を閉じます。

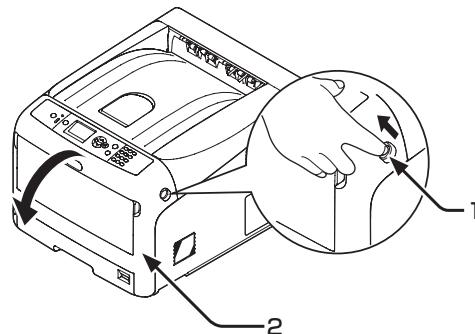


これで完了です。

エラーコード 381、638

イメージドラム（ドラムカートリッジ）の下で紙づまりが発生しています。

- 1 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー (1) を引き、フロントカバー (2) を手前に開きます。



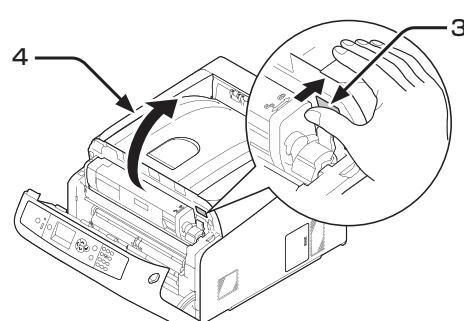
- 2 トップカバーオープンボタン (3) を押し、トップカバー (4) を開けます。



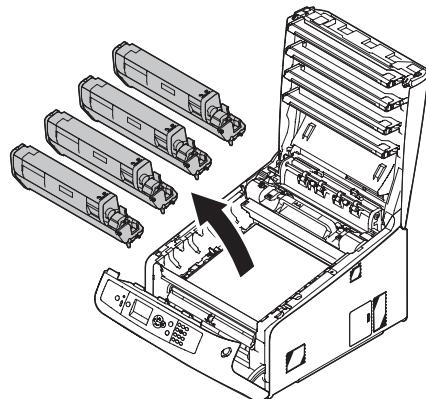
やけどのおそれがあります。



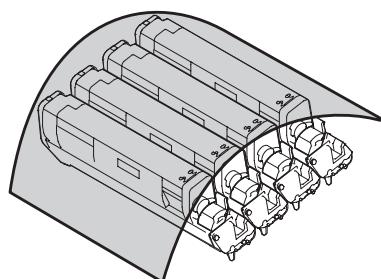
- 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。



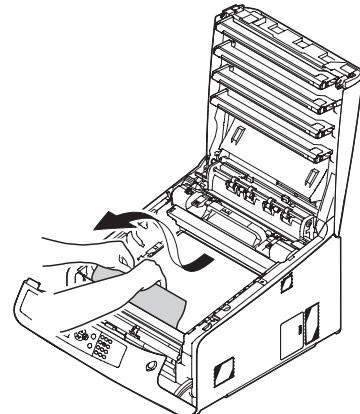
- 3 イメージドラム（ドラムカートリッジ）各色（4本）をすべて取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。



- 4 取り出したイメージドラム（ドラムカートリッジ）に光が当たらないように紙をかぶせます。

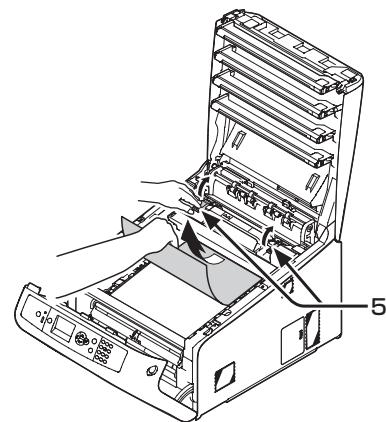


- 5 用紙の先端が見えている場合は、つまった用紙を装置の内側（矢印の方向）へゆっくり引き出します。

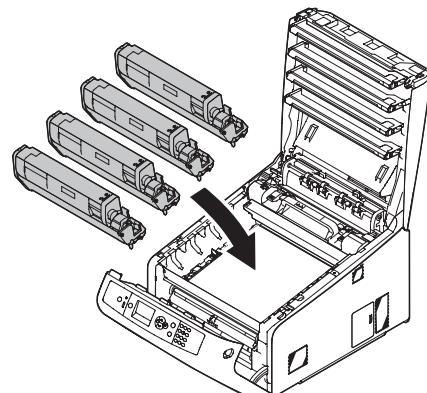


用紙の先端が見えない場合は、定着器ユニットの紙づまり解除レバー（5）を起こし、ゆっくり用紙を定着器から引き出します。

そのときに用紙の後端がまだ装置内にはさまっている場合は、用紙を装置の内側へ引き出します。



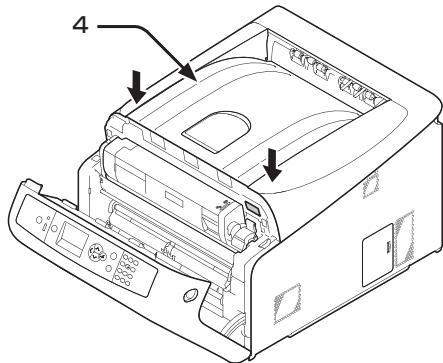
- 6 イメージドラム（ドラムカートリッジ）各色（4本）を静かに本体に戻します。



7 トップカバー (4) を閉じ、両端を上からしっかりと押します。

△メモ

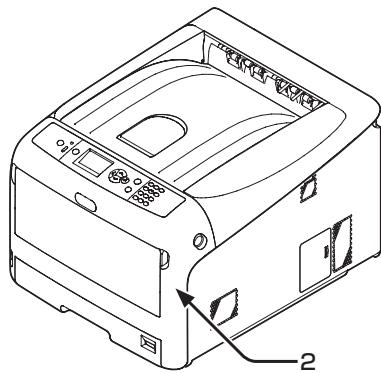
- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



8 フロントカバー (2) を閉じます。

! 注意

- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを閉じられません。

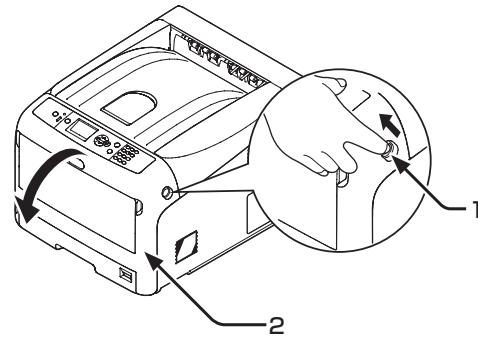


これで完了です。

エラーコード 382、383、639、640

定着器ユニット付近で紙づまりが発生しています。

- 1** プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー (1) を引き、フロントカバー (2) を手前に開けます。



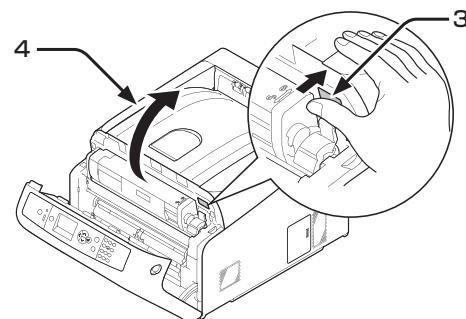
- 2** トップカバーオープンボタン (3) を押し、トップカバー (4) を開けます。

△注意

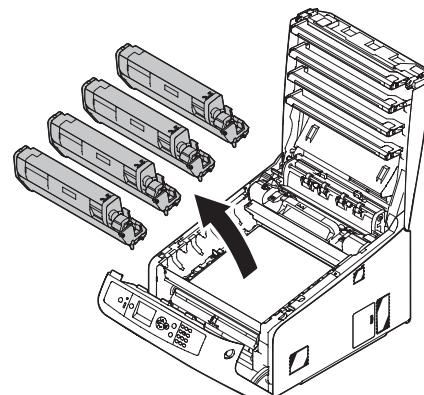
やけどのおそれがあります。



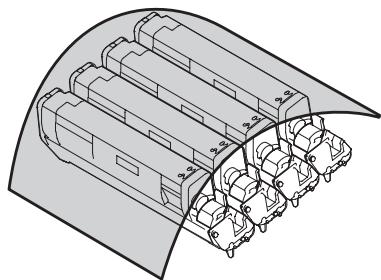
- 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。



- 3** イメージドラム(ドラムカートリッジ)各色(4本)をすべて取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。



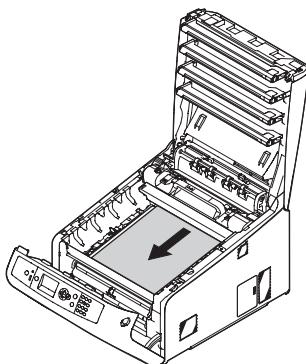
- 4 取り出したイメージドラム（ドラムカートリッジ）に光が当たらないように紙をかぶせます。



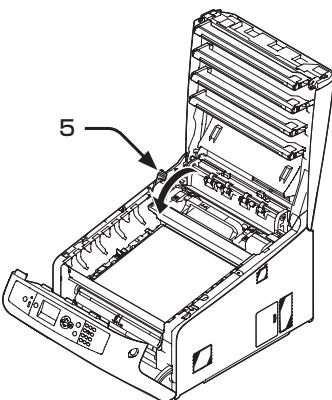
3

3. こぼったときは

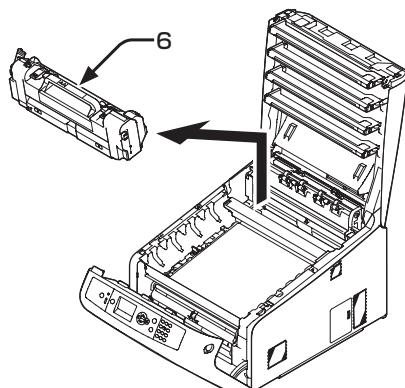
- 5 装置内に残っている用紙を取り除きます。



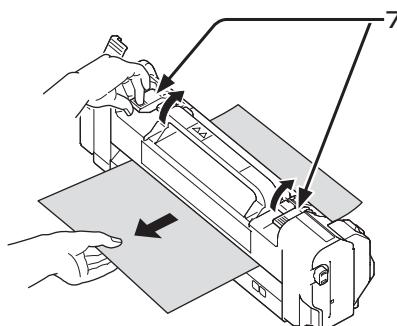
- 6 定着器ユニット左のロックレバー（5）を手前側に起こします。



- 7 定着器ユニット（6）のハンドルを持ち、取り出します。



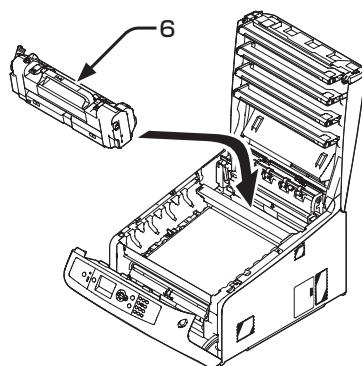
- 8 定着器ユニットの紙づまり解除レバー（7）を引き上げ、つまった用紙を必ず手前方向へゆっくり引き出します。



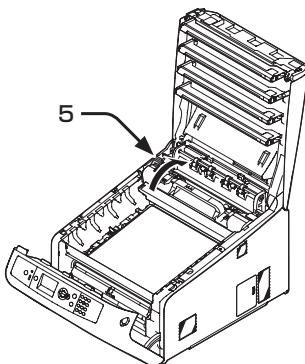
! 注

- 定着器ユニット付近の紙詰まりが何度も発生する場合、定着器ユニットの中に折りたたまれた用紙が残していることがあります。定着器ユニットの入口と出口の両方から残留した用紙が残っていないか確認してください。

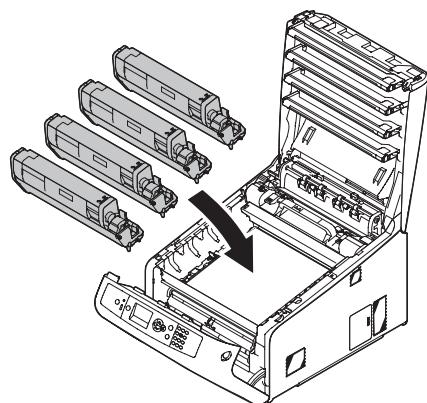
- 9 定着器ユニット（6）のハンドルを持ち、プリンターにセットします。



- 10 定着器ユニット左のロックレバー（5）を奥側に倒します。



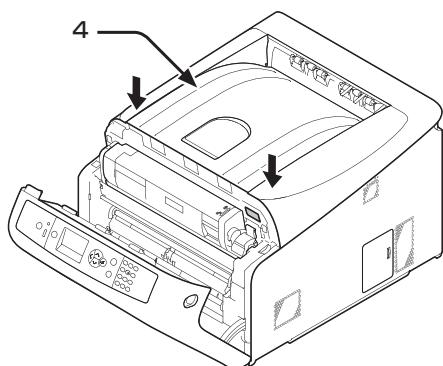
- 11 イメージドラム（ドラムカートリッジ）4本を静かにプリンターに戻します。



- 12 トップカバー（4）を閉じ、両端を上からしっかりと押します。

（メモ）

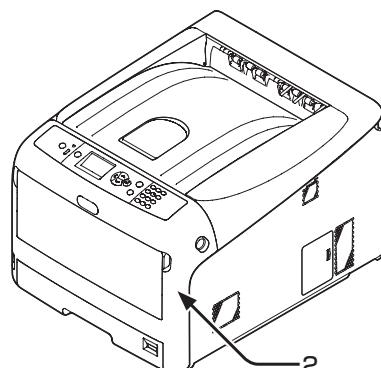
- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



- 13 フロントカバー（2）を閉じます。

（！注）

- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを閉じられません。

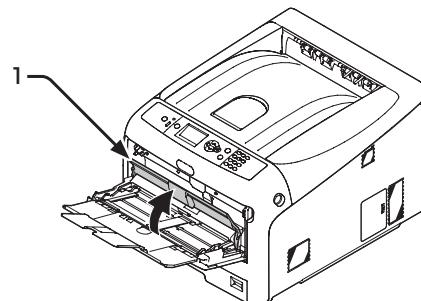


これで完了です。

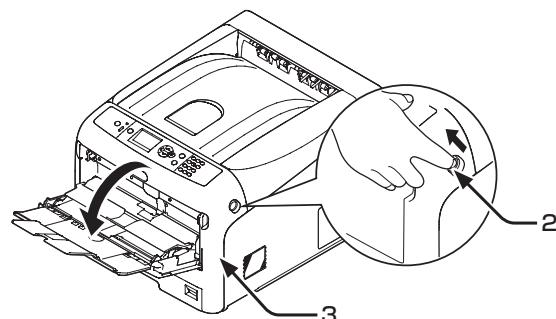
エラーコード 390、637

トレイから用紙を給紙中に紙づまりが発生しました。

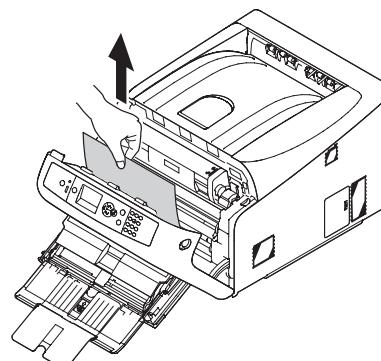
- 1 マルチパーパストレイに用紙がある場合は、用紙セットカバー（1）を上げ、一旦取り出します。



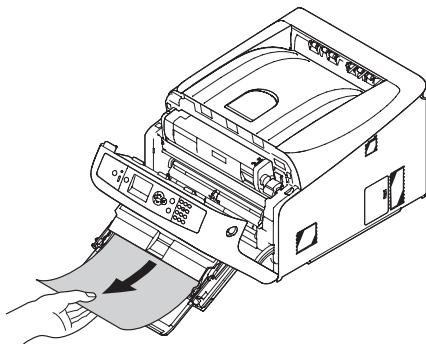
- 2 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー（2）を引き、フロントカバー（3）を手前に開きます。



- 3 つまっている用紙の先端を持ってゆっくり引き出します。

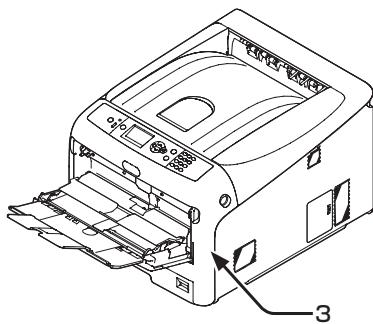


用紙先端が見えない場合は、用紙後端からゆっくり引き出します。

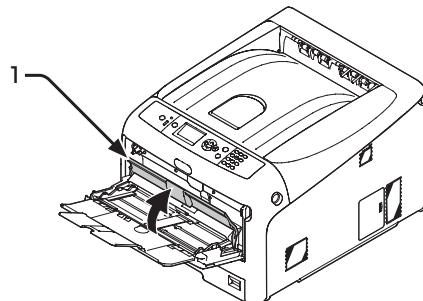


3

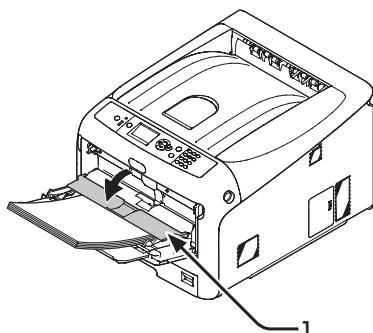
4 フロントカバー（3）を閉じます。



5 マルチパーパストレイに用紙をセットする場合は、用紙セットカバー（1）を上げ、印刷面を上にしてセットします。



6 用紙セットカバー（1）を下ろします。



これで完了です。

エラーコード 391、392、393、394、631、632、633、634

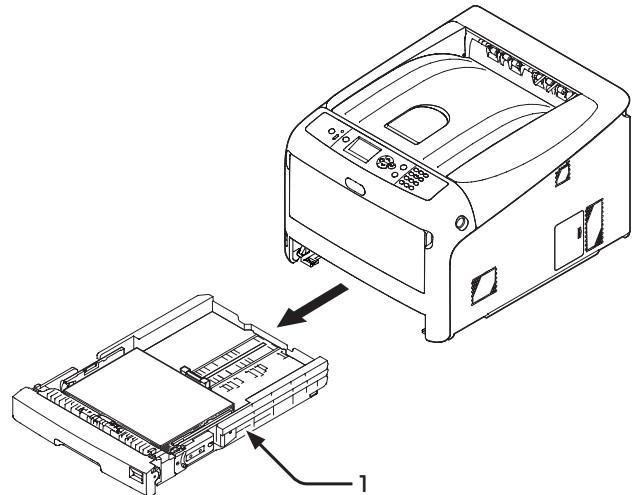
トレイから用紙を給紙中に紙づまりが発生しました。

！注

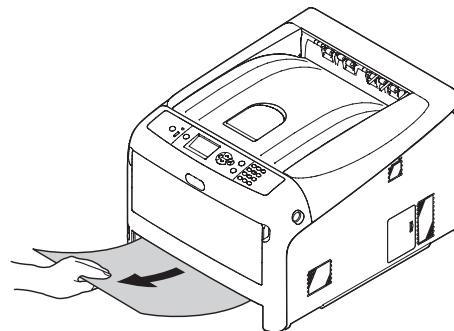
紙づまりが頻繁に起こる場合は、給紙ローラーを清掃してください。詳しくは、「プリンターのお手入れ」(P.129) を参照してください。

ここではトレイ 1 の場合を例にしています。

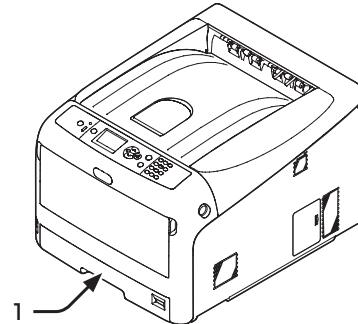
1 エラー表示されているトレイの用紙カセット（1）をプリンターからゆっくり引き出します。



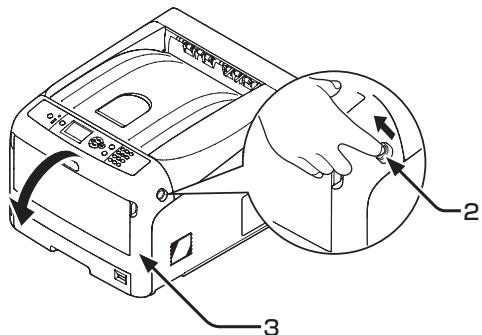
2 つまっている用紙を取り除きます。



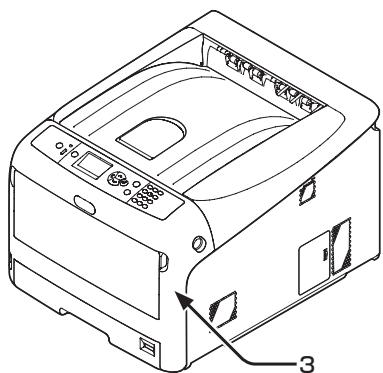
3 用紙カセット（1）をプリンターに戻します。



- 4 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー（2）を引き、フロントカバー（3）を手前に開きます。



- 5 フロントカバー（3）を閉じます。



これで完了です。

メモ

- つまった用紙を取り除いたあとにフロントカバーを開閉しないと、エラーの表示は消えません。

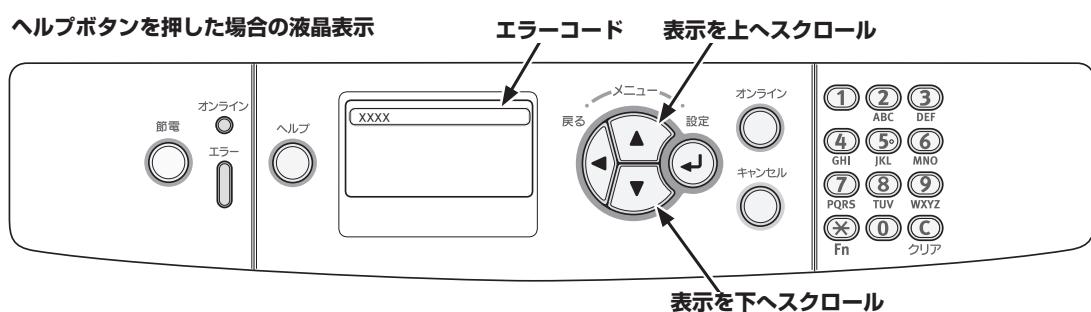
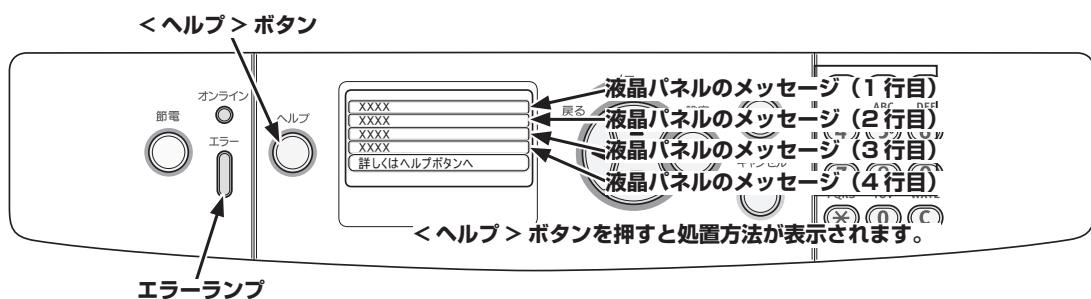
● 「・・・の交換時期が近づいています」、「・・・がなくなりました / 交換してください」と表示しているとき

消耗品、メンテナンス品の交換時期が近づいたり、交換が必要な場合は、液晶パネルに「・・・の交換時期が近づいています」、「・・・がなくなりました / 交換してください」というメッセージが表示されます。[・・・近づいています] の場合はエラーランプが点灯、「・・・交換してください」の場合はエラーランプが点滅します。

液晶パネルのメッセージを確認して、処置を行います。

3

3. ごめったときには





- 「XXX」はプリンタの状態によって異なったメッセージが表示されます。

分類	液晶パネルのメッセージ		<ヘルプ> ボタンを 押した後の メッセージ	参照ページ
	1行目	2行目		
トナーカートリッジ	1行目	×××	—	新しいトナーカートリッジを準備し、「・・・がなくなりました / 交換してください」というメッセージが表示されてから交換してください。
	2行目	[カラー名] トナーの交換時期が近づいています		
	1行目	×××		108 ページ
	2行目	[カラー名] トナーがなくなりました		108 ページ
	1行目	×××		108 ページ
	2行目	[カラー名] トナーカートリッジを交換してください		
イメージドラム（ドラムカートリッジ）	1行目	トナーがなくなりました	410・411・ 412	111 ページ
	2行目	新しいトナーカートリッジに交換してください		
	3行目	[カラー名]		109 ページ (ブラック)
	1行目	トナーがなくなりました	410・411・ 412	108 ページ
	2行目	[カラー名]		ブラック (K) トナーに残量がある場合は、プリンタードライバーで「モノクロ」を指定すれば、モノクロ印刷することができます。
	3行目	新しいトナーカートリッジに交換するか <オンライン> ボタンを押してください		ただし、イメージドラム（ドラムカートリッジ）を傷つける原因となりますので、すみやかに新しいトナーカートリッジに交換してください。
	1行目	×××	—	新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）を準備し、「・・・を交換してください」というメッセージが表示されてから交換してください。
	2行目	[カラー名] イメージドラムの交換時期が近づいています		
	1行目	×××		113 ページ
	2行目	[カラー名] イメージドラムを交換してください	—	
	1行目	×××	—	113 ページ
	2行目	[カラー名] イメージドラムを交換してください。 残り nnn ページで印刷を停止します		nnn は印刷動作の可能ページ数が表示されます。イメージドラム（ドラムカートリッジ）は寿命ですので印刷結果は保証できません。ページ数が残っていても印刷品質が低下することがあります。
	1行目	イメージドラムが寿命です		
	2行目	新しいイメージドラムに交換してください	350・351・ 352・353	113 ページ
	3行目	[カラー名]		フロントカバーを開閉するとトナーが残っている場合は印刷を続けることはできますが、印刷品質が低下することがありますので、早めに交換してください。

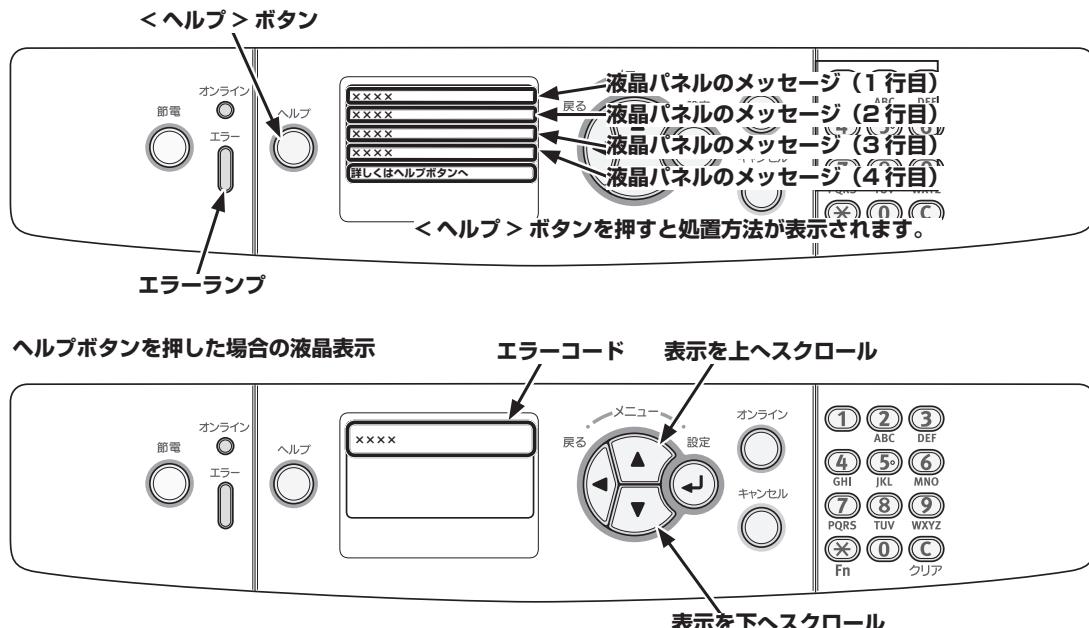
分類	液晶パネルのメッセージ		<ヘルプ> ボタンを 押した後の メッセージ	参照ページ
		エラーコード		
イメージドラム（ドラムカートリッジ）	1 行目	イメージドラムが寿命です	560・561・ 562・563	113 ページ
	2 行目	新しいイメージドラムに交換してください		
	3 行目	[カラー名]		
	1 行目	イメージドラムが寿命です	564・565・ 566・567	113 ページ <オンライン>ボタンを押 すと印刷を継続しますが、 印刷結果は保証できません。 お早めに交換してください。
	2 行目	新しいイメージドラムに交換してください		
	3 行目	[カラー名]		
	4 行目	寿命を超えて印刷する場合は <オンライン> ボタ ンを押してください		
定着器ユニット	1 行目	×××	680・681・ 682・683	113 ページ
	2 行目	定着器ユニットの交換時期が近づいています		
	1 行目	×××	—	122 ページ 新しい定着器ユニットを準 備し、「・・・を交換してく ださい」というメッセージ が表示されてから交換して ください。
	2 行目	定着器ユニットを交換してください		
	1 行目	定着器ユニットが寿命です	354	122 ページ フロントカバーを開閉する としばらくは印刷を続ける ことはできますが、プリン ターの故障や紙づまりの原 因となりますので、早めに 交換してください。
	2 行目	新しい定着器ユニットに交換してください		
ベルトユニット	1 行目	×××	—	119 ページ 新しいベルトユニットを準 備し、「・・・を交換してく ださい」というメッセージ が表示されてから交換して ください。
	2 行目	ベルトユニットの交換時期が近づいています		
	1 行目	×××	—	119 ページ
	2 行目	ベルトユニットを交換してください		
	1 行目	ベルトユニットが寿命です	355	119 ページ フロントカバーを開閉する としばらくは印刷を続ける ことはできますが、プリン ターの故障の原因となります ので、早めに交換してく ださい。
	2 行目	新しいベルトユニットに交換してください		

● 「・・・用紙をかえてください」、「・・・用紙サイズが違います」、「用紙サイズエラーが発生しました」と表示しているとき

プリンターのトレイにセットした用紙種類 / サイズと、プリンタードライバーの指定が異なっている場合「・・・用紙をかえてください」、「・・・用紙サイズが違います」、「用紙サイズエラーが発生しました」というメッセージが表示され、エラーランプが点滅します。

液晶パネルのメッセージを確認して、処置を行います。

用紙サイズと設定を確認してください。詳しくは、「トレイから印刷する」(P.57)、「マルチパーストレイから印刷する」(P.59)をご覧ください。



分類	液晶パネルのメッセージ	<ヘルプ>ボタンを押した後のメッセージ	参照ページ
		エラーコード	
用紙をかえてください	1 行目 [トレイ名] の用紙種類をかえてください 2 行目 [用紙サイズ] 3 行目 [用紙種類] 4 行目 が入っていることを確認して、<オンライン>ボタンを押してください	661・662・663・664	57 ページ
	1 行目 マルチパーストレイの用紙種類をかえてください 2 行目 [用紙サイズ] 3 行目 [用紙種類] 4 行目 が入っていることを確認して、<オンライン>ボタンを押してください	660	
用紙サイズが違います	1 行目 印刷データと [トレイ名] の用紙サイズが違います 2 行目 [用紙サイズ] 3 行目 [用紙種類] 4 行目 印刷を続ける場合は <オンライン> ボタンを押してください	461・462・463・464	57 ページ
	1 行目 印刷データとマルチパーストレイの用紙サイズが違います 2 行目 [用紙サイズ] 3 行目 [用紙種類] 4 行目 が入っていることを確認して、<オンライン> ボタンを押してください	460	
用紙サイズエラー	1 行目 用紙サイズエラーが発生しました 2 行目 [トレイ名] の用紙をセットし直してください	400	57 ページ、59 ページ

● その他のエラーメッセージ

この節では、操作パネルの液晶パネルに表示されるエラーメッセージの原因と処置のしかた、および<エラー>ランプの機能について説明します。

エラーメッセージ (50 音順)

* エラーコードを表示するには、操作パネルの<ヘルプ>ボタンを押してください。

3

3. ごめんなさいに

インデックス	液晶パネルのメッセージ	エラー コード*	<エラー> ランプ	原因 / 対処方法
ア行	イエロートナーカートリッジが装着されていません	—	点灯	表示している色のトナーカートリッジが、プリンターに正しく装着されていません。トナーカートリッジをセットし直してください。
	イエロートナーセンサーに異常が発生しています	—	点灯	表示している色のトナーセンサーに異常が発生、またはイメージドラム（ドラムカートリッジ）がプリンターに正しく装着されていません。表示している色のトナーカートリッジ、またはイメージドラム（ドラムカートリッジ）をセットし直してください。
	イメージドラムが装着されていません [カラー名] 詳しくはヘルプボタンへ	694 695 696 697	点滅	表示している色のイメージドラム（ドラムカートリッジ）が、プリンターに正しく装着されていません。イメージドラム（ドラムカートリッジ）をセットし直してください。 694 : イエロー (Y) 695 : マゼンタ (M) 696 : シアン (C) 697 : ブラック (K)
	イメージドラムが正しく装着されていません イメージドラムをセットし直してください [カラー名] 詳しくはヘルプボタンへ	340 341 342 343	点滅	表示している色のイメージドラム（ドラムカートリッジ）が、プリンターに正しく装着されていません。イメージドラム（ドラムカートリッジ）をセットし直してください。 340 : イエロー (Y) 341 : マゼンタ (M) 342 : シアン (C) 343 : ブラック (K)
	印刷データが大きいため、メモリーが足りません この表示を消すにはオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプボタンへ	420	点滅	メモリー不足が発生しました。 プリンタードライバーの印刷品位を下げて印刷してください。解決しない場合は、印刷データのサイズを減らしてください。 再度、同じエラーが表示される場合は、「お問い合わせ窓口」(P.150) に連絡してください。
カ行	カバーが開いています [カバーネーム] 詳しくはヘルプボタンへ	310 311	点滅	トップカバーまたはフロントカバーが開いています。 トップカバーまたはフロントカバーを閉じてください。
サ行	シアントナーカートリッジが装着されていません	—	点灯	表示している色のトナーカートリッジが、プリンターに正しく装着されていません。トナーカートリッジをセットし直してください。
	シアントナーセンサーに異常が発生しています	—	点灯	表示している色のトナーセンサーに異常が発生、またはイメージドラム（ドラムカートリッジ）がプリンターに正しく装着されていません。表示している色のトナーカートリッジ、またはイメージドラム（ドラムカートリッジ）をセットし直してください。
	しばらくお待ちください 再起動しています [コード]	n *	点灯	プリンター内部でエラーが発生しました。プリンターを再起動します。 * 1 行のエラーコードです。エラー内容によって表示される数字が変わります。

インデックス	液晶パネルのメッセージ	エラー コード*	<エラー> ランプ	原因 / 対処方法
夕行	定着器ユニットが正しく装着されていません 定着器ユニットをセットし直してください 詳しくはヘルプボタンへ	320 348	点滅	定着器ユニットがプリンターに正しく装着されていません。 定着器ユニットをセットし直してください。
	手差し印刷を行ないます [用紙サイズ] をマルチバーパストレイにセットして、オンラインボタンを押してください	—	消灯	マルチバーパストレイに表示されているサイズの用紙をセットして、オンラインボタンを押してください。
	トナーカートリッジが装着されていません [カラー名] 詳しくはヘルプボタンへ	610 611 612 613	点滅	表示している色のトナーカートリッジが、プリンターに正しく装着されていません。 トナーカートリッジをセットし直してください。 610: イエロー (Y) 611: マゼンタ (M) 612: シアン (C) 613: ブラック (K)
	トナーカートリッジの青いレバーの位置が正しくありません 正しい位置にセットしてください [カラー名] 詳しくはヘルプボタンへ	544 545 546 547	点滅	表示している色のトナーカートリッジが、正しくロックされていません。 トナーカートリッジ右側の青いレバーを奥側に止まるまで回してください。 544: イエロー (Y) 545: マゼンタ (M) 546: シアン (C) 547: ブラック (K)
	トナーセンサーホーが発生しました トナーカートリッジの青いレバーの位置を確認してください [カラー名] 詳しくはヘルプボタンへ	540 541 542 543	点滅	表示している色のトナーセンサーに異常が発生、またはイメージドラム（ドラムカートリッジ）がプリンターに正しく装着されていません。 表示している色のトナーカートリッジ、またはイメージドラム（ドラムカートリッジ）をセットし直してください。 540: イエロー (Y) 541: マゼンタ (M) 542: シアン (C) 543: ブラック (K)
	[トレイ名] に用紙がありません	—	点灯	表示しているトレイの用紙がなくなりました。 トレイに用紙をセットしてください。
	[トレイ名] のカセットが入っていません 一旦引き出して、入れ直してください 詳しくはヘルプボタンへ	430 431 432 433 440 441 442	点滅	表示しているトレイに用紙カセットが入っていません。 表示しているトレイに用紙カセットをセットしてください。 プリンターにカセットが入っている場合は、いったんカセットを引き出してから正しくセットし直してください。 430, 440: トレイ 1 431, 441: トレイ 2 432, 442: トレイ 3 433: トレイ 4
	[トレイ名] の用紙がありません [用紙サイズ] をセットしてください 詳しくはヘルプボタンへ	491 492 493 494	点滅	表示しているトレイの用紙がなくなりました。 表示しているサイズの用紙をセットしてください。 491: トレイ 1 492: トレイ 2 493: トレイ 3 494: トレイ 4

インデックス	液晶パネルのメッセージ	エラー コード*	<エラー> ランプ	原因 / 対処方法
ハ行	廃棄トナーがいっぱいになりました 新しいベルトユニットに交換してください 詳しくはヘルプボタンへ	356	点滅	ベルトユニットが寿命になりました。 新しいベルトユニットと交換してください。 「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。
	廃棄トナーがいっぱいになりました 新しいトナーカートリッジに交換してください [カラー名] 詳しくはヘルプボタンへ	415 416	点滅	廃棄トナーがいっぱいです。表示している色の新しいトナーカートリッジに交換してください。 415:マゼンタ(M) 416:シアン(C)
	廃棄トナーがいっぱいになりました。 [カラー名]トナーカートリッジを交換してください	—	点灯	廃棄トナーがいっぱいです。表示している色の新しいトナーカートリッジに交換してください。
	ファイルシステム アクセスエラー [コード] この表示を消すにはオンラインボタンを押してください	—	点灯	プリンターのファイルシステムでエラーが発生しました。 再度、同じエラーが表示される場合は、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。
	ファイルシステムがいっぱいです	—	点灯	ファイルシステムの空き容量がなくなりました。
	ファイルシステムへの書き込みは禁止されています	—	点灯	書き込みが禁止されているファイルシステムに書き込もうとしました。
	部単位印刷エラーです この表示を消すにはオンラインボタンを押してください	—	不定	部単位印刷中にエラーが発生しました。プリンタードライバーの印刷品位を下げて印刷してください。再度、同じエラーが表示される場合は、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。
	ブラックトナーカートリッジが装着されていません	—	点灯	表示している色のトナーカートリッジが、プリンターに正しく装着されていません。トナーカートリッジをセットし直してください。
	ブラックトナーセンサーに異常が発生しています	—	点灯	表示している色のトナーセンサーに異常が発生、またはイメージドラム(ドラムカートリッジ)がプリンターに正しく装着されていません。表示している色のトナーカートリッジ、またはイメージドラム(ドラムカートリッジ)をセットし直してください。
	プリンター内で結露が発生しました 電源を切り、しばらく経ってから電源を入れてください 同じエラーが表示される場合は、お客様相談センターに連絡してください	—	点滅	プリンターの内部で結露が発生しました。プリンターの電源を切り、しばらく経ってから再度電源を入れてください。再起動しても同じエラーが表示される場合は、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。
マ行	ベルトユニットが正しく装着されていません ベルトユニットをセットし直してください 詳しくはヘルプボタンへ	330	点滅	ベルトユニットが正しくセットされていません。 正しくセットしてください。
	マゼンタトナーカートリッジが装着されていません	—	点灯	表示している色のトナーカートリッジが、プリンターに正しく装着されていません。トナーカートリッジをセットし直してください。
	マゼンタトナーセンサーに異常が発生しています	—	点灯	表示している色のトナーセンサーに異常が発生、またはイメージドラム(ドラムカートリッジ)がプリンターに正しく装着されていません。表示している色のトナーカートリッジ、またはイメージドラム(ドラムカートリッジ)をセットし直してください。

インデックス	液晶パネルのメッセージ	エラー コード*	<エラー> ランプ	原因 / 対処方法
マ行	マルチパーカストレイの用紙がありません [用紙サイズ] をセットしてオンラインボタンを押してください 詳しくはヘルプボタンへ	490	点滅	マルチパーカストレイの用紙がなくなりました。 表示しているサイズの用紙をセットしてください。
ラ行	両面印刷ユニットが正しくセットされていません 一旦引き出して、入れ直してください 詳しくはヘルプボタンへ	360	点滅	両面印刷ユニットがプリンターに正しくセットされていません。プリンターに両面印刷ユニットを正しくセットしてください。両面印刷ユニットがプリンターに入っている場合は、いったん両面印刷ユニットを引き出してから正しくセットし直してください。
数字 / アルファ ベット	166: エラー 03 が発生しました プリンターを再起動してください 同じエラーが表示される場合は、お客様相談センターに連絡してください	166 エラー 03	点滅	プリンターの内部が高温になっています。 プリンターの通気口を塞ぐ物がある場合は取り除き、プリンターを再起動してください。 同じエラーが表示される場合は、「 お問い合わせ窓口 (P.150)」に連絡してください。
	166: エラー 04 が発生しました プリンターを再起動してください 同じエラーが表示される場合は、お客様相談センターに連絡してください	166 エラー 04	点滅	プリンター内部が低温になっています。 室温を上げた後、プリンターを再起動してください。 同じエラーが表示される場合は、「 お問い合わせ窓口 (P.150)」に連絡してください。
	168: エラー 02 が発生しました プリンターを再起動してください 同じエラーが表示される場合は、お客様相談センターに連絡してください	168 エラー 02	点滅	定着器ユニットが低温になっています。 室温を上げた後にプリンターを再起動してください。 同じエラーが表示される場合は、「 お問い合わせ窓口 (P.150)」に連絡してください。
	904: エラーが発生しました プリンターを再起動してください 同じエラーが表示される場合は、お客様相談センターに連絡してください	904	点滅	ベルトユニットが低温になっています。 室温を上げた後、プリンターを再起動してください。 同じエラーが表示される場合は、「 お問い合わせ窓口 (P.150)」に連絡してください。
	[コード]: エラーが発生しました プリンターを再起動してください 同じエラーが表示される場合は、お客様相談センターに連絡してください	nnn *	点滅	プリンター内部でエラーが発生しました。 プリンターの電源を切り、再度電源を入れてください。 再起動しても同じエラーが表示された場合は、「 お問い合わせ窓口 (P.150)」に連絡してください。 * 3 行のエラーコードです。エラー内容によって表示される数字が変わります。
	Power Off/On nnn:Error PC:nnnnnnnn LR:nnnnnnnn FR:nnnnnnnn	nnn *	点滅	プリンターで重大なエラーが発生しました。 表示されている英数字をメモに控えて、「 お問い合わせ窓口 (P.150)」に連絡してください。 * 3 行のエラーコードです。エラー内容によって表示される数字が変わります。

● マルチパーカストレイから印刷ができないとき

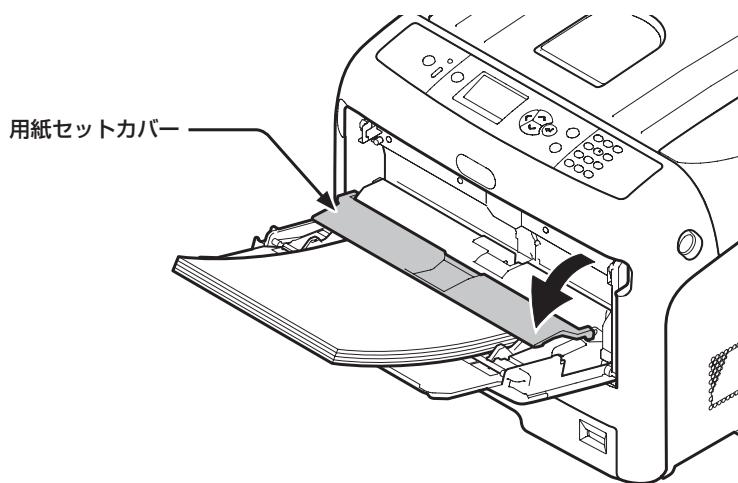
マルチパーカストレイから印刷する際、用紙セットカバーを下ろし忘れた場合に、「マルチパーカストレイの用紙がありません」というメッセージが表示されます。

液晶パネルのメッセージを確認して、処置を行なってください。

または [「マルチパーカストレイから印刷する」\(P.59\)](#) をご覧ください。

3

3. こまつたときには



● そのほかのトラブル

この節では、プリンターの操作中に発生する可能性があるトラブルと、その対処の方法について説明します。

コンピューターから印刷できないとき



- 以下の説明で問題を解決できない場合は、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。
- アプリケーションが原因の場合は、アプリケーションのメーカーへご連絡ください。

一般的な原因

原因	対処方法	参照ページ
プリンターがスリープモードになっています (IPv6を使用する場合は、スリープモードを無効にしてください)。	操作パネルの＜節電＞ボタンを押して、待機状態に切り替えます。 スリープモードを使用しない場合は、＜設定＞ボタン>【管理者用メニュー】>【電力設定】>【スリープ】からスリープモードを無効にします。	24 ページ
プリンターの電源が入っていません。	電源を入れてください。	23 ページ
イーサネットケーブル/USB ケーブルが外れています。	ケーブルがプリンターとコンピューターに、正しく接続されているか確認してください。	-
ケーブルに問題があります。	新しいケーブルと交換してください。	-
プリンターがオフラインになっています。	操作パネルの＜オンライン＞ボタンを押します。	-
操作パネルの液晶パネルにエラーメッセージが表示されています。	「液晶パネルにメッセージが出ているとき (エラーランプが点灯/点滅しているとき)」または、操作パネルの＜ヘルプ＞ボタンを押してください。	75 ページ
インターフェースの設定が無効になっています。	操作パネルで、お使いのインターフェースの設定を確認してください。	ソフトウェアガイド
印刷機能に問題があります。	プリンターの設定内容が印刷できるか確認してください。	30 ページ
プリンターが通常使うプリンターに設定されていません。	通常使うプリンターに設定します。	-
プリンタードライバーの出力ポートが間違っています。	イーサネットケーブル/USB ケーブルが接続されている出力ポートを選択してください。	-
ほかのインターフェースからの印刷を処理しています。	処理が完了するまでお待ちください。	-
操作パネルの液晶パネルに【無効なデータを受信しました】と表示され印刷しません。	操作パネルの＜設定＞ボタンを押して、【メニュー】>【システム設定】>【タイムアウト印刷】を選択し、設定時間を長くします。工場出荷時の設定は40秒です。	-
プリンターの電源が切れています。	一定時間経過するとプリンターの電源がオフになります。電源がオフになるまでの時間は、操作パネルの＜設定＞ボタンを押して、【メニュー】>【システム設定】>【オートパワーオフ移行時間】を選択して設定します。工場出荷時の設定は4時間です。	-

ネットワーク接続の問題

原因	対処方法	参照ページ
クロスケーブルを使っています。	ストレートケーブルを使用してください。	-
ケーブルを接続する前に、プリンターの電源を入れました。	ケーブルを接続してから、プリンターの電源を入れてください。	32 ページ
ハブとの相性に問題があります。ハブとの相性がよくありません。	操作パネルの <設定> ボタンを押して、[管理者用メニュー] > [ネットワーク設定] > [ハブとの接続] を選択し、[10Base-T Half] を選択します。	-
IP アドレスが間違っています。	<ul style="list-style-type: none"> ● プリンターの IP アドレスの設定と、コンピューター上で設定しているプリンターの IP アドレスが一致しているか確認してください。 ● FUJITSU LPR ユーティリティをお使いの方は、FUJITSU LPR ユーティリティで IP アドレス設定を確認してください。 	33 ページ
FUJITSU Printer Internet Service の設定を変更後、プリンタへのネットワーク接続ができなくなりました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作パネルの <設定> ボタンを押して、[管理者用メニュー] > [ネットワーク設定] > [工場出荷時設定] を選択し、[実行] を選択します。その後、プリンタのネットワーク設定を再設定してください。 	33 ページ

USB 接続の問題

原因	対処方法	参照ページ
ケーブルが規格に合っていません。	USB2.0 仕様の USB ケーブルを使用してください。	-
USB ハブを使用しています。	プリンターをコンピューターに直接接続してください。	44 ページ
プリンタードライバーが正しくインストールされていません。	プリンタードライバーをインストールし直してください。	44 ページ
プリンターがオフラインになっています。	[デバイスとプリンター] フォルダーで XL-C8350 アイコンを右クリックし、[印刷ジョブの表示] を選択します（複数のドライバーがインストールされている場合は > [XL-C8350]）。表示されたダイアログで、[プリンター] メニューを選択し、[プリンターをオフラインで使用する] のチェックを外してください。	-
切替器、バッファ、延長ケーブルを使用しています。	プリンターをコンピューターに直接接続してください。	44 ページ
USB 接続で動作するほかのプリンタードライバーがインストールされています。	コンピューターからほかのプリンタードライバーを削除してください。	-

途中までしか印刷されないとき

IPP 印刷の問題

原因	対処方法	参照ページ
他のコンピューターからの印刷の影響で、IPP 印刷が一定時間待たされた場合に、Windows OS 側で IPP 通信を強制的に打ち切ってしまうため、途中までしか印刷されない現象が発生する。	IPP 以外の印刷方法で印刷してください。	-

プリンタードライバーのインストールがうまくいかないとき



- 以下の説明で問題を解決できない場合は、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。
- アプリケーションが原因の場合は、アプリケーションのメーカーへご連絡ください。

USB 接続の問題

症状	原因 / 対処方法	参照ページ
【デバイスとプリンター】フォルダーに、プリンターのアイコンが作成されない。	プリンタードライバーが正しくインストールされていません。 プリンタードライバーを正しく再インストールしてください。	44 ページ
「プリンタードライバーのインストールに失敗しました」などのエラーメッセージが表示される。	プラグ アンド プレイを使用します。以下の手順に従ってください。 1. プリンターとコンピューターの電源が切れていることを確認します。 2. USB ケーブルを接続します。 3. プリンターの電源を入れます。 4. コンピューターの電源を入れます。 5. 【新しいハードウェアの検索ウィザード】が表示されたら、画面の指示に従ってセットアップを実行します。 詳細は、「FUJITSU Printer プリンタユーティリティ」の【Fjxldrv】フォルダーを開き、「readme.txt」を参照してください。	-

各 OS に関する制限事項

Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008 に関する制限事項

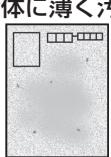
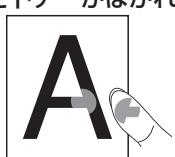
項目	症状	原因 / 対処方法
プリンタードライバー	[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示される。	インストーラーまたはユーティリティーの起動時に、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示される場合があります。[はい] または [続行] をクリックして、インストーラーまたはユーティリティーを管理者として実行します。[いいえ] または [キャンセル] をクリックすると、インストーラーやユーティリティーは起動されません。
Network Extension	ヘルプが表示されない。	ヘルプ機能をサポートしていません。
	[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示される。	インストーラーまたはユーティリティーの起動時に、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示される場合があります。[はい] または [続行] をクリックして、インストーラーまたはユーティリティーを管理者として実行します。[いいえ] または [キャンセル] をクリックすると、インストーラーやユーティリティーは起動されません。
	[プログラム互換性アシスタント] ダイアログが表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）[プログラム互換性アシスタント] ダイアログが表示される場合は、必ず [このプログラムは正しくインストールされました] をクリックしてください。
カラー調整ユーティリティ	[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示される。	インストーラーまたはユーティリティーの起動時に、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示される場合があります。[はい] または [続行] をクリックして、インストーラーまたはユーティリティーを管理者として実行します。[いいえ] または [キャンセル] をクリックすると、インストーラーやユーティリティーは起動されません。
	[プログラム互換性アシスタント] ダイアログが表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）[プログラム互換性アシスタント] ダイアログが表示される場合は、必ず [このプログラムは正しくインストールされました] をクリックしてください。
色見本印刷ユーティリティ	[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示される。	インストーラーまたはユーティリティーの起動時に、[ユーザー アカウント制御] ダイアログが表示される場合があります。[はい] または [続行] をクリックして、インストーラーまたはユーティリティーを管理者として実行します。[いいえ] または [キャンセル] をクリックすると、インストーラーやユーティリティーは起動されません。
	[プログラム互換性アシスタント] ダイアログが表示される。	インストール完了後（インストールを途中で中止した場合も含みます）[プログラム互換性アシスタント] ダイアログが表示される場合は、必ず [このプログラムは正しくインストールされました] をクリックしてください。

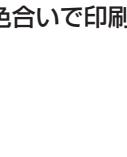
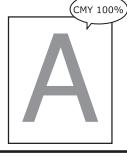
印刷が不鮮明なとき

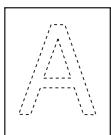


- 次の説明で問題を解決できない場合、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。

症状	原因	対処方法	参照ページ
  用紙の送り方向	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	131 ページ
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	108 ページ
	イメージドラム（ドラムカートリッジ）に傷がついています。	イメージドラム（ドラムカートリッジ）を交換してください。	113 ページ
	異物がつまっています。	イメージドラム（ドラムカートリッジ）を交換してください。	113 ページ
	イメージドラム（ドラムカートリッジ）の遮光フィルムが汚れています。	遮光フィルムを柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	-
	イメージドラム（ドラムカートリッジ）が正しくセットされていません。	イメージドラム（ドラムカートリッジ）を正しくセットしてください。	113 ページ
  用紙の送り方向	LED ヘッドが汚れています。	LED ヘッドを柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	131 ページ
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	108 ページ
	用紙が適していません。	推奨紙を使用してください。	51 ページ
 印刷が薄い。	トナーセーブを設定しています。	トナーセーブの設定を変更してください。	ソフトウェアガイド
	トナーカートリッジが正しくセットされていません。	トナーカートリッジを取り付け直してください。	108 ページ
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	108 ページ
	用紙が湿気を含んでいます。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。	54 ページ
	用紙が適していません。	推奨紙を使用してください。	51 ページ
	用紙が適していません。 用紙の種類や厚さの設定が不適切です。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [トレイ構成] > 使用している用紙トレイの設定を選択し、[用紙種類] と [用紙厚] を適切な値にしてください。または、[用紙厚] を現在の値より厚い値にしてください。	59 ページ
	再生紙を使用しています。 用紙の厚さの設定が不適切です。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [トレイ構成] > 使用している用紙トレイを選択し、[用紙厚] を現在の値より厚い値にしてください。	54 ページ
 部分的にかすれる。ベタを印刷すると点や線が現れる。	用紙が湿気を含んでいますか、乾燥しています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。	54 ページ
	[普通紙ブラック設定] または [普通紙カラー設定] の設定が不適切です。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [システム設定] を選択して、[普通紙ブラック設定] または [普通紙カラー設定] の値を変更してください。	-

症状	原因	対処方法	参照ページ
横方向にスジや点が周期的にに入る。  用紙の送り方向	約 94 mm 周期の場合は、イメージドラム（ドラムカートリッジ）の緑色の筒の部分に傷または汚れがついています。	柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。 傷がついていたら、イメージドラム（ドラムカートリッジ）を交換してください。	113 ページ
	約 37 mm 周期の場合は、イメージドラム（ドラムカートリッジ）内にゴミが混入しています。	フロントカバーの開閉を行い、イニシャル動作を繰り返してください。	-
	約 143 mm 周期の場合は、定着器ユニットに傷がついています。	定着器ユニットを交換してください。	122 ページ
	イメージドラム（ドラムカートリッジ）が光にさらされました。	イメージドラム（ドラムカートリッジ）をプリンターの内部に戻し、数時間装置を使用しないでください。それでも直らない場合は、イメージドラム（ドラムカートリッジ）を交換してください。	113 ページ
	用紙搬送路に汚れが付着しています。	数枚テスト印刷をしてください。	-
白地の部分が薄く汚れる。 	用紙が静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。	54 ページ
	厚い用紙を使用しています。	より薄手の用紙を使用してください。	-
	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	108 ページ
	現像ローラ上のトナー層内の低帯電、または逆帯電のトナーが感光ドラムの非露光部に付着しています。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [システム設定] > [BG 設定] を現在の値より小さな値にしてください（改善する値を選択してください）。	138 ページ
文字の周囲がにじむ。 	LED ヘッドが汚れています。	柔らかいティッシュペーパーで拭いてください。	131 ページ
	用紙が適していません。	推奨紙を使用してください。	51 ページ
	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	54 ページ
封筒またはコート紙を印刷すると全体に薄く汚れる。 	封筒またはコート紙に印刷すると、全体的にトナーが付着（かぶり）することがあります。	故障ではありません。 コート紙はなるべく使用しないでください。	-
	現像ローラ上のトナー層内の低帯電、または逆帯電のトナーが感光ドラムの非露光部に付着しています。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [システム設定] > [BG 設定] を現在の値より小さな値にしてください（改善する値を選択してください）。	138 ページ
擦るとトナーがはがれる。 	用紙の種類や厚さの設定が不適切です。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [トレイ構成] > 使用している用紙トレイの設定を選択し、[用紙種類] と [用紙厚] を適切な値にしてください。または、[用紙厚] を現在の値より厚い値にしてください。	59 ページ
	再生紙を使用しています。 用紙の厚さの設定が不適切です。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [トレイ構成] > 使用している用紙トレイの設定を選択し、[用紙厚] を現在の値より厚い値にしてください。	59 ページ
	プリンタードライバーの [用紙種類]（普通紙／厚い紙）の設定が印刷する用紙の厚みと一致していない。	用紙の厚みに応じて最適な [用紙種類] を選択してください。また、プリンタードライバーの [用紙種類] で [プリント設定] を指定する場合は、操作パネルの [メニュー] で [用紙種類] と [用紙厚] を設定してください。	ソフトウェアガイド

症状	原因	対処方法	参照ページ
光沢にムラが出る。 	用紙の種類や厚さの設定が不適切です。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [トレイ構成] > 使用している用紙トレイの設定を選択し、[用紙種類] と [用紙厚] を適切な値にしてください。または、[用紙厚] を現在の値より厚い値にしてください。	59 ページ
思った色合いで印刷されない。 	トナーが残り少なくなっています。	トナーカートリッジを交換してください。	108 ページ
	[黒の生成] の設定がアプリケーションに合っていません。	プリンタードライバーの [黒の生成] で、[黒 (K) トナーのみで生成] または [CMYK トナーで生成] を選択してください。	ソフトウェアガイド
	カラー調整を変更しています。	プリンタードライバーのカラーマッチングにしてください。	ソフトウェアガイド
	カラーバランスがとれていません。	<設定>ボタンを押し、[プリント調整] を選択してから、[濃度補正] を行ってください。	ソフトウェアガイド
	色ずれが起こっています。	トップカバーをいったん開けて、閉じます。 または、<設定>ボタンを押し、[プリント調整] を選択してから、[色ずれ補正] を行ってください。	ソフトウェアガイド
	現像ローラ上のトナー層厚が大きくなっていますトナー層電位が高くなり、汚れ気味になっています。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [システム設定] > [SMR 設定] を現在の値より小さな値にしてください(改善する値を選択してください)。	138 ページ
CMY 100% のベタが薄い。 	[CMY100% 濃度] が [無効] に設定されています。	<設定>ボタンを押し、[管理者用メニュー] > [カラー設定] > [CMY100% 濃度] を選択し、[有効] を選択してください。	-
点が現れる。 	用紙が適していません。	推奨紙を使用してください。	51 ページ
	約 94 mm 周期の場合は、イメージドラム (ドラムカートリッジ) の緑色の筒の部分に傷または汚れがついています。	イメージドラム (ドラムカートリッジ) を柔らかいティッシュペーパーで軽く拭き取ってください。 傷がついていたら、イメージドラム (ドラムカートリッジ) を交換してください。	113 ページ
汚れが印刷される。 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	54 ページ
	用紙が適していません。	推奨紙を使用してください。	51 ページ
	現像ローラ上のトナー層厚が大きくなっていますトナー層電位が高くなり、汚れ気味になっています。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [システム設定] > [SMR 設定] を現在の値より小さな値にしてください(改善する値を選択してください)。	138 ページ
用紙全体が汚れたように印刷される。 	現像ローラ上のトナー層の電位が適切ではありません。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [システム設定] > [BG 設定] で調整してください(設定方向は詳細原因により異なりますので、改善する値を選択してください)。	138 ページ
	機器の故障が考えられます。	「お問い合わせ窓口」(P.150) に連絡してください。	150 ページ

症状	原因	対処方法	参照ページ
何も印刷されない。 	一度に複数枚の用紙が搬送されました。	用紙をよくさばいてからセットし直してください。	57 ページ
	機器の故障が考えられます。	「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。	150 ページ
抜けが起こる。 	用紙が湿気を含んでいます。	新しい用紙と交換してください。	57 ページ
	用紙が適していません。	推奨紙を使用してください。	51 ページ

用紙送りがおかしいとき



- 以下の説明で問題を解決できない場合は、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。

症状	原因	対処方法	参照ページ
●紙づまりがよく起きる。 ●複数枚同時に引き込まれる。 ●斜めに引き込まれる。	装置が傾いています。	安定した水平な場所に設置してください。	18 ページ
	用紙が薄すぎるか厚すぎます。	装置に適した用紙を使用してください。	50 ページ
	用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。	54 ページ
	用紙に折り目やシワや反りがあります。	装置に適した用紙を使用してください。反りがある場合は修正してください。	50 ページ
	裏面が印刷された用紙を使用しています。	一度印刷した用紙はトレイ 1/2/3/4 からは印刷できません。マルチパーパストレイから印刷してください。	59 ページ
	用紙がそろっていません。	用紙をよくさばき、上下左右をそろえてからセットしてください。	57 ページ
	用紙を 1 枚だけセットしています。	用紙は複数枚でセットしてください。	57 ページ
	トレイに用紙が入ったまま追加しています。	先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。	57 ページ
	用紙がまっすぐにセットされていません。	トレイ 1/2/3/4 の、用紙ガイドと用紙ストップを用紙に合わせてください。マルチパーパストレイの手差しガイドを用紙に合わせてください。	57 ページ
	封筒のセット方向が間違っています。	封筒を正しくセットしてください。	59 ページ
用紙が送られない。	用紙の厚さが $177 \sim 220 \text{ g/m}^2$ の用紙、封筒、ラベル紙をトレイ 1 とトレイ 2 にセットしています。	用紙の厚さが $177 \sim 220 \text{ g/m}^2$ の用紙、封筒、ラベル紙はマルチパーパストレイにセットし、フェイスアップスッパーへ排出してください。	59 ページ 50 ページ
	プリンタードライバーの【給紙方法】の選択が間違っています。	用紙トレイを確認し、プリンタードライバーの【給紙方法】で正しいトレイを選択してください。	-
つまった用紙を取り除いても復旧しない。	プリンタードライバーで手差しの指定をしています。	プリンタードライバーでマルチパーパストレイを手差しとして扱う設定を無効にしてください。	ソフトウェアガイド
	定着器ユニットの中に折りたたまれた用紙が残留している。	定着器ユニットの入口と出口の両方から残留した用紙が残っていないか確認してください。残留した用紙がある場合は、定着器ユニットの紙づまり解除レバーを引き上げ、つまった用紙をゆっくり引き出します。	82 ページ
用紙がまるまってしまう。 シワが出る。	用紙が湿気を含んでいたり、静電気を帯びています。	適切な温度、湿度に保管した用紙を使用してください。	54 ページ
	薄い用紙を使用しています。	<設定>ボタンを押し、【メニュー】>【トレイ構成】>【(トレイ名) 設定】>【用紙厚】を選択してください。この後、現在の設定より薄い値にしてください。	59 ページ

症状	原因	対処方法	参照ページ
用紙が定着器ユニットのローラーに巻きつく。	用紙の種類や厚さの設定が不適切です。	<設定>ボタンを押し、[メニュー] > [トレイ構成] > [(トレイ名)設定] > [用紙種類] / [用紙厚] を適切な値にしてください。 または、[用紙厚] を現在の設定より厚い値にしてください。	59 ページ
	薄い用紙を使用しています。	より厚手の用紙を使用してください。	-
	用紙先端部にベタに近い塗りつぶしがあります。	用紙先端部に余白を入れてください。 余白を入れられない場合は、180 度回転させて印刷してください。 両面印刷の場合、後端部にも余白を入れてください。	-
厚紙の両面印刷で紙詰まりとなる。	用紙の坪量が $220\text{g}/\text{m}^2$ を超えた用紙を使っている場合や剛性の強い厚紙 ($220\text{g}/\text{m}^2$ 以下) の場合に両面ユニット部で紙詰まりとなる場合があります。	適切な用紙厚の用紙を使用ください。 または用紙のセット方向を縦置きまたは横置きに変更して印刷を実施してください。	-

プリンターのトラブル



- 以下の説明で問題を解決できない場合は、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。

症状	原因	対処方法	参照ページ
電源を入れても液晶パネルに何も表示されない。	電源コードが抜けています。	電源を切ってから、電源コードをしっかりと差し込んでください。	-
	停電しています。	コンセントに電気がきているか確認してください。	-
動作しない。	電源コードをしっかりと差し込んでいません。	電源コードを確実に差し込んでください。	-
	電源が入っていません。	電源を入れてください。	23 ページ
	オートパワーオフ機能で電源が切れました。	オートパワーオフ機能を無効にします。	72 ページ
	プリンターが応答しません。	プリンターの電源スイッチを5秒以上押し、強制終了します。	-
電源スイッチのLEDランプが、約0.3秒周期で高速に点滅している。 	プリンターが故障しています。	直ちに電源コードを抜き、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。	150 ページ
印刷処理を開始しない。	エラーが表示されています。	エラーコードを確認し、液晶パネルの指示に従ってください。	90 ページ
	イーサネットケーブル/USBケーブルが差し込まれていません。	イーサネットケーブル/USBケーブルを確実に差し込んでください。	32 ページ 44 ページ
	イーサネットケーブル/USBケーブルに問題があります。	別のイーサネットケーブル/USBケーブルを使用してください。	-
	イーサネットケーブル/USBケーブルが規格にあっていません。	● USB2.0仕様のケーブルを使用してください。 ● イーサネット10BASE-T/100BASE-TX仕様のケーブルを使用してください。	-
	印刷機能に問題がある可能性があります。	<設定>ボタンを押し、[プリンタ情報印刷] > [設定内容]を選択し、設定内容の印刷を行い印刷機能を確認してください。	30 ページ
	インターフェースが無効になっています。	<設定>ボタンを押し、[管理者用メニュー] > [ネットワーク設定]を選択してから、使用しているインターフェースを有効にします。	-
	プリンタードライバーが選択されていません。	プリンタードライバーを「通常使うプリンター」に設定してください。	-
	プリンタードライバーの出力ポートが間違っています。	イーサネットケーブル/USBケーブルを接続する出力ポートを指定してください。	-
操作パネルの液晶パネルに何も表示しない。	プリンターがスリープモードです。	<節電>ボタンが点滅していることを確認し、<節電>ボタンを押してプリンターを起動します。	24 ページ
印刷データが送信されない。	イーサネットケーブル/USBケーブルが破損しています。	新しいケーブルを接続します。	-
	コンピューターのタイムアウトにかかっています。	タイムアウトを長く設定してください。	-

症状	原因	対処方法	参照ページ
異常音がする。	装置が傾いています。	安定した水平な場所に設置してください。	-
	装置内部に紙くずや異物があります。	装置内部を点検し、取り除いてください。	-
	トップカバーが開いています。	トップカバーを閉じてください。	-
共振音がする。	装置内の温度が上昇している状態で、幅狭用紙や厚紙などに印刷をしています。	装置の故障ではありません。そのままお使いください。	-
すぐに印刷を開始しない。	省電力モードまたはスリープモードから復帰するためにウォーミングアップを行っています。	<設定>ボタンを押し、[管理者用メニュー] > [電力設定] > [パワーセーブ] / [スリープ] を選択して、両モードを無効にします。	24 ページ
	イメージドラム（ドラムカートリッジ）のクリーニング動作を行っていることがあります。	しばらくお待ちください。	-
	定着器ユニットの温度を調整しています。	しばらくお待ちください。	-
	ほかのインターフェースからのデータを処理しています。	印刷処理が終了するまでお待ちください。	-
印刷の途中で印刷が止まる。	連続印刷などで定着器ユニットの温度が上昇したため、温度を調整しています。	しばらくお待ちください。 定着器ユニットの温度が適切になると、自動的に印刷を再開します。	-
	長時間の連続印刷などで装置の内部温度が上昇したため、温度を調整しています。	しばらくお待ちください。 プリンターの温度が適切になると、自動的に印刷を再開します。	-
	WSD ポートを使用したプリント処理の負荷が高い状態で、データを送信すると、コンピューターが送信を中止することがあります。	コンピューターより印刷指示を再試行してください。それでも症状が出る場合は、他のネットワークポートをご使用ください。	-
メモリー不足になる。	印刷データが大きいため、プリンターのメモリーが足りません。	プリンタードライバーの印刷品位を下げて印刷してください。	ソフトウェアガイド
印刷が遅い。	印刷処理をコンピューター側でも行っています。	処理速度の速いコンピューターを使用してください。	-
	プリンタードライバーの【印刷オプション】タブで【高精細（多階調）】を選択しています。	プリンタードライバーの【印刷オプション】タブで、【きれい（600x1200dpi）】または【ふつう（600x600dpi）】を選択してください。	-
	印刷データが複雑です。	印刷データを簡単にしてください。	-
	幅の狭い用紙（216 mm 以下）を使用しています。	[Boot Menu] > [System Setup] > [Narrow Paper Speed] を選択して、設定を変更してください。	ソフトウェアガイド
	低速印刷モードを選択しています。	[Boot Menu] > [System Setup] > [Slow Print Mode] を選択して、設定を変更してください。	ソフトウェアガイド
用紙がカールしている。	薄い用紙を使用しています。	用紙厚を適切に設定してください。または、[Boot Menu] > [System Setup] > [High Humid Mode] を選択して、設定を変更してください。	ソフトウェアガイド
用紙の端部が濡れている。	湿った用紙を使用しています。	[Boot Menu] > [System Setup] > [Moisture Control] を選択して、結露制御を有効にします。	ソフトウェアガイド

4. メンテナンス

この章では、消耗品・メンテナンスユニットの交換、プリンターの清掃、およびプリンターの移動・輸送の方法について説明します。

● 消耗品・メンテナンスユニットを交換する

この節では、消耗品を交換する方法について説明します。

⚠ 警告		
 トナーまたは、トナーカートリッジを火中に投入しないでください。トナーがはねて、やけどの原因になります。	 トナーカートリッジを、火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になります。	 こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、ぬれた布などでふき取ってください。

⚠ 注意		
 機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼つてある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。	 トナーカートリッジは、子供の手に触れないようにしてください。もし、子供が誤ってトナーを飲み込んだ場合は、直ちに医師の診断を受けてください。	 トナーを吸い込んだ場合は、多量の水でうがいをし、空気の新鮮な場所に移動してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
 トナーが手などの皮膚についた場合は、石鹼水でよく洗い流してください。	 トナーが目に入った場合は、直ちに大量の水で洗浄してください。必要に応じて医師の診断を受けてください。	 トナーを飲み込んだ場合は、はきだしてください。必要に応じて医師の診断を受けてください。
 紙づまりの処置やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手などを汚さないように注意してください。衣服についた場合は、冷水で洗い流してください。温水で洗うなど加熱するとトナーが布に染み付き、汚れが取れなくなることがあります。	 トナーカートリッジを分解しないでください。トナーが飛び散り、トナーを吸い込んでしまったり、服や手を汚す原因となります。	 使用済みのトナーカートリッジは、トナーが飛び散らないように袋に入れて保管してください。

● 注

- 商品本来の性能を発揮させるために、純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。(純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)

トナーカートリッジを交換する

! 注

- トナーがなくなる前に、トナーカートリッジを外すと、トナーがこぼれる場合があります。

トナーカートリッジの交換の目安

操作パネルの液晶パネルに [[カラー名] トナーの交換時期が近づいています] ([カラー名] はシアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのいずれかを示す) が表示されたら、新しいトナーカートリッジを用意してください。次のメッセージが表示されるまで、約 250 ページの印刷が可能です。

[[カラー名] トナーがなくなりました] が表示され、印刷が停止したら、トナーカートリッジを交換してください。

メモ

- シアン（青色）、マゼンタ（赤色）、イエロー（黄色）のトナーカートリッジが寿命になってしまっても、印刷するときに [モノクロ] または [グレースケール] を指定すれば、モノクロで印刷することができます。ただし、イメージドラム（ドラムカートリッジ）を傷つける原因となりますので、すみやかに、寿命になったトナーカートリッジを新しいものと交換してください。

トナーカートリッジの印刷可能ページ数は、以下のとおりです（A4 片面印刷、印字濃度は工場出荷時の設定、ISO/IEC19798 に準拠）。

スタートトナーカートリッジは製品購入時に添付されているトナーカートリッジです。

■ トナーカートリッジの種類と印刷できるページ数

- トナーカートリッジのみを交換したとき

種類	カラー (C, M, Y)	ブラック (K)
スタートトナーカートリッジ	約 2,500 ページ	約 2,500 ページ
トナーカートリッジ CL116B/ 環境共生トナー CL116BF	約 10,000 ページ	約 10,000 ページ
トナーカートリッジ CL116A	約 2,200 ページ	約 2,500 ページ
イメージドラム（ドラムカートリッジ）添付カートリッジ	約 2,200 ページ	約 2,200 ページ

- トナーカートリッジとイメージドラム（ドラムカートリッジ）を交換したとき

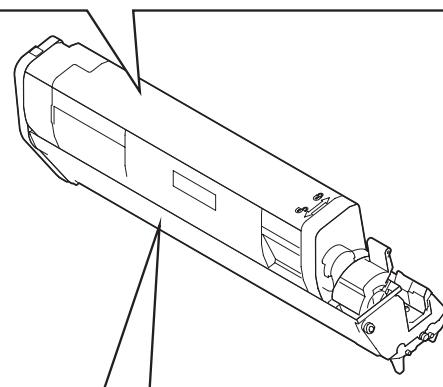
種類	カラー (C, M, Y)	ブラック (K)
トナーカートリッジ CL116B/ 環境共生トナー CL116BF	約 9,000 ページ	約 9,000 ページ
トナーカートリッジ CL116A	約 1,200 ページ	約 1,500 ページ
イメージドラム（ドラムカートリッジ）添付カートリッジ	約 1,200 ページ	約 1,200 ページ

! 注

- トナーカートリッジの実際の印刷可能ページ数は、使用方法により異なります。

■ トナーカートリッジとイメージドラム（ドラムカートリッジ）の見分けかた

トナーカートリッジとイメージドラム（ドラムカートリッジ）は以下のラベルで見分けます。トナーカートリッジ CL116A（ブラック）とイメージドラム CL116（ブラック）を例として記載しています。



! 注

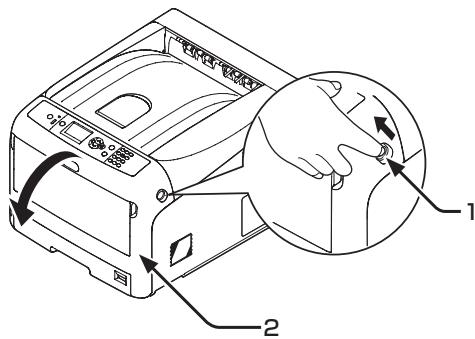
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいトナーカートリッジを準備してください。
- 使用中のトナーカートリッジ / イメージドラム（ドラムカートリッジ）を装置間で入れ替えると、トナー使用量が正常にカウントされなくなります。
- [[カラー名] トナーがなくなりました] の表示のあとも、フロントカバーを開閉することにより、A4、ISO パターンで約 100 ページ（約 20 ページを 5 回）印刷することができますが、それ以降の印刷動作ができなくなります。イメージドラム（ドラムカートリッジ）の故障の原因となりますので、トナーカートリッジを交換してください。

交換手順 (K (ブラック) トナーカートリッジの場合)

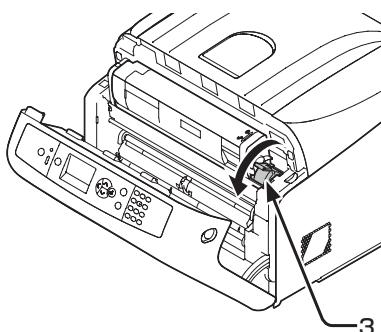
△メモ

- CMY のトナーを交換する場合は、「交換手順 (C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー) トナーカートリッジの場合)」(P.111) ページをご覧ください。

- 1 新しいトナーカートリッジ [K] を準備します。
- 2 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー (1) を引き、フロントカバー (2) を手前に開きます。



- 3 トナーカートリッジの青いレバー (3) を回します。

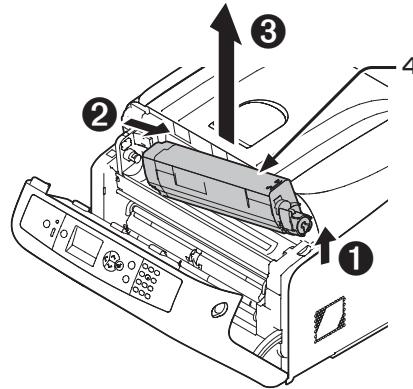


- 4 トナーカートリッジ (4) を右端から持ち上げ、取り出します。

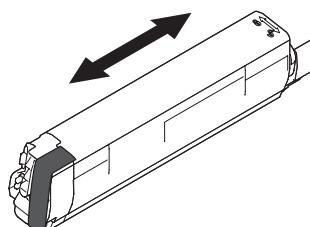
⚠ 注意	やけどのおそれがあります。	⚠
● 使用済みトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。		

! 注

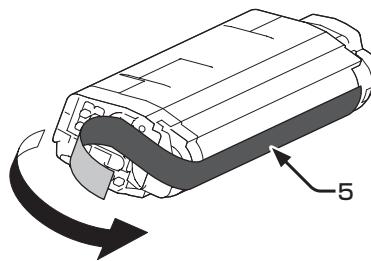
- プリンターの用紙走行部にトナーが付着してしまったときは、水を含ませてかたく絞った布でトナーを拭き取ってください。



- 5 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出し、上下左右に数回振ります。



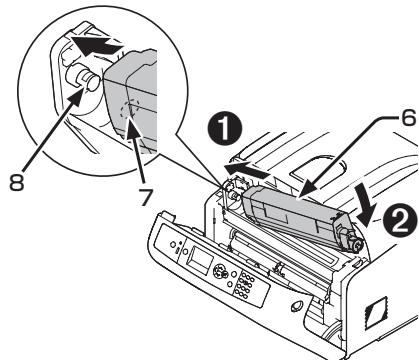
- 6 トナーカートリッジのテープ (5) をはがします。



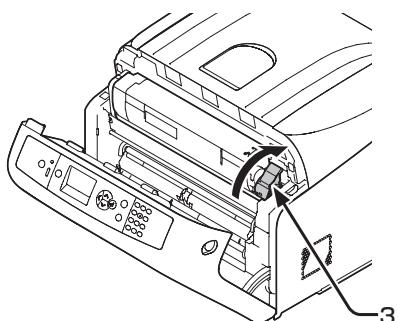
- 7 新しいトナーカートリッジ (6) の [K] のラベルと、イメージドラム（ドラムカートリッジ）の [K] のラベルの位置が合うように、トナーカートリッジの左端のくぼみ (7) をイメージドラム（ドラムカートリッジ）の突起 (8) に合わせて差し込み、右側も確実にセットします。

! 注

- トナーカートリッジのテープを付けたまま、セットしないでください。



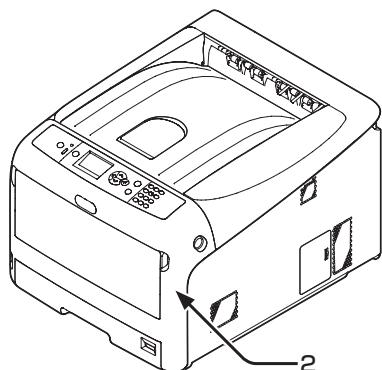
- 8 トナーカートリッジの上を押さえながら、青いレバー (3) を矢印方向にいっぱいまで回します。



- 9 フロントカバー (2) を閉じます。

! 注

- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを完全に閉じられません。



- 10 使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。詳しくは、「[使用済みトナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）の回収サービス](#)」(P.150) を参照してください。

メモ

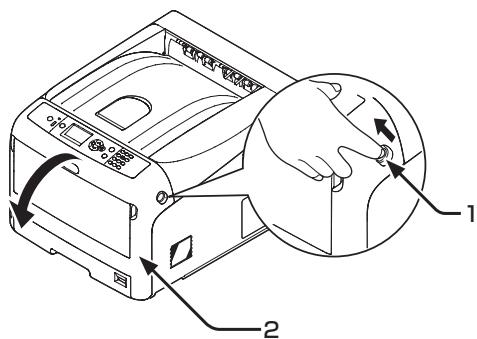
- やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

交換手順 (C (シアン)、M (マゼンタ)、Y (イエロー) トナーカートリッジの場合)

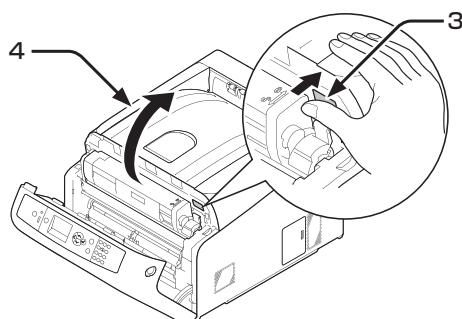
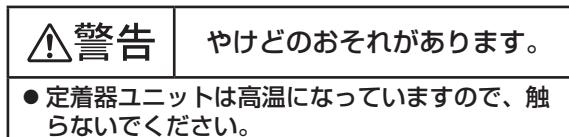
メモ

- K のトナーを交換する場合は、「[交換手順 \(K \(ブラック\) トナーカートリッジの場合\)](#)」(P.109) をご覧ください。

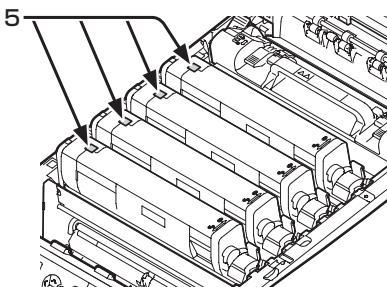
- 1 新しいトナーカートリッジを準備します。
- 2 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー (1) を引き、フロントカバー (2) を手前に開きます。



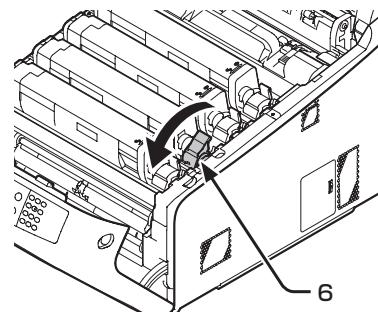
- 3 トップカバーオープンボタン (3) を押し、トップカバー (4) を開けます。



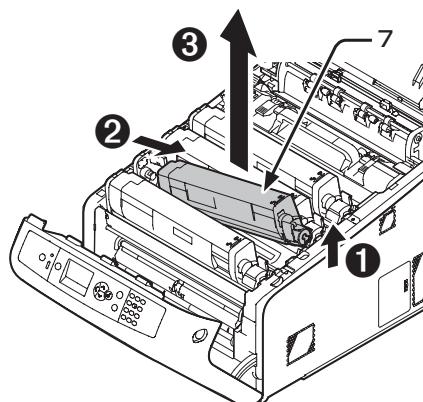
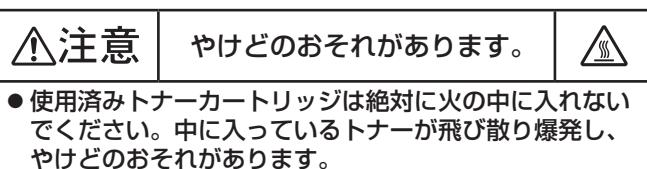
- 4 交換するトナーカートリッジのラベル (5) の色を確認します。



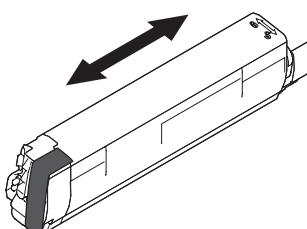
- 5 トナーカートリッジの上を押さえながら、右の青いレバー (6) を手前に移動し、ロックを解除します。



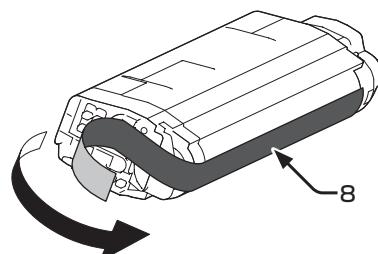
- 6 トナーカートリッジ (7) を右端から持ち上げ、取り出します。



- 7 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出し、上下左右に数回振ります。



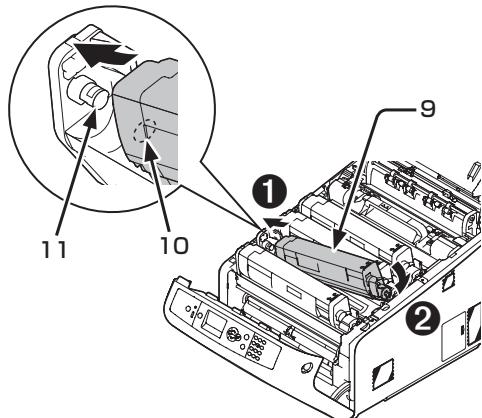
- 8 トナーカートリッジのテープ (8) をはがします。



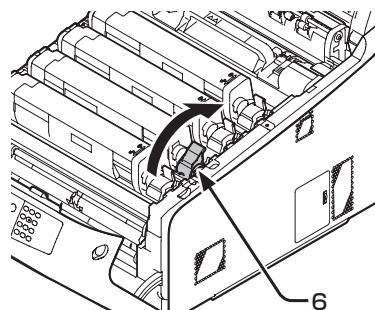
9 新しいトナーカートリッジ (9) の色のラベルと、イメージドラム（ドラムカートリッジ）の色のラベルの位置が合うように、トナーカートリッジの左端のくぼみ (10) をイメージドラム（ドラムカートリッジ）の突起 (11) に合わせて差し込み、右側も確実にセットします。



- トナーカートリッジのテープを付けたまま、セットしないでください。



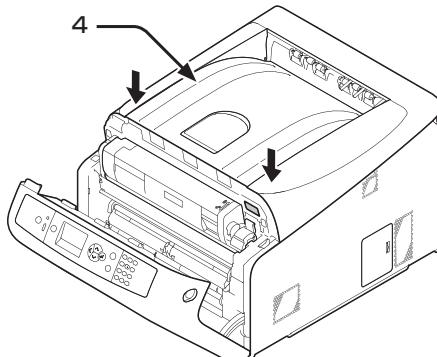
10 トナーカートリッジの上を押さえながら、青いレバー (6) を矢印方向にいっぶいまで回します。



11 トップカバー (4) を閉じ、両端を上からしっかりと押します。



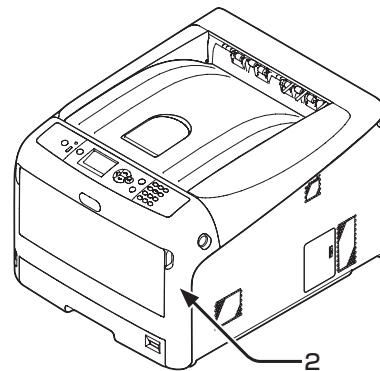
- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



12 フロントカバー (2) を閉じます。



- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを完全に閉じられません。



13 使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。詳しくは、「[使用済みトナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）の回収サービス](#)」(P.150) を参照してください。



- やむを得ず、使用済みトナーカートリッジを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

イメージドラム（ドラムカートリッジ）を交換する

イメージドラム（ドラムカートリッジ）の寿命

操作パネルの液晶パネルに [[カラー名] イメージドラムの交換時期が近づいています] が表示されたら、新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）を用意してください。

そのまま印刷を続けると [[カラー名] イメージドラムを交換してください] を表示して印刷を停止します。

イメージドラム（ドラムカートリッジ）交換の目安は、A4 横送り、片面印刷時で約 30,000 ページです。ただし、これは一般的な使用状況（一度に 3 ページずつ）で印刷した場合のページ数です。1 ページずつ印刷する場合には、約半分でドラム寿命になります。

実際の印刷ページ数は、印刷条件によっては上記の目安より更に半分以下になる場合があります。

[[カラー名] イメージドラムの交換時期が近づいています] を表示してから [[カラー名] イメージドラムを交換してください] になるまでの目安は、約 500 ページです。（A4 サイズ、片面印刷、一度に 3 ページずつ印刷した場合）

それ以上印刷を続けると、強制的に印刷を停止します。

！注

- イメージドラム（ドラムカートリッジ）の実際の印刷可能ページ数は、使用方法により異なります。印刷条件によっては上記の目安より更に半分以下になります。
- [[カラー名] イメージドラムを交換してください] が表示されたあともフロントカバーを開閉するとしばらく印刷を続けることはできますが、故障の原因となりますのでイメージドラム（ドラムカートリッジ）を交換してください。
- 開封後 1 年以上経過すると印刷品質が低下しますので、新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）を準備してください。
- <設定>ボタン>[管理者用メニュー]>[システム設定]>[ニアライフ時のステータス]が、[無効]に設定されている場合、[[カラー名] イメージドラムの交換時期が近づいています] が表示されません。

交換手順

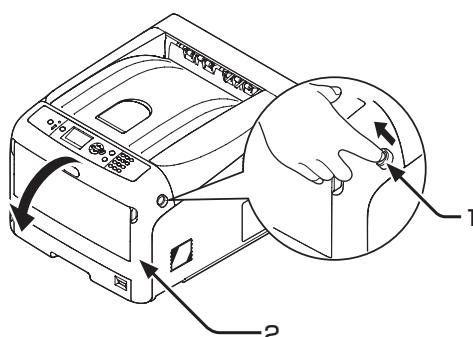
■ イメージドラム（ドラムカートリッジ）のみを交換する場合 (使用中のトナーカートリッジを引き続き使いたい場合)

！注

- 今まで使用していたトナーカートリッジを新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）に取り付けて使用すると、それぞれのトナーカートリッジの残量表示は正しく表示されなくなります。また、交換後まもなく [[カラー名] トナーの交換時期が近づいています] または [[カラー名] トナーカートリッジを交換してください] になる場合があります。
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）（緑の箇の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）は、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分以上は放置しないでください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）には、トナーカートリッジが、各色 1 本ずつ添付されています。

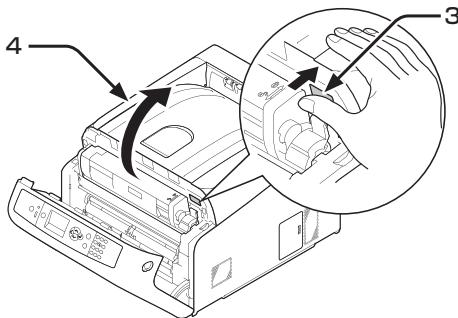
1 新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）を準備します。

2 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー（1）を引き、フロントカバー（2）を手前に開きます。



- 3 トップカバーオープンボタン (3) を押し、トップカバー (4) を開けます。

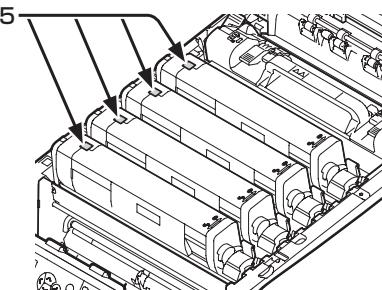
⚠ 注意	やけどのおそれがあります。	
● 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。		



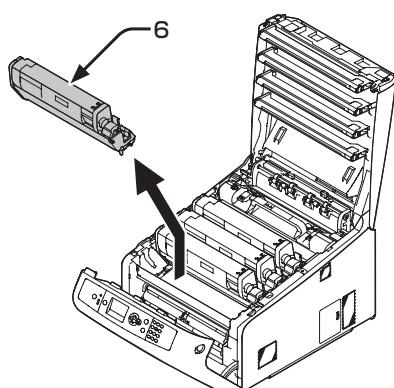
4

4. メンテナンス

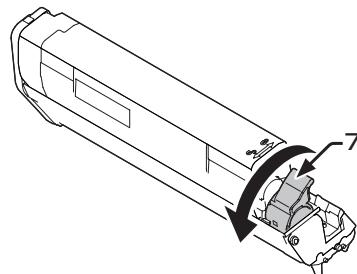
- 4 交換するイメージドラム（ドラムカートリッジ）のラベル (5) の色を確認します。



- 5 イメージドラム（ドラムカートリッジ）(6)を矢印の方向へ取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。

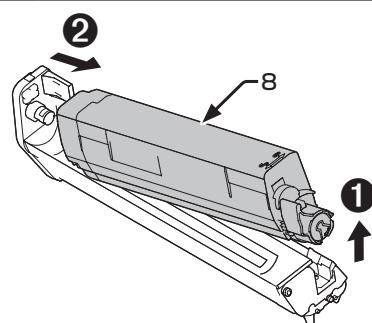


- 6 トナーカートリッジの上を押さえながら、右の青いレバー (7) を手前に移動し、ロックを解除します。

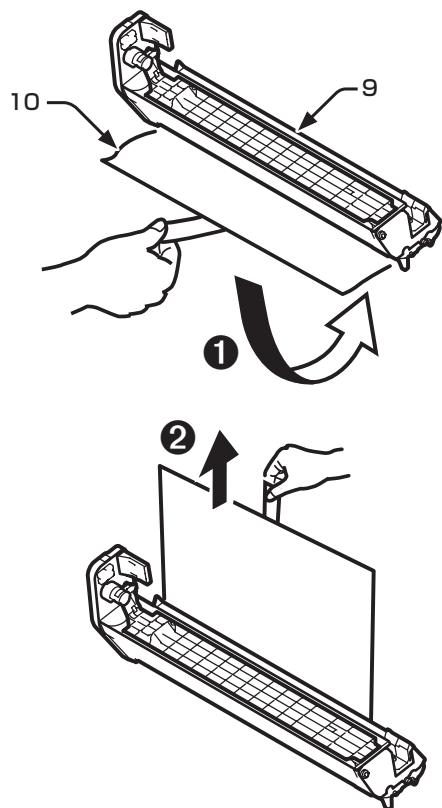


- 7 トナーカートリッジ (8) を右端から持ち上げ、新聞紙等を敷いた平らな場所に取り出します。

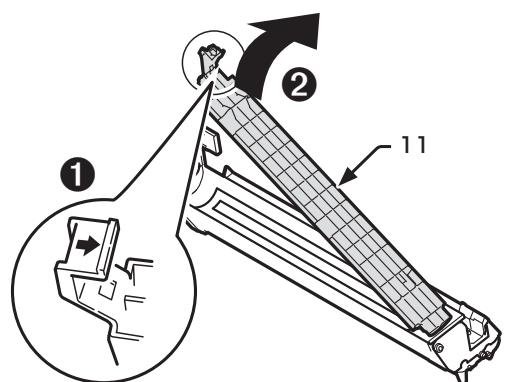
⚠ 警告	やけどのおそれがあります。	
● 使用済みイメージドラム（ドラムカートリッジ）とトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。		



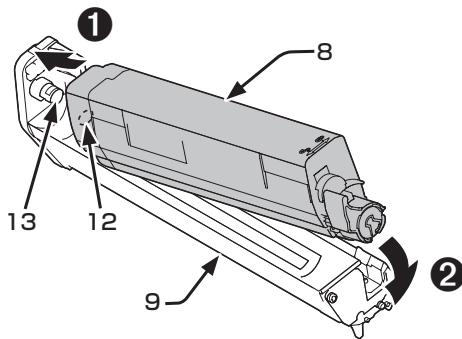
- 8 新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）（9）を新聞紙等を敷いた平らな場所に置き、保護シート（10）を取り除きます。



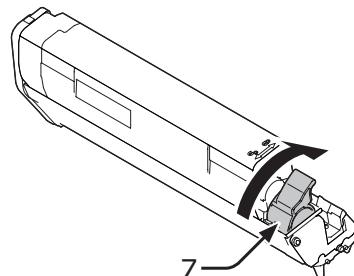
- 9 トナーカバー（11）を外します。



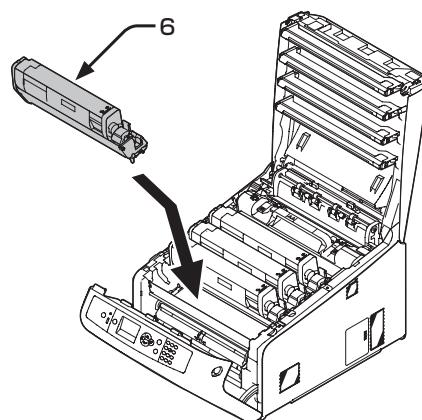
- 10 手順 7 で取り出したトナーカートリッジ（8）の左端のくぼみ（12）をイメージドラム（ドラムカートリッジ）（9）の突起（13）に合わせて差し込み、右側も確実にセットします。



- 11 トナーカートリッジの上を押さえながら、青いレバー（7）を矢印の方向にいっぺいまで回します。



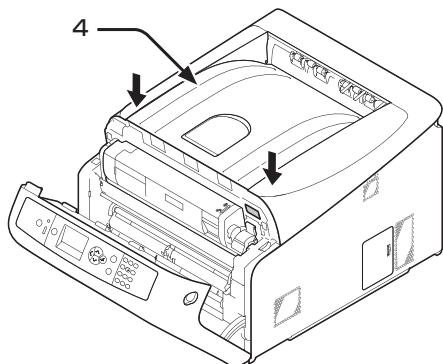
- 12 新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）（6）のラベルの色を確認し、本体の中にセットします。



13 トップカバー（4）を閉じ、両端を上からしっかりと押します。

△メモ

- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。
フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



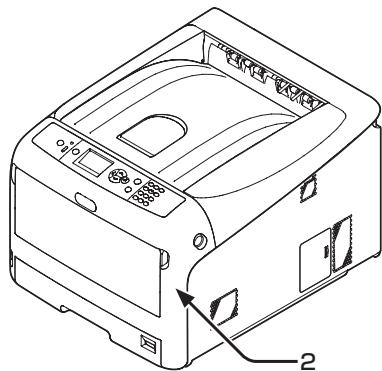
4

4. メンテナンス

14 フロントカバー（2）を閉じます。

! 注

- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを完全に閉じられません。



15 使用済みのイメージドラム（ドラムカートリッジ）の回収にご協力ください。詳しくは、「[使用済みトナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）の回収サービス](#)」（P.150）を参照してください。

△メモ

- やむを得ず、使用済みイメージドラム（ドラムカートリッジ）を処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

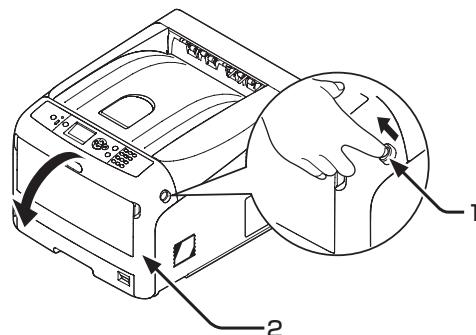
■ イメージドラム（ドラムカートリッジ）とトナーカートリッジを同時に交換する場合

! 注

- イメージドラム（ドラムカートリッジ）（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）は、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。
- 商品本来の性能を発揮させるために、純正の消耗品をご使用ください。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用がすべて不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）には、トナーカートリッジが、各色1本ずつ添付されています。

1 新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）とトナーカートリッジを準備します。

2 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー（1）を引き、フロントカバー（2）を手前に開きます。



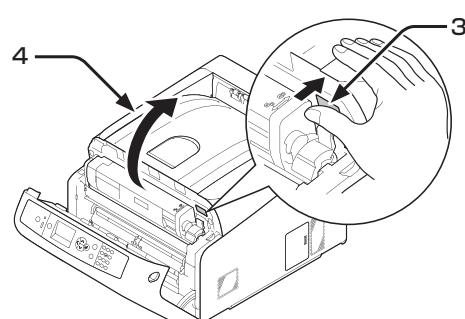
3 トップカバーオープンボタン（3）を押し、トップカバー（4）を開けます。

! 注意

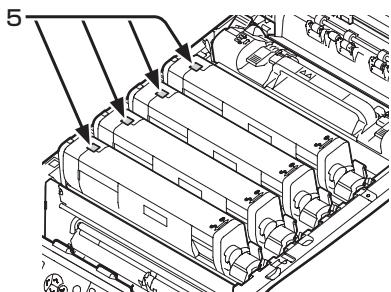
やけどのおそれがあります。



- 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。

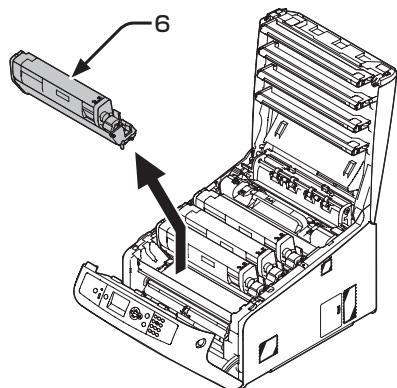


- 4 交換するトナーカートリッジのラベル（5）の色を確認します。

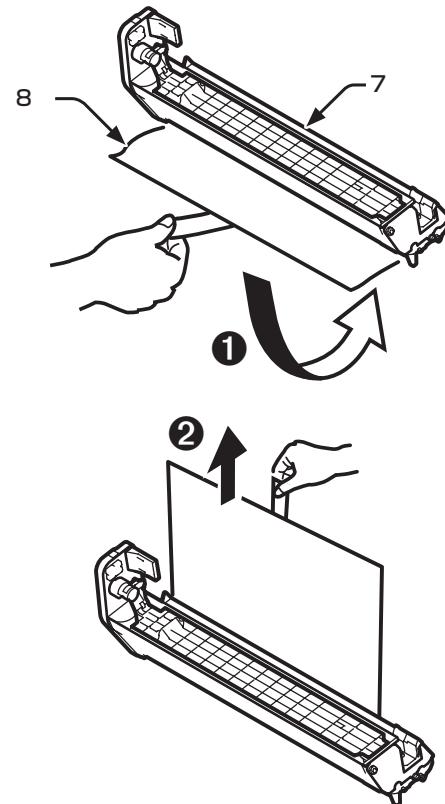


- 5 使用済みのイメージドラム（ドラムカートリッジ）（6）をトナーカートリッジとともに、矢印の方向へ取り出します。

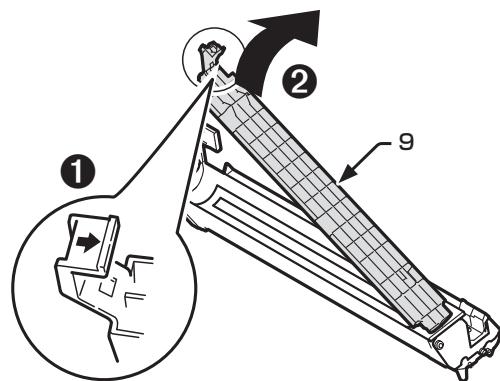
⚠ 警告	やけどのおそれがあります。	
● 使用済みイメージドラム（ドラムカートリッジ）とトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。中に入っているトナーが飛び散り爆発し、やけどのおそれがあります。		



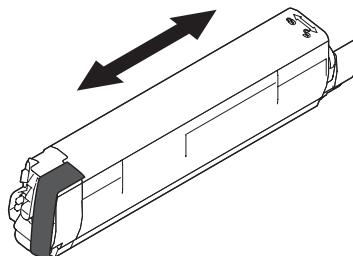
- 6 新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）（7）を新聞紙等を敷いた平らな場所に取り出し、保護シート（8）を取り除きます。



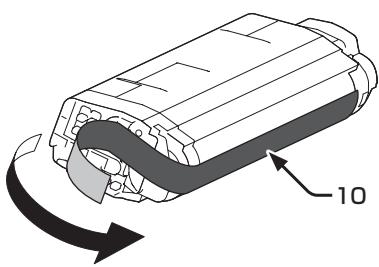
- 7 トナーカバー（9）を外します。



- 8 新しいトナーカートリッジを包装袋から取り出し、上下左右に数回振ります。



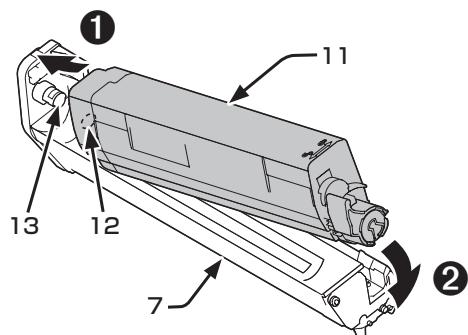
9 トナーカートリッジのテープ（10）をはがします。



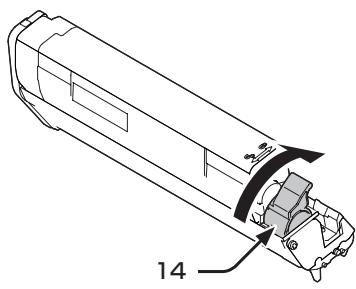
10 トナーカートリッジ（11）の左端のくぼみ（12）を、新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）（7）の突起（13）に合わせて差し込み、右側も確実にセットします。

! 注

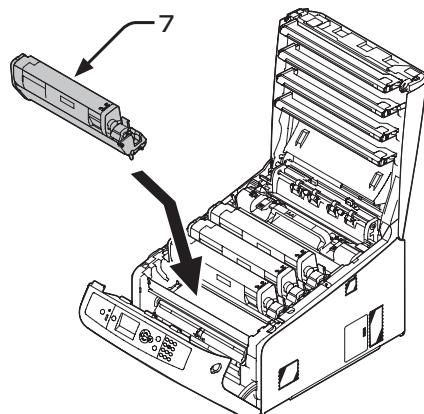
- トナーカートリッジのテープを付けたまま、セットしないでください。



11 トナーカートリッジの青いレバー（14）を矢印方向にいっぱいまで回します。



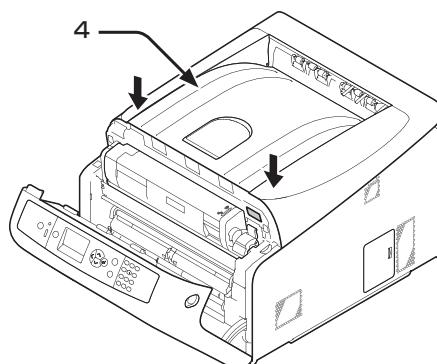
12 新しいイメージドラム（ドラムカートリッジ）（7）のラベルの色を確認し、本体の中にセットします。



13 トップカバー（4）を閉じ、両端を上からしっかりと押します。

メモ

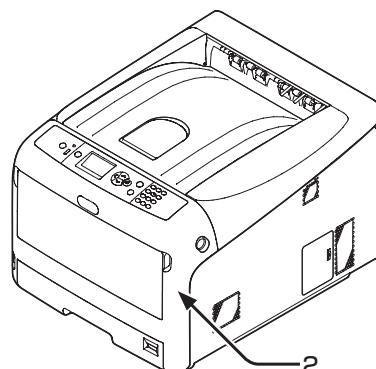
- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



14 フロントカバー（2）を閉じます。

! 注

- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを完全に閉じられません。



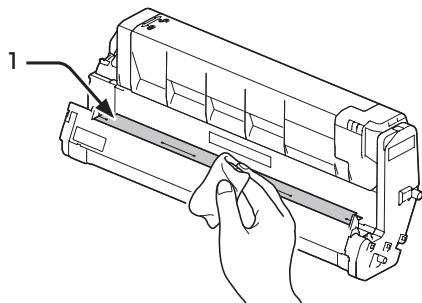
15 使用済みのトナーカートリッジとイメージドラム（ドラムカートリッジ）の回収にご協力ください。詳しくは、「[使用済みトナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）の回収サービス](#)」（P.150）を参照してください。

△メモ

- やむを得ず、使用済みトナーカートリッジとイメージドラム（ドラムカートリッジ）を処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

□イメージドラム（ドラムカートリッジ）の遮光フィルムが汚れたときは、以下の手順で拭きます。

- フロントカバーを開けます。
- トップカバーを開けます。
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）を取り出します。
- 遮光フィルム（1）をやわらかいティッシュで拭きます。



- イメージドラム（ドラムカートリッジ）をプリンタ本体に戻します。
- トップカバーを閉じ、両端を上からしっかりと押します。
- フロントカバーを閉じます。

ベルトユニットを交換する

ベルトユニットを交換する場合は「[お問い合わせ窓口](#)」（P.150）に連絡してください。

ベルトユニットの寿命

操作パネルの液晶パネルに「[ベルトユニットの交換時期が近づいています](#)」が表示されたら、新しいベルトユニットを用意してください。次のメッセージが表示されるまで、約1,000ページの印刷が可能です。

「[ベルトユニットを交換してください](#)」が表示されたら、ベルトユニットを交換してください。

ベルトユニットの印刷可能ページ数は、約80,000ページです（A4横送り片面印刷で一度に3ページずつ印刷した場合）。

! 注

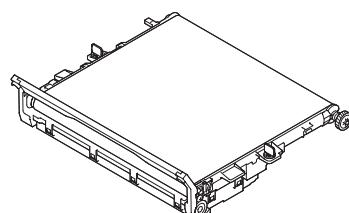
- ベルトユニットの実際の印刷可能ページ数は、使用方法により異なります。
- 「[ベルトユニットを交換してください](#)」が表示されたあとも、フロントカバーを開閉するにしばらく印刷を続けることはできますが、故障の原因となりますのでベルトユニットを交換してください。
- ベルトユニットを交換したら、そのまま寿命になるまでお使いください。寿命前に取り外したベルトユニットを他の装置で使用すると、寿命が正しく表示されなくなります。
- <設定>ボタン>[管理者用メニュー]>[システム設定]>[ニアライフ時のステータス]が、[無効]に設定されている場合、「[ベルトユニットの交換時期が近づいています](#)」が表示されません。

交換手順

! 注

- イメージドラム（ドラムカートリッジ）（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）は、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。

- 新しいベルトユニットを準備します。

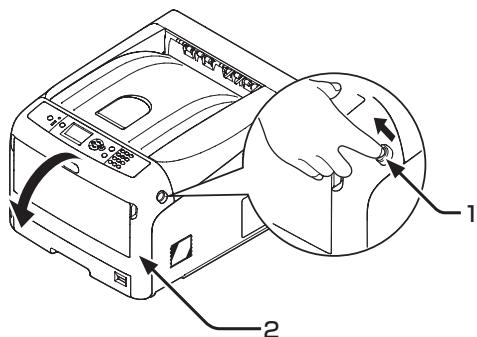


- プリンターの電源スイッチを押し、電源を切ります。

■参考

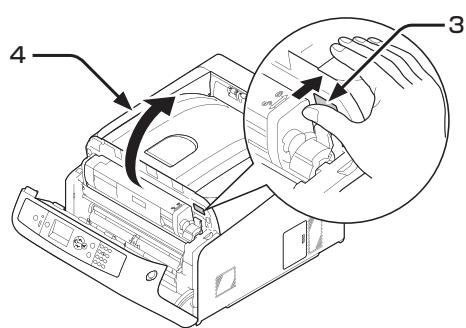
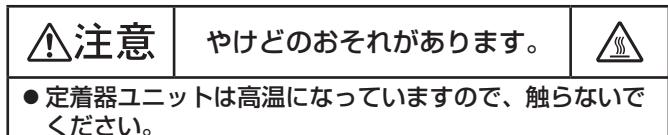
- 「[電源の切り方](#)」（P.24）

- 3 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー (1) を引き、フロントカバー (2) を手前に開きます。

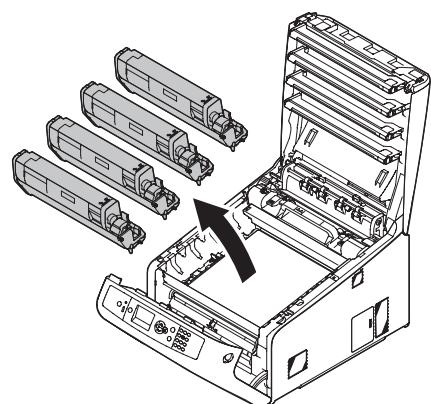


4

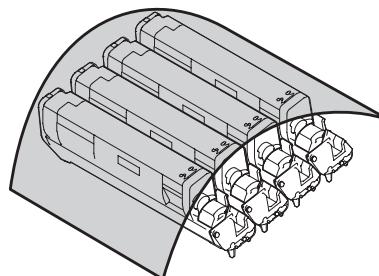
- 4 トップカバーオープンボタン (3) を押し、トップカバー (4) を開けます。



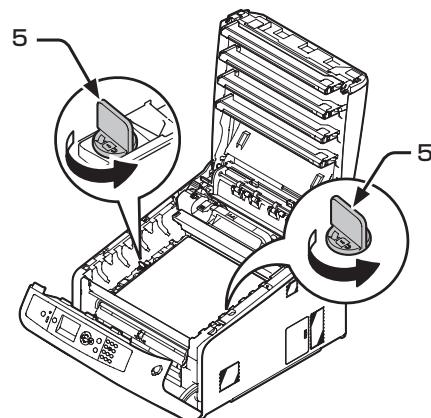
- 5 イメージドラム（ドラムカートリッジ）各色 (4 本) をすべて取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所に置きます。



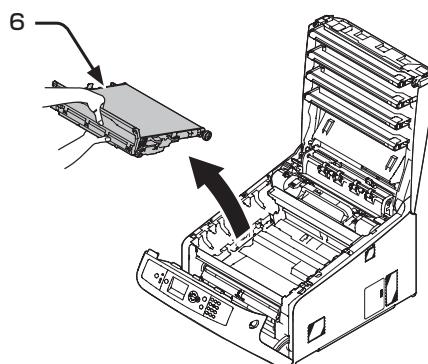
- 6 取り出したイメージドラム（ドラムカートリッジ）に光が当たらないように紙をかぶせます。



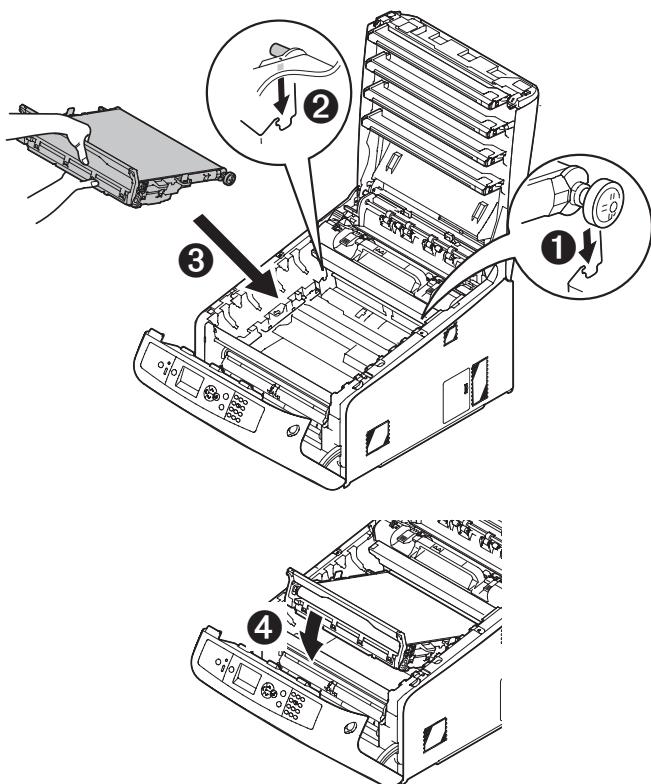
- 7 ベルトユニットの両側の青いロック (5) を矢印の方向に回してロックを解除します。



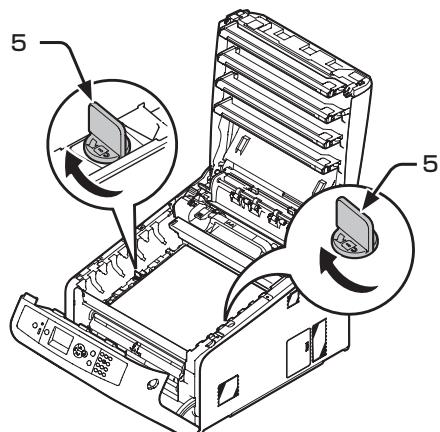
- 8 青いレバー (6) を持ち、ベルトユニットを取り出します。



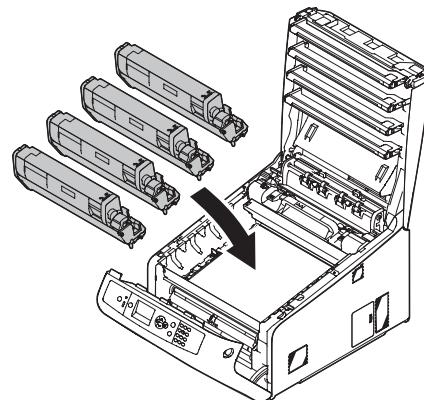
- 9 新しいベルトユニットの取っ手を持ち、もう一方の手で下を支えながら、プリンターにセットします。



- 10 新しいベルトユニットの両側の青いロック(5)を矢印の方向に回します。



- 11 イメージドラム(ドラムカートリッジ)4本を静かにプリンターに戻します。



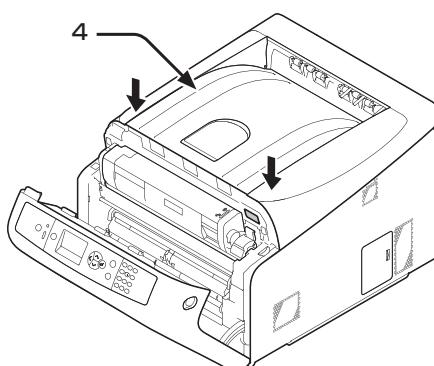
4

4. メンテナンス

- 12 トップカバー(4)を閉じ、両端を上からしっかりと押します。

メモ

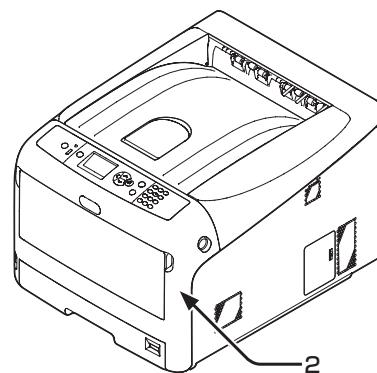
- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



- 13 フロントカバー(2)を閉じます。

注

- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを完全に閉じられません。



14 使用済みのベルトユニットの扱いについては、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。

△メモ

- やむを得ず、使用済みベルトユニットを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

定着器ユニットを交換する

定着器ユニットを交換する場合は「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。

定着器ユニットの寿命

操作パネルの液晶パネルに「定着器ユニットの交換時期が近づいています」が表示されたら、新しい定着器ユニットを用意してください。次のメッセージが表示されるまで、約1,250ページの印刷が可能です。

【定着器ユニットを交換してください】が表示されたら、定着器ユニットを交換してください。

定着器ユニットの印刷可能ページ数は、A4片面印刷時で最大100,000ページです。

! 注

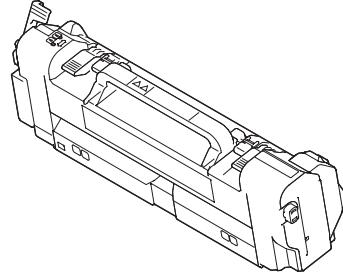
- 定着器ユニットの実際の印刷可能ページ数は、使用方法により異なります。
- 【定着器ユニットを交換してください】が表示されたあとも、フロントカバーを開閉するとしばらく印刷を続けることはできますが、故障や紙づまりの原因となりますので定着器ユニットを交換してください。
- 定着器ユニットを交換したら、そのまま寿命になるまでお使いください。寿命前に取り外した定着器ユニットを他の装置で使用すると、寿命が正しく表示されなくなります。
- <設定>ボタン>【管理者用メニュー】>【システム設定】>【ニアライフ時のステータス】が、【無効】に設定されている場合、【定着器ユニットの交換時期が近づいています】が表示されません。

交換手順

! 注

- イメージドラム（ドラムカートリッジ）は、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分以上は放置しないでください。

1 新しい定着器ユニットを準備します。

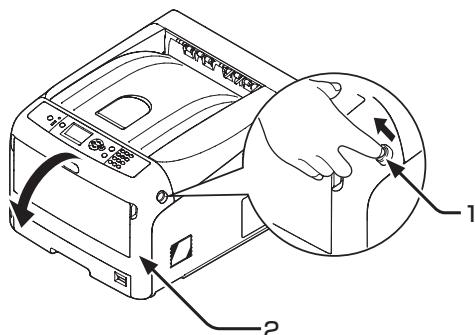


2 プリンターの電源スイッチを押し、電源を切ります。

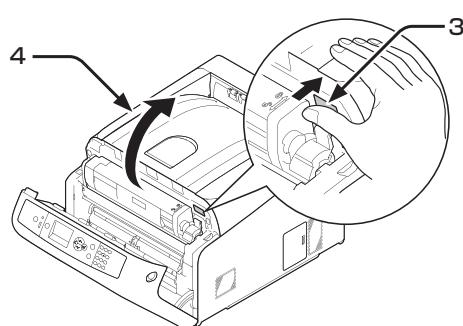
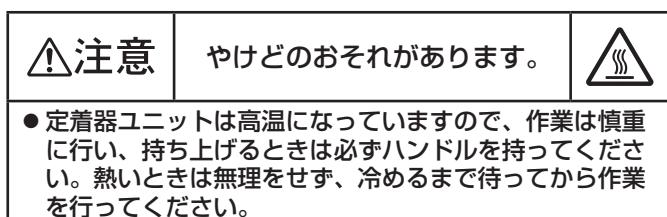
■参考

- 「電源の切り方」(P.24)

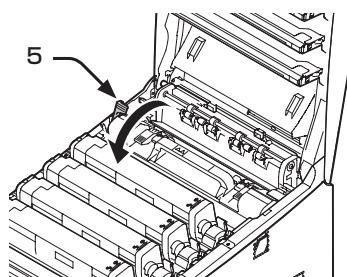
- 3 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー (1) を引き、フロントカバー (2) を手前に開きます。



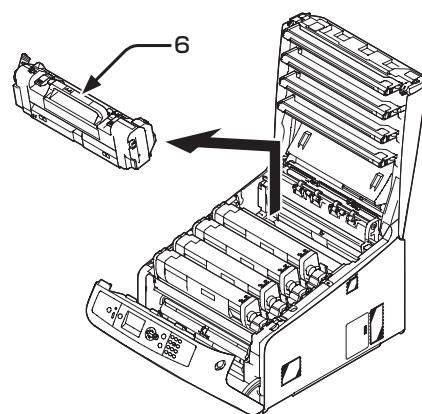
- 4 トップカバーオープンボタン (3) を押し、トップカバー (4) を開けます。



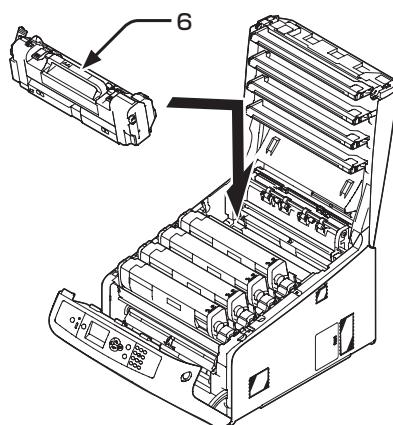
- 5 定着器ユニットの左側の固定レバー (5) を手前に倒し、ロックを解除します。



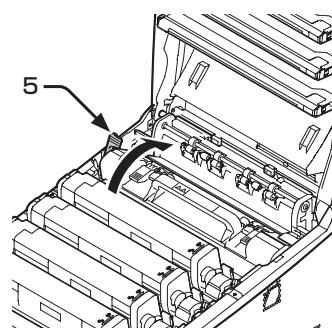
- 6 定着器ユニットのハンドル (6) を持ち、プリンターから定着器ユニットを取り出します。



- 7 新しい定着器ユニットのハンドル (6) を持ち、定着器ユニットをプリンターにセットします。



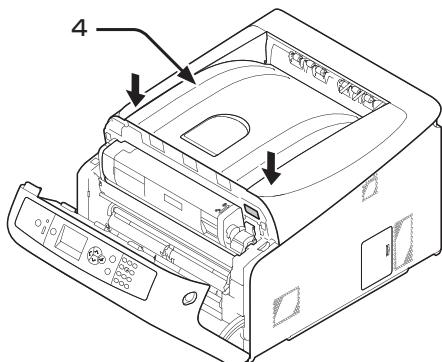
- 8 定着器ユニットの左側の固定レバー (5) を奥側に倒し、ロックを解除します。



9 トップカバー（4）を閉じ、両端を上からしっかりと押します。

※メモ

- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。
- フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



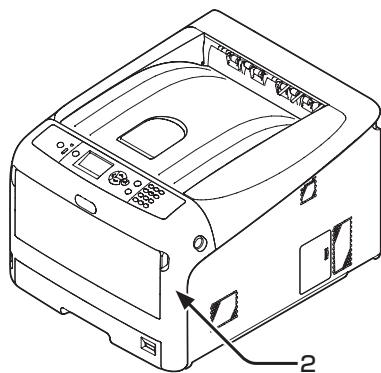
4

4. メンテナンス

10 フロントカバー（2）を閉じます。

※注

- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを完全に閉じられません。



11 使用済みの定着器ユニットの扱いについては、「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。

※メモ

- やむを得ず、使用済み定着器ユニットを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

給紙ローラーを交換する

給紙ローラーを交換する場合は「お問い合わせ窓口」(P.150)に連絡してください。

給紙ローラーの寿命

給紙ローラーの交換の目安は、各トレイとも約120,000ページです。

※メモ

- 給紙ローラーの実際の寿命は、環境や用紙によって異なります。
- 給紙ローラーを清掃しても紙づまりが続くときは給紙ローラーの交換をおすすめします。

交換手順（トレイ1/2/3/4）

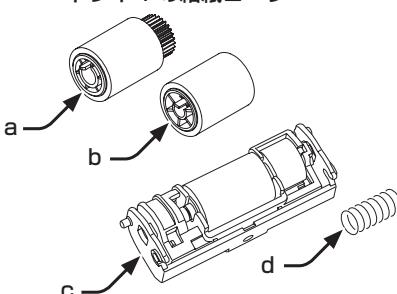
トレイ1とトレイ2/3/4では、給紙ローラーの形状が異なります。交換するトレイを確認して、新しい給紙ローラーを準備してください。

ここでは、トレイ1の給紙ローラーを交換する手順を例にしています。トレイ2/3/4の場合も同様の手順で行います。

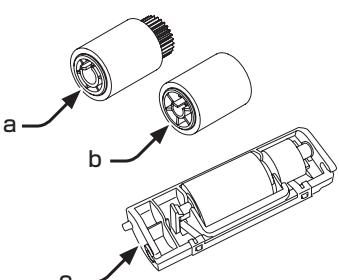
1 トレイ1用の給紙ローラーセットに、以下の部品がそろっていることを確認します。

- a 給紙ローラー（ギア付）
- b 給紙ローラー（ギアなし）
- c 分離ローラー
- d バネ

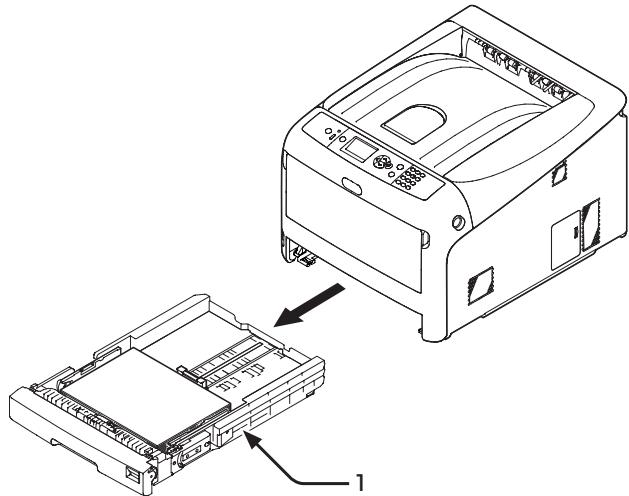
トレイ1の給紙ローラー



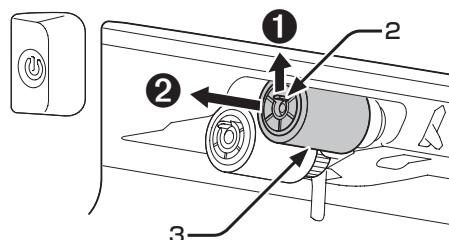
トレイ2/3/4の給紙ローラー



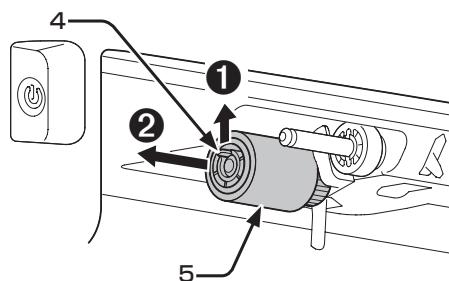
2 用紙カセット (1) を引き抜きます。



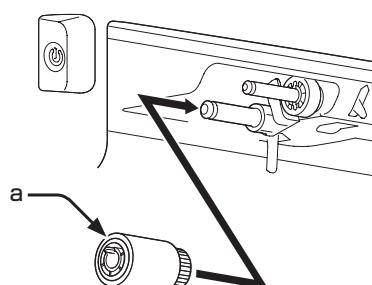
3 手前の給紙ローラーの爪 (2) を外側に広げながら、手前の給紙ローラー (3) を左にスライドさせて、取り外します。



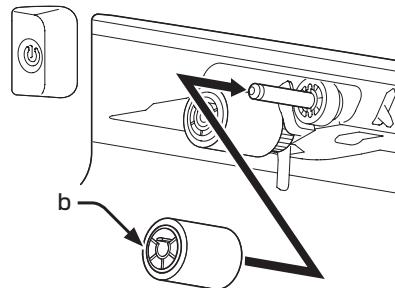
4 奥の給紙ローラーの爪 (4) を外側に広げながら、奥の給紙ローラー (5) を左にスライドさせて、取り外します。



5 新しい給紙ローラー (ギア付) (a) を奥の軸に取り付けます。

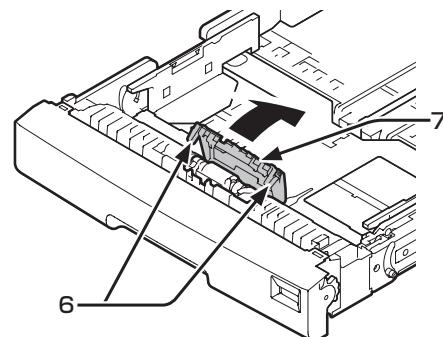


6 新しい給紙ローラー (ギアなし) (b) を手前の軸に取り付けます。



7 用紙カセットから用紙を取り出します。

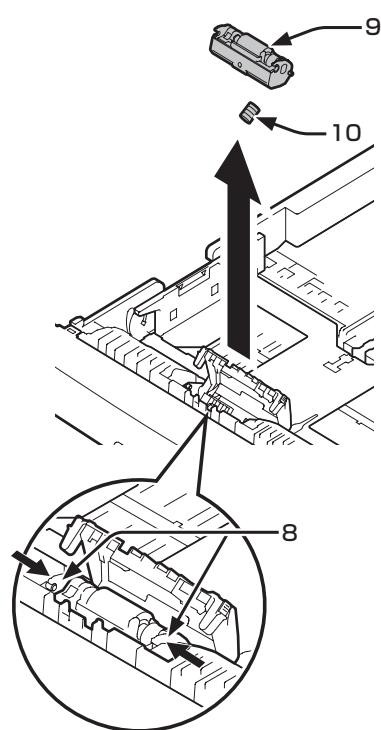
8 用紙カセットの手前側の 2 つの爪 (6) を内側に押しながら、分離ローラーのカバー (7) を開きます。



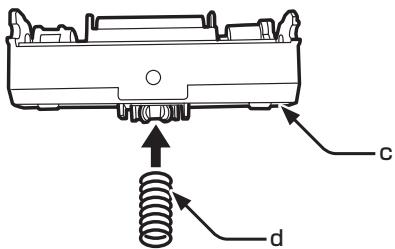
9 分離ローラーの、用紙カセットの左右の突起にはまっている部分 (8) を内側に押し、分離ローラー (9) とバネ (10) を取り外します。

! 注

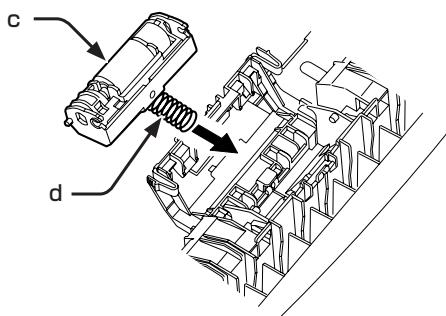
- トレイ 2/3/4 の場合は、取り外したバネを使用しますので捨てないでください。



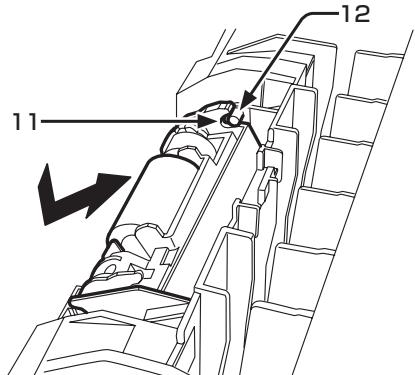
- 10 新しい分離ローラー (c) に新しいバネ (d) を取り付けます。(トレイ 2/3/4 の場合は、手順 9 で取り外したバネをご使用ください。)



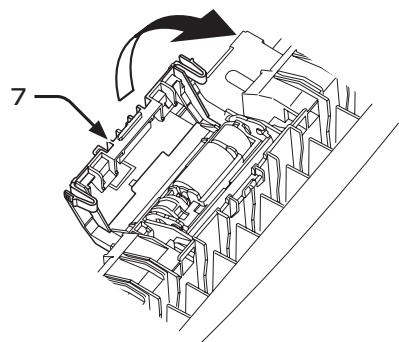
- 11 バネ (d) を用紙力セットにセットし、分離ローラー (c) を用紙力セットに押し込みます。



- 12 分離ローラーの両側のくぼみ (11) を用紙力セットの突起 (12) にはめ込みます。



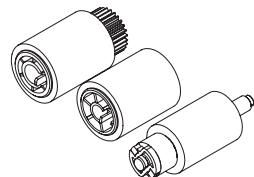
- 13 分離ローラーのカバー (7) を閉じます。



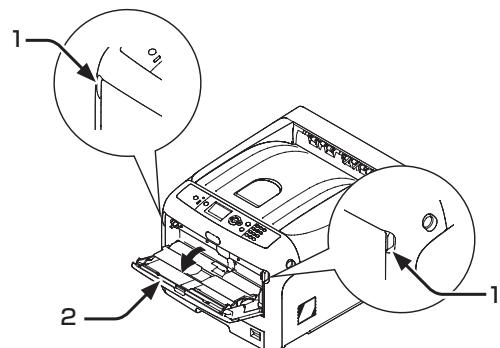
- 14 用紙力セットに用紙をセットし、用紙力セットをプリンターに戻します。

交換手順 (マルチパーカストレイ)

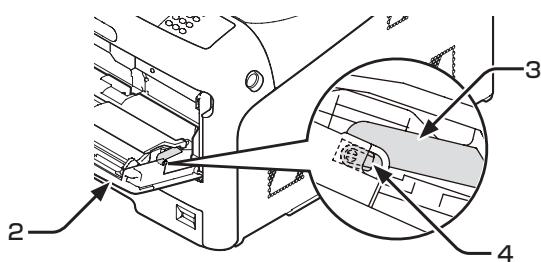
- 1 マルチパーカストレイ用の給紙ローラーを準備します。



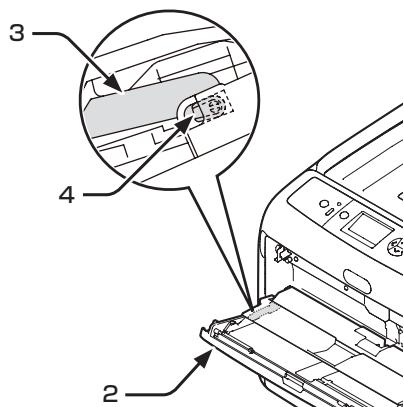
- 2 正面のくぼみ (1) に指を入れ、マルチパーカストレイ (2) を手前に開きます。



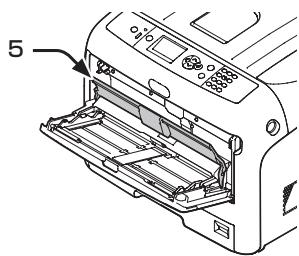
- 3 マルチパーカストレイ (2) を軽く持ち上げながら、右側のアーム (3) を内側に押し、爪 (4) を外します。



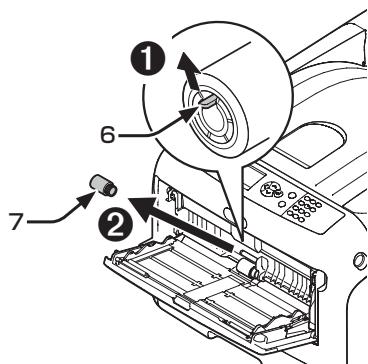
- 4 同様に、マルチパーカストレイ (2) を軽く持ち上げながら、左側のアーム (3) を内側に押し、爪 (4) を外します。



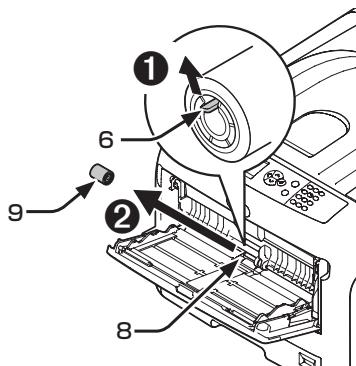
- 5 用紙セットカバー（5）を本体に付くまで開けます。



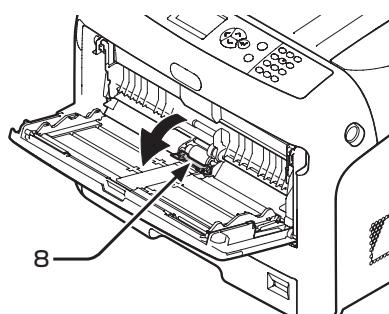
- 6 上側の給紙ローラーの爪（6）を外側に広げながら、給紙ローラー（7）を左にスライドさせて、取り外します。



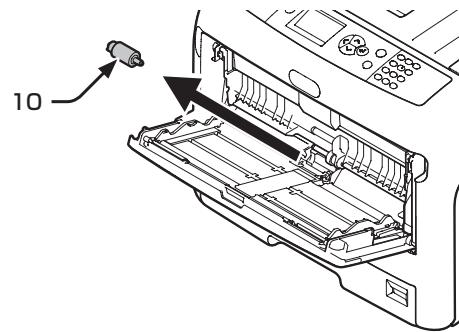
- 7 分離ローラーカバー（8）を押したまま、下側の給紙ローラーの爪（6）を外側に広げ、給紙ローラー（9）を左にスライドさせて取り外します。



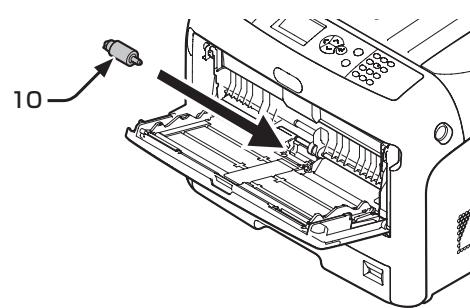
- 8 マルチパーカストレイの中央を押したまま、分離ローラーカバー（8）を手前に開けます。



- 9 分離ローラー（10）を取り出します。



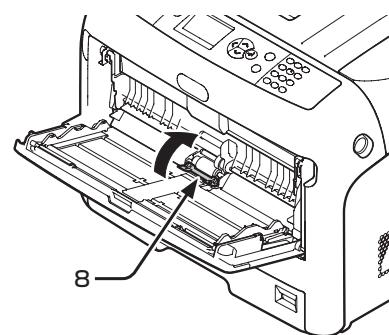
- 10 マルチパーカストレイの中央を押したまま、新しい分離ローラー（10）をセットします。



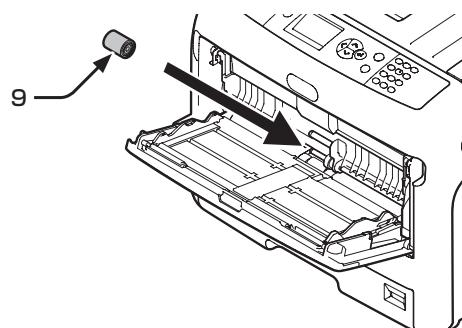
〔メモ〕

- ローラーのゴムの部分はさわらないようにしてください。

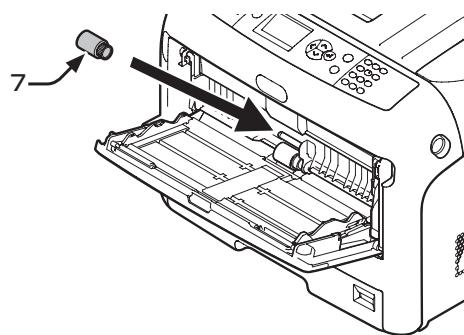
- 11 分離ローラーカバー（8）を閉じます。



- 12 給紙ローラー（9:ギアなし）を下側の軸にセットします。



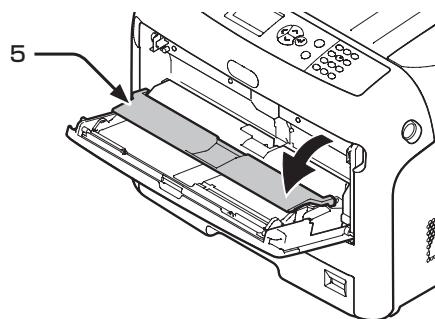
13 給紙ローラー(7:ギア付き)を上側の軸にセットします。



4

4. メンテナンス

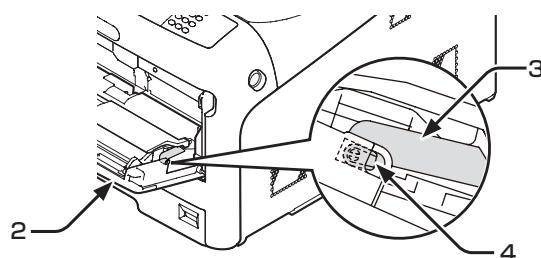
14 用紙セットカバー(5)を下ろします。



15 マルチパーストレイの右側のアーム(3)を内側に押したままマルチパーストレイ(2)を軽く持ち上げ、爪(4)を引っ掛けます。

! 注

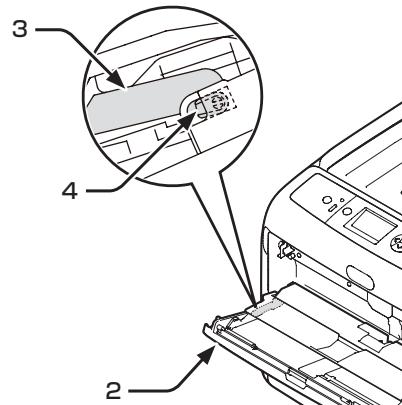
- 正しい位置に爪を戻さないでマルチパーストレイを閉めると、用紙セットカバーが割れることができます。必ず元の位置に戻してください。



16 同様に、マルチパーストレイの左側のアーム(3)を内側に押したままマルチパーストレイ(2)を軽く持ち上げ、爪(4)を引っ掛けます。

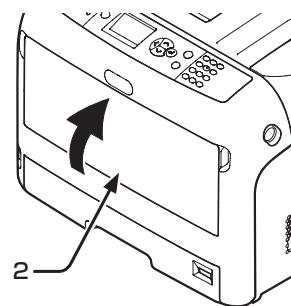
! 注

- 正しい位置に爪を戻さないでマルチパーストレイを閉めると、用紙セットカバーが割れることができます。必ず元の位置に戻してください。



17 マルチパーストレイ(2)を閉じます。

マルチパーストレイが閉まらない場合は、マルチパーストレイの用紙セット部分を下に押して用紙セットカバーを正しい位置に戻してください。



18 使用済みの給紙ローラーの扱いについては、「[お問い合わせ窓口](#)」(P.150)に連絡してください。

メモ

- やむを得ず、使用済み給紙ローラーを処分する場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

● プリンターのお手入れ

この節では、プリンターの各部の清掃方法について説明します。

プリンターの表面を清掃する

! 注意

- ベンジン、シンナー、アルコールは使用しないでください。プリンターのプラスチック部分を傷める場合があります。
- プリンターに注油しないでください。

1 プリンターの電源を切ります。

■ 参照

● 「電源の切り方」 (P.24)

2 プリンターの表面を、水または中性洗剤を含ませてかたく絞った布で拭きます。

3 プリンターの表面を、乾燥した柔らかい布で拭きます。

給紙ローラーを清掃する

紙づまりが頻繁に発生する場合、給紙ローラーを清掃してください。

■ メモ

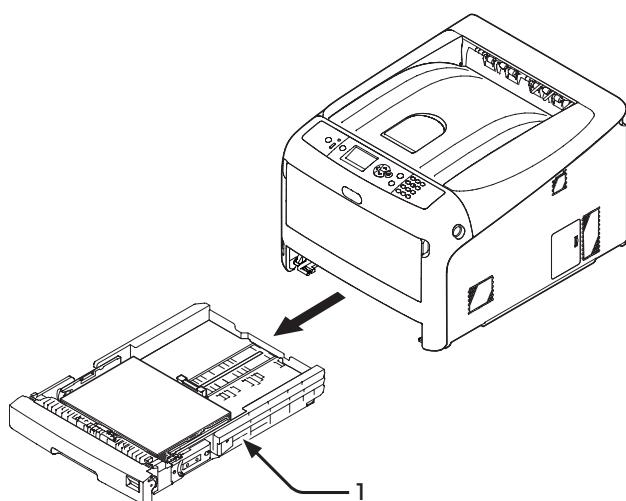
- 給紙ローラーを清掃しても紙づまりが続くときは給紙ローラーの交換をおすすめします。

トレイ 1/2/3/4

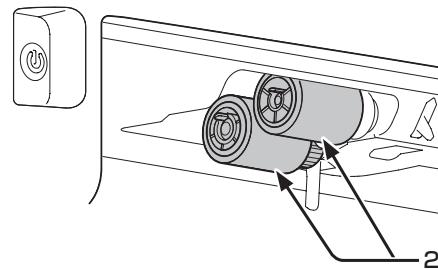
■ メモ

- ここではトレイ 1 を例にしていますが、トレイ 2/3/4 にも同様の手順で行います。

1 用紙カセット (1) を引き出します。

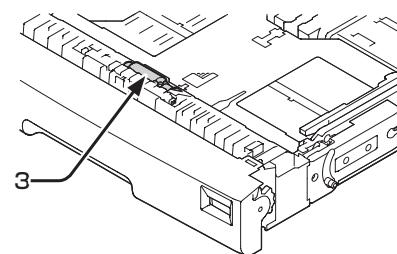


2 プリンター内部の給紙ローラー (2) 2 個を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。



3 用紙カセットにセットされている用紙を取り除きます。

4 用紙カセットの給紙ローラー (3) を水を含ませてかたく絞った布で拭きます。

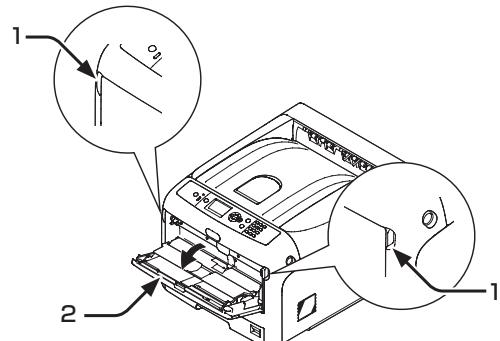


5 用紙を用紙カセットにセットします。

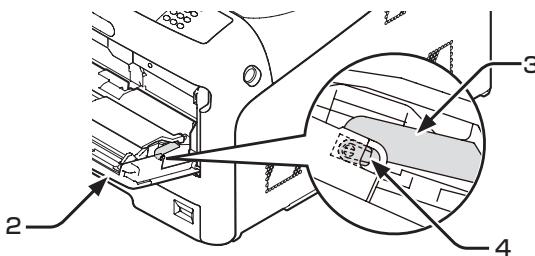
6 用紙カセットをプリンターに戻します。

マルチパーパストレイ

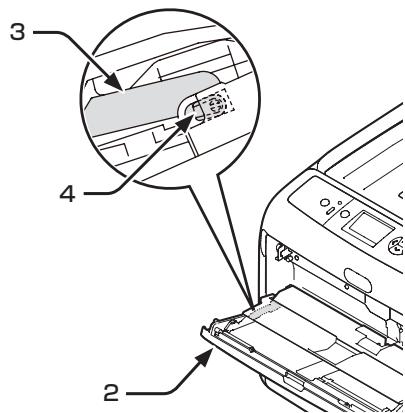
1 正面のくぼみ (1) に指を入れ、マルチパーパストレイ (2) を手前に開きます。



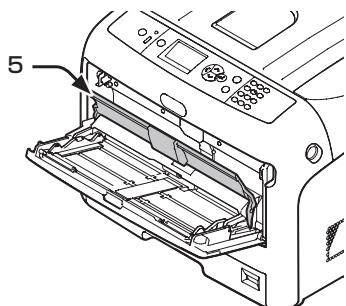
- 2 マルチパーカストレイ (2) を軽く持ち上げながら、右側のアーム (3) を内側に押し、爪 (4) を外します。



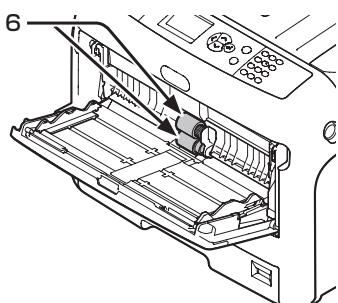
- 3 同様に、マルチパーカストレイ (2) を軽く持ち上げながら、左側のアーム (3) を内側に押し、爪 (4) を外します。



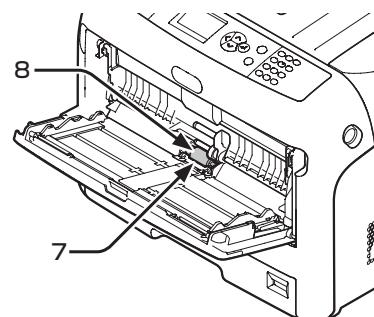
- 4 用紙セットカバー (5) を本体に付くまで開けます。



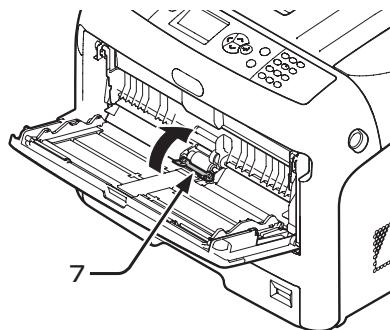
- 5 紙ローラー (6) 2 個を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。



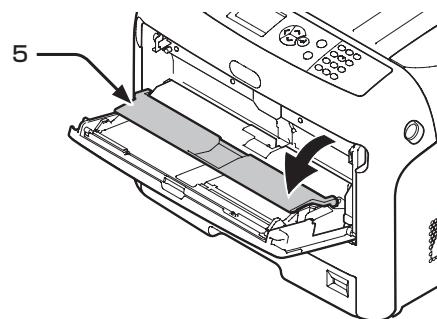
- 6 マルチパーカストレイの中央を押したまま、分離ローラーカバー (7) を手前に開け、分離ローラー (8) を、水を含ませてかたく絞った布で拭きます。



- 7 分離ローラーカバー (7) を閉じます。



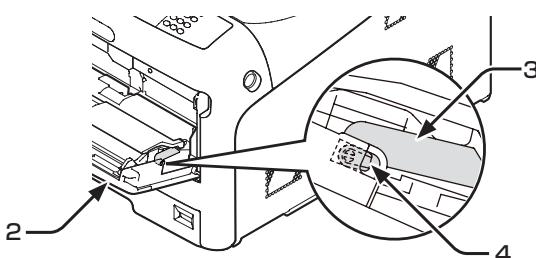
- 8 用紙セットカバー (5) を下ろします。



- 9 マルチパーパストレイの右側のアーム（3）を内側に押したままマルチパーパストレイ（2）を軽く持ち上げ、爪（4）を引っ掛けます。

! 注

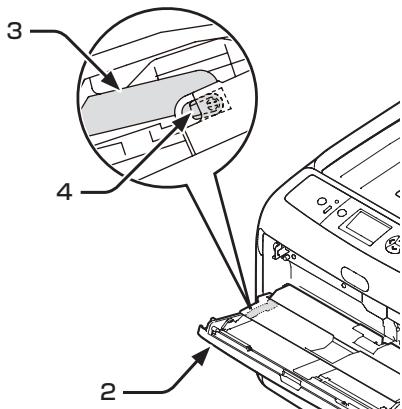
- 正しい位置に爪を戻さないでマルチパーパストレイを開めると、用紙セットカバーが割れることができます。必ず元の位置に戻してください。



- 10 同様に、マルチパーパストレイの左側のアーム（3）を内側に押したままマルチパーパストレイ（2）を軽く持ち上げ、爪（4）を引っ掛けます。

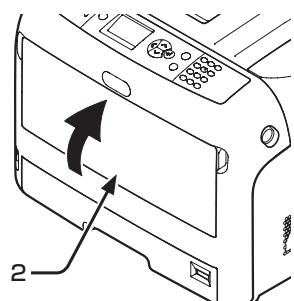
! 注

- 正しい位置に爪を戻さないでマルチパーパストレイを開めると、用紙セットカバーが割れることができます。必ず元の位置に戻してください。



- 11 マルチパーパストレイ（2）を閉じます。

マルチパーパストレイが閉まらない場合は、マルチパーパストレイの用紙セット部分を下に押して用紙セットカバーを正しい位置に戻してください。



LED ヘッドを清掃する

出力紙に縦に線が入る場合、画像が縦に消える場合、または文字の周囲がにじむ場合は、LED ヘッドを清掃してください。LED ヘッドが汚れていると、紙づまりの原因になります。

! 注

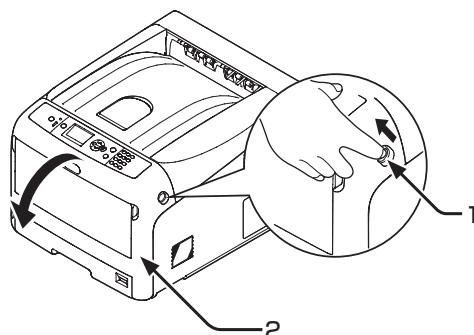
- メチルアルコールまたはシンナーを使用しないでください。LED ヘッドを傷める場合があります。
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）は、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも 5 分以上は放置しないでください。

- 1 プリンターの電源スイッチを押し、電源を切ります。

■ 参照

- 「電源の切り方」(P.24)

- 2 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー（1）を引き、フロントカバー（2）を手前に開けます。



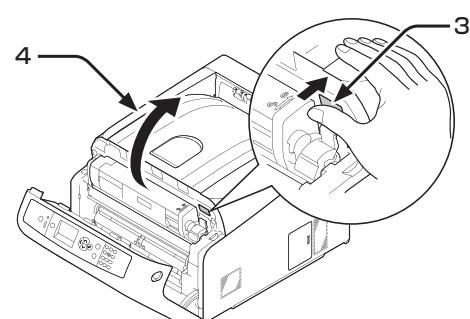
- 3 トップカバーオープンボタン（3）を押し、トップカバー（4）を開けます。

! 注意

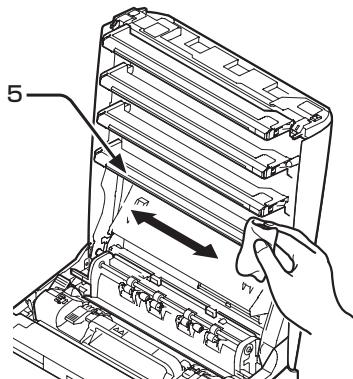
やけどのおそれがあります。



- 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。



- 4 柔らかいティッシュペーパーで LED ヘッドのレンズ面 (5) を軽く拭きます。

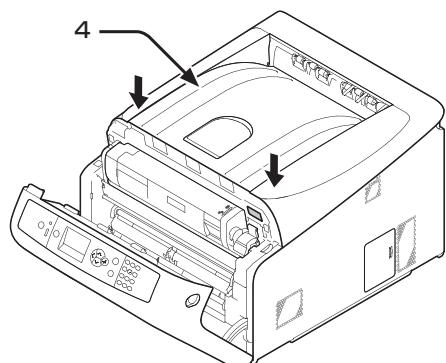


4

- 5 トップカバー (4) を閉じ、両端を上からしつかり押します。

メモ

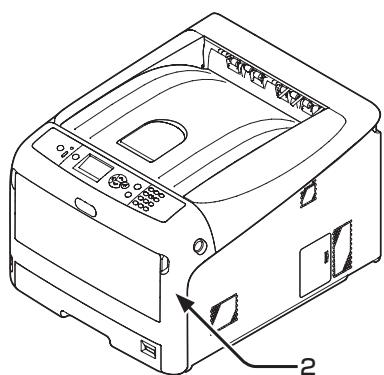
- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



- 6 フロントカバー (2) を閉じます。

注

- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを閉じられません。



● プリンターを移動・輸送する

この節では、プリンターを移動または搬送する方法について説明します。

プリンターを移動する

△注意	ケガをするおそれがあります。	!
● プリンターは、重量が約 40 kg ありますので、2人以上で持ち上げてください。		

- 1 プリンターの電源スイッチを押し、電源を切ります。

■ 参照

- 「電源の切り方」 (P.24)

- 2 すべてのケーブルを取り外します。

- 電源コードとアース線
- イーサネットケーブル / USB ケーブル

- 3 用紙トレイから用紙を取り除きます。

- 4 プリンターを持ち上げ、移動先に運びます。

プリンターを輸送する

△注意	ケガをするおそれがあります。	!
● プリンターは、重量が約 40 kg ありますので、2人以上で持ち上げてください。		

△注意	やけどのおそれがあります。	!
● 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。		

! 注

- イメージドラム（ドラムカートリッジ）（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため、取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラム（ドラムカートリッジ）は、直射日光や強い光（約 1500 ルクス以上）に当たないでください。室内の照明の下でも 5 分以上は放置しないでください。

- 1 プリンターの電源スイッチを押し、電源を切ります。

■ 参照

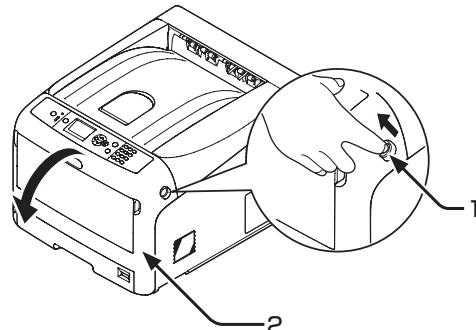
- 「電源の切り方」 (P.24)

- 2 すべてのケーブルを取り外します。

- 電源コードとアース線
- イーサネットケーブル / USB ケーブル

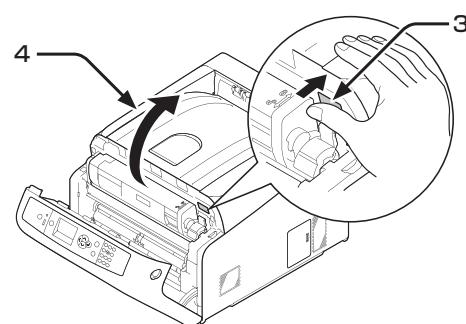
- 3 用紙カセットから用紙を取り除きます。

- 4 プリンターの右側面のくぼみに指を入れてフロントカバーオープンレバー (1) を引き、フロントカバー (2) を手前に開けます。

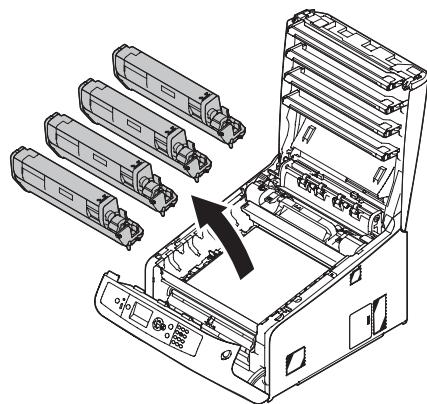


- 5 トップカバーオープンボタン (3) を押し、トップカバー (4) を開けます。

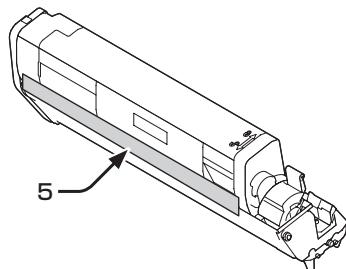
△注意	やけどのおそれがあります。	!
● 定着器ユニットは高温になっていますので、触らないでください。		



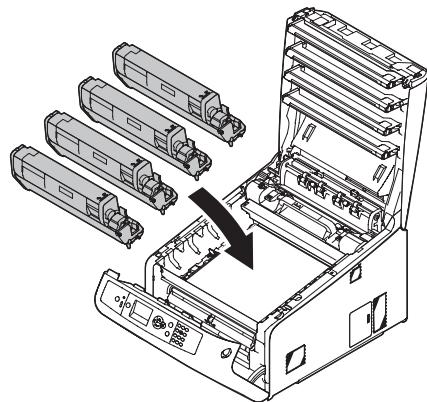
- 6 トナーカートリッジを両手で持ち、そのままイメージドラム（ドラムカートリッジ）も一緒に取り出します。4色全てのトナーカートリッジとイメージドラム（ドラムカートリッジ）を取り出し、新聞紙等を敷いた平らな場所へ置きます。



- 7 トナーカートリッジを、各イメージドラム（ドラムカートリッジ）にビニールテープ（5）で固定します。



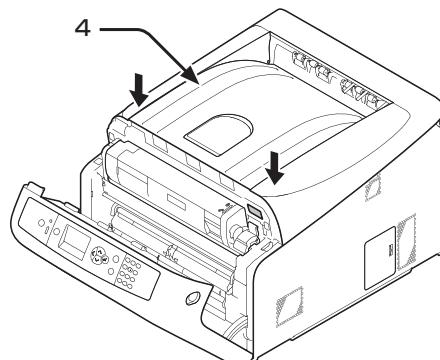
- 8 イメージドラム（ドラムカートリッジ）/ トナーカートリッジ（4本）をプリンターに戻します。



- 9 トップカバー（4）を閉じ、両端を上からしっかりと押します。

※メモ

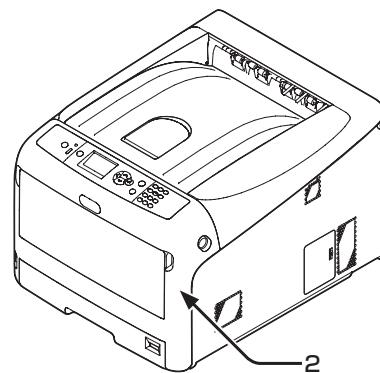
- トップカバーを閉める際に、フロントカバーを少し閉めて行うとスムーズに行えます。フロントカバーが開いて元に戻ることがありますので注意してください。



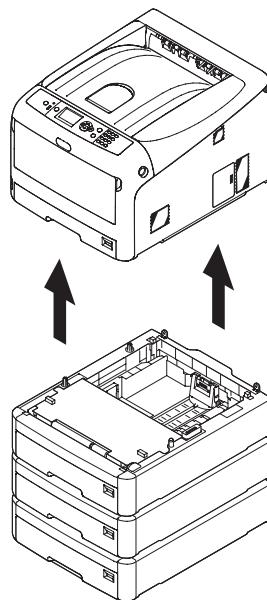
- 10 フロントカバー（2）を閉じます。

※注

- トップカバーを閉じないと、フロントカバーを閉じられません。



- 11 オプションの増設トレイユニットを取り付けている場合は、プリンターから取り外します。



- 12 プリンターに緩衝材を取り付けます。
- 13 プリンターを持ち上げ、梱包箱に入れます。

! 注

- 製品購入時にプリンターについていた梱包箱と緩衝材を使用してください。
- プリンターを輸送後、再度設置するときには、イメージドラム（ドラムカートリッジ）とトナーカートリッジを固定したビニールテープをはがしてください。

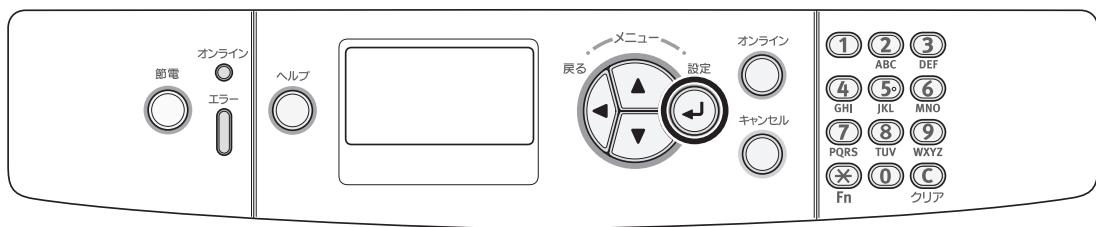
5. 付録

この章には、プリンターの仕様と、消耗品およびオプションの構成部品に関する情報を記載しています。

● 操作パネルのメニュー項目一覧

液晶パネルでプリンターの状態を確認する

操作パネルの <設定> ボタンを使用して、プリンターの状態を確認できます。



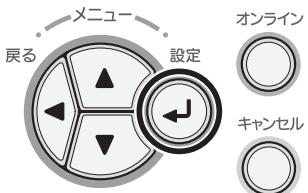
5

5
付録

装置の状態を確認する

消耗品の残量やカウンタ情報、ネットワーク、およびシステム情報を、液晶パネルで確認できます。

1 操作パネルの <設定> ボタンを押します。

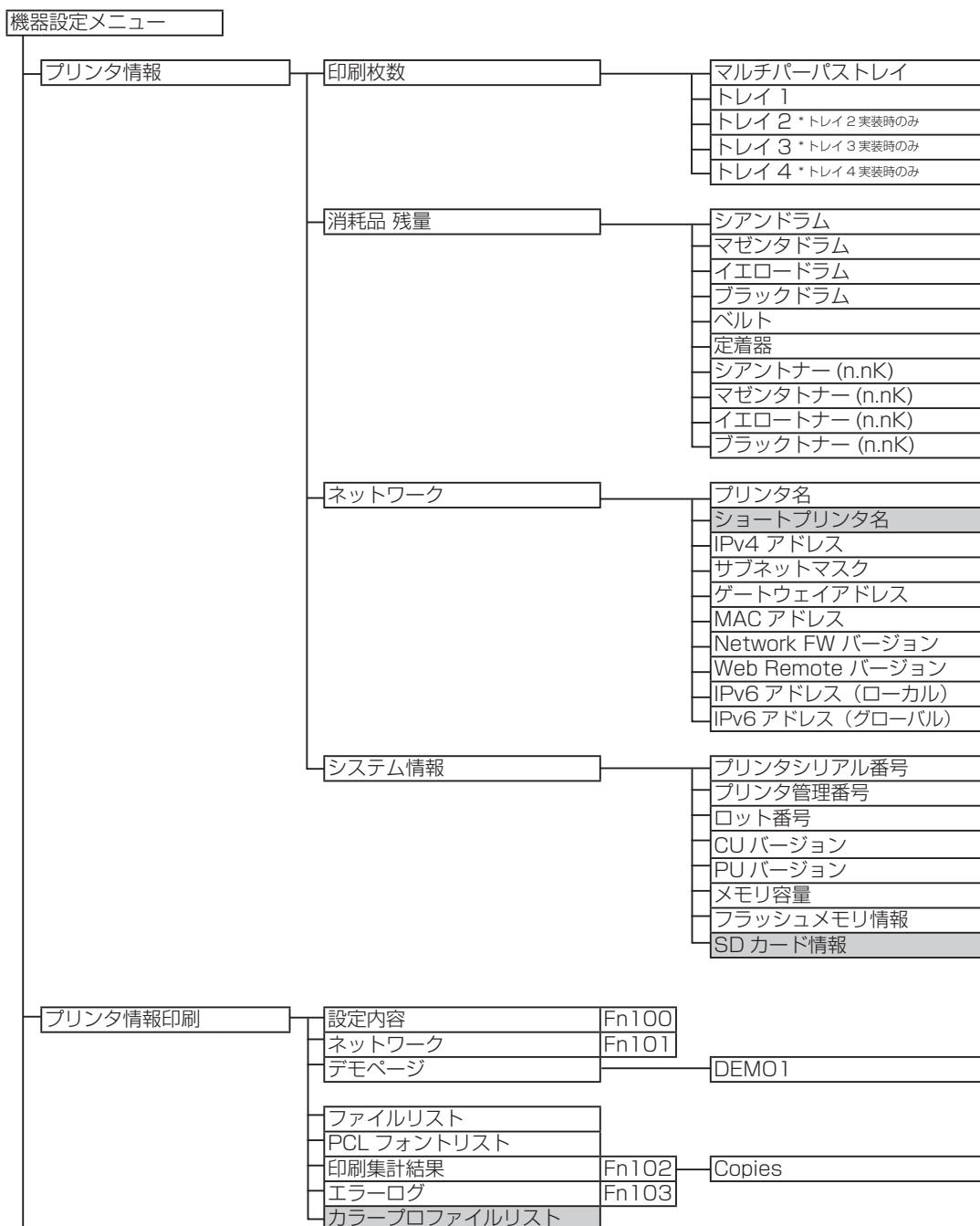


2 スクロールボタン ▼ を押して確認の必要な項目を選択し、<設定> ボタンを押します。

操作パネルのメニュー項目一覧

！お願い

- 本プリンターでは、網掛け部は未サポートです。設定しないでください。
 - 未サポートの設定を変更した場合、印刷動作の保証範囲外となるため、初期設定値に戻してください。
- メニュー項目の Fn に続く数字は、機能番号を表します。

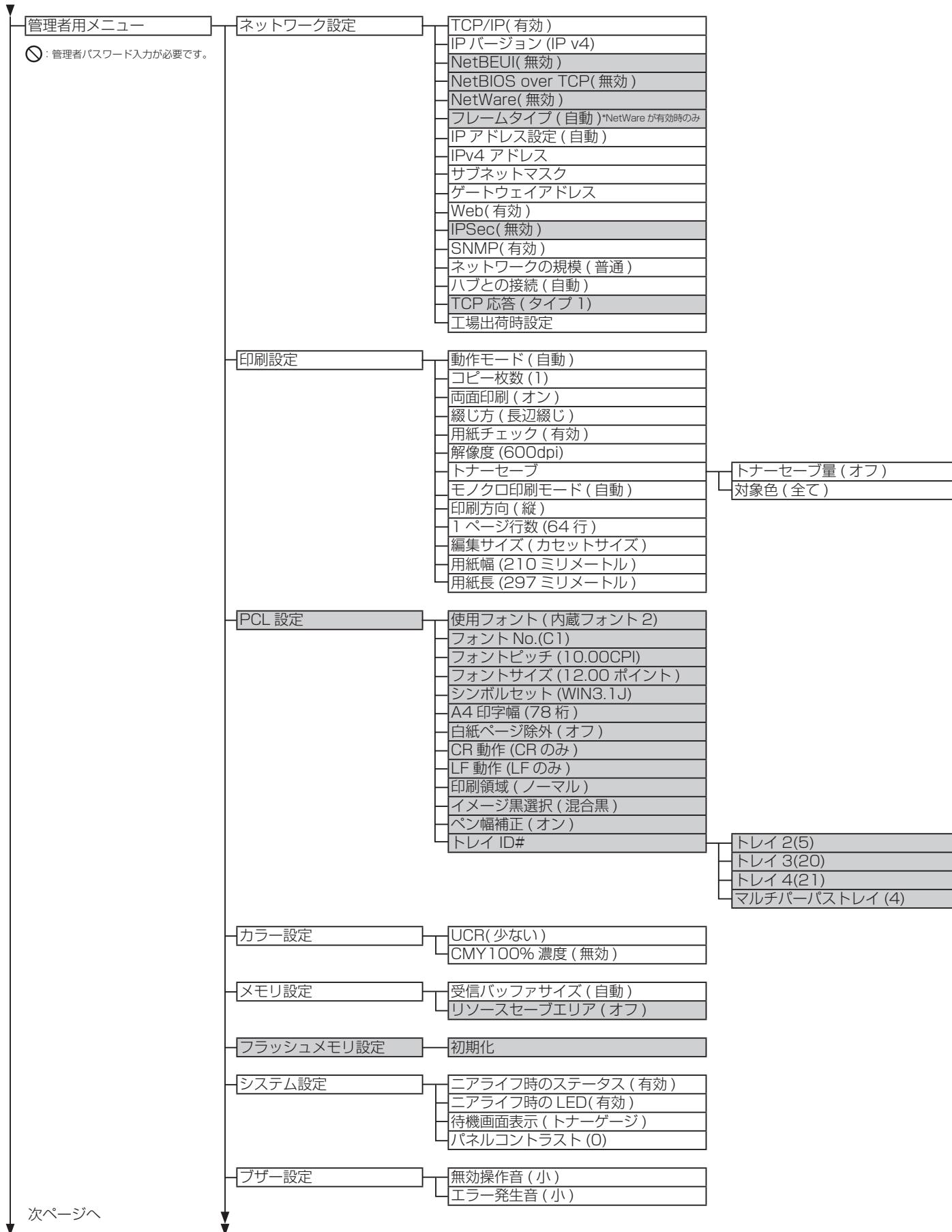


メモ
● () は工場出荷時の設定です。



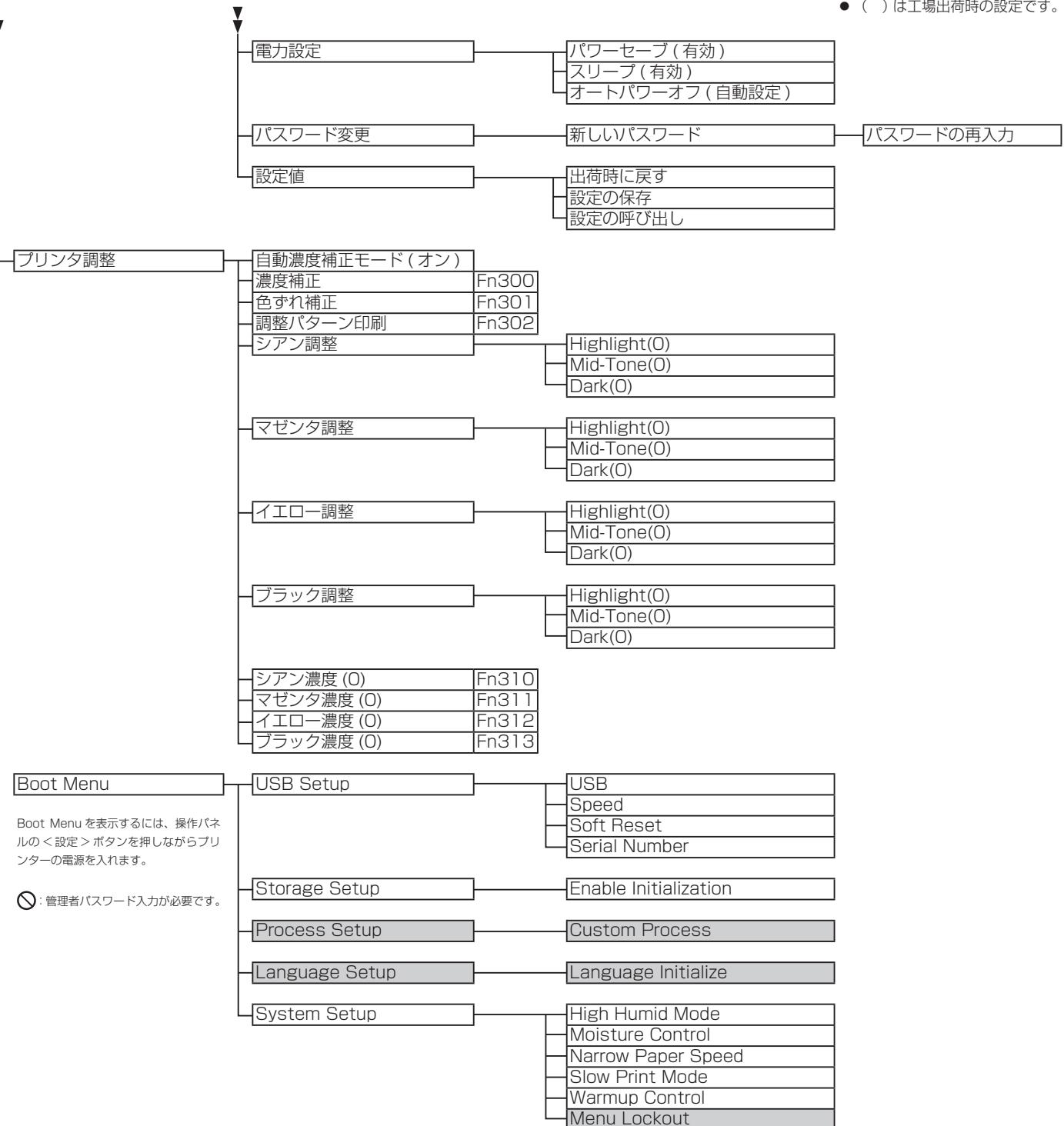


- () は工場出荷時の設定です。





● ()は工場出荷時の設定です。



● 消耗品・オプションについて

以下の消耗品・オプションの情報は、このマニュアルを発行した時点のものです。

最新情報は、富士通製品情報ページ (<http://www.fmworld.net/biz/fmv/>) でご確認ください。

ご購入については、本製品をご購入の販売店にご相談ください。

● 富士通コワーコお客様総合センター

通話料無料 0120-505-279

受付時間：月曜日～金曜日 9:00～12:00、13:00～17:30（土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く）

URL:<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/>

■ 増設トレイユニット

商品名	商品番号	備考
拡張給紙ユニット	XL-EF55CF	2段目、3段目、4段目のトレイユニットとして使用できます。 収容枚数は約550枚（64g/m ² の用紙の場合）です。 給紙カセット添付

■ 256MB 増設メモリー

商品名	商品番号	備考
プリンタ RAM モジュール 256MB	XL-EM256CE	256MBの増設メモリーです。 本体の空スロットは1つです。 メモリーを増やしたいときに使用します。

■ USB ケーブル

商品名	商品番号	備考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU2G	対応OSが動作するコンピューターに接続できます。本ケーブルはUSB2.0に対応しています。（1.5m）

■ トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカーダリッジ）

商品名	商品番号	備考
トナーカートリッジ CL116A(ブラック)	0890110	印刷量の目安は、約2,500ページ ^{*1} です。
トナーカートリッジ CL116A(イエロー)	0890120	印刷量の目安は、約2,200ページ ^{*1} です。
トナーカートリッジ CL116A(マゼンタ)	0890130	印刷量の目安は、約2,200ページ ^{*1} です。
トナーカートリッジ CL116A(シアン)	0890140	印刷量の目安は、約2,200ページ ^{*1} です。
トナーカートリッジ CL116B(ブラック)	0890210	印刷量の目安は、約10,000ページ ^{*1} です。
トナーカートリッジ CL116B(イエロー)	0890220	印刷量の目安は、約10,000ページ ^{*1} です。
トナーカートリッジ CL116B(マゼンタ)	0890230	印刷量の目安は、約10,000ページ ^{*1} です。
トナーカートリッジ CL116B(シアン)	0890240	印刷量の目安は、約10,000ページ ^{*1} です。
環境共生トナー CL116BF(ブラック)	0890214	環境共生トナーは、使用後のトナーカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約10,000ページ ^{*1} です。 ●トナーカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。

商品名	商品番号	備考
環境共生トナー CL116BF(イエロー)	0890224	環境共生トナーは、使用後のトナーカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約 10,000 ページ ^{*1} です。 ● トナーカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。
環境共生トナー CL116BF(マゼンタ)	0890234	環境共生トナーは、使用後のトナーカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約 10,000 ページ ^{*1} です。 ● トナーカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。
環境共生トナー CL116BF(シアン)	0890244	環境共生トナーは、使用後のトナーカートリッジの返却を前提とした商品です。 印刷量の目安は、約 10,000 ページ ^{*1} です。 ● トナーカートリッジは「富士通コワーコ株式会社」の所有になります。
イメージドラム CL116(ブラック)	0890410	印刷量の目安は、3 ページ／ジョブ～連続印刷時は約 30,000 ページ ^{*2} です。約 1,200 ページ ^{*1} 印刷できるトナーカートリッジが添付されています。
イメージドラム CL116(イエロー)	0890420	印刷量の目安は、3 ページ／ジョブ～連続印刷時は約 30,000 ページ ^{*2} です。約 1,200 ページ ^{*1} 印刷できるトナーカートリッジが添付されています。
イメージドラム CL116(マゼンタ)	0890430	印刷量の目安は、3 ページ／ジョブ～連続印刷時は約 30,000 ページ ^{*2} です。約 1,200 ページ ^{*1} 印刷できるトナーカートリッジが添付されています。
イメージドラム CL116(シアン)	0890440	印刷量の目安は、3 ページ／ジョブ～連続印刷時は約 30,000 ページ ^{*2} です。約 1,200 ページ ^{*1} 印刷できるトナーカートリッジが添付されています。

! 注

- 消耗品、オプションは、商品本来の性能を発揮させるために、純正品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。
(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。)
- *1 A4 横送り片面印刷、ISO/IEC 19798 に準拠の参考値
- *2 A4 横送り片面、一度に 3 ページずつ印刷時
- 実際の印刷可能ページ数は、印刷内容や用紙サイズ、用紙種類、使用環境などや本体の電源の ON・OFF に伴う初期化動作やプリント品質保持のための調整動作などにより異なることがあります。
- トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）は、開封後 1 年以上経過すると印刷品位が低下しますので、新しい消耗品を準備してください。
- ご使用になるまで、開封しないでください。
- 直射日光を避け、温度：0 ～ 35°C、湿度：20 ～ 85% RH 範囲にある場所で保管してください。
- 周囲の温度や湿度が高すぎたり、急激に変化する場所では保管しないでください。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

● 仕様

■ 一般仕様

		XL-C8350
CPU		PowerPC464、800 MHz
メモリー	内蔵	256 MB
	オプション	256 MB
フラッシュ ROM		NAND : 64 MB NOR : 2 MB シリアル NOR : 512 KB
重量		40 kg (消耗品を含む)
寸法		449(W) x 552(D) x 360(H)
電源		AC100 V ± 10%、50/60 Hz ± 2%
消費電力	標準動作時	700 W
	待機時	100 W
	ピーク時	1400 W
	スリープモード時	0.7 W 未満
	省電力モード時	12 W 未満
	オフモード時	0.1 W 未満
TEC 値		2.8kWh (カラー : 35ppm)
省エネ法に基づくエネルギー消費効率 (2017 年度基準)		区分名 A 印刷速度 カラー : 35 枚 / 分 年間消費電力量 146 kWh/ 年
インターフェース		USB 2.0 (Hi-Speed)、Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX
表示画面		グラフィック LCD パネル、60(W) x 32.6(H) mm、128 x 64 ドット
対応 OS		Windows Server 2016、Windows 10、Windows 8.1、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Server 2008 日本語版、64 ビット版と 32 ビット版の両方に対応しています。 詳しくは動作環境をご覧ください。

■ 印刷部仕様

		XL-C8350
印刷方式	LED (発光ダイオード) を露光光源とする乾式電子写真記録方式	
印刷言語	PCL6 (XL 3.0、PCL5 c)	
内蔵フォント	PCL: 欧文 91 書体、日本語 4 書体	
解像度	600 x 600 dpi、600 x 1200 dpi、600 x 600 dpi 2bit	
印刷色	イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック	
印刷速度 (A4 横)	カラー・モノクロ 片面印刷: 35 ppm 両面印刷: 27 ppm	
ファーストプリント時間 (A4 横)	カラー・モノクロ 9.5 秒	
用紙サイズ	トレイ 1	リーガル 14 インチ、レター、A3、A4、A5、B4、B5、A6、カスタムサイズ
	増設トレイ (トレイ 2/3/4) (オプション)	リーガル 14 インチ、レター、A3、A4、A5、B4、B5、カスタムサイズ
	マルチパーパストレイ	リーガル 14 インチ、レター、A3、A4、A5、B4、B5、A6、B6、カスタムサイズ、 はがき、往復はがき、長形 3 号封筒、長形 4 号封筒、洋形 0 号封筒、洋形 4 号封筒、 角形 2 号封筒、角形 3 号封筒
	両面印刷	リーガル 14 インチ、レター、A3、A4、A5 (縦送り)、B4、B5、カスタムサ イズ (幅 148 ~ 297 mm x 長さ 182 ~ 431.8 mm)
	カスタムサイズ	<ul style="list-style-type: none"> トレイ 1 幅 105 ~ 297 mm、長さ 148、182 ~ 431 mm (幅 4.1 ~ 11.7 インチ、長さ 5.8、7.2 ~ 17 インチ) トレイ 2/3/4 (オプション) 幅 148 ~ 297 mm、長さ 182 ~ 431 mm (幅 5.8 ~ 11.7 インチ、長さ 7.2 ~ 17 インチ) マルチパーパストレイ 幅 64 ~ 297 mm、長さ 90 ~ 1321 mm (幅 2.5 ~ 11.7 インチ、長さ 3.5 ~ 52 インチ)
用紙種類	普通紙 (64 g/m ² (連量 55 kg) ~ 256 g/m ² (連量 220 kg))、郵便はがき、 封筒、ラベル紙	
給紙方式	トレイ 1 による自動給紙、マルチパーパストレイによる自動給紙と手差給紙 増設トレイユニット (オプション) による自動給紙	
給紙容量	<ul style="list-style-type: none"> トレイ 1 普通紙 320 枚 / 64 g/m² (連量 55 kg) 総厚 30 mm 以下 マルチパーパストレイ 普通紙 110 枚 / 64 g/m² (連量 55 kg) 総厚 10 mm 以下、はがき 40 枚、封 筒 10 枚 / 坪量 85 g/m² 増設トレイユニット (オプション) 普通紙 550 枚 / 64 g/m² (連量 55 kg) 総厚 53 mm 以下 	
排出方法	フェイスアップ / フェイスダウン	
排出容量	<ul style="list-style-type: none"> フェイスアップスタッカー 110 枚 (64 g/m²)、10 枚 (封筒) フェイスダウンスタッカー 270 枚 (64 g/m²) 	
印刷保証範囲	用紙の端から 6.35 mm 以上 (封筒などの特殊な用紙は除く)	
印刷精度	書き出し位置精度: ± 2 mm、用紙の斜行: ± 1 mm/100 mm、 画像伸縮: ± 1 mm/100 mm (80 g/m ²)	
ウォーミングアップ時間	<ul style="list-style-type: none"> 電源投入後 約 32 秒 (室温 25°C 定格電圧時) 省電力モード終了後 約 27 秒 (室温 25°C 定格電圧時) 	

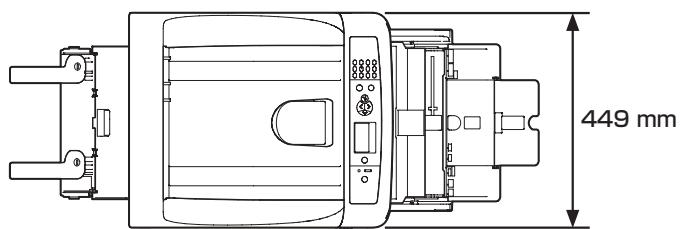
XL-C8350	
使用環境条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作時 温度 10 ~ 32°C / 湿度 20 ~ 80% RH (最高湿球温度 25°C、最高乾球湿球温度差 2°C) ● 電源オフ時 温度 0 ~ 43°C / 湿度 10 ~ 90% RH (最高湿球温度 26.8°C、最高乾球湿球温度差 2°C)
印刷品質保証条件	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作保証 温度 10°C 時 湿度 20 ~ 80%RH、温度 32°C 時 湿度 20 ~ 60%RH、 湿度 20%RH 時 温度 10 ~ 32°C、湿度 80%RH 時 温度 10 ~ 27°C ● フルカラー印刷保証 温度 17 ~ 27°C、湿度 50 ~ 70%RH
消耗品、メンテナンスユニット	トナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）、ベルトユニット、 定着器ユニット、給紙ローラーセット

■ ネットワーク仕様

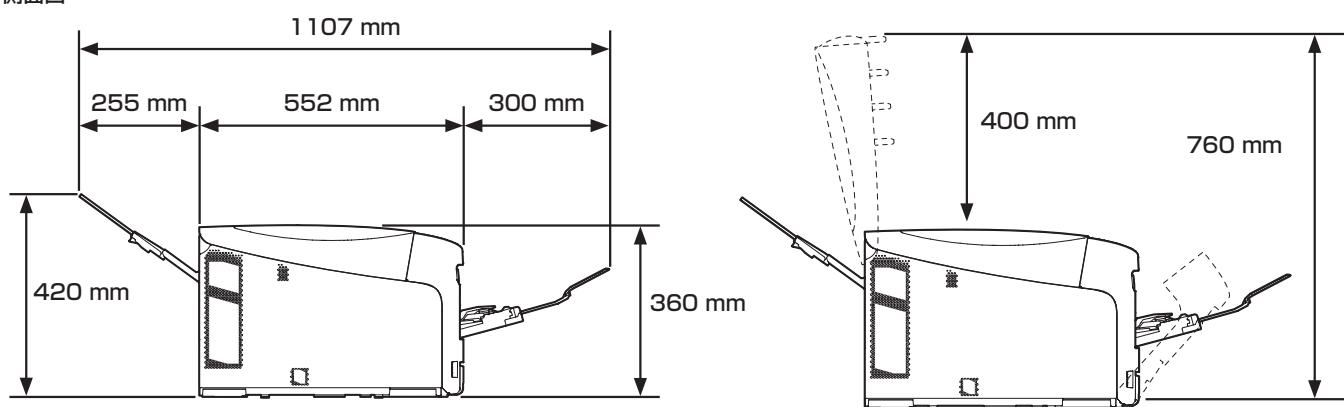
XL-C8350	
インターフェース	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX
プロトコル	TCP/IPv4、TCP/IPv6、SMTP、HTTP、SNMPv1、DHCP、DNS、LPR、 Port9100、ARP、Web Services Discovery (WSD)
対応ブラウザー	Microsoft Internet Explorer 6.0 以降

■外形寸法

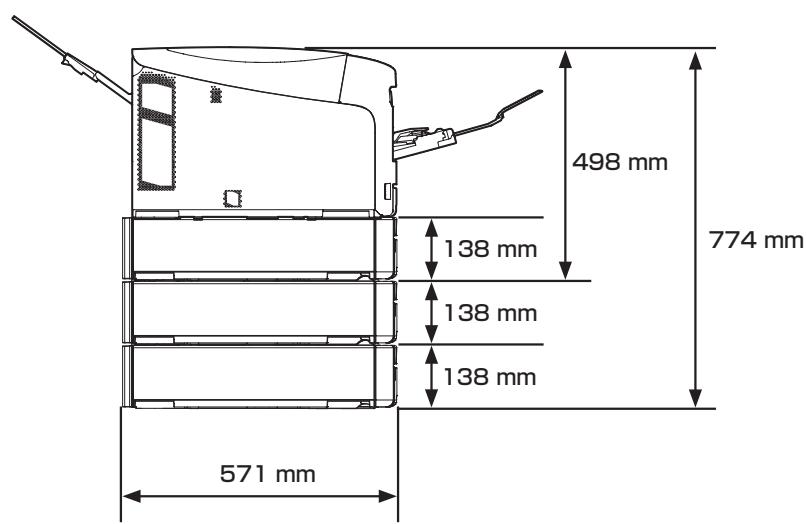
平面図



側面図



オプション装着時



● 有寿命部品／消耗品／24時間運用について

有寿命部品、消耗品、24時間運用について、留意していただきたい点を説明します。

有寿命部品について

- 本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化などが進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- 有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境などにより異なりますが、適切な使用環境(温度:17～27℃、湿度:50～70%RH)において1日8時間のご使用で約5年または60万ページ印刷のいずれか早いほうです(用紙サイズや用紙種類、印刷条件、およびプリンタ一本体の電源オン、オフ頻度などにより印刷ページ数が減少します)。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用など、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- 本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- 摩耗や劣化などにより有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での、修理による交換となります。交換するときは「お問い合わせ窓口」(P.150)にご連絡ください。
- 補修用性能部品の保有期間は、プリンタ一本体の製造終了後5年間です。
- 本製品をより長く安定してご利用いただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

制御基板、電源基板、高圧電源基板、用紙搬送ガイド、給紙ローラー

消耗品について

トナーカートリッジやイメージドラム（ドラムカートリッジ）などの消耗品は、その性能／機能を維持するために適時交換が必要となります。なお、交換する場合は、保証期間の内外を問わずお客様ご自身での新品購入ならびに交換となります。

消耗品については、「消耗品・オプションについて」(P.141)をご覧ください。

24時間以上の連続運用について

本製品は、24時間以上の連続運用を前提とした設計にはなっておりません。

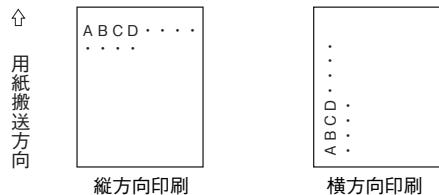
24時間以上の連続運用を行うと、有寿命部品の交換時期の目安となる期間よりも、早期に部品交換が必要となる場合があります。

● 用紙の印刷方向と印刷可能領域について

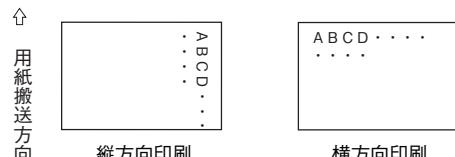
本プリンターは、用紙カセット（トレイ）やマルチパーパストレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。ここでは、給紙方法と用紙サイズとの対応を説明します。

印刷方向

■ A4 縦送り、A3、B4、B5 縦送り、A5 縦送り、B6、A6、レター縦送り、往復はがき、はがき、リーガルサイズの用紙の場合

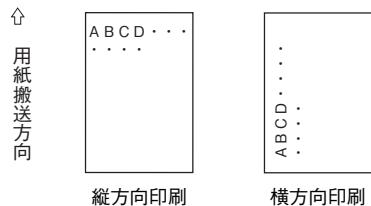


■ A4 横送り、A5 横送り、B5 横送り、レター横送りサイズの用紙の場合

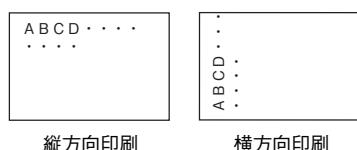


■ ユーザ定義サイズの用紙の場合

縦長（幅<長さ）の用紙の場合



横長（幅>長さ）の用紙の場合

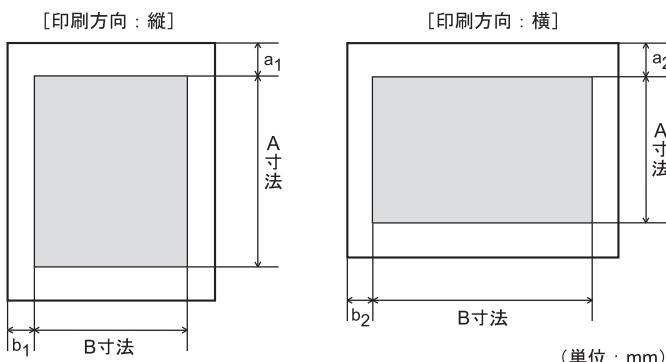


メモ

- 用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタードライバーで設定できます。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプか「ソフトウェアガイド」-「便利な印刷機能」をご覧ください。

印刷可能領域

本プリンターで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。



a1=a2=5 mm、b1=b2=5 mm

表：印刷可能領域（Printia XL ドライバー使用時）

用紙方向	用紙サイズ	A3	B4	A4	B5	A5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A 寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B 寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

● アフターサービスについて

本製品のアフターサービスについて説明します。

- ご購入時に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より 6 ヶ月です。詳しくは保証書をご覧ください。
- 本製品の保守部品の最低保有期間は製造終了後 5 年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- 本製品のご使用にあたっては、純正の消耗品をお使いください。純正の消耗品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障時は下記にご連絡ください。

- お問い合わせ窓口

保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は専用の窓口に、未契約のお客様は「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。

「富士通ハードウェア修理相談センター」

通話料無料：0120-422-297

受付時間：9:00～17:00（土曜・日曜・祝日および年末年始を除く）

- 本製品の使用に関する技術的なご相談などにつきましては、製品のご購入元、または弊社の担当営業／SE にお問い合わせください。

なお、保守運用支援サービス「SupportDesk」をご契約のお客様は、ご契約のお客様専用の電話やホームページなどで製品に関するご質問を受け付けております。

使用済みトナーカートリッジ、イメージドラム（ドラムカートリッジ）の回収サービス

富士通グループでは大切な資源を上手に使う循環型社会の実現を目指し、使用済みカートリッジを無償で回収しております。回収した使用済みカートリッジは大切な資源として、最終的に部材の再使用や再資源化を行っております。使用済みカートリッジの回収連絡は、次の「エコ受付センター」までご連絡ください。

● エコ受付センター

通話料無料：0120-300-693

受付時間：月曜日～金曜日 8:40～12:00、13:00～17:30（土・日曜日・祝祭日・当社指定の休日を除く）

● プリンタ消耗品無償回収サービス

<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>

ご協力をお願いいたします。

修理装置の返却準備～お客様へ～

「お問い合わせ窓口」(P.150) に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、次の手順で準備をお願いいたします。

1 操作パネルから設定の一覧を印刷し、設定を復元するときに必要となる情報を控えます。

詳しくは「プリンター単体でテスト印刷をする」(P.30) をご覧ください。

2 「プリンターを移動・輸送する」(P.133) の手順に従って、本製品の梱包を行います。

本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/>) をご覧ください。

本マニュアルで紹介している URL について

本マニュアルで紹介している URL は、以下のとおりです。

- 富士通製品情報

<http://www.fmworld.net/biz/fmv/>

- 富士通コワーコお客様総合センター

<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/>

- プリンタ消耗品無償回収サービス

<http://www.fujitsu.com/jp/group/coworco/solutions/eco/recovery/>

- 製品サポート（法人のお客様向け）製品別サービスメニュー

<http://www.fujitsu.com/jp/services/infrastructure/service-desk/products/>

- 本製品の廃棄について

<http://www.fujitsu.com/jp/about/environment/society/products/recycleinfo/>

● 安全データシート

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : CL116シリーズ 感光体

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-15 新横浜センタービル

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 045-479-0140 FAX番号 : 045-479-0141

整理番号 : TR17-M006 (全3頁)

作成・改定 : 2017.5.22

5

5
付録

2. 危険有害性の分類

最重要危険有害性 : 通常の使用をする限り危険有害性は低い。

特定の危険有害性 : 該当なし

分類の名称 : 該当しない

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 適用外 (成型品)

一般名 : 感光体ドラム

成分及び含有量 :

成分	CAS No.	含有量
アルミニウム素管	—	> 97 %
バインダー樹脂	—	< 1 %
光導電性物質	—	< 1 %
顔料	—	< 1 %

4. 応急措置

吸入した場合 : 通常の使用で目に入ることはないが、もしも感光層の削れかす等を吸い咳、呼吸困難やその他の症状が出たときは、医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合 : 特別な処置は必要ないが、もしも感光層の削れかす等が大量に付着した場合には、よく洗い流すこと。

目に入った場合 : 通常の使用で目に入ることはないが、もしも削れかす等が目に入った場合は清浄な水で十分に洗い流す。もし異常を感じたら、眼科医の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 通常の使用で飲み込むことはないが、もしも感光層の削れかす等を飲み込んでしまった場合には、できるだけ吐き出し、もし異常を感じるようであれば医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水、泡消火剤、粉末消火剤等

特定の消火方法 : 消火活動は、出来るだけ風上より行う。適切な消火剤を使用する。

消火を行う者の保護 : 状況に応じて適切な保護具（呼吸用の保護具・耐熱性着衣など）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 通常の使用では特別の措置は必要ない。

環境に対する注意事項 : 回収すること。回収にあたって特別の措置は必要ない。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取り扱い : 安全上特別な措置は必要ないが、特性の劣化を防ぐため、感光層に直接触れたり、有機溶剤等の蒸気や直射日光にさらさないこと。
- 保管 : 暗所に通常環境下で保管する。結露、有機溶剤の蒸気等に暴露しないこと。

8. ばく露防止措置及び保護措置

- 管理温度 : 設定されていない
- 許容濃度 : 設定されていない
- 設備対策 : 特に必要なし
- 保護具 : 特に必要なし

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態

- 形状 : 円筒形
- 色 : 緑色
- 臭い : 無臭

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

- 沸点 : 測定対象外
- 沸騰範囲 : 測定範囲外
- 融点 : データなし
- ガラス転移点 : データなし
- 引火点 : 引火性なし
- 発火点 : 発火性なし
- 爆発特性 : なし
- 蒸気圧 : 測定対象外
- 蒸気密度 : 測定対象外
- 密度 (比重) : 2.7
- 溶解性 : 水に不溶。感光層は有機溶剤（テトラヒドロフラン等）に可溶。

10. 危険性情報

- 安定性 : 通常の取り扱いにおいて安定。
- 反応性 : なし
- 酸化性 : なし
- 水と反応性 : なし

11. 有害性情報

- 急性毒性 : ラットを用いた経口投与による急性毒性試験の結果（感光層について）
半数致死量 (LD50値) : 2,000 mg/kg以上
- 変異原性 : 微生物による変異原性テストの結果は陰性（感光層について）
- 刺激性 : 皮膚 : ウサギの皮膚に対する刺激性 : なし（感光層について）
眼 : ウサギの眼に対する刺激性 : 可逆性の極弱い刺激性（感光層について）

12. 環境影響情報

既知見なし

13. 廃棄上

使用済みカートリッジを廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管ください。
当社では、使用済みカートリッジの無償回収サービスを行っています。「エコ受付センター」までお問い合わせいただき、当社の回収リサイクル活動にご協力下さい。なお、お客様で処理される場合は、関連法規並びに

地方自治体の基準に従って下さい。

トナー（使用済トナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないで下さい。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

14. 輸送上の注意

注意事項	：梱包が破損しないように水漏れや乱暴な取扱いを避ける。
国連分類	：国連の定義上危険物に該当しない。
国連番号	：なし
国内規制	：適用法令なし

15. 適用法令

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 : 該当しない
「化管法施行令の一部を改正する政令（平成20年11月21日公布）を含む」

16. その他

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : CL116シリーズ トナー (ブラック) (トナー・現像剤)

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-15 新横浜センタービル

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 045-479-0140 FAX番号 : 045-479-0141

整理番号 : TR17-M002 (全6頁)

作成・改定 : 2017.5.24

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分外
急性毒性 (経皮)	: 区分外
急性毒性 (吸入)	: 分類対象外(蒸気)
皮膚腐食性及び刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: 区分外
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性)	: 分類できない
水生環境有害性 (長期間)	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	: 該当しない
注意喚起語	: 該当しない
危険有害性情報	: 該当しない

注意書き

【安全対策】
: 取扱い後はよく洗うこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

【応急措置】

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

: 多量の水と石鹼で洗うこと。

: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合 : 直射日光を避け、換気の良い40℃以下の室内に保管する。

飲み込んだ場合 : “廃棄上の注意”の章を参照。

【保管】 : 安全データシート (SDS) を参照して下さい。

【廃棄】

【使用上の注意】

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物	
官報公示整理番号（化審法）	: 有り	
官報公示整理番号（安衛法）	: 有り	
成分及び含有量		
成分名	含有量 (%)	CAS.No.
ポリエステル樹脂	非公開	非公開
カーボンブラック	1 - 5	1333-86-4
ワックス	1 - 5	非公開
シリカ	1 - 5	非公開
その他成分	非公開	

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	: 情報無し
特有の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
消火剤	: 水噴霧、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	: 情報なし
特有の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。 多量の場合、人を安全に待避させる。 必要に応じた換気を確保する。 風上から作業する。
環境に対する注意事項	: 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 粉塵爆発安全対策仕様の掃除機、ほうき等を使用して、粉塵が発生しないように回収する。
二次災害の防止策	: 情報無し

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 : 粉塵を吸入してはならない。 適切な排気換気装置を使用する。 取扱い後はよく洗うこと。
技術的対策	
安全取扱注意事項	

必要に応じて個人用保護具を使用すること。
粉塵の発生を避ける。
粉塵爆発の危険性も考えられるので大量の取扱いには注意する。

保管

適切な保管条件

: 密封した容器に保管する。

安全な容器包装材料

直射日光を避け、換気の良い40°C以下の室内に保管する。

: 情報なし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

粉塵が発生する場合は、局所排気装置を使用する。

管理濃度

: 設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会

: 【粉塵許容濃度】

(第2種粉塵) : 1 mg/m³ (吸入性粉塵) 4 mg/m³ (総粉塵)

カーボンブラック

(第3種粉塵) : 2 mg/m³ (吸入性粉塵) 8 mg/m³ (総粉塵)

その他の無機および有機粉塵

ACGIH

: TWA 3 mg/m³ (Inhalable fraction), STEL -

カーボンブラック

TWA 2 mg/m³, STEL -

パラフィンワックスヒューム

10 mg/m³ TWA (inhalable particles, recommended); 3 mg/m³ TWA (respirable particles, recommended) (Particulates (insoluble or poorly soluble) not otherwise specified (PNOS))

保護具

呼吸器の保護具

: 必要により防塵マスク

手の保護具

: ゴム保護手袋

眼の保護具

: 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具

: 長袖作業衣

適切な衛生対策

: 情報無し

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態／形状

: 粉末

色

: 黒色

臭い

: 無臭

臭いの閾値

: 情報無し

pH

: 測定不可

融点 (流動点)

: 110–115 °C

沸点

: 情報無し

引火点

: 検出せず

蒸発速度

: 情報無し

燃焼性 (固体、ガス)

: 情報無し

燃焼又は爆発範囲

: 上限: 情報無し 下限: 情報無し

蒸気圧

: 情報なし : 情報無し

密度 (比重)

: 1.2 g/mL (20 °C)

溶解度

: 不溶

水溶解性

: トルエン、クロロホルム、テトラヒドロフランに一部溶解

溶媒溶解性

: 情報無し

n-オクノール／水分配係数

(log Pow)	
自然発火温度	: 情報無し
分解温度	: 情報無し
粘度（粘性率）	: 情報無し
その他のデータ	: 情報無し

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の使用では安定。
危険有害反応可能性	: 情報無し
避けるべき条件	: 情報無し
混触危険物質	: 情報無し
危険有害な分解生成物	: 情報無し
その他	: 情報無し

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	
製品についての情報	: ラット, LD50 > 2000 mg/kg (類似品のデータ)
経皮	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
吸入	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
製品についての情報	: ウサギ, OECD404 : 刺激性なし (類似品のデータ)
成分についての情報	: 情報無し
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
呼吸器感作性又は皮膚感作性	
呼吸器	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
皮膚	
製品についての情報	: モルモット, OECD406 : 陰性 (類似品のデータ)
成分についての情報	: 情報無し
変異原性	
(生殖細胞変異原性)	
製品についての情報	: Ames 試験 (TA98,TA100,TA1535,TA1537,TA1538, WP2uvrA) : 陰性
成分についての情報	: 情報無し
発がん性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
IARC	: グループ2B : ヒトに対して発がん性の可能性がある
グループ3	: ヒトに対する発がん性について分類できない
NTP	: リストされていない
EU	: リストされていない

日本産業衛生学会	: 第2群B (人間にに対しておそらく発がん性があると考えられる証拠が比較的十分でない物質) カーボンブラック
生殖毒性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
吸引性呼吸器有害性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
その他	: 情報無し

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報無し
残留性・分解性	: 情報無し
生態蓄積性	: 情報無し
土壤中の移動性	: 情報無し
他の有害影響	: 情報無し

13. 廃棄上の注意

使用済みカートリッジを廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管ください。
当社では、使用済みカートリッジの無償回収サービスを行っています。「エコ受付センター」までお問い合わせいただき、当社の回収リサイクル活動にご協力下さい。なお、お客様で処理される場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って下さい。

トナー（使用済トナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないで下さい。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 航空輸送はIATA 及び海上輸送はIMDG の規則に従う。
国連分類・国連番号	: 該当しない (IMDG, IATA)
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: ”漏出時の処置：漏出時の措置”を参照。 ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 40°C以上となる鉄板等の上に直接のせないこと。

15. 適用法令

国内適用法令	
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 法第57条の2、施行令第18条の2名称等を通知すべき危険物及び有害物

カーボンブラック (1-10%)	
シリカ (1-5%)	
固体パラフィン (1-5%)	
すず及びその化合物 (0.1-1%)	
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
火薬類取締法	: 該当しない
高圧ガス保安法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
化審法	: 特定・監視・優先評価化学物質に該当しない
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
物質登録情報	
ENCS(Japan)	: 有り
TSCA(USA)	: 有り
EINECS(EU)	: 無し (ELINCS 届出)
AICS(Australia)	: 有り
DSL(Canada)	: 無し (NDSL)
ECL(Korea)	: 有り
PICCS(Philippines)	: 有り
IECSC(China)	: 有り

16. その他の情報

引用文献

- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2012)
- ・国際化学物質安全性カード (ICSC) コンパイラーズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
- ・GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2012年6月

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : CL116シリーズ トナー (イエロー) (トナー・現像剤)

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-15 新横浜センタービル

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 045-479-0140 FAX番号 : 045-479-0141

整理番号 : TR17-M003 (全6頁)

作成・改定 : 2017.5.24

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分外
急性毒性 (経皮)	: 区分外
急性毒性 (吸入)	: 分類対象外(蒸気)
皮膚腐食性及び刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: 区分外
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性)	: 分類できない
水生環境有害性 (長期間)	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	: 該当しない
注意喚起語	: 該当しない
危険有害性情報	: 該当しない

注意書き

【安全対策】
: 取扱い後はよく洗うこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

【応急措置】

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。

飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】 : 直射日光を避け、換気の良い40°C以下の室内に保管する。

【廃棄】 : “廃棄上の注意”の章を参照。

【使用上の注意】 : 安全データシート (SDS) を参照して下さい。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物	
官報公示整理番号（化審法）	: 有り	
官報公示整理番号（安衛法）	: 有り	
成分及び含有量		
成分名	含有量 (%)	CAS.No.
ポリエステル樹脂	非公開	非公開
顔料	非公開	非公開
ワックス	1 - 5	非公開
シリカ	1 - 5	非公開
その他成分	非公開	

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	: 情報無し
特有の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
消火剤	: 水噴霧、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	: 情報なし
特有の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :	作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。 多量の場合、人を安全に待避させる。 必要に応じた換気を確保する。 風上から作業する。
環境に対する注意事項	: 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法・機材	: 粉塵爆発安全対策仕様の掃除機、ほうき等を使用して、粉塵が発生しないように回収する。
二次災害の防止策	: 情報無し

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 : 粉塵を吸入してはならない。 適切な排気換気装置を使用する。 取扱い後はよく洗うこと。
技術的対策	
安全取扱注意事項	

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

粉塵の発生を避ける。

粉塵爆発の危険性も考えられるので大量の取扱いには注意する。

保管

適切な保管条件

: 密封した容器に保管する。

直射日光を避け、換気の良い40°C以下の室内に保管する。

: 情報なし

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

粉塵が発生する場合は、局所排気装置を使用する。

: 設定されていない。

管理濃度

許容濃度

日本産業衛生学会

: 【粉塵許容濃度】

(第3種粉塵) : 2 mg/m³ (吸入性粉塵) 8 mg/m³ (総粉塵)
その他の無機および有機粉塵

ACGIH

: TWA 2 mg/m³, STEL -

パラフィンワックスヒューム

10 mg/m³ TWA (inhalable particles, recommended); 3 mg/m³ TWA (respirable particles, recommended) (Particulates (insoluble or poorly soluble) not otherwise specified (PNOS))

保護具

呼吸器の保護具

: 必要により防塵マスク

手の保護具

: ゴム保護手袋

眼の保護具

: 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具

: 長袖作業衣

適切な衛生対策

: 情報無し

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態／形状

: 粉末

色

: 黄色

臭い

: 無臭

臭いの閾値

: 情報無し

pH

: 測定不可

融点 (流動点)

: 情報なし

沸点

: 情報無し

引火点

: 検出せず

蒸発速度

: 情報無し

燃焼性 (固体、ガス)

: 情報無し

燃焼又は爆発範囲

: 上限: 情報無し 下限: 情報無し

蒸気圧

: 情報なし

密度 (比重)

: 1.2 g/mL (20 °C)

溶解度

: 不溶

水溶解性

: トルエン、クロロホルム、テトラヒドロフランに一部溶解

n-オクノール／水分配係数

: 情報無し

(log Pow)

: 情報無し

自然発火温度

: 情報無し

分解温度

: 情報無し

粘度 (粘性率)

: 情報無し

その他のデータ : 情報無し

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の使用では安定。
 危険有害反応可能性 : 安定。
 避けるべき条件 : 情報無し
 混触危険物質 : 情報無し
 危険有害な分解生成物 : 情報無し
 その他 : 情報無し

11. 有害性情報

急性毒性

経口

製品についての情報 : ラット, LD50 > 2000 mg/kg

経皮

製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し

吸入

製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

製品についての情報 : ウサギ, 未希釈, 4 時間 半閉鎖貼付試験 (OECD404) : 刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器

製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し

皮膚

製品についての情報 : モルモット, GPMT 法 : 陰性

変異原性

(生殖細胞変異原性)

製品についての情報 : Ames 試験 (TA98,TA100,TA1535,TA1537,TA1538, WP2uvrA) : 陰性
 成分についての情報 : 情報無し

発がん性

製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し
 IARC : グループ3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
 非晶質シリカ : リストされていない
 NTP : リストされていない
 EU : リストされていない
 日本産業衛生学会 : リストされていない

生殖毒性

製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し
 特定標的臓器毒性, 反復ばく露

製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
吸引性呼吸器有害性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
その他	: 情報無し

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報無し
残留性・分解性	: 情報無し
生態蓄積性	: 情報無し
土壤中の移動性	: 情報無し
他の有害影響	: 情報無し

13. 廃棄上の注意

使用済みカートリッジを廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管ください。
当社では、使用済みカートリッジの無償回収サービスを行っています。「エコ受付センター」までお問い合わせいただき、当社の回収リサイクル活動にご協力下さい。なお、お客様で処理される場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って下さい。
トナー（使用済トナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないで下さい。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 航空輸送はIATA 及び海上輸送はIMDG の規則に従う。
国連分類・国連番号	: 該当しない (IMDG, IATA)
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: ”漏出時の処置：漏出時の措置”を参照。 ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 40°C以上となる鉄板等の上に直接のせないこと。

15. 適用法令

国内適用法令	
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 法第57条の2、施行令第18条の2名称等を通知すべき危険物及び有害物 シリカ (1-5%) 固体パラフィン (1-5%) すず及びその化合物 (0.1-1%)
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
火薬類取締法	: 該当しない
高圧ガス保安法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
化審法	: 特定・監視・優先評価化学物質に該当しない
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない

物質登録情報

ENCS(Japan)	: 有り
TSCA(USA)	: 有り
EINECS(EU)	: 無し (ELINCS 届出)
AICS(Australia)	: 有り
DSL(Canada)	: 有り
ECL(Korea)	: 有り
PICCS(Philippines)	: 有り
IECSC(China)	: 有り

16. その他の情報

引用文献

- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2012)
- ・国際化学物質安全性カード (ICSC) コンパイラーズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
- ・GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2012年6月

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : CL116シリーズ トナー (マゼンタ) (トナー・現像剤)

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-15 新横浜センタービル

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 045-479-0140 FAX番号 : 045-479-0141

整理番号 : TR17-M004 (全6頁)

作成・改定 : 2017.5.24

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口)	: 区分外
急性毒性 (経皮)	: 区分外
急性毒性 (吸入)	: 分類対象外(蒸気)
皮膚腐食性及び刺激性	: 区分外
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	: 区分外
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 分類できない
吸引性呼吸器有害性	: 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性)	: 分類できない
水生環境有害性 (長期間)	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル	: 該当しない
注意喚起語	: 該当しない
危険有害性情報	: 該当しない
注意書き	

【安全対策】

: 取扱い後はよく洗うこと。
必要に応じて個人用保護具を使用すること。

【応急措置】

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。

飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】 : 直射日光を避け、換気の良い40℃以下の室内に保管する。

【廃棄】 : “廃棄上の注意”の章を参照。

【使用上の注意】 : 安全データシート (SDS) を参照して下さい。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	: 混合物	
官報公示整理番号（化審法）	: 有り	
官報公示整理番号（安衛法）	: 有り	
成分及び含有量		
成分名	含有量 (%)	CAS.No.
ポリエステル樹脂	非公開	非公開
顔料	非公開	非公開
ワックス	1 - 5	非公開
シリカ	1 - 5	非公開
その他成分	非公開	

4. 応急措置

吸入した場合	: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹼で洗うこと。
眼に入った場合	: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合	: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤	: 水噴霧、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	: 情報無し
特有の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。
消火剤	: 水噴霧、粉末消火薬剤
使ってはならない消火剤	: 情報なし
特有の危険有害性	: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
特有の消火方法	: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火を行う者の保護	: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。

多量の場合、人を安全に待避させる。

必要に応じた換気を確保する。

風上から作業する。

漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

粉塵爆発安全対策仕様の掃除機、ほうき等を使用して、粉塵が発生しないように回収する。

情報無し

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法・機材

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱注意事項	: 粉塵を吸入してはならない。 適切な排気換気装置を使用する。 取扱い後はよく洗うこと。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

粉塵の発生を避ける。

粉塵爆発の危険性も考えられるので大量の取扱いには注意する。

保管

適切な保管条件

: 密封した容器に保管する。

直射日光を避け、換気の良い40°C以下の室内に保管する。

: 情報なし

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

粉塵が発生する場合は、局所排気装置を使用する。

: 設定されていない。

管理濃度

許容濃度

日本産業衛生学会

: 【粉塵許容濃度】

(第3種粉塵) : 2 mg/m³ (吸入性粉塵) 8 mg/m³ (総粉塵)
その他の無機および有機粉塵

ACGIH

: TWA 2 mg/m³, STEL -

パラフィンワックスヒューム

10 mg/m³ TWA (inhalable particles, recommended); 3 mg/m³ TWA (respirable particles, recommended) (Particulates (insoluble or poorly soluble) not otherwise specified (PNOS))

保護具

呼吸器の保護具

: 必要により防塵マスク

手の保護具

: ゴム保護手袋

眼の保護具

: 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具

: 長袖作業衣

適切な衛生対策

: 情報無し

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態／形状

: 粉末

色

: マゼンタ色

臭い

: 無臭

臭いの閾値

: 情報無し

pH

: 測定不可

融点 (流動点)

: 情報なし

沸点

: 情報無し

引火点

: 検出せず

蒸発速度

: 情報無し

燃焼性 (固体、ガス)

: 情報無し

燃焼又は爆発範囲

: 上限: 情報無し 下限: 情報無し

蒸気圧

: 情報なし

密度 (比重)

: 1.2 g/mL (20 °C)

溶解度

: 不溶

水溶解性

: トルエン、クロロホルム、テトラヒドロフランに一部溶解

n-オクノール／水分配係数

: 情報無し

(log Pow)

: 情報無し

自然発火温度

: 情報無し

分解温度

: 情報無し

粘度 (粘性率)

: 情報無し

その他のデータ : 情報無し

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の使用では安定。
 危険有害反応可能性 : 安定。
 避けるべき条件 : 情報無し
 混触危険物質 : 情報無し
 危険有害な分解生成物 : 情報無し
 その他 : 情報無し

11. 有害性情報

急性毒性

経口

製品についての情報 : ラット, LD50 > 2000 mg/kg

経皮

製品についての情報 : 情報無し

成分についての情報 : 情報無し

吸入

製品についての情報 : 情報無し

成分についての情報 : 情報無し

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

製品についての情報 : ウサギ, 未希釈, 4 時間 半閉鎖貼付試験 (OECD404) : 刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

製品についての情報 : 情報無し

成分についての情報 : 情報無し

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器

製品についての情報 : 情報無し

成分についての情報 : 情報無し

皮膚

製品についての情報 : モルモット, GPMT 法 : 陰性

変異原性

(生殖細胞変異原性)

製品についての情報 : Ames 試験 (TA98,TA100,TA1535,TA1537,TA1538, WP2uvrA) : 陰性

成分についての情報 : 情報無し

発がん性

製品についての情報 : 情報無し

成分についての情報 : 情報無し

IARC

: グループ3 : ヒトに対する発がん性については分類できない

非晶質シリカ

: リストされていない

NTP

: リストされていない

EU

: リストされていない

日本産業衛生学会

: リストされていない

生殖毒性

製品についての情報 : 情報無し

成分についての情報 : 情報無し

特定標的臓器毒性, 単回ばく露

: 情報無し

: 情報無し

: 情報無し

特定標的臓器毒性, 反復ばく露

: 情報無し

: 情報無し

製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
吸引性呼吸器有害性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
その他	: 情報無し

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報無し
残留性・分解性	: 情報無し
生態蓄積性	: 情報無し
土壤中の移動性	: 情報無し
他の有害影響	: 情報無し

13. 廃棄上の注意

使用済みカートリッジを廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管ください。
当社では、使用済みカートリッジの無償回収サービスを行っています。「エコ受付センター」までお問い合わせいただき、当社の回収リサイクル活動にご協力下さい。なお、お客様で処理される場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って下さい。
トナー（使用済トナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないで下さい。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 航空輸送はIATA 及び海上輸送はIMDG の規則に従う。
国連分類・国連番号	: 該当しない (IMDG, IATA)
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: ”漏出時の処置：漏出時の措置”を参照。 ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 40°C以上となる鉄板等の上に直接のせないこと。

15. 適用法令

国内適用法令	
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 法第57条の2、施行令第18条の2名称等を通知すべき危険物及び有害物 シリカ (1-5%) 固体パラフィン (1-5%) すず及びその化合物 (0.1-1%)
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
火薬類取締法	: 該当しない
高圧ガス保安法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
化審法	: 特定・監視・優先評価化学物質に該当しない
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない

物質登録情報

ENCS(Japan)	: 有り
TSCA(USA)	: 有り
EINECS(EU)	: 無し (ELINCS 届出)
AICS(Australia)	: 有り
DSL(Canada)	: 有り
ECL(Korea)	: 有り
PICCS(Philippines)	: 有り
IECSC(China)	: 有り

16. その他の情報

引用文献

- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (JIS Z 7253:2012)
- ・国際化学物質安全性カード (ICSC) コンパイラーズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
- ・GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2012年6月

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : CL116シリーズ トナー (シアン) (トナー・現像剤)

会社名 : 富士通株式会社

問合せ先

会社名 : 富士通コワーコ株式会社

住所 : 〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-15 新横浜センタービル

担当部門 : 営業推進統括部 技術部

電話番号 : 045-479-0140 FAX番号 : 045-479-0141

整理番号 : TR17-M005 (全6頁)

作成・改定 : 2017.5.24

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性 : 分類基準に該当しない

健康に対する有害性

急性毒性 (経口) : 区分外

急性毒性 (経皮) : 区分外

急性毒性 (吸入) : 分類対象外(蒸気)

皮膚腐食性及び刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 : 区分外

呼吸器感作性 : 分類できない

皮膚感作性 : 区分外

生殖細胞変異原性 : 分類できない

発がん性 : 分類できない

生殖毒性 : 分類できない

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 分類できない

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 分類できない

吸引性呼吸器有害性 : 分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 (急性) : 分類できない

水生環境有害性 (長期間) : 分類できない

オゾン層への有害性 : 分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル : 該当しない

注意喚起語 : 該当しない

危険有害性情報 : 該当しない

注意書き

【安全対策】 : 取扱い後はよく洗うこと。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

【応急措置】

眼に入った場合

: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

: 多量の水と石鹼で洗うこと。

: 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

【保管】 : 直射日光を避け、換気の良い40℃以下の室内に保管する。

【廃棄】 : “廃棄上の注意”の章を参照。

【使用上の注意】 : 安全データシート (SDS) を参照して下さい。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物
 官報公示整理番号（化審法） : 有り
 官報公示整理番号（安衛法） : 有り
 成分及び含有量

成分名	含有量 (%)	CAS.No.
ポリエステル樹脂	非公開	非公開
顔料	非公開	非公開
ワックス	1 - 5	非公開
シリカ	1 - 5	非公開
その他成分	非公開	

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水噴霧、粉末消火薬剤
 使ってはならない消火剤 : 情報無し
 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業は、可能な限り風上から行う。
 消火剤 : 水噴霧、粉末消火薬剤
 使ってはならない消火剤 : 情報なし
 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業は、可能な限り風上から行う。
 消火剤 : 水噴霧、粉末消火薬剤
 使ってはならない消火剤 : 情報なし
 特有の危険有害性 : 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出するかもしれない。
 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。
 消火を行う者の保護 : 消火作業は、可能な限り風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :

作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。
 多量の場合、人を安全に待避させる。
 必要に応じた換気を確保する。
 風上から作業する。

- 環境に対する注意事項 : 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。
 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 粉塵爆発安全対策仕様の掃除機、ほうき等を使用して、粉塵が発生しないように回収する。
 二次災害の防止策 : 情報無し

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
 安全取扱注意事項 : 粉塵を吸入してはならない。
 適切な排気換気装置を使用する。
 取扱い後はよく洗うこと。

必要に応じて個人用保護具を使用すること。

粉塵の発生を避ける。

粉塵爆発の危険性も考えられるので大量の取扱いには注意する。

保管

適切な保管条件

: 密封した容器に保管する。

直射日光を避け、換気の良い40°C以下の室内に保管する。

: 情報なし

安全な容器包装材料

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

粉塵が発生する場合は、局所排気装置を使用する。

: 設定されていない。

管理濃度

許容濃度

日本産業衛生学会

: 【粉塵許容濃度】

(第3種粉塵) : 2 mg/m³ (吸入性粉塵) 8 mg/m³ (総粉塵)
その他の無機および有機粉塵

ACGIH

: TWA 2 mg/m³, STEL -

パラフィンワックスヒューム

10 mg/m³ TWA (inhalable particles, recommended); 3 mg/m³ TWA (respirable particles, recommended) (Particulates (insoluble or poorly soluble) not otherwise specified (PNOS))

保護具

呼吸器の保護具

: 必要により防塵マスク

手の保護具

: ゴム保護手袋

眼の保護具

: 側板付き保護眼鏡 (必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)

皮膚及び身体の保護具

: 長袖作業衣

適切な衛生対策

: 情報無し

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状態／形状

: 粉末

色

: シアン色

臭い

: 無臭

臭いの閾値

: 情報無し

pH

: 測定不可

融点 (流動点)

: 情報なし

沸点

: 情報なし

引火点

: 検出せず

蒸発速度

: 情報無し

燃焼性 (固体、ガス)

: 情報無し

燃焼又は爆発範囲

: 上限: 情報無し 下限: 情報無し

蒸気圧

: 情報なし

密度 (比重)

: 1.2 g/mL (20 °C)

溶解度

: 不溶

水溶解性

: トルエン、クロロホルム、テトラヒドロフランに一部溶解

n-オクノール／水分配係数

: 情報無し

(log Pow)

: 情報無し

自然発火温度

: 情報無し

分解温度

: 情報無し

粘度 (粘性率)

: 情報無し

その他のデータ : 情報無し

10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の使用では安定。
 危険有害反応可能性 : 安定。
 避けるべき条件 : 情報無し
 混触危険物質 : 情報無し
 危険有害な分解生成物 : 情報無し
 その他 : 情報無し

11. 有害性情報

急性毒性
 経口 製品についての情報 : ラット, LD50 > 2000 mg/kg
 経皮 製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し
 吸入 製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し
 皮膚腐食性及び皮膚刺激性
 製品についての情報 : ウサギ, 未希釈, 4 時間 半閉鎖貼付試験 (OECD404) : 刺激性なし
 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性
 製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し
 呼吸器感作性又は皮膚感作性
 呼吸器 製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し
 皮膚
 製品についての情報 : モルモット, GPMT 法 : 陰性
 変異原性
 (生殖細胞変異原性)
 製品についての情報 : Ames 試験 (TA98,TA100,TA1535,TA1537,TA1538, WP2uvrA) : 陰性
 成分についての情報 : 情報無し
 発がん性
 製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し
 IARC
 非晶質シリカ : グループ3 : ヒトに対する発がん性については分類できない
 NTP : リストされていない
 EU : リストされていない
 日本産業衛生学会 : リストされていない
 生殖毒性
 製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し
 特定標的臓器毒性, 単回ばく露
 製品についての情報 : 情報無し
 成分についての情報 : 情報無し
 特定標的臓器毒性, 反復ばく露

製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
吸引性呼吸器有害性	
製品についての情報	: 情報無し
成分についての情報	: 情報無し
その他	: 情報無し

12. 環境影響情報

生態毒性	: 情報無し
残留性・分解性	: 情報無し
生態蓄積性	: 情報無し
土壤中の移動性	: 情報無し
他の有害影響	: 情報無し

13. 廃棄上の注意

使用済みカートリッジを廃棄する場合は、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管ください。
当社では、使用済みカートリッジの無償回収サービスを行っています。「エコ受付センター」までお問い合わせいただき、当社の回収リサイクル活動にご協力下さい。なお、お客様で処理される場合は、関連法規並びに地方自治体の基準に従って下さい。
トナー（使用済トナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないで下さい。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。

14. 輸送上の注意

国際規制	: 航空輸送はIATA 及び海上輸送はIMDG の規則に従う。
国連分類・国連番号	: 該当しない (IMDG, IATA)
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	: 船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	: 航空法に定められている運送方法に従う。
輸送の特定の安全対策及び条件	: ”漏出時の処置：漏出時の措置”を参照。 ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。 容器の破損、漏れがないことを確かめる。 荷くずれ防止を確実に行う。 該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。 40°C以上となる鉄板等の上に直接のせないこと。

15. 適用法令

国内適用法令	
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
労働安全衛生法	: 法第57条の2、施行令第18条の2名称等を通知すべき危険物及び有害物 シリカ (1-5%) 固体パラフィン (1-5%) 銅及びその化合物 (1-5%) すず及びその化合物 (0.1-1%)
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
火薬類取締法	: 該当しない
高圧ガス保安法	: 該当しない
消防法	: 該当しない
化審法	: 特定・監視・優先評価化学物質に該当しない
船舶安全法	: 該当しない

航空法	: 該当しない
物質登録情報	
ENCS(Japan)	: 有り
TSCA(USA)	: 有り
EINECS(EU)	: 無し (ELINCS 届出)
AICS(Australia)	: 有り
DSL(Canada)	: 有り
ECL(Korea)	: 有り
PICCS(Philippines)	: 有り
IECSC(China)	: 有り

16. その他の情報

引用文献

- ・GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）(JIS Z 7253:2012)
- ・国際化学物質安全性カード（ICSC）コンパイラーズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
- ・GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、(社)日本化学工業協会、2012年6月

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。

**カラーページプリンタ XL-C8350
ハードウェアガイド**

B5WY-1691-01-00

発行日 2017年8月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権および他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

FUJITSU

このマニュアルはリサイクルに配慮して印刷されています。
不要になった際は、回収・リサイクルにお出しください。

46677601EE Rev1

